総合図書目録 2021

General Catalog of Books

—2021—

龍溪書舎
Ryuukei Shosha Publish Co.,Ltd.

目　　次

１．政治･外交･国際関係
２．思想･マスコミ
３．産業･経済
４．教　育
５．科学史･文化
６．社会学･社会問題関係
７．小笠原・南洋関係
８．中国関係
　１．満鉄（南満洲鉄道株式会社）
　２．満洲
　３．中国
９．朝　鮮
　韓国併合史研究資料
10．アジア（含･旧植民地）
　20世紀日本のアジア関係重要研究資料
　　第１部 東亜研究所刊行物
　　第２部 定期刊行資料
　　第３部 単行図書資料
　南方軍政関係史料
　アジアにおける日本の軍･学校･宗教関係資料
11．農業･報徳（二宮尊徳関係）
12．書誌［総目次･索引含む］･年鑑･目録
13．その他
14．ヨーロッパ古典　ほか
書名索引

1．政治・外交・国際関係

田中宏巳 編

真相―中国の南洋進出と太平洋戦争

ISBN 978-4-8447-0656-4
四六判・226頁　本体価1,800円

太平洋戦争最大の戦死者を出し、日米決戦の帰趨を決めた島ニューギニア。戦後、全く忘れ去られたこの島に今、中国人が大挙押し寄せているという。何故か。中国は南洋進出のために日本軍の南方作戦を研究し、これを巧みに生かした。中国の南洋進出の真相を太平洋戦争より読み解く。アジアの未来を考える必読書。（'21・1刊）

王 芸生 著／監修 末廣重雄
編訳 長野 勲、波多野乾一／解題 大畑篤四郎

復刻版

日中外交六十年史 全4巻

ISBN 978-4-8447-0250-4
A5判・総1,420頁（検閲伏字を回復）　本体価50,000円

今日、日中関係史についての関心は極めて高いのであるが、全体を展望した概説書は意外に少ない。本書は、戦前中国で「六十年来中国與日本」として公刊され、長野勲・波多野乾一両氏によって昭和8～11年にかけて刊行された「日中外交六十年史」に、解題を附して復刻したものである。
古代日中関係から説きおこし、特に日清修好條規の締結からパリ講和会議に至る日中外交史を編述。日中関係史を専門とする研究者にとって、必読の書といえる。（'87・7 初版 '88・8 2版）

残僅少

中村尚美 著

明治国家の形成とアジア

ISBN 978-4-8447-8334-3
A5判・370頁　本体価5,500円

19世紀の半ば、近代化の歩みを始めたわが国は、欧米列強のつくり出した国際秩序の一員になることをめざして、西洋文明を意識的に吸収しつつ、近代国家を形成してきた。本書はその過程を、第1部「明治国家の形成」において制度的ないし機構的側面において明らかにし、その近代的国家形成過程における代表的な日本のアジア認識の思想と実態を、第2部「アジアへの視覚」で解明する。（'91・3刊）

監輯 松田道一／解題 大畑篤四郎

復刻版

国際平和関係條約集

ISBN 978-4-8447-6367-3
A5判・約390頁　本体価20,000円

本書は、戦前における平和の維持や軍縮、安全保障などについての條約および各種の関連文書を収録して昭和7年に発行された。本書によって、その時代の努力のなかに原理的なものが多く含まれ、小協商国と呼ばれた小国が健闘したことが知られている。平和の維持や国際間の信頼の助長のための先人の努力を確認し、正しく継承するべく、この條約集はそれだけの内容を含んでいると思われる。（'93・7刊）

半澤玉城 著／解題 大畑篤四郎

復刻版
中国及び満州関係

條 約 及 公 文 集
全２巻

ISBN 978-4-8447-6368-0
A５判・総約1,270頁　本体価55,000円

ネルチンクス條約以後、中国と諸外国との間に締結された諸條約を、きわめてハンディな形に編集して昭和９年に発行されたもの。中国が近代的な條約関係を結んだのは、アヘン戦争に敗北したのち、イギリスとの間に締結した1842年の江寧條約（いわゆる南京條約）であるが、それ以後列国は相次いで中国との間に同様の各種の條約を締結し、有利な地位を得た。これらは社会科学を学ぶ者には一応知識としては知られているが、條約に即してその内容を確認し検証するものは少ない。本書の復刊はそうした欠陥を補い、中国をめぐる国際関係の歴史的な研究を行うためにきわめて有用である。（'93・７刊）

編集 ポール・Ｆ．フーパー／編集協力 山岡道男

REMEMBERING THE INSTITUTE OF PACIFIC RELATIONS
—The Memoirs of William L. Holland—

太 平 洋 問 題 調 査 会（IPR）
—ウイリアム　L. ホランド回顧録—

ISBN 978-4-8447-6381-9
A５判・660頁　本体価20,000円

本書は、編者がＩＰＲの中心人物で且つ生き証人でもあるホランド氏から聴取するオーラル・ヒストリー形式をとっている。アジア太平洋地域の国際関係、外交史、政治史、地域研究に関する内容は、他に類例を見ない極めて資料的価値の高いものである。ＩＰＲがアジア太平洋時代の先駆的存在意義を持つことから、本資料は今後の更なる発展が予想されるアジア太平洋時代の在り方や日本の国際的役割・国際貢献・国際交流・民間外交・国際人育成といったわが国の直面する今日的課題に限りない示唆を与えよう。（英文）。（'95 刊）

（財）女性のためのアジア平和国民基金 編
編集（代表）後藤乾一、高崎宗司、和田春樹

編集復刻版
政府調査

『従軍慰安婦』関係資料集成
（1992～93）　全５巻

ISBN 978-4-8447-3474-1
A５判・総約3,500頁　本体価100,000円

日本政府は、「慰安婦問題」の真実を明らかにして歴史の教訓とするためには、資料の発掘、調査、研究が必要であるとし、平成３年より８年にかけて３次にわたり、内外の諸機関の協力を得て総合調査を行った。そして、その資料を永久保存すると共に、この問題の研究に関心を持つ内外の人々に全公開することを決定した。

（財）女性のためのアジア平和国民基金は、この政府調査をオリジナルのまま編集し、このたび小舎が刊行した。この悉皆調査を目指した本企画の資料的価値は絶大であり、大学、研究機関、団体、またこの問題に関心をもつ個人の方々にも是非必読の文献としておすすめ申し上げたい。

（'97・３　初版
'99・12　２版）

収 録 内 容

- 第１巻
  - 警察庁関係公表資料
  - 外務省関係公表資料
- 第２・３巻　防衛庁関係公表資料
- 第４巻
  - 国立公文書館所蔵資料
  - 大英帝国戦争博物館所蔵資料
  - 厚生省関係公表資料
- 第５巻
  - 米国国立公文書館所蔵資料
  - 国立国会図書館所蔵資料
  - 各巻収録資料の概要紹介

山岡道男 著

『太平洋問題調査会』研究

ISBN 978-4-8447-8435-7
A5判・350頁　本体価7,000円

1925年７月に開会した太平洋問題調査会（IPR）は、太平洋沿岸諸国〔日本・米国・中国・カナダ・オーストラリア・ニュージーランドなど〕に、太平洋問題を恒常的に調査研究する国際組織として設置された。そして、幾多の国際環境の変遷と関わりながら世界の三大国際会議といわれ、1958年の第13回会議を最後に、33年間にわたった活動を閉じた。その歴史的研究に関わった、著者の10年の研究成果をまとめる。（'97・７刊）

波多野 勝 編

編集復刻版

編集復刻 日中貿易促進議員連盟関係資料集「日中貿易議連週報」他 全10巻

ISBN 978-4-8447-3485-7
A4判　本体価300,000円

1972年、日中両国は国交を回復した。1949年中華人民共和国の成立以来、すでに23年余が経過していた。いうまでもなくこの間両国には、正式な外交ルートは存在しない。戦後冷戦の世界的拡大は、日中関係を極めて複雑な状況にしていったのである。そして“政経分離”、という非公式な接触が続く。本資料は、まさしくこの間の、非公式交渉の時代を明らかにした資料である。同議連は1949年春に中日貿易促進議員連盟として成立、朝鮮戦争のため１度休眠し、1952年末に日中貿易促進議員連盟として復活、1970年日中国交回復促進議員連盟、1974年以後、日中友議員連盟と名称を変更して今日に至っている。

資料内容は1950年代から1960年代の日中関係の草創期から激動期迄のものであり、第１次―第４次民間協定の日中交渉、同議連内の動向、さらに関係各団体（日中貿易促進会、日中国際貿易促進協会、日中輸出入組合）、また日本赤十字社、日中友好協会など様々な形で中国問題に深く関係した団体の資料（定期刊行物、議事録、メモ、書類）を含む厖大なものである。散在していたこれ等を収集整理された波多野勝先生のご努力により、初めてその全体像を体系的に公開する事ができた。戦後日中関係のいわゆる積み重ね貿易の実態を解明する基本資料として、さらには「日中関係史研究」の必備文献として、本資料を大学研究機関等で御利用されることを希望するものである。（'99・６刊）

編集・解題
１～４編　大畑篤四郎
５編　ハラルド・クラインシュミット、吉田 脩 共編

編集復刻版

近代国際関係条約資料集 全５編・総22巻

A5判　揃本体価460,000円

現代はボーダーレスの時代といわれる。国境を越えてモノ、ヒト、情報が激しく移動し、事実上、国境なき世界が展開しているように見える。しかし、世界を旅行するとき、パスポートやビザが不可欠であるように、国境や国家はなおも厳然として私たちの前に立ちはだかり、国家が国際社会を形成する最も権威ある単位であることに変わりはない。国家を最高の単位として国際社会を成立させたのは、近世ヨーロッパの30年戦争を終結させたウエストファリア条約（1648年）である。この条約を基盤として築かれた「ウエストファリア体制」と呼ばれる近代国際関係システムは、17世紀から18世紀にかけて変容し、ナポレオン戦争によって大きな打撃を受けるものの、第一次大戦の勃発までヨーロッパの全域を巻き込むような大戦争を防いできたといえる。

ウエストファリア体制下の250年もの間、ヨーロッパにおいて比較的安定した国際関係が保たれたのは、勢力均衡の原理に基づく巧みな外交技術の結果であるといわれる。ヨーロッパ文化に根ざす巧みな外交技術の結晶が条約や協定類であり、この条約資料集は、それらを包括的に集成したものである。条約や協定ばかりでなく、条約に準ずる諸文書、決議、宣言などの関連文書を可能な限り収録している。

第一次世界大戦以降の国際条約類はさらに世界に広がりを見せ、また、19世紀後半から、ヨーロッパとは異なる国際システムを築いていたアジアにおいても近代的条約網が広がって行くが、それらは比較的容易に原文にアクセスすることが可能である。しかし、第一次大戦以前については決して容易ではない。こうした点も考慮し、本資料集は第一次大戦までをもって終結することとした。

本シリーズに収録した条約類は、それらの内容を厳密に理解し、研究者や実務家の用に供するため、原文を忠実に収録している。さらに、条約類の相互関係の理解やそれらが形づくる国際関係の特徴を理解する一助とするため、編者による解題を附した。解題のみを通読するだけで、ヨーロッパの国際関係とその外部世界への広がりを知ることができるであろう。

近代国際関係条約資料集　編成内容

第1編　近代国際社会形成期の外交

vol. 1〜5・全5巻　ISBN 978-4-8447-4407-8
本体価100,000円

ウエストファリア条約（1648年）以後17、18世紀ヨーロッパの諸条約。王位継承戦争の講和条約など。（'90・2刊）

第2編　フランス革命よりウィーン体制成立期の外交

vol. 6〜9・全4巻　ISBN 978-4-8447-4408-5
本体価80,000円

人権宣言とフランス革命期の文書、フォンテンブロー条約、パリ講和条約（第一回・第二回）、ウィーン会議最終議定書、神聖同盟にいたる諸条約など。（'91・6刊）

第3編　アメリカの独立と建国期の外交

vol. 10〜12・全3巻　ISBN 978-4-8447-4409-2
本体価60,000円

独立宣言、連合規約、パリ講和条約、ピンクニー条約、モルファンテーン条約、フランス革命戦争に関する中立宣言、ジェイ条約、ガン講和条約、アダムズ＝オニス条約、ミズーリ協定、モンロー宣言、望厦条約、オレゴン条約、クレイトン＝バルワー条約など。（'92・11刊）

第4編　19世紀ヨーロッパ外交の発展とビスマルク期の外交

vol. 13〜18・全6巻　ISBN 978-4-8447-4410-8
本体価120,000円

アーヘン議定書、ウンキャール・スケレッシ条約、ヤッシー条約、クリミヤ戦争パリ講和条約、普墺戦争講和条約、普仏戦争平和条約、サン・ステファノ講和条約、ベルリン条約（ロシア・トルコ間）、オーストリー＝ハンガリー、ドイツ、ロシア間同盟条約（三帝同盟）、オーストリー＝ハンガリー、ドイツ、イタリー間同盟条約（三国同盟）、独露再保険条約、ロシア・トルコ間平和条約など。（'97・5刊）

第5編　帝国主義期ヨーロッパ外交の発展

vol. 19〜22・全4巻　ISBN 978-4-8447-4411-5
本体価100,000円

北米に関する諸条約、アフリカからの奴隷の取引禁止に関する諸条約、アフリカに関する諸条約、植民地拡大に関する諸条約、アラビア諸島・南太平洋に関する諸条約、露仏同盟、英仏協商、英露協商などの重要条約のほか、郵便及び通信に関する諸条約、メートル条約、工業所有権の保護に関する条約、ベルヌ著作権条約なども収める。（'06・5刊）

細谷千博著作選集刊行委員会 編／すいせん 緒方貞子、入江 昭、イアン・ニッシュ

細 谷 千 博 著 作 選 集 全2巻

歴史のなかの日本外交
―細谷千博著作選集①

ISBN 978-4-8447-0302-0
A5判・364頁　本体価6,000円

国際政治のなかの日本外交
―細谷千博著作選集②

ISBN 978-4-8447-0303-7
A5判・344頁　本体価6,000円

草創期「日本の国際政治学」の発展に偉大な足跡を残し、戦後日本の学問の国際化に尽くした外交史大家の珠玉の論考や発言を厳選し、後世に残すべき貴重な遺産として世に贈る。第１巻には、歴史家、外交史の碩学としての著者による論文や講演録を、第２巻には国際政治学者、批評家としての著者の文章を収録し、各巻とも巻末に著作目録と略歴を附した。

ひとりの卓越した歴史家、また国際政治学者としての60年におよぶ幾多の業績を振り返ることによって、戦後日本に築かれた「もう一つの知の体系」を味読することが出来よう。　('12・9刊)

収 録 内 容

第1巻　歴史のなかの日本外交

第１部　戦間期の日本外交
1　序説　戦間期の日本外交（『両大戦間期の日本外交』1988年）
2　ワシントン体制の特質と変容（『ワシントン体制と日米関係』1978年）
3　北サハリンの石油資源をめぐる日・米・英の経済紛争（『太平洋アジア圏の国際経済紛争史 1922-1945』1983年）
4　綿麦借款と米・中・日―1933-34年（『外交史料館報』2006年20号）
5　日米関係の破局、1939-1941　抑止政策とその誤算（『一橋論叢』1965年）
6　外務省と駐米大使館―1940-41年（『日米関係史』第１巻、1971年）
7　太平洋戦争とは旧英戦争ではなかったのか

第２部　歴史の教訓
1　シベリア出兵をめぐる日米関係（『国際政治』1961年）
2　シベリア出兵研究の今日的意味（『外交史料館報』2005年19号）
3　歴史の教訓（『外交史料館報』1988年創刊号）
4　アジア・太平洋戦争の歴史についての見方（『日本学士院紀要』1997年）
5　戦争を記憶するということ、歴史を記録するということ（『世界』1995年）

第2巻　国際政治のなかの日本外交

第１部　国際政治・外交論
1　国際政治の舞台の背景（『新版・国際政治の世界』1993年）
2　総説　対外政策決定過程における日米の特質（『対外政策決定過程の日米比較』1977年）
3　ヨーロッパ統合の歴史（『テキストブック ヨーロッパ統合』2000年）
4　歴史における冷戦後―「冷戦後」を見る三つの視点（『国際政治経済システムⅠ』1997年）
5　戦後国際政治システムの変容と日米関係の歴史的展開―NSC68からニクソン・ドクトリンまで（『アメリカ外交（国際研究叢書33）』1986年）
6　アメリカの対日講和政策の展開―1949-50年（『冷戦期アメリカ外交の再検討（国際政治70）』1982年）
7　吉田書簡と米英中の構図（『中央公論』1982年）
8　「今月の言葉」（『中央公論』1980年頭書の連載）

第２部　政治家・外交官の苦悩と模索
1　牧野伸顕とヴェルサイユ会議（『中央公論』1965年）
2　外交官・吉田茂の夢と挫折（『中央公論』1977年）
3　松岡洋右と飛翔する外交（原題「松岡洋右」『人物日本の歴史』1966年）
4　ジョージ・サンソムと敗戦日本 ―《知日家》外交官の軌跡（『中央公論』1975年）
5　歴史家としてのジョージ・ケナン（『アメリカ外交の基本問題』1965年）

李 炫雄 著

原子力をめぐる「日米協力」の形成と定着 1953-1958

ISBN 978-4-8447-5565-4
A5判・280頁　本体価4,000円

アメリカ合衆国で1946年８月に制定された原子力法は、原子力に関する情報の海外提供を禁止していた。しかし、1953年に発足したアイゼンハワー政権により、アメリカは世界の国々と原子力協定を結んでいく。軍事利用されかねない原子力にもかかわらず、同法を改定してまで他国と協力関係を結んだアイゼンハワー政権の原子力政策とは何だったのか。また、世界唯一の被爆国である日本とアメリカとの関係はどうあったのか。各国との協定内容を比較検討しながら、当時の日本政府の対外原子力外交を考察する。　（'13・８刊）

柳 英武 著

東アジアにおける近代条約関係の成立

ISBN 978-4-8447-0227-6
A5判・280頁　本体価6,000円

日清戦争前の清韓関係は宗属関係にあった。これが戦争をきっかけに変容を始め、近代的国家関係に再編されていく。

日本の勝利という見方の裏には、日中韓三国がそれぞれの国の存亡をかけ活発な外交を展開した歴史的事実があった。本書は、日清戦争後の東アジアにおいて近代的条約が締結され新たな国際社会が誕生していく過程を、清韓二国間の視点から解明する、気鋭の研究書である。　（'15・４刊）

2．思想・マスコミ

時事新報社 刊／龍溪書舎編集部 編
協力 慶應義塾大学福澤研究センター、同図書館

縮刷版

時　事　新　報

『時事新報』は、近代日本の偉大な啓蒙思想家福沢諭吉の創刊になる歴史的文化事業であり、不偏不党の立場を貫いた数少ない新聞である。
その清新重厚にして広い視野をもった内容がわが国の近代化に果たした役割は測り知れない程大きなものであり、今日においてなお些かも色褪せることなく、識者の関心を寄せる所となっている。日本近代史、マスコミ史、政治史全般の研究に不可欠な、まさに垂涎の資料である。

本企画は困難な不良箇所の修正を行いつつ進行しておりますため、刊行が極めて長期にわたります。そのため止むを得ず途中で価格改定せざるを得ないことがあります。あらかじめご了承願い上げます。

第１期　明治前期篇　全20巻・総116冊

明治15年１月～34年２月(福沢諭吉存命期間)まで
原本号数　第１号～第6206号

揃ISBN978-4-8447-8865-2
A４判・平均400頁　揃本体価2,088,000円

刊　行　内　容

巻号	原本刊行年・月(明治)	原本号数	冊数	分冊本体価	ISBN
1～3	15・1～17・12	1～853	9	162,000円	978-4-8447-8728-0
4～6	18・1～20・12	854～1789	9	162,000円	978-4-8447-8729-7
7～9	21・1～23・12	1790～2885	12	216,000円	978-4-8447-8730-3
10～11	24・1～25・12	2886～3540	12	216,000円	978-4-8447-8731-0
12～13	26・1～27・12	3541～4166	12	216,000円	978-4-8447-8732-7
14～15	28・1～29・12	4167～4791	12	216,000円	978-4-8447-8733-4
16	30・1～30・12	4792～5104	12	216,000円	978-4-8447-8734-1
17	31・1～31・12	5105～5417	12	216,000円	978-4-8447-8735-8
18（上）	32・1～6	5418～5598	6	108,000円	978-4-8447-8736-5
18（下）	32・7～12	5599～5782	6	108,000円	978-4-8447-8737-2
19（上）	33・1～7	5783～5994	7	126,000円	978-4-8447-8738-9
19（下）～20	33・8～34・2	5995～6206	7	126,000円	978-4-8447-8739-6

龍溪書舎編集部編

予告

時事新報記事目録(明治前期篇)

付事項・人名索引
ISBN978-4-8447-8866-9
定価未定

第２期　明治後期篇　全12巻・総138冊

明治34年３月～明治45年７月まで
原本号数　第6207号～第10377号

揃ISBN978-4-8447-4487-0
Ａ4判・平均400頁

揃本体価3,850,000円

刊　行　内　容

巻号	原本刊行年・月（明治）	原本号数	冊数	分冊本体価	ISBN	刊行状況
20　(3)～(12)	34・3 ～12	6207～6512	10	250,000円	978-4-8447-7389-4	刊行済
21　(1)～(6)	35・1 ～ 6	6513～6693	6	150,000円	978-4-8447-7390-0	刊行済
21　(7)～(12)	35・7 ～12	6694～6877	6	150,000円	978-4-8447-7391-7	刊行済
22　(1)～(6)	36・1 ～ 6	6878～7058	6	150,000円	978-4-8447-7392-4	刊行済
22　(7)～(12)	36・7 ～12	7059～7242	6	150,000円	978-4-8447-7393-1	刊行済
23　(1)～(6)	37・1 ～ 6	7243～7424	6	150,000円	978-4-8447-7394-8	刊行済
23　(7)～(12)	37・7 ～12	7425～7608	6	150,000円	978-4-8447-7395-5	刊行済
24　(1)～(6)	38・1 ～ 6	7609～7789	6	150,000円	978-4-8447-7396-2	刊行済
24　(7)～(12)	38・7 ～12	7790～7973	6	150,000円	978-4-8447-7397-9	刊行済
25　(1)～(6)	39・1 ～ 6	7974～8154	6	180,000円	978-4-8447-7398-6	刊行済
25　(7)～(12)	39・7 ～12	8155～8338	6	180,000円	978-4-8447-7399-3	刊行済
26　(1)～(6)	40・1 ～ 6	8339～8519	7	210,000円	978-4-8447-7400-6	刊行済
26　(7)～(12)	40・1 ～12	8520～8703	6	180,000円	978-4-8447-7401-3	刊行済
27　(1)～(6)	41・1 ～ 6	8704～8885	6	180,000円	978-4-8447-7402-0	刊行済
27　(7)～(12)	41・7 ～12	8886～9069	6	180,000円	978-4-8447-7403-7	刊行済
28　(1)～(6)	42・1 ～ 6	9070～9250	6	180,000円	978-4-8447-7404-4	刊行済
28　(7)～(12)	42・7 ～12	9251～9434	6	180,000円	978-4-8447-7405-1	刊行済
29　(1)～(6)	43・1 ～ 6	9435～9615	6	180,000円	978-4-8447-7406-8	刊行済
29　(7)～(12)	43・7 ～12	9616～9799	6	180,000円	978-4-8447-7407-5	刊行済
30　(1)～(6)	44・1 ～ 6	9800～9980	6	180,000円	978-4-8447-7408-2	刊行済
30　(7)～(12)	44・7 ～12	9981～10164	6	180,000円	978-4-8447-7409-9	↓
31　(1)～(7)	45・1 ～ 7	10165～10377	7	210,000円	978-4-8447-7410-5	↓

北澤楽天 主筆／有楽社 刊／解題 清水 勲

復刻版

東　京　パ　ッ　ク

第１号～第227号（明治38年４月～45年５月）

全８巻・総13冊

A4判・全巻カラー刷　総約3,500頁　揃本体価840,000円

我国の近代諷刺漫画は、北澤楽天に始まる。彼はその漫画的表現力と、ユーモアと国際政治感覚を駆使して、政治を批判糾弾し、社会を諷刺し、家庭に健全な笑いを送り、日本の後進的封建社会を啓蒙し、民衆の明朗化を計った。彼の驚くべき博識、比類なき想像力、表現力は『東京パック』によって遺憾なく発揮され、発行部数十数万部の本格的大衆漫画雑誌の時代を確立した。当時ポンチ絵と称され、余技的な存在でしかなかった「漫画」の地位を高め、その時代を作り上げた功績は大きい。しかもその意図したテーマたるや政治、経済、軍事、国際関係、社会生活、庶民事情、教育問題等、あらゆる分野にまたがり、単なる娯楽作品とは異質の、高度に洗練された含蓄に富む貴重な史料として、明治を研究する場合の重要な第一級文献である。

（'85・5　初版
'00・5　2版）

残僅少

刊　行　内　容

巻号	原本発行年月（明治）	原本巻号	冊数	分冊本体価	ISBN
1	38年４月～12月	第１巻第１号～第１巻第９号	1	23,000円	978-4-8447-7907-0
2	39年１月～12月	第２巻第１号～第２巻第26号	1	97,000円	978-4-8447-7908-7
3（上）	40年１月～７月	第３巻第１号～第３巻第18号	1	66,000円	978-4-8447-7909-4
3（下）	40年８月～12月	第３巻第19号～第３巻第35号	1	62,000円	978-4-8447-7910-0
4（上・下）	41年１月～12月	第４巻第１号～第４巻第36号	2	135,000円	978-4-8447-7911-7
5（上・下）	42年１月～12月	第５巻第１号～第５巻第36号	2	133,000円	978-4-8447-7912-4
6（上・下）	43年１月～12月	第６巻第１号～第６巻第36号	2	144,000円	978-4-8447-7913-1
7（上・下）	44年１月～12月	第７巻第１号～第７巻第36号	2	133,000円	978-4-8447-7914-8
8	45年１月～５月	第８巻第１号～第８巻第13号	1	47,000円	978-4-8447-7915-5

室伏高信 主筆／編集・解題 飯田泰三
編集協力 山領健二

復刻版

批　　評

大正８年３月～９年12月・11年４月～11月
年譜および著書目録付

全３巻

ISBN 978-4-8447-3347-8

A5判　本体価60,000円

大正８年、第一次世界大戦後の「民主化」の趨勢と「ロシア革命」の衝撃の中で『批評』は創刊された。室伏高信が主として執筆し、尾崎士郎、加田哲二らが手伝って、計30号発行。異常な迄に敏感な嗅覚でもって「世界の大勢」と「時代」の思想動向を先取りしていった一ジャーナリストが描いた軌跡は、「大正デモクラシー」から「昭和マルクス主義」へ、さらに「昭和ファシズム」へと流されて行った。当時の知識人の内面状況を尖鋭に映し出して興味が尽きない。（'92・4刊）

主な本誌執筆者

秋田雨雀／エリゼ二郎／尾崎敬義／尾崎士郎／賀川豊彦／倉橋藤治郎／片上 伸／加田哲二／小牧近江／田中 純／土田杏村／室伏高信／森 恪／山内茂男／和田むめを

編集・解題 山田公平
すいせん 信夫清三郎、伊藤 隆、佐藤能丸、広瀬順晧

名古屋新聞・小山松寿関係資料集

明治39年～昭和17年　全７巻

揃ISBN 978-4-8447-3332-4
Ｂ5判・平均600頁　揃本体価125,000円

小山松寿が明治39年に創刊し、昭和17年の新聞統合によって終刊となった名古屋新聞（現中日新聞の前身）の重要社内資料、並びに彼が名古屋市会議員、大隈伯後援会以来民政党に至る代議士、さらに衆議院議長を務めた時代の文書・資料を収録編集。

名古屋新聞は戦前における全国屈指の有力地方新聞であり、その新聞事業の経営実体を明かす資料、明治末から大正・昭和前期にわたる地方―中央の新聞及び言論界・政界に関する資料、リベラルな新聞人にして且つ政党人だった小山松寿の活躍と足跡を示す資料等は、近代日本の議会政治と地方社会の歩みを明らかにする、極めて資料価値の高い第一級文献である。（'15・11 刊）

収　録　内　容

巻号	収　録　内　容	分冊本体価	ISBN
1	名古屋新聞社史・名古屋新聞社報（上）	15,000円	978-4-8447-3337-9
2	名古屋新聞社報（下）、解題	15,000円	978-4-8447-3338-6
3	名古屋新聞経営資料篇、解題	15,000円	978-4-8447-3339-3
4	名古屋新聞論説篇（上）	15,000円	978-4-8447-3340-9
5	名古屋新聞論説篇（下）、解題	15,000円	978-4-8447-3341-6
6	小山松寿関係資料(1)、名古屋新聞関係資料補篇等、解題	20,000円	978-4-8447-3342-3
7	小山松寿議会政治関係資料、手稿・日記・書簡類、総資料目録、解題	30,000円	978-4-8447-3343-0

3．産業・経済

松野尾　裕著

賀川豊彦―互助友愛の教育と実業

ISBN 978-4-8447-0682-3
A5判・上製348頁　本体価4,000円

日本の協同組合を育てた賀川豊彦（1888～1960）。賀川が構想した互助友愛の教育と実業を、著作の精読と現地調査に基づいて、彼の若き日の聖書体験、農民福音学校運動の展開、その後継者たちによる現代へ繋がる農村づくりの三部構成で描く。そして宮澤賢治の『ポラーノの広場』は農民福音学校をモデルにしているという新説を提示する。（'20・9・30 刊）

通商産業大臣官房調査統計部 編

復刻版

本邦鉱業の趨勢50年史
資料篇・解説篇　全２巻

ISBN 978-4-8447-5445-9
B5判・資料篇・800頁／解説篇・320頁　本体価22,000円

本書１（資料編）では1905～1960年までの統計数値を網羅し、２（解説編）では、50有余年にわたるわが国鉱業の発展過程を図表化し、簡単に説明を加えたほか、古い時代からの鉱業に関する諸文献に盛られた事項を年表形式で集録。さらに、統計表として明治37年以前の生産状況ならびに出願および鉱区等の統計数値、そして参考統計として、樺太、台湾、朝鮮における生産、労務、賃金、出願および鉱区等に関する貴重な統計表も含めて集録されている。（'80・10 刊）

残僅少

通商産業大臣官房調査統計部 編

縮刷版

工業統計50年史
資料篇・解説篇　全３巻

ISBN 978-4-8447-5442-2
A5判・資料編・総1,414頁／解説編・238頁本体価35,000円

わが国の工業発展の足跡の研究に不可欠の基礎資料を網羅。

資料編２巻（①878頁、②536頁）、解説編１巻（238頁）の全３巻よりなり、資料編１を産業別、２を品目別として、明治42年以降の工業（工場）統計表に発表された統計表を年次別にとりまとめて刊行。解説編は、統計数字をもとに、わが国工業の発展過程を解明し、合わせて将来のあり方についての研究を加えることを目的として編集されたものである。（'79・3 初版 '87・10 2版）

滝沢直七 著／解題 長 幸男

稿本　日本金融史論

ISBN 978-4-8447-5443-5
A5判・1,040頁　本体価23,000円

明治45年に刊行された本書は、個人によって、学問的態度でまとめられたおそらく最初の明治金融史である。しかもその内容は質・量共に金融市場発達史として極めてすぐれ、包括的な動く金融市場史として、先駆者としてのハンディキャップを感じさせない程有力な材料提供の生命力を保っている。

本書の特色はその「参考項目」にある如く、その広い視野にある。著者は狭い銀行史の視野にとじこもることなく、広く政治経済的展望の中で日本の金融を考察している。そして正確に金融市場の歴史を記録しようとする態度と、その歴史の内部に働く因果関係をとらえようとする実践家の態度が結びついていて本書の第二の特色をなしている。（'87・11 刊）

龍溪書舎編集部 編　復刻版　　〔配本単位の分売可〕

明治後期産業発達史資料

わが国の明治時代後半期以降は、日清・日露および第一次世界大戦がそれぞれ大きなふし目となり、それまでの軽工業中心の時代から軍事産業を主導力とした重工業、化学工業、機械工業などが漸次、拡充されていった。また台湾の統治、南満洲鉄道株式会社（満鉄・1906～）の設立などによって植民地事業の経験をもった。経済政策の基盤である資本関係の立法も明治20年代から30年代初頭にかけて多く成立した。このように明治中後期は、日本をとりまく種々の条件が大きく様変りをきたし、単に経済の上だけでの変革にとどまらず、国民の意識そのものにも今までになかった目覚めがなされたことは、以後の日本の進路を方向づけたといえよう。

すでに、明治前期にかかわっては種々の資料集が復刊され、また研究書・論文も公表されていると考えられるが、上記日清戦争を境に殖産興業、富国強兵政策を根本とする明治中後期、さらに大正時代に至っての産業資料には未だ発掘を待つのみのものが少なくない。『明治後期産業発達史資料』はその時期に照準を合せ、かつ産業政策、統計文献などに限定頗偏することなく、広く経済思想、産業人、外国経済事業、植民地産業等にも資料採集の意図をもち、日本の近代史上・本格的な資本主義経済に移行してゆく過程を克明に追求しようとするものである。

各期最終回配本時に、それぞれ既刊分についての資料目録及び索引（書名）を添えます。

A5判・各巻約400頁

揃本体価714,000円

第１期　銀行・財務篇（１）総42巻

揃ISBN978-4-8447-0667-0

配本（部門）	巻号	資料名	編著者・発行所等	刊行年（月）（明治）
銀行・財務篇（1）	1～10	歳計決算報告書　第１次～第６次	大蔵省	元年～22年
	◆ 第１回配本　vol. 1～vol.10　全10巻　分冊本体価 170,000円　ISBN 978-4-8447-7228-6			
	11～19	財務参考書　第１集～第６集	大蔵省	26・4～29・2
	20～21	貨幣制度調査会報告書及附録	貨幣制度調査会	28・9
	◆ 第２回配本　vol.11～vol.21　全11巻　分冊本体価 187,000円　ISBN 978-4-8447-7229-3			
	22～23	金融事項参考書	大蔵省理財局	元年～22年
	24～25	貨政考要	大蔵省	44・4
	26	通貨論	福沢諭吉	18・12
		各国貨幣度量訳字例	参謀本部	11・5
		各国貨幣比較及簡易換算表	ヘンリー・ブレー（柴田丈夫 訳）	24・3
		日本貨幣年表	小宮山綏介	42・6
	27～28	各省所管官有財産異動目録	貴族院事務局	26～28
	29～31	各省所管官有財産目録	〃	25・7
	32	全国銀行一覧	東京銀行集会所	35・1
		銀行誌	荒川泰治	21・5
	◆ 第３回配本　vol.22～vol.32　全11巻　分冊本体価 187,000円　ISBN 978-4-8447-7230-9			
	33	植民地ニ於ケル特殊銀行ニ就テノ研究	満鉄東亜経済調査局	43
		植民地銀行論	岡 楽三	45・4
	34～41	台湾金融事項参考書	台湾銀行	35・5～44・12
	42	台湾銀行十年誌　附・銀行券保証発行拡張及資本増加始末	〃	43・6
	◆ 第４回配本　vol.33～vol.42　全10巻　分冊本体価 170,000円　ISBN 978-4-8447-7231-6			

第２期
- 府県産業篇（１）　第43～52巻（計10巻）
- 鉱工業一班篇（１）　第53～61巻（計９巻）
- 拓殖産業篇（１）　第62～79巻（計18巻）
- 外国事情篇（１）　第80～87巻（計８巻）

総45巻

揃ISBN978-4-8447-0668-7　揃本体価810,000円

配本（部門）	巻号	資料名	編著者・発行所等	刊行年（月）（明治）
府県産業篇（1）	43	東京府農商工要覧（第１回）	東京府農商課	20
	44	〃（第２回）	〃	22
	45	〃（第３回）	〃	24
	46	長野県勧業要報（第１～３）		22
		長野県産業一班（第８回関東大会）	長野県農商課	36
	47	営業通規	柳田幾作	30
	48	大阪府農商工法規（乙編）	大阪府内務部	24
	49	大阪市重要物統計書（明32）	大阪市役所	33
		兵庫県農工商業雑報（第１～７回）	兵庫県第一部	21～22
	50	兵庫県物産調査書	兵庫県内務部	33
	51	救荒誌	福島県	36
		和歌山県勧業例規	和歌山県内務部	45
	52	富山県米穀検査令規	富山県米穀検査所	43
		石川県米穀検査令規	石川県米穀検査所	44
		栃木県米穀検査令規	栃木県米穀検査所	44
		茨城県米穀検査令規	茨城県米穀検査所	44
		香川県米穀検査令規	香川県米穀検査所	42～45
		徳島県米穀検査令規	徳島県米穀検査所	43
	◆ 第１回配本　vol.43～vol.52　全10巻		分冊本体価 180,000円　ISBN 978-4-8447-7179-1	
鉱工業一班篇（1）	53	日本鉱業政策	古市徹夫	44
		庁府県工場取締ニ関スル調査概覧	農商・商工局	37
	54	主要工業概覧	農商・工務局	45
	55	製鉄所例規提要	農商務省製鉄所	34
		製鉄所事業一覧	製鉄所	32
		石油業調査報告（高等商業）	古川銀次郎	32
	56	製鉄事業調査報告	農商務省　古市公威他	35～
		製鉄事業調査報告・参考材料	〃	〃
	57	製鉄事業調査報告・附録（１）	〃	〃
	58	〃（２）	〃	〃
	59	鉱山統計便覧（１～５）	農商務省鉱山局	25～31
	60・61	日本鉱業誌	東京鉱山監督署・大橋新太郎	44
	◆ 第２回配本　vol.53～vol.61　全９巻		分冊本体価 162,000円　ISBN 978-4-8447-7180-7	
拓殖産業篇（1）	62	北海道庁勧業年報（第１回）	北海道庁	21
	63	〃（第２回）	〃	22
	64	〃（第３・４回）	〃	23・24
	65	〃（第５・６回）	〃	25・26
	66	〃（第７回）	〃	27
	67	〃（第８回）	〃	27
	68・69	〃（第９回）	〃	29
	70	〃（第10回）	〃	29
	71	〃（第11回）	〃	30
	72	〃（第12回）	〃	32
	73	〃（第13回）	〃	33
	74	〃（第14回）	〃	34
	75	〃（第15回）	〃	36
	76	〃（第16回）	〃	37
	77	〃（第17回）	〃	37
	78	〃（第18回）	〃	38
	79	〃（第19回）	〃	40
	◆ 第３回配本　vol.62～vol.79　全18巻		分冊本体価 324,000円　ISBN 978-4-8447-7181-4	

外国事情篇(1)	80・81	商業工芸史(訳本)	大島貞益 訳（文部省）	28
	82	欧州諸国商業会議所法	農商・商工局	35
		〃	農商・商務（生産調査会）	45
		外国工場法令及労働者扶助ニ関スル法令摘要(附)	農商・商工局	37
		対外国産の基礎（島田三郎）	日本織物公報社	42
		韓国出張復命書	農商務省農務局 加藤末郎	34
	83	外国工場法規（英、白、仏、独、墺、米、印、女工夜間勤）	農商・工務局	43
	84・85	南米調査資料	生産調査会	44
	86・87	仏国政府財政沿革大要（1870）	大蔵省 岩槻礼次郎他	42
	◆ 第４回配本 vol.80～vol.87 全８巻		分冊本体価 144,000円 ISBN 978-4-8447-7182-1	

第３期

農林水産一班篇（１）	第88～105巻	（計18巻）
府県産業篇（２）	第106～117巻	（計12巻）
拓殖産業篇（２）	第118～127巻	（計10巻）
外国事情篇（２）（含旧植民地資料）	第128～139巻	（計12巻）

総52巻

揃ISBN978-4-8447-0669-4 揃本体価1,040,000円

配本(部門)	巻号	資料名	編著者・発行所等	刊行年（月）(明治)
農林水産一班篇(1)	88～91	農商務省報告（第12～19回）	農商務省	26～34
	92	蚕事試験成績10年報（第一次）	〃	28
		蚕種製造論	経済雑誌社（相馬愛蔵）	27
	93	蚕絲業諮問会議事速記録	農商務省	33
	94・95	水産調査所事業報告	大日本水産会	27～30
	96～99	農商務省貿易要覧	農商務省	36
	100・101	水産統計年鑑	〃	43・44
	102	日本捕鯨彙考	大日本水産会	20・21
	103	捕鯨誌	〃	29
	104	茶事試験報告（第１～４次）	農商務省	30・31
	105	〃 （第５～７次）	〃	32・33
	◆ 第１回配本 vol.88～vol.105 全18巻		分冊本体価 360,000円 ISBN 978-4-8447-7123-4	
府県産業篇(2)	106	明治35年 福島県凶荒誌附録（上）	福島県	43
		〃 （下）		
	107	福島県稲作景況	〃	25～28
		植物生理作物論	〃	33
	108	群馬県蚕絲業現況調査書	群馬県	37
	109	静岡県老農農事諮問会速記録	静岡県	40
		茶樹栽培法	大村・田辺	43
	110・111	群馬県官民必携	上毛弘文社	30
	112・113	明治38年 宮城県凶荒誌	宮城県	大正5
	114	青森県凶作状況一班	青森県	大正3
		群馬県織物業沿革調査書	群馬県内務部	37
	115	宮城・福島・岩手 青森・山形・秋田 6県連合物産共進会報告	岩手県	31
		第４回奥羽６県連合物産共進会報告	山形県	35
	116	第５回奥羽５県連合物産共進会報告	秋田県第三部商工課	40
		第６回奥羽６県連合共進会事務報告（上）	福島県連合共進会事務所	42
	117	〃 （下）		
	◆ 第２回配本 vol.106～vol.117 全12巻		分冊本体価 240,000円 ISBN 978-4-8447-7124-1	
	118～120	北海道庁勧業月報（第１～14号）	北海道庁	21～22
	121～122	拓殖務省所管省務要覧	拓殖務省	30
	123	北海道水産豫察調査報告	北海道庁	25
	124	北海道水産調査報告	北海道庁	28～35
	125	北海道水産試験場調査事業報告（第１、２回）	北海道試験場	37～39

拓殖産業篇(2)	126	北海道産業要覧	北海道庁勧業部	43
		北海道勧業統計要覧	道庁第３部	39
		北海道拓殖の進歩	道庁第５部	40
	127	北海道拓殖必携	北門新報	26
		北海道拓殖要覧（附・地図）	北海道庁	36
		北海道工業概要	道庁第三部	41・42
		北海道鉱業の概説	札幌鉱山監督署	41
	◆ 第３回配本 vol.118～vol.127 全10巻		分冊本体価 200,000円	ISBN 978-4-8447-7125-8
外国事情篇(2)（含旧植民地資料）	128	清国商況視察復命書	外務省	35
	129	清国商業慣習及金融事情	上海東亜同文書院	37
		清国出張復命書	農商務省	32
	130	清韓輸出本邦綿絲、綿布、燐寸、紙巻煙草調査資料	〃	37
		清韓商況視察報告	横浜税関	39
	131	韓国ニ於ケル農業調査	農商務省	39
		台湾農事調査書	福岡県	29
		台湾之米作統計	台湾総督府	43
	132	台湾産業調査録	台湾総督府民生局	29
	133	露国森林経理論	農商務省	39
	134	露領沿海洲視察復命書	〃	41
		露国聖彼得堡府万国漁業博覧会報告（松原新之助）	〃	36
	135	欧米大海漁業取調書（第１集）	〃	37
		遠洋漁業調査報告（第１冊）	〃	37
	136	〃 （第２・３冊）	〃	37
	137～139	濠米視察復命書	北海道庁	40
	139	英国万国漁業博覧会報告	大日本水産会	20
	◆ 第４回配本 vol.128～vol.139 全12巻		分冊本体価 240,000円	ISBN 978-4-8447-7126-5

第４期

- 財政・金融篇（２）（銀行・財務改め） 第140～159巻（計20巻）
- 農林水産一班篇（２） 第160～171巻（計12巻）
- 鉱工業一班篇（２） 第172～180巻（計９巻）
- 府県産業篇（３） 第181～191巻（計11巻）

総52巻

ISBN978-4-8447-0670-6 揃本体価1,040,000円

配本（部門）	巻号	資料名	編著者・発行所等	刊行年（月）（明治）
財政・金融篇(2)	140～143	理財字典・豫算之部（上・下）	レオンセー（大蔵省主計局 訳）	23
	144	早稲田叢書 国民銀行論（全）	H.W.ウォルフ（東京専門学校編集部 訳）	30
	145	欧米大戦争ニ於ケル財政ニ関スル調査	大蔵省	37
	146	松方伯ト明治ノ理財法	阪谷芳郎	25
		財政意見	田健治郎	34
		財政学歳計予算論	小池靖一	——
	147～159	財政事業彙纂（第１～12輯）	大蔵省	25～37
	◆ 第１回配本 vol.140～vol.159 全20巻		分冊本体価 400,000円	ISBN 978-4-8447-7067-1
農林水産一班篇(2)	160	畜産統計（第１・２次）	農商務省農務局	42・43
	161	各国農産物輸入関税率表	〃	42
		麦ニ関スル調査	〃	43
		麦ニ関スル調査書 訂正増補	農務局	43
		家禽業ニ関スル調査	農商務省農務局	43
	162	地主ト小作人	〃	42
	163	田ノ灌漑排水ニ関スル状況調査	農商務省拓殖局	42
		日本農民ノ疲弊及其救治策（完）	ペ・マイエット（青山大太郎他 訳）	26
	164	日本全国産業組合要録	寺西 薫	34
	165・166	第２拓地殖民要録	北海道庁第五部殖民課	39
	167	中外蚕事要録（完）	伊東茂右衛門	21
	168	農事統計表	大日本農会 平野師應	21
		米	農商務省拓殖局	44

	169	明治蚕業大事記	大日本蚕業学会 石田孫太郎	大正元
	170・171	北海道漁業志要（全）	村尾元長	30
	◆ 第２回配本 vol.160～vol.171 全12巻		分冊本体価 240,000円 ISBN 978-4-8447-7068-8	
鉱工業一班篇(2)	172	北海道鉱床調査報文	北海道庁第二部地理課	24
	173	北海道地質報文	北海道庁 神保小虎	25
	174・175	帝国大日本電信沿革史（全）	逓信省電務局	25
	176	明治29年度 明治30年度 全国工場統計	農商務省商工局工務課	32
		明治33年度 全国工場統計表	〃	36
		明治35年度 全国工場統計	農商務省商工局	35
		工場調査統計表		30～35
	177	工場調査要領（第１・２版）	農商務省商工局工務課	35・37
		工場物表（明治42）	農商務大臣官房統計課	44
		工場所有権法及発明一班	特許局	37
	178	工業政策（百科全書）	窪田隆次郎	37
	179	日本商工業要覧	農商務省	26
	180	足尾鉱毒問題解決処分	小手川豊次郎	35
		道庁府県 重要工作物一覧	農商務省工務局	31
		別子銅山ニ関スル調査報告書	――――	――
		明治33年度 明治35年度 越後石油業調査報告	東京商業高等学校	33・36
		越後石油調査報告	――――	――
	◆ 第３回配本 vol.172～vol.180 全９巻		分冊本体価 180,000円 ISBN 978-4-8447-7069-5	
府県産業篇(3)	181～186	各府県輸出重要品調査報告（附・産業概説）	農商務省商工局	39～41
	187	府県陶器沿革陶工伝統誌	農商務省農務局・工務局	19
		野田銚子醤油業調査書	宇都宮税務監督局	44
		小笠原島物産略誌	東京書林 穴山篤太郎	21
	188	北海道農桑提要	北海道庁第三部	39
		北海道栽桑心得	北海道庁	38
	189～191	蚕業視察報告（１～６）	福島県庁	43～大２
	◆ 第４回配本 vol.181～vol.191 全11巻		分冊本体価 222,000円 ISBN 978-4-8447-7070-1	

第５期

経済・社会一班篇（１）	第192～200巻（計９巻）	総58巻
農林水産一班篇（３）	第201～209巻（計９巻）	
府県産業篇（４）	第210～219巻（計10巻）	
鉱工業一班篇（３）	第220～236巻（計17巻）	
外国事情篇（３）	第237～249巻（計13巻）	

ISBN978-4-8447-0671-7 揃本体価1,276,000円

配本（部門）	巻号	資料名	編著者・発行所等	刊行年（月）（明治）
経済・社会一班篇(1)	192	平安遷都百年記念祭 協賛誌 蒼龍篇・朱雀篇（上）	若松雅太郎	29
	193	〃 朱雀篇（下）		28
	194	〃 白虎篇・玄武篇		29・36
	195	商業経済論	交通学館	29・36
	196	第一次輸出重要品要覧（林産之部・農産之部（１））	農商務省商工局・農務省	28・29
	197	〃（農産之部（２））	農商務省農務局・商工局	29・31
	198	〃（水産之部（１））	農商務省農務局	29
	199	〃（水産之部（２））	農商務省農務局・水産局	――
	200	〃（工産之部）	農商務省商工局	――
	◆ 第１回配本 vol.192～vol.200 全９巻		分冊本体価 198,000円 ISBN 978-4-8447-7004-6	
農林水産一班篇(3)	201	改良 日本米作法	耕読舎 酒匂常明者	21
		農事試験成績（第６・７報）	長野県農事試験場	34
	202	鴻益説明書 全	平山佐吉	13
		増補三版 養蚕新説 全	佐藤源之助	21
		産業組合監督奨励ニ関スル規定竝施設ノ状況	農商務省農務局	42
		本邦皮革ニ関スル調査	〃	44
	203	日本農業小史	明治書院 沼田頼輔	37
		砂糖ニ関スル調査	糖業改良事務局	43

農林水産一班篇(3)	204	農事統計	農商務省農務局	42
		穀物販売組織ニ関スル調査	〃	44
	205	園芸業ニ関スル調査書	〃	42
	206	本邦産牛馬組合要覧	〃	44
	207	狩猟図説 全	農商務省	25
		水産要覧 完	農商務省農務局	28
	208	本邦都市ニ於ケル牛肉ノ需要ト供給	〃	45
		本邦ニ於ケル家畜共済事業	〃	——
	209	日本酒改良実業問答（甲・乙）	徳野嘉七	23
	◆ 第2回配本 vol.201～vol.209 全9巻		分冊本体価 198,000円 ISBN 978-4-8447-7005-3	
府県産業篇(4)	210～212	瀬戸内海論	小西 和	44
	213・214	商工興信録（北海道奥羽地方）	木村 茂	大正1
	215	北海道地質略論 全	北海道庁	23
		拓殖指導 北海道実況	筑波篤司	25
		北海道産業組合要覧（第1・2・3次）	北海道庁勧業部・内務部	45・大2・大3
	216	下総種畜事業問答筆記 完	農務局下総種畜場	14
		将来の金澤	筑波本吉	25
		栽桑略説	茨城県勧業課	21
		京都商工報告	京都商工会議所	21
	217	福島県案内	第六回奥羽県聯合共進会協賛会	41
		愛媛県農工商統計要覧	愛媛県内務部第三課	28
		愛媛県農工商統計概要	愛媛県内務部第五課	29
	218	愛媛県農商工統計年報（明治29年）	〃	31
		〃（明治30年）	〃	32
	219	〃（明治31年）	愛媛県内務部第四課	33
		〃（明治32年）	愛媛県内務部第五課	34
	◆ 第3回配本 vol.210～vol.219 全10巻		分冊本体価 220,000円 ISBN 978-4-8447-7006-0	
鉱工業一班篇(3)	220～222	明治工業史（全10編） 化学工業編	工学会・啓明会	大正14
	223	〃 造船編		大正14
	224	〃 鉄道編		大正15
	225・226	〃 建築編		昭和2
	227	〃 電気編		昭和3
	228～230	〃 土木編		昭和4
	231	〃 火兵・鉄鋼編		昭和4
	232・233	〃 鉱業編	日本工学会・啓明会	昭和5
	234	〃 機械・地学編		昭和5
	235	〃 提要・索引		昭和6
	236	線路運搬法 全	綾戸北郎	35
		鉄道経済要論	十河信二	43
		鉄道旅客運搬論	鉄道共政会	大正2
	◆ 第4回配本 vol.220～vol.236 全17巻		分冊本体価 374,000円 ISBN 978-4-8447-7007-7	
外国事情篇(3)	237	欧米巡回取調書 1 総覧	農商務省	21
	238	〃 2 法朗西国之部 上（上）	〃	〃
	239	〃 3 〃 上（下）・下（上）		
	240	〃 3 〃 下（下）		
	241	〃 4 独乙国之部 全	〃	〃
	242	〃 5 白耳義国之部 全（上）	〃	〃
	243	〃 5 〃（下）		
	244	〃 6 瑞墺匈蘭陸伊英 北米合衆国之部 全（上）	〃	〃
	245	〃 6 〃（下）		
		〃 7 独蘭那漁業之部 全	〃	〃
	246	清国窯業調査報告書	農商務省商工局	41
		比律賓群島事情	〃	42
	247	北米合衆国林業視察復命書	農商務省山林局	43
		鴨緑江流域森林作業調査復命書	〃	38
	248	清国ニ於ケル利権回収熱ニ基ク	外務省通産局	43
		各種企業並ニ保護政策調査報告（第一輯）	————	——
		独逸之農業関税	農商務省農務局	42
	249	英米両国ニ於ケル製鉄業及機械、器具ニ関スル報告	〃	43
	◆ 第5回配本 vol.237～vol.249 全13巻		分冊本体価 286,000円 ISBN 978-4-8447-7008-4	

第６期			総60巻
	経済・社会一班篇（２）	第250～259巻（計10巻）	
	財政・金融篇（３）	第260～267巻（計８巻）	
	農林水産一班篇（４）	第268～280巻（計13巻）	
	府県産業篇（５）	第281～290巻（計10巻）	
	外国事情篇（４）	第291～309巻（計19巻）	

揃ISBN978-4-8447-0672-4　揃本体価1,320,000円

配本(部門)	巻号	資料名	編著者・発行所等	刊行年（月）（明治）
経済・社会一班篇(2)	250	経済新論（１巻・２巻）	宮川経輝	10・19
	251	〃　（３巻・４巻）	〃	19・20
	252	日本古代商業史	島田壮介	21
	253・254	支那日本通商史	浅井帝夫	38
	255～258	商業大辞書（１）～（４）	森山章之丞	41
	259	市制町村制（日本之法律・第３号）	博文館	21
		労働保護論	川上 清	30
	◆ 第１回配本　vol.250～vol.259　全10巻	分冊本体価 220,000円　ISBN 978-4-8447-6939-2		
財政・金融篇(3)	260・261	明治37・38年 戦時財政整理報告	大蔵省	44
	262・263	改訂増補 貨幣銀行問題一班	山崎覚次郎	大正9
	264	世外候事 暦維新財政談（上・中・下）	澤田 章	大正10
	265	明治30年 幣制改革始末概要（上）	松方正義	32
	266	〃（下）		
		大日本貨幣精図	紙幣局	11
	267	銀行論	佐野善作	36
	◆ 第２回配本　vol.260～vol.267　全８巻	分冊本体価 176,000円　ISBN 978-4-8447-6940-8		
農林水産一班篇(4)	268	官版 泰西農学	緒方儀一 訳	3
	269	稲田経済調査	全国農事会	35
		農事参考書解題	農商務省	24
	270	改正 各国農産物輸入関税率表	農商務省農務局	44
		農事統計	〃	45
		日本園芸業概覧	〃	45
		日本肥料概覧	〃	45
	271	農業用揚水機調査	〃	43
	272	郡市町村農会事例	〃	43
	273	茶業ニ関スル調査	〃	45
	274	農作物病虫害予防事務概要	〃	45
	275	蚕糸業ニ関スル参考資料（第２次）	〃	45
		農家副業ニ関スル調査	〃	大正元
	276	野馬ニ牧シキ地方ニ於ケル農用牛馬飼育ニ関スル調査（第２次）	〃	大正元
		畜牛業ニ関スル共同経営ノ方法及成績	〃	大正元
	277	第３次畜産統計	〃	大正元
	278	綿花ニ関スル調査	〃	大正2
	279	大日本農政類編（上）	農商務省	30
	280	〃（下）		
		蚕業家必携	大塚良太郎	24
	◆ 第３回配本　vol.268～vol.280　全13巻	分冊本体価 286,000円　ISBN 978-4-8447-6941-5		
府県産業篇(5)	281・282	産業方針【第１冊】	生産調査会	44
	283・284	〃　【第２冊】		
	285	京都府勧業事項一覧表	京都府	26
		水力電気事業実況	東京電燈株式会社	41
		桐生商工案内	桐生懇和会	36
		勧業諮問会記事	千葉県庁	28
	286	札幌沿革史	札幌史学会	30
		琵琶湖水産誌 全	中川源吾、饗庭喜代蔵 共著	44
	287	移住者成績調査（１）	北海道協会	39
	288	〃（２）		
	289・290	日魯交渉北海道史稿	岡本柳之助	31
	◆ 第４回配本　vol.281～vol.290　全10巻	分冊本体価 220,000円　ISBN 978-4-8447-6942-2		

外国事情篇(4)	291	朝鮮財政論 全	江南哲夫	28
		當五錢低落管見	江南哲夫	24
		清国貨物包裏法	商務局	——
		韓国蚕業調査報告	林 驛作	38
		韓国ニ於ケル棉作調査	農商務省農事試験場	38
	292・293	清国事情【第１輯】	〃	40
	294・295	〃 【第２輯】		
	296	清国林業及木材商況視察復命書	農商務省山林局	38
	297	最近印度事情	外務省通商局	41
	298	満州森林調査書	農商務省	38
		各国農事行政及奨励機関ニ関スル調査資料	農商務省農事試験場	大正2
		加奈陀ニ於ケル酪農	——	43
	299	欧州商業開化史	永田健助	29
	300・301	欧米之製造業	大日本文明協会	大正4
	302	独逸商工勃興史（全）	文部省	34
	303～309	支那経済報告書（１号～51号）	東亜同文会	43～45
	◆ 第５回配本 vol.291～vol.309 全19巻 分冊本体価 418,000円 ISBN 978-4-8447-6943-9			

第７期
- 財政・金融篇（４） 第310～322巻（計13巻）
- 農林水産一班篇（５） 第323～334巻（計12巻）
- 鉱工業一班篇（４） 第335～349巻（計15巻）
- 府県産業篇（６） 第350～363巻（計14巻）

総54巻

揃ISBN978-4-8447-0673-1 揃本体価1,188,000円

配本(部門)	巻号	資料名	編著者・発行所等	刊行年（月）（明治）
財政・金融篇(4)	310・311	国債沿革略 第１巻	大蔵省理財局	大正6
	312・313	〃 第２巻		大正7
	314・315	大日本銀行会社沿革史	東都通信社	大正2
	316	最新世界各国貨幣	奥田 操	43
	317	植民地財政論	小林丑三郎	大正2
	318	台湾銀行20年誌	台湾銀行	大正8
	319	理財論（上）	ジョセー・フガルニュー、大蔵省（中山真一 訳）	11
	320	〃 （下）		
		徳川氏貨幣志	斎藤坦蔵	20
	321	租税論	セリグマン、大日本文明協会（三上正毅 訳）	43
	322	勧業債権論	斎藤甲子郎	大正5
		質屋の研究	小笠原繁夫	大正2
	◆ 第１回配本 vol.310～vol.322 全13巻 分冊本体価 286,000円 ISBN 978-4-8447-6881-4			
農林水産一班篇(5)	323	訂正 増補農事顧問	小樽新聞社	大正９
		實用燐酸肥料論	越川善七	34
	324	ペントン氏養蜂書	八鍬儀七郎、上村勝爾 共著	36
		日本鮮鱒養殖誌	農商務省水産講習所	45
		北海道農作物病蟲害駆除豫防法解説	北海道庁第三部	30
		浸水ト農作物	農商務省農務局	大正2
	325	米ニ関スル調査	〃	大正元
		明治36年～44年 農会調査農事統計	〃	大正2
	326・327	増訂６版 産業組合大全	西垣恒矩	40
	328・329	蚕種論	外山亀太郎	42
	330・331	北海道屯田兵制度	北海道庁拓殖部	大正3
	332	実験養蜂問答	青柳浩次郎	大正6
		土壌及肥料論	北海道庁内務部	大正5
	333	我国ノ米問題	大脇正諄	大正8
	334	印旛沼経緯記〈内編〉	鷹州外史	26
	◆ 第２回配本 vol.323～vol.334 全12巻 分冊本体価 264,000円 ISBN 978-4-8447-6882-1			

鉱工業一般篇(4)	335～337	日本近世造船史	造船協会	44
	338･339	大日本洋酒罐詰沿革史	朝比奈貞良	大正4
	340･341	秋田市水道誌	秋田市役所	45
	342～344	日本鉱泉誌（上巻･中巻･下巻）	内務省衛生局	19
	345	日本帝国鉄道創業談	村井正利	40
		明治44年11月現在 帝国鉄道協会会員名簿	帝国鉄道協会	44
	346	油類工業分析	矢野道也	35
		醸造全書	下山国三郎	25
		礦物小学	松本栄三郎 纂訳	14
		伏見紡績会社意見摘要	伏見紡績会社	16
	347･348	香料の研究	農商務省農務局	大正4
	349	欧州ニ於ケル電気化学工業特ニ空中窒素固定法ノ趨勢ニ就テ	農商務省商工局	大正3
	◆ 第３回配本 vol.335～vol.349 全15巻 分冊本体価 330,000円 ISBN 978-4-8447-6883-8			
府県産業篇(6)	350	松本六萬石史料（上巻）	飯沼源次郎	36
	351	現行埼玉県令達類集（上）	埼玉県内務部第１課	30
	352	三重県気象報告（明治35～39年）	三重県津測候所	36
	353	讃岐案内	香川県内務部第４課	35
	354	地方経営小鑑	内務省地方局	43
	355	砂糖ニ関スル調査	農商務省農務局	大正2
	356	京都郵便電信局統計書（明治24～26年）	京都郵便電信局	26～28
	357～359	長野県立小県蚕業学校25年要報	長野県立小県蚕業学校	大正5
	360	神戸築港問題沿革誌	神戸市役所	41
	361	三重県事業史	三重県協賛会	40
	362	浅草海苔	岡村金太郎	42
	363	日本橋魚市場沿革紀要	阪本定郎	22
		横浜の港湾	横浜市港湾部	昭和4
	◆ 第４回配本 vol.350～vol.363 全14巻 分冊本体価 308,000円 ISBN 978-4-8447-6884-5			

第８期

経済･社会一班篇（３）	第364～376巻（計13巻）	総58巻
農林水産一班篇（６）	第377～386巻（計10巻）	
府県産業篇（７）	第387～396巻（計10巻）	
鉱工業一班篇（５）	第397～406巻（計10巻）	
外国事情篇（５）	第407～421巻（計15巻）	

揃ISBN978-4-8447-0674-8 揃本体価1,276,000円

配本(部門)	巻号	資料名	編著者・発行所等	刊行年（月）（明治）
経済・社会一班篇(3)	364	帝国実業家立志編	梅原忠造	27
	365･366	萬国商業地誌	永田健助	22
	367	日本の富豪の家憲	墨堤隠士	35
		外征紀事	福原公亮	29
	368･369	中外郵便週報（第１～85号）	大内青巒	14～15
	370～373	殖民地及殖民法制原論	臨時台湾旧慣調査会	大正7
	374	産業社会之進化	大日本文明協会	43
	375	民間経済録	福沢諭吉	10
		日本帝国国勢一班（第７回）	内務省総務局報告課	21
		『日本商業雑誌』（第４巻19号）	博文館	27
	376	本邦通商條約論	堀江帰一	40
	◆ 第１回配本 vol.364～vol.376 全13巻 分冊本体価 286,000円 ISBN 978-4-8447-6827-2			
農林水産一班篇(6)	377	蚕業経済論	徳田実也	35
	378～380	大日本蚕史（全３編）	佐野 瑛	31
	381	遠洋漁業叢書（第１・３・４篇）	農商務省水産局	42
	382～384	日本米食史	岡崎圭一郎	大正2
	385	地方林務一班	農商務省山林局	大正５
	386	漁業基本調査報告（第４冊）	水産講習所	大正4
		伊･仏･墺蚕絲業視察復命書	農商務省商務局	38
	◆ 第２回配本 vol.377～vol.386 全10巻 分冊本体価 220,000円 ISBN 978-4-8447-6828-9			

府県産業篇(7)	387	湖沼の研究	田中阿歌麿	44
		『北日本』（第一巻第二号）	北日本社	大正14
	388	帝国物産地誌通覧	農商務省文書課	29
		東京勧業博覧会写真帖	山崎暁三郎	40
		東京市及其附近ニ於ケル工業経営ノ概要（其１）	日本銀行	——
	389・390	改元記念第二輯 東京小間物化粧品名鑑	杉山助一郎	——
	391	校訂 筑後志	杉山正伸、小川正格 共著	40
	392	筑前志	福本 誠	36
	393	北濱と堂島	日本引取所研究会	大正元
	394	福岡県治要覧	福岡県	大正5
	395	池田酒史	池田史談会	大正8
	396	東京市下水道沿革誌	下水改良事務所	大正2
	◆ 第３回配本 vol.387～vol.396 全10巻		分冊本体価 220,000円	ISBN 978-4-8447-6829-6
鉱工業一般篇(5)	397	改正増補 製絲法	高橋信貞	35
	398	北海道鉱山略記	多羅尾忠郎	22
		岩手の金山	岩手県内務部	38
	399	鉱毒調査報告	鉱毒調査委員会	35
	400～402	鉱毒調査資料（全３巻）	鉱毒懇話会	大正元
	403	本邦石炭事情	高野江基太郎	大正4
	404	常用救荒 飲食界之植物誌（全18篇）	梅村甚太郎	39～42
	405	日本近世窯業史	大日本窯業協会	大正5
	406	日本輸出絹業の大勢	絹物貿易調査会	大正6
	◆ 第４回配本 vol.397～vol.406 全10巻		分冊本体価 220,000円	ISBN 978-4-8447-6830-2
外国事情篇(5)	407	外国貿易拡張論・海外貿易拡張論	矢野芳弘	31
		露国の手工業	農商務省農務局	45
	408	台湾統治綜覧	台湾総督府官房文書課	41
	409	英国産業革新論	大日本文明協会	41
	410	韓国農業論	加藤末郎	37
		朝鮮農業概説	農商務省生産調査会	43
	411～413	台湾鉄道史（全３巻）	台湾総督府鉄道部	43～44
	414	世界の蚕絲業並人造絹絲業（第２次）	農商務省農務局	45
		清国之鉄道	帝国鉄道協会	40
	415	清国蚕絲業視察復命書	農商務省農務局	36
	416	台湾誌	参謀本部	28
		清国染織刺繍物ニ関スル意匠図按調査報告	農商務省商工局	37
	417	支那関税及賃金制度	吉田虎雄	大正4
	418	外国商業史	古賀文一郎	41
		日露貿易	日露協会	大正5
	419・420	朝鮮の土地制度及地税制度調査報告書	朝鮮総督府	大正9
	421	北極探検談	日下部四郎太	44～45
	◆ 第５回配本 vol.407～vol.421 全15巻		分冊本体価 330,000円	ISBN 978-4-8447-6831-9

第９期
- 財政・金融篇（５） 第422～435巻（計14巻）
- 農林水産一班篇（７） 第436～445巻（計10巻）
- 鉱工業一班篇（６） 第446～461巻（計16巻）
- 府県産業篇（８） 第462～480巻（計19巻）
- 外国事情篇（６） 第481～490巻（計10巻）

総69巻

揃ISBN978-4-8447-0675-5 揃本体価1,587,000円

配本(部門)	巻号	資料名	編著者・発行所等	刊行年（月）（明治）
財政・金融篇(5)	422	田尻博士講演集	桜井市作他	大正元
		金貨本位制	小手川豊次郎	30
	423	貯蓄機関論	下村宏	44
	424・425	本邦銀行発達史	石沢久五郎	大正9
	426	財務官戦時報告（大正３年１～29号）	大蔵省理財局	大正3
	427	〃（大正４年１～29号）		大正4
	428	〃（大正４年30～51号）		〃

財政・金融篇(5)	429	財務官戦時報告（大正４年52～76号）	大蔵省理財局	大正4
	430	〃（大正４年77～99号）		大正5
	431	〃（大正５年１～30号）		〃
	432	〃（大正５年31～67号）		大正6
	433	〃（大正６年１～17号）		〃
	434	〃（大正６年18～29号）		〃
	435	〃（大正６年30～44号）		〃
	◆ 第１回配本 vol.422～vol.435 全14巻		分冊本体価 322,000円 ISBN 978-4-8447-6753-4	
農林水産一班篇(7)	436	日本棉作要説	蚕業新報社	大正8
	437	全国薪炭主要生産地荷主案内誌	薪炭新報社	大正7
	438・439	道庁府県 畜産主任官及種畜場長 協議会要録	農商務省農務局	大正3
	440	実用娯楽 温室園芸法	鈴木千代吉	大正7
	441	大日本老樹名木誌	大日本山林会	大正2
	442	穀価ノ研究	河田嗣郎	大正6
		大麦論	藤田 昌	34
	443	穀類野菜栽培法（附有利特産物栽培法）	原田東一郎、後藤彌一 共著	37
	444	日本の蜜柑	安部熊之輔	37
	445	実験夏秋蚕飼育法	横田長太郎	大正6
	◆ 第２回配本 vol.436～vol.445 全10巻		分冊本体価 230,000円 ISBN 978-4-8447-6754-1	
鉱工業一般篇(6)	446	羅・独・英・和訳 薬学辞典	平野一貫	35
		増訂 薬品名彙	伊藤謙撰	16
	447	絹絲紡績と屑物整理	鴻巣 久	大正元
	448・449	燈台	石川源二郎	大正3
	450	日本製麻史	高谷光雄	40
	451	醸造微論	高橋偵造	36
	452	釘	安田善三郎	大正５
		綿絲紡績職工事情	農商務省商工局	36
	453	明治後期煙草関係資料（９点）		
		1 煙草税則及施行細則ニ関スル諸願届書及帳簿調製記載方（栃木県令第41号別冊） 21		
		2 諸令謄写ニ換（非売品）（菊地彦右衛門） 21		
		3 葉煙草専売法規（吉川俊平編） 30		
		4 煙草耕作注意事項（小出雲専売支局） 45		
		5 煙草耕作組合規約仝特別規約（土三川町煙草耕作組合）		
		6 煙草元売捌人指示事項（専売局（栃木県））		
		7 煙草刻器機購求方ニ付盟約之證 17		
		8 決議書 42		
		9 諸稟議書		
	454	水鉛	日本鉱業新聞社	大正6
	455	鉄と鋼製造法及性質	俵 国一	大正6
	456	森山撰織術（下）織物工場管理法（全）	森山弘助	大正３
		生絲検査所業務一班	農商務省生絲検査所	大正2
	457	絹の染色法及處理法（上）	大日本工業会	大正8
	458	〃（下）		
		石炭略説―石炭の性質及其使用法	岩崎重三	大正7
	459～461	最新醤油醸造論	栂野明二郎	大正7
	◆ 第３回配本 vol.446～vol.461 全16巻		分冊本体価 368,000円 ISBN 978-4-8447-6755-8	
府県産業篇(8)	462	京都市三大事業誌 道路拡築編１～２集	京都市役所	大正3
	463	〃 〃 ３集		〃
	464	〃 〃 ４集		〃
	465	〃 〃 ５集		〃
	466	〃 水道編１～３編		大正元
	467	〃 〃 ４～５編		大正2
	468	〃 〃 ６集		〃
		〃 〃 続集		大正3

府県産業篇(8)	469	京都市三大事業誌　第二琵琶湖疎水編　1～2集		大正元
	470	〃　〃　3～4集		大正元・2
	471	〃　〃　5～6集		大正2
	472	〃　〃　7集	京都市役所	〃
	473	〃　〃　8～9集		〃
	474	〃　〃　続集		大正3
	475	房総紀要	千葉県	44
	476	吉野林業全書	森 庄一郎	31
	477	青森県漁具誌 全（上・下）	――――	25
	478	神奈川県橘樹郡案内記	神奈川県橘樹郡役所	大正3
	479	大阪府治要覧	大阪府	大正3
		貿易上ノ平戸	村上直次郎	大正6
	480	近江商人	井上政共	23
	◆ 第4回配本　vol.462～vol.480　全19巻　分冊本体価 437,000円　ISBN 978-4-8447-6756-5			
外国事情篇(6)	481	台湾郵便史	台湾総督府民政部通信局	大正7
	482	満洲穀物取引慣習一班	関東都督府民政部庶務課	43
	483	満蒙経済概覧	〃	大正4
		満洲ニ於ケル棉布ノ調査	〃	44
	484	樺太地誌	東京地学協会	41
	485	獨逸社会的保険法綱要	国家医学会	43
	486・487	貿易上ヨリ見タル 支那風俗之研究	内山 清	大正4
	488	改正 日、鮮、支、露、印、濠、新西蘭及南洋諸島関税便覧	日本商工調査所	大正5
	489	印度馬来 熱帯植物奇観	三好 学	41
	490	韓国事情調査資料	農商務省商工局	38
	◆ 第5回配本　vol.481～vol.490　全10巻　分冊本体価 230,000円　ISBN 978-4-8447-6757-2			

第10期
- 農林水産一班篇（８）　第491～503巻（計13巻）
- 鉱工業一班篇（７）　第504～520巻（計17巻）
- 外国事情篇（７）　第521～538巻（計18巻）
- 経済・社会一班篇（４）　第539～562巻（計24巻）

総72巻

揃ISBN978-4-8447-0676-2　揃本体価1,656,000円

配本(部門)	巻号	資料名	編著者・発行所等	刊行年（月）（明治）
農林水産一班篇(8)	491	日本食志	小鹿島 果	18
	492～494	家畜医範［薬物学１～３］	西川勝蔵	20
	495・496	肥料学	西村寅三	35
	497	内湾漁制通考	小田完之	36
	498	水産製造論	石田鉄郎	36
	499	林産名彙	大日本山林会	大正2
		簡易肥料鑑定法	今関常次郎	42
	500～502	甘蔗糖学（上・中・下）	ノーイルデーア（澤 全雄 訳）	大正5
	503	農村社会問題 地主と小作人	天野藤男	大正10
	◆ 第1回配本　vol.491～vol.503　全13巻　分冊本体価 299,000円　ISBN 978-4-8447-6677-3			
鉱工業一班篇(7)	504・505	日本植物油脂	辻本満丸	大正2
	506	印刷局沿革録・附録	印刷局	36
	507～510	木材ノ工芸的利用（１～４）	農商務省山林局	大正2
	511	日本住宅建築図案百種	金子 清	大正2
	512	遠洋漁業船	加藤成一	大正3
	513・514	清涼飲料水の新研究	倉島 謙	大正4
	515・516	日本電気事業発達史［前編］（上・下）	加藤木重政	大正5
	517	和漢薬物学	日野五七郎、一色直太郎 共著	大正7
	518・519	増訂八版 香粧品製造法	平野一貫	大正10
	520	水力土木工事設計計算乃栞	佐々木恒太郎、高橋清蔵 共著	——
	◆ 第2回配本　vol.504～vol.520　全17巻　分冊本体価 391,000円　ISBN 978-4-8447-6678-0			

外国事情篇(7)	521	外国商業恐慌史（上･下）	三井物産合名会社	31
	522	印度雑事（上･下）	松本文三郎	36
	523･524	台湾蕃政志	台湾総督府民政部殖産局	37
	525	満洲大豆ニ関スル調査	関東都督府民政部庶務課	43
	526	台湾税関要覧	台湾総督府税関	45
	527	爪哇之糖業	台湾総督府民政部殖産局	45
		臨時台湾旧慣調査会 第1部調査第3回報告書 台湾私法附録参考書		
	528	第１巻（上）	臨時台湾旧慣調査会	43
	529	〃　（中）		44
	530	〃　（下）		〃
	531	第２巻（上）		43
	532	〃　（下）		44
	533	第３巻（上）		43
	534	〃　（下）		〃
	535	日本貿易の概況（1912～15）	農商務省商工局	大正２～5
	536･537	日鮮通交史　附･釜山史序（上･下）	釜山甲寅会	大正5
	538	支那之工業	東亜同文会調査編集部	大正6
	◆　第３回配本　vol.521～vol.538　全18巻　分冊本体価 414,000円　ISBN 978-4-8447-6679-7			
経済・社会一班篇(4)	539	凶荒誌	梅森三郎	26
	540	あいぬ風俗略史	村尾元長	25
	541	氷面鏡（一名三井呉服店案内）	日比翁助	34
	542	重要商品教科書	猪原吉次郎	38
	543･544	海上運送	窪川真澄	41
	545･546	拾年紀念 日本の鉄道論	木下立安	42
	547	横浜開港側面史	横浜貿易新報社	42
	548	三井と三菱	大塚豊次	大正2
	549	製造業と原価計算法	高塚 栄	大正7
	550	日本水路誌第八巻 千島列島	水路部	大正7
	551･552	大阪商業会議所年報（明治39年）	大阪商業会議所	41
	553･554	〃　（明治40年）		42
	555･556	〃　（明治41年）		43
	557･558	〃　（明治42年）		43
	559･560	〃　（明治43年）		44
	561	〃　（明治44年）		大正元
	562	〃　（明治45年･大正元年）		大正2
	◆　第４回配本　vol.539～vol.562　全24巻　分冊本体価 552,000円　ISBN 978-4-8447-6680-3			

第11期

財政･金融篇（６）	第563～573巻（計11巻）	総63巻
鉱工業一班篇（８）	第574～589巻（計16巻）	
外国事情篇（８）	第590～610巻（計21巻）	
経済･社会一班篇（５）	第611～625巻（計15巻）	

揃ISBN978-4-8447-0677-9 揃本体価1,449,000円

配本(部門)	巻号	資料名	編著者・発行所等	刊行年（月）(明治)
財政・金融篇(6)	563～567	帝国国有財産総覧（１～５）	澤来太郎	大正6
	568	戦後財政始末報告	大蔵大臣 松方正義	33
		欧州大乱之影響	鈴木梅四郎	大正3
	569	稿本 無盡の実際と学説	池田龍蔵	大正7
	570	満洲ニ於ケル通貨及金融	株式会社満洲日日新聞社	大正3
		南満洲ニ於ケル帝国ノ権利	蜷川 新	大正3
	571	大日本地方財政史	中島信虎	大正4
		徳川氏貨幣志	斎藤坦蔵	21
	572	銀行罪悪史	遠藤楼外楼	大正11
	573	都市庶民金融に関する調査（第４冊）—公設質舗—	東京市政調査会	大正15
	◆　第１回配本　vol.563～vol.573　全11巻　分冊本体価 253,000円　ISBN 978-4-8447-6610-0			
鉱工業一班篇(8)	574･575	訂正 琵琶湖疎水要誌	京都市参事会	29
	576	日本各時代室内装飾法 全	杉本文太郎	44
	577～579	横浜市水道第二擴張誌	横浜市役所	大正8
	580	改定 鉱業法規新釋	日本鉱業調査会	大正3
	581	大日本金物名鑑	和田辰之助	41
	582	紡績職工事情調査概要報告書	大日本綿絲紡績同業聯合会	31
		株式会社秀英舎沿革誌	株式会社秀英舎	40

鉱工業一班篇(8)	583	写真術階梯	加藤信一	41
		写真術講演	六桜社	41
	584	船舶投資	武田甲子太郎	大正7
	585	海軍機関要規	鈴木光長	23
	586	本邦金石畧誌	和田維四郎	11
		鉄道一瞥	鉄道省	大正10
	587	通信事業五十年史	遞信省	大正10
	588	鉄道運転法研究	大角 鉄	大正3
	589	最新石版印刷開業案内	大阪出版社編輯局	大正14
		近世発明談	井口丑一	44
	◆ 第2回配本 vol.574～vol.589 全16巻		分冊本体価 368,000円 ISBN 978-4-8447-6611-7	
外国事情篇(8)	590・591	台湾史料	台湾守備混成第一旅団司令部	33
	592	理蕃概要	台湾総督府民政部蕃務本署	大正2
		朝鮮人の衣食住	村上唯吉	大正5
	593	大戦時代の世界海運	遞信省管船局	大正11
	594	樺太及北沿海洲	東亜同文会	38
	595	樺太要覧	樺太民政署	40
	596・597	樺太植物誌	樺太庁	大正4
	598	南満洲鉄道株式会社二十略史	南満洲鉄道株式会社	昭和2
	599・600	支那調査報告書（第1巻1号～13号）	東亜同文会支那経済調査課	43
	601	苗族調査報告	東京帝国大学理科大学人類学教室	40
	602	南洋占領諸島概記	遞信省通信局	大正5
		各国ニ於ケル食料問題	保健衛生調査室	大正8
	603～605	米国労働者ノ生計状態	生産調査会	45
	606	欧米水産大観	藤田經信	43
	607	外交通商史談	渡辺修二郎	30
		揚子江富 源江南事情（上）	上海出品協会	43
	608	〃（下）		
	609・610	満洲通志	露国大蔵省編東亜同文会発行	39
	◆ 第3回配本 vol.590～vol.610 全21巻		分冊本体価 483,000円 ISBN 978-4-8447-6612-4	
経済・社会一班篇(5)	611～613	明治14年 学校幼稚園書籍館博物館一覧表	文部省	15
	614	日本事業小史	三橋隆一	大正12
	615・616	統計学研究	高野岩三郎	大正4
	617・618	実際統計学	呉 文聡	43
	619	天気予報論	中川源三郎	33
	620・621	日本婦女宝鑑	竹内松治	42
	622	日本帝国郵便規則及罰則	驛遞局	11
		遞信史要（上）	遞信大臣官房	31
	623	〃（下）		
	624	本朝医人伝	紫竹屏山	43
	625	あいぬ医事談	関場不二彦	29
		改置府県概表	大蔵省	5
	◆ 第4回配本 vol.611～vol.625 全15巻		分冊本体価 345,000円 ISBN 978-4-8447-6613-1	

第12期
- 府県産業篇（9） 第626～640巻（計15巻）
- 拓殖産業篇（3） 第641～650巻（計10巻）
- 外国事情篇（9） 第651～664巻（計14巻）
- 経済・社会一班篇（6） 第665～684巻（計20巻）

総59巻

揃ISBN978-4-8447-0678-6 揃本体価1,357,000円

配本(部門)	巻号	資料名	編著者・発行所等	刊行年（月）（明治）
府県産業篇(9)	626	結城郡案内記	結城郡物産共進会協賛会	大正2
	627	豊国小志	大分県	40
	628	訂正増補 兒島湾開鑿史（全）	井上經重	36
	629	東京廻米問屋市場沿革	東京廻米問屋市場	大正7
	630	北越史料 出雲崎	西澤新次	39
	631	馬学	今井吉平	大正3
	632・633	東京湾漁場調査	農商務省水産局	33
	634	各府県重要商品調査報告（上） 島根・鳥取・岡山・広島・山口・沖縄	〃	44

府県産業篇(9)	635	各府県重要商品調査報告（中） 福岡・長崎・佐賀・熊本・鹿児島・宮崎・大分	農商務省水産局	44
	636	各府県重要商品調査報告（下） 三重・岐阜・愛知・静岡・山梨・長野	〃	45
	637	長府彦島　下關名勝ノ栞 附 商工案内誌 全	田中市之進	大正15
	638	東京模範商工品録（全）	東京模範商工品録編纂所	40
	639	上野志料集成　一	国史研究會蔵版	大正6
	640	〃　二	〃	〃
	◆ 第１回配本　vol.626～vol.640　全15巻　分冊本体価 345,000円　ISBN 978-4-8447-5935-5			
拓殖産業篇(3)	641～643	開拓指鍼 北海道通覧	久松義典	26
	644	比較殖民制度	竹越与三郎	39
	645	日本移民論	大河平隆光	38
	646・647	再版 北海道蝦夷語地名解　附 アイヌ地名考	北海道庁	41
	648	拓地殖民要録	〃	25
		北海道殖民状況報文　根室国	北海道庁殖民部拓殖課	31
	649	〃　日高国	〃	32
		〃　北見国	〃	31
	650	〃　釧路国	〃	33
		〃　十勝国	〃	34
	◆ 第２回配本　vol.641～vol.650　全10巻　分冊本体価 230,000円　ISBN 978-4-8447-5936-2			
外国事情篇(9)	651・652	南洋之水産	大日本水産会	大正3
	653	満洲地誌（全）	参謀本部	27
	654	北樺太探検隊報告	大阪毎日新聞社	大正14
	655・656	欧州教育史（全）	大瀬甚太郎	43
	657	浦潮斯徳商港	南満洲鉄道株式会社 総務部調査課	大正10
	658	清国、印度、錫蘭茶況視察復命書	相澤喜兵衛	31
		米加茶業視察報告並ニ意見（附録）	農商務省農務局	37
	659～661	日露戦争批評	時事新報社発行	39
	662	台湾植物目録	台湾総督府民政部殖産局	43
	663	欧米最近農政問題	有元英夫	大正13
	664	欧洲各國鐵道官制及諸規程	鉄道省	42
	◆ 第３回配本　vol.651～vol.664　全14巻　分冊本体価 322,000円　ISBN 978-4-8447-5937-9			
経済・社会一班篇(6)	665	嚴島誌	重田定一	43
	666	山水河及湖沢	志賀重昂	34
	667	花街風俗志	大久保葩雪	39
	668	日本花柳史	山根秋伴	大正2
	669	日本帝国海上権力史講義	海軍少佐 小笠原長生述	35
	670	震災に関する教育資料　第一輯～三輯	文部省普通学務局	大正12
	671	濃尾震誌	片岡逸朗	26
	672	日本赤十字社沿革史（全）	栗原 芳	36
	673	實業人傑伝（全）	広田三郎	28
	674	杉 亨二自序伝	杉 亨二	大正６
		東京勧業博覧会案内 附 東京遊覧案内	山口米吉	40
	675～677	運用術教科書（之一～三）	海軍兵学校	30
	678	教育史餘材	横山達三	41
	679	大阪電話番號簿	大阪中央電話局	大正2
	680	女子教育管見	村上専精	38
		東京府史談	山崎彦八	25
	681	軍事世界地理（全）	大日本文明協会	大正3
	682	服假沿革略考（全）	従三位男爵 關 義臣	大正2
	683	日本宗教風俗志	加藤熊一郎	35
	684	官職制度沿革史	小中村清矩	36
	◆ 第４回配本　vol.665～vol.684　全20巻　分冊本体価 460,000円　ISBN 978-4-8447-5938-6			

第13期
- 農林水産一班篇（９）　第685～694巻（計10巻）
- 府県産業篇（10）　第695～709巻（計15巻）
- 外国事情篇（10）　第710～729巻（計20巻）
- 経済・社会一班篇（７）　第730～750巻（計21巻）

総66巻

揃ISBN978-4-8447-0679-3 揃本体価1,518,000円

配本(部門)	巻号	資料名	編著者・発行所等	刊行年（月）（明治）
農林水産一班篇(9)	685	通俗 食物講話	澤村 眞	大正4
	686	雑草学	半沢 洵	43
	687	製茶試験要報	農商務省農務局	36
		〃 第8次	〃	37
		〃 第9次	〃	38
	688・689	實用農桑提要	関 定重	34
	690	増訂 水産言論	岸上鎌吉	42
		農事試験場特別報告第一号 蝨虫及浮塵子ニ関スル調査	愛媛県農事試験場	35
	691	蚕絲業の将来	山崎梅治	大正6
	692	公有林及共同林役（即入会関係）	川瀬善太郎	大正元
	693	海苔の研究	岡村一義	大正15
	694	米ニ関スル経済調査	鉄道省運輸局	大正14
	◆ 第1回配本 vol.685～vol.694 全10巻		分冊本体価 230,000円 ISBN 978-4-8447-5864-8	
府県産業篇(10)	695～698	東京市市勢統計原表（第4巻）	東京市役所	大正12
	699	東京府下農事要覧	東京都	14
	700	礫川要覧	糸居銀一郎	43
	701	東京府農会一覧	東京府農会	大正2
		明細図入新編 東京獨案内	伊東榮次郎	23
	702	長野県案内	長野県協賛会	41
	703	日本地誌提要	元正院地誌課	10
	704	北足立郡誌 全（埼玉・浦和）	北足立郡役所	大正13
		琉球人名考	東恩納寛惇	大正14
	705	武蔵文庫 東京城西 四多摩郡	峡洞小幡宗海	42
	706・707	通俗 荏原風土記稿	中島錦一郎	45
	708	石川県志要	石川県	42
	709	越後風俗志（1～8号）	大平興文次	28
	◆ 第2回配本 vol.695～vol.709 全15巻		分冊本体価 345,000円 ISBN 978-4-8447-5865-5	
外国事情篇(10)	710	清国時報84号	外務省報告課	45
		支那時報1～3号		
	711	〃 4～6号		
	712	〃 7～9号		
	713	〃 11～13号	外務大臣官房報告課	大正2
	714	〃 14～17号		
	715	〃 18～22号		
	716	伊犂紀行 上巻（日誌之部）	陸軍歩兵少佐 日野 強	42
	717	〃 下巻（地誌之部）		
	718	現代叢書 極東の外交	吉野作造	大正5
	719・720	米国民	大日本文明協会	44
	721・722	台湾統治志	竹越與三郎	38
	◆ 第3回配本 vol.710～vol.722 全13巻		分冊本体価 299,000円 ISBN 978-4-8447-5866-2	
外国事情篇(10)	723	支那に於ける独逸の経営	山本美越乃	大正3
		南満洲植物目録	南満洲鉄道株式会社 中央試験所	大正元
	724	現代叢書 満蒙	吉野作造	大正5
	725・726	早稲田叢書 露西亜帝国	高田俊雄	34
	727	現代叢書 極東の露西亜	伊達源一郎	大正4
	728	支那に於ける鉄道利権と列強の政策	山本修平	大正6
	729	支那法制史論	臨時台湾旧慣調査会	大正4
経済・社会一班篇(7)	730	東京帝国大学	小川一眞	33
	731	都名所二十五景	田中治兵衛	28
		東京府職業別死亡統計表	内閣統計局	40
		新撰東京名所写真帖百景	日比野藤太郎	44
		樺太写真帖	博文館	38
	732	社会改良家列伝	松村介石	30
		箕作麟祥君伝	大槻文彦	40
	733	日本制度通 一～三	小中村義象、萩野由之 共著	22・23
	734	男女東京遊学案内	酒井勉	36
	◆ 第4回配本 vol.723～vol.734 全12巻		分冊本体価 276,000円 ISBN 978-4-8447-5867-9	

経済・社会一班篇(7)	735～737	官吏学［第一巻］	星　一	大正7
	738	新聞及広告人大観相録	松井桂陰	昭和6
	739･740	新聞要覧	式　正次	昭和3
	741～743	法律語彙初稾	司法省	16
	744	東京凱旋軍歓迎会誌	東京凱旋軍歓迎会　西川清三郎	39
	745･746	不良児教育法	乙竹岩造	43
	747	日本海上史論	岡部精一	44
	748～750	開港五十年紀念　横浜成功名誉鑑	森田忠吉	43
	◆　第５回配本　vol.735～vol.750　全16巻　分冊本体価 368,000円　ISBN 978-4-8447-5868-6			

第14期

財政・金融篇（７）	第751～756巻（計６巻）	総64巻
農林水産一班篇（10）	第757～768巻（計12巻）	
鉱工業一班篇（９）	第769～778巻（計10巻）	
府県産業篇（11）	第779～788巻（計10巻）	
経済・社会一班篇（８）	第789～814巻（計26巻）	

揃ISBN978-4-8447-0680-9　揃本体価1,472,000円

配本(部門)	巻号	資料名	編著者・発行所等	刊行年（月）（明治）
財政・金融篇(7)	751	豫算詳解 全（上）	武富時敏	41
	752	〃　（下） 盛岡市財務史要	盛岡市役所	大正6
	753	通俗 財話	東京朝日新聞社經済部	大正12
	754	第九次臺灣金融事項参考書	臺灣銀行	大正3
	755	最新銀行論	堀江歸一	42
	756	兵役稅論	升田憲元	大正2
	◆　第１回配本　vol.751～vol.756　全６巻　分冊本体価 138,000円　ISBN 978-4-8447-5674-3			
農林水産一班篇(10)	757	海国日本	帝国海事協会 大日本水産会	大正5
	758	第三回奥羽六縣聯合物産共進会報告	青森県	33
	759	自　明治44年11月 至　昭和12年４月　米價及米穀日誌（上）	農林省米穀局	昭和12
	760	〃　（下） 農林省累年統計表	農林大臣官房統計課	昭和7
	761	製茶論	澤村　眞	42
	762	青物市場調査資料	東京市商工課	大正12
	763	森林経理学（上）	植村恒三郎	大正5
	764	〃　（下） 東京府林産要覧	東京府協賛会	大正9
	765	酒稅法解説	西田一行	大正10
	766	本邦に於ける一代支雑蠶種の発祥地 生糸及乾繭取引所論	加藤集次 細川幸重	昭和3 昭和4
	767	栽培経済問答新誌　１～40号	曳屋社	14･15
	768	生絲恐慌対策史　付 生絲貿易史年表	森本　宋	昭和6
	◆　第２回配本　vol.757～vol.768　全12巻　分冊本体価 276,000円　ISBN 978-4-8447-5675-0			
鉱工業一班篇(9)	769	通俗 写真術 時計發達史	菊池　勉 高林兵衛	大正6 大正13
	770	通俗 理化一斑	藤野修吉 花井七三郎 草野堅蔵 大橋新太郎　共編	41
	771	舶用蒸氣た～びん	学友会	41
	772	模型飛行機之研究	中川健二	大正4
	773	市營電氣供給事業整理案	東京市政調査会（？）	大正4（？）
	774	上代日本染織史	明石國助	大正10
	775･776	鉄道震害調査書	鐵道省	昭和2
	777	鉄道論	中川正左	大正8
	778	工業經済論	桑田熊蔵	40
	◆　第３回配本　vol.769～vol.778　全10巻　分冊本体価 230,000円　ISBN 978-4-8447-5676-7			
	779･780	相模国風土記	東京瀧山町	17
	781･782	南豆風土誌	静岡県賀茂郡教育会	大正3
	783	東京府・西多摩郡 南多摩郡・北多摩郡　名所舊蹟及物産志	東京府	大正元

府県産業篇(11)	784	薩隅煙草録（上）	青江 秀	14
	785	〃（下）		
		北海道輸出木材之調査	小樽高等商業学校	大正5
	786	東京模範百工場	井関十二郎	大正5
	787	琉球古今記（上）	伊波普猷	大正5
		〃（下）		
	788	岩手県農事試験場臨時報告（第一回）	岩手県農事試験場	34
		岩手県勢要覧	岩手県	43
		三陸地誌略	岩手県	10
	◆ 第4回配本 vol.779～vol.788 全10巻		分冊本体価 230,000円 ISBN 978-4-8447-5677-4	
経済・社会一班篇(8)	789～805	明治期経済・社会関係基本資料 ～「元老院会議筆記」に見る～	元老院	9～15
	806	奥州高館沿革史	寺崎清賢	41
		農家年中行事	岸 伸吾	41
	807	東京警吏須知	須原鉄二	12
		東都と学生	佐藤儀助	34
	808	日本海員掖済会沿革提要	後藤政蔵	44
		偉人伊能忠敬	加瀬宗太郎	44
	809	明治初年北海紀聞	清野謙次	昭和6
	810	遊郭・貸座敷・引手茶屋 沿革竝取締概況	浅草日本堤警察署長	——
		魔窟之東京	川上巌山	35
	811	木炭ニ関スル経済調査	鉄道省運輸局	——
		北海事情	小川友渡	24
	812	金銭物件土地建物 売買貸借者の顧問 ——名法律知恵袋—	亀岡正司、岡部学三 共著	44
	813	貧民制度並救済事業	広中佐兵衛	大正2
		東京府治一斑	東京府	大正4
		善政の基礎 国勢調査案内	東京大日本国民教育会	大正9
	814	震災と教育	帝国教育会 三浦藤作	大正13
	◆ 第5回配本 vol.789～vol.814 全26巻		分冊本体価 598,000円 ISBN 978-4-8447-5678-1	

第15期

農林水産一班篇(11)	第815～827巻(計13巻)	総51巻
府県産業篇(12)	第828～843巻(計16巻)	
外国事情篇(11)	第844～852巻(計 9 巻)	
経済・社会一班篇(9)	第853～865巻(計13巻)	

揃ISBN978-4-8447-0681-6 揃本体価1,173,000円

配本(部門)	巻号	資料名	編著者・発行所等	刊行年（月）(明治)
農林水産一班篇(11)	815	第二次輸出重要品要覧（水産之部）［海参］［鱶鮨］［乾鰕］［寒天］	農商務省農務局	30
	816	〃（〃）［鯛］［魚油］	〃	29 30
		〃（〃）［昆布］	農商務省水産局	30
	817	千九百年巴里萬国大博覧会 水産部並佛国水産ノ狀況視察報告	農商務省	35
	818	第二次輸出重要品要覧（工産之部）［青銅器及銅器］［漆器］［洋傘］［燐寸］	農商務省商務局	30
	819	〃（〃）［綿織糸］［扇子団扇］［麦稈真田］［華筵］	〃	30
	820	〃（〃）［絹布及絹製手布］［其他絹製品］［段通］［綿布］［紙類及紙器］	〃	30
	821	〃（〃）［玻璃器・竹器及七宝器］［陶磁器］［竹器］［木製品］	〃	31 31 33 36

農林水産一班篇(11)	822	第二次輸出重要品要覧（林産之部）［樟脳及樟脳油］［椎　茸］［木材及板類］［竹　材］	農商務省山林局	30
	823	〃　（鉱産之部）［石　炭］	農商務省鉱山局	30
	824	〃　（農産之部）［蚕糸（上）］	農商務省農務局	34
	825	〃　〃［蚕糸（下）］［茶］	〃	30
	826	茶業講義録	〃	29
	827	救荒植物	手島岩雄	39
		水産統計年鑑	白井光太郎	36
		〃	農商務省水産局	大正2
			〃	大正9
	◆　第１回配本　vol.815～vol.827　全13巻　分冊本体価 299,000円　ISBN 978-4-8447-9052-5			
府県産業篇(12)	828	地方制度	中村千太郎	20
	829	平安名陶傳	脇本十九郎	大正10
	830･831	東京府産業組合一班	産業組合中央會東京支會	大正11
	832	大日本商人録 東京之部	横山錦柵	13
	833	秋田県紳士名鑑	瀬谷純一	大正8
	834	東京著名録	宮川久次郎	21
		福島県物産陳列館案内	福島縣物産陳列館	14
	835	副業の手引	福島縣内務部	大正2
	836	東京市内先儒墓田録	今關壽麿	大正2
	837･838	簡明 薬種商講義 全	日本薬学講習会	大正12
	839	岡山県名勝誌（上）	岡山県内務部翁	大正4
	840	〃　（下） 農人形の研究	大井徹翁	大正6
	841	小笠原及八丈島記	近藤春夫	大正6
	842	傍訓 市町村制及説明	高木周次	21
		都のてぶり孝證　附 梅が枝物語	関根正直	42
	843	近江商人	平瀬光慶	44
	◆　第２回配本　vol.828～vol.843　全16巻　分冊本体価 368,000円　ISBN 978-4-8447-9053-2			
外国事情篇(11)	844	西国バルスローヌ府萬国博覧会報告	農商務省総務局第四課	24
		1901年英国グラスゴー萬国博覧会出品同盟会報告	窪田勘六	35
	845～848	日英博覧会事務局事務報告	農商務省	45
	849	欧西自治の大観	報德会	40
		英米に於ける労働者餘暇利用法	高柳松一郎	大正14
	850	内外商業地理 全	大橋新太郎	25
		満蒙諸慣習概要	満鉄総務部調査課	24
	851	紐育	原田棟一郎	大正3
	852	蘭領東印度事情	外務省通商局	大正5
	◆　第３回配本　vol.844～vol.852　全９巻　分冊本体価 207,000円　ISBN 978-4-8447-9054-9			
経済・社会一班篇(9)	853	新撰百種第六種 日本地氣論	笹川種郎	31
	854	東洋大都会	石橋友吉	31
	855	諸種營業 實地商業案内	原田東風	38
	856	諸學校規則集改正東京入學便覧	長井庄吉	30
	857	立志起業 東洋立志編 全	木戸照陽	24
	858	牛乳衛生警察 全	津野慶太郎	40
	859	民法辯疑（上）	森 順西	25
	860	〃　（下） 江都名家 墓所一覧	老樗軒主人	34
	861	電信ト市外電話トノ將來ニ關スル意見書	――――	35
		海上衝突豫防規則	――――	――
	862	記者探訪 裏面の東京一戦慄す可き暗黒面の暴露	知久棧雲峡雨	大正2
	863･864	日本刀	本阿彌光遜	大正2
	865	地下水利用論	田尻稲次郎	大正4
	◆　第４回配本　vol.853～vol.865　全13巻　分冊本体価 299,000円　ISBN 978-4-8447-9055-6			

龍溪書舎編集部 編

第１期第１巻から第15期第865巻に収録された資料の、総目録および書名索引を記載。（'12･6 刊）

『明治後期産業発達史資料（Ⅰ～Ⅴ期）』
総目録･書名索引

ISBN 978-4-8447-0307-5
A5判　本体価1,100円

4. 教　育

近代アジア教育史研究会（代表 阿部洋）編

編集復刻 近代日本のアジア教育認識
—明治後期教育雑誌所収・中国・韓国・台湾関係記事—

近代日本のアジア教育認識・目録篇
—明治後期教育雑誌所収中国・韓国・台湾関係記事—

ISBN 978-4-8447-8383-1
B5判・200頁　本体価9,000円

日清・日露戦争以後、日本の各種教育雑誌には中国・韓国・台湾等の教育文化に関する論説・記事が盛んに掲載されるようになる。これ等を通してアジア諸国の教育文化の具体的状況を把握し、近代日本におけるアジア教育認識の形成過程を知ることができる。既刊の「明治後期教育雑誌にみられる中国・韓国教育文化関係記事目録」（1989年）を一層充実し、新たに「台湾の部」を加え、「資料篇」の姉妹篇として発展的に内容を一新。（'95・7刊）

残僅少

近代日本のアジア教育認識・資料篇
（全3期）

日清戦争以後日本の教育はアジア諸国、ことに中国や韓国への関心を深め、これら近隣諸国への教育・文化面からの働きかけを積極化していく。こうしたなか、各種教育雑誌や、アジア関係団体機関誌、さらには一般雑誌にも、中国や韓国、台湾の教育文化に関する論説や記事が盛んに掲載されるようになる。そこには各国の具体的な教育文化状況を示す貴重な資料が数多く含まれている。我々は、これらの記事や論説をとおして、明治日本のアジア教育に対する蔑視＝停滞史観や、それと対応する形でアジア教育の停滞打開の方途は「先進」日本の指導の下での革新以外にないとする優越意識、さらにはアジア諸国の教育に対する日本の積極関与や教育主権収奪の構想が、漸次形成されていく経緯を窺うこともできるようである。本資料篇編纂の目的は、こうした問題関心から、明治期日本のアジア教育認識に関する基礎的資料を可能な限り広範に収集するとともに、これを系統的に整理するところにある。そのため、既刊の姉妹篇『近代日本のアジア教育認識・目録編』（1955年）に収録された約6,000点に及ぶ資料の中から主要なものを精選し、その後新たに発掘した資料類を付け加えて、それらを〈中国の部〉、〈韓国の部〉、〈台湾の部〉の3つに分類・整理した。

第1期 **韓国の部**　第1巻～第8巻・附巻Ⅰ（所収記事目録・解題）
全8巻・総9冊

〔収録誌62誌・所収記事及論説1,623点〕

解題〔韓国班〕
- 阿部　洋
- 稲葉　継雄〔班長〕
- 久保田優子
- 佐藤　由美
- 金　泰勲
- すいせん
  - 石付　実
  - 佐藤　秀夫
  - 芳賀　徹
- 平野健一郎
- 馬越　徹

ISBN 978-4-8447-3481-9
B5判・総3,400頁　本体価280,000円

（'99・2刊）

残僅少

第２期　中国の部

第９巻～第29巻・附巻Ⅱ（所収記事目録・解題）
全21巻・総22冊

〔収録誌60誌・所収記事及論説3,423点〕

解　題〔中国班〕
- 阿部　　洋
- 蔭山　雅博〔班長〕
- 佐藤　尚子
- 一見真理子

すいせん
- 小林　文男
- 寺崎　昌男
- 田　　正平
- 権藤與志夫
- 並木　頼寿

B5判・総7,800頁　　揃本体価700,000円　　（'02・２刊）

残僅少

配本	内容	冊数	分冊本体価	ISBN
（上）	第９巻（中国の部①）～第19巻（中国の部⑪）	11	350,000円	978-4-8447-5352-0
（下）	第20巻（中国の部⑫）～第29巻（中国の部㉑）	10	350,000円	978-4-8447-5353-7
	附巻Ⅱ	1		

第３期　台湾の部

第30巻～第43巻・附巻Ⅲ（所収記事目録・解題）
全14巻・総15冊

〔収録誌46誌・所収記事及論説1,886点〕

解　題〔台湾班〕
- 阿部　　洋
- 弘谷多喜夫〔班長〕
- 近藤　純子

すいせん
- 上沼　八郎
- 呉　　文星
- 村田　翼夫
- 駒込　　武
- 松田　吉郎

B5判・総5,300頁　　揃本体価480,000円　　（'04・５刊）

残僅少

配本	内容	冊数	分冊本体価	ISBN
（上）	第30巻（台湾の部①）～第37巻（台湾の部⑧）	8	260,000円	978-4-8447-6395-6
（下）	第38巻（台湾の部⑨）～第43巻（台湾の部⑭）	6	220,000円	978-4-8447-6396-3
	附巻Ⅲ	1		

日本近代教育史料研究会（代表 佐藤秀夫、米田俊彦）編

編集 復刻 日本近代教育史料大系

明治維新以後の日本近代教育史は「遅れたアジア社会」の一員だった日本を「欧米並み」に近づけるという明治国家の基本路線に沿って、国家権力側の強力なリーダーシップの下に形成の歩みを続けて来た。
国立教育政策研究所の日本教育史研究部門では「日本近代教育百年史」編纂当初より、国家の教育政策・行政に関する公文書史料の体系的・包括的な調査・収集・整理とその公開を基本業務として来た。本企画はこの過去四半世紀に及ぶ蓄積の集大成である。単に実定法令の羅列ではなく、法令の起草・起案・整文の過程を開示しており、近代日本における権力主体の教育理念の選択のプロセスを科学的に知る道を開く。詳細な収録文書目録付。日本教育史、日本近代史必備の文献。

第１期　公文記録〔Ｉ〕

第１回配本　太政類典（第1～5 編・外編）より
学制（慶応３年～明治14年）　vol. 1～5・附巻（一）　全６巻

揃ISBN978-4-8447-4335-4
A4判・総1,900頁

本体価150,000円

巻号	原典編	原典巻		原典事項	原典刊行期間（明治）	本体価	ISBN
1	1	116	学制	教員及属員・学制（一）	慶應３年～４年７月	150,000円	978-4-8447-4335-4
		117		学制（二）・学校（一）			
		118		学制（二）			
		119		生徒（一）			
		120		生徒（二）			
2	2	243		［一］教員制置及属員、学制（一）	４年８月～10年12月		
		244		［二］学制（二）止			
		245		［三］学校			
3		246		［四］生徒（一）			
		247		［五］生徒（二）			
		248		［六］生徒（三）止			
4		249		［七］雑			
	3	55		教員制置及属員、学制、学校、生徒	11年～12年		
	4	37		学制、学校、生徒	13年		
5	5	29		教員制置及属員、学制、学校、生徒	14年		
	外編	14	54号、55号		4年～11年		
		39	１号				
		40	１号～36号				
		48	22号、48号、114号、129号、137号、156号				
附	附巻（一）　解題・総目録						

第２回配本　公文録（慶応４年～明治18年）より　国の重要指定文化財

皇漢両学所･昌平開成両学校･大学校･京都学校･大学･文部省…各伺

vol. 6～20･附巻（二）　全16巻

揃ISBN978-4-8447-5153-3
A4判･総7,500頁

揃本体価400,000円

	巻号	原典編	原典事項	原典刊行期間（明治）	分冊本体価	ISBN
（上）	6	1～7	皇漢両学所伺 昌平開成両学校伺 大学校伺 大学伺 京都学校伺 大学伺	戊申３月～己巳９月 戊申10月～己巳５月 己巳６月～同12月 己巳12月～庚午４月 己巳９月～庚午９月 庚午５月～閏10月	175,000円	978-4-8447-5154-0
	7	8～12	大学伺 〃 文部省伺	庚午11月～同12月 辛未正月～同７月 辛未７月～同12月		
	8	13～17	文部省伺	壬申正月～同11月		
	9	18～22	文部省布達 文部省伺	壬申 明治６年１月～同５月		
	10	23～28	文部省伺	６年５月～同９月		
	11	29～33	文部省伺	６年10月～７年２月		
	12	34～41	文部省伺	７年３月～同10月		
（下）	13	42～47	文部省伺	７年11月～８年３月	200,000円	978-4-8447-5155-7
	14	48～54	文部省伺 文部省之部･附録	８年４月～同10月 ８年９月		
	15	55～58	文部省伺 文部省･附録［一］［二］	８年11月～９年６月 ９年５月		
	16	59～63	文部省･附録［三］［四］ 文部省伺 文部省布達兼雑誌等副書	９年５月 ９年７月～10年３月 ９年		
	17	64～73	文部省伺 文部省達副書 文部省 文部省布達副書 （達第１号～第10号、 布達第１号～第５号）	10年４月～同12月 10年 11年11月～12年９月 11年		
	18	74～80	文部省 文部省布達兼達書副書全	12年10月～14年６月 12年		
	19	81～86	文部省	14年７月～16年２月		
	20	87～90	文部省	17年１月～18年12月		
附		附巻（二）　解題･総目録			25,000円	978-4-8447-5478-7

第３～10回配本　公文類聚（第６編～第69編）より
学政門および学事門（明治15年～昭和20年）vol. 21～41･附巻(三)　全22巻

揃ISBN978-4-8447-0329-7
A4判･総8,400頁

揃本体価660,000円

配本	巻号	原典編	原典事項	原典刊行期間	分冊本体価	ISBN
3	21 22 23	6～９ 10･11 12･13	学政門 〃 〃	明治15年～同　18年 明治19年 明治21年～同　22年	90,000円	978-4-8447-0208-5
4	24 25 26	14･15(1) 15(2)～18 19～23	学政門･学事門 学事門 〃	明治23年～同　24年 明治24年～同　27年 明治28年～同　32年	90,000円	978-4-8447-0209-2
5	27 28 29	24～28 29～35 36～42	〃 〃 〃	明治33年～同　37年 明治38年～同　44年 明治45年～大正７年	90,000円	978-4-8447-0210-8
6	30 31 32	43･44 45･46 47～50	〃 〃 〃	大正８年～同　９年 大正10年～同　11年 大正12年～同　15年	90,000円	978-4-8447-0211-5
7	33 34 35	51～55 56～60 61･62	〃 〃 〃	昭和２年～同　６月 昭和７年～同　11月 昭和12年～同　13年	90,000円	978-4-8447-0212-2
8	36 37 38	63 64･65(1) 65(2)･65(3)	〃 〃 〃	昭和14年 昭和15年～同　16年 昭和16年	90,000円	978-4-8447-0213-9
9	39 40 41	66･67(1) 67(2)･67(3) 68･69	〃 〃 〃	昭和17年～同　18年 昭和18年 昭和19年～同　20年	90,000円	978-4-8447-0214-6
10	附	附巻(三)　解題･総目録			30,000円	978-4-8447-0215-3

編集代表 阿部 洋
編集委員 上沼八郎、近藤純子、佐藤由美、佐野通夫、弘谷多喜夫

編集復刻版

日本植民地教育政策史料集成（台湾篇）

全10集、別２集、総目録・解題・索引　総121巻　A5判・総54,000頁　**揃本体価3,140,000円**

かつて小舎が刊行した『日本植民地教育政策史料集成』朝鮮篇（全74巻・1986-91年）は、学界に大きな反響を与えつつ無事完結したが、戦前日本のもうひとつの重要な植民地たる台湾については、資料の整備が進まないまま、その公刊が宿題として残されていた。このたび数年にわたる関係者の収集努力の結果ようやく刊行の準備が整い、本企画をスタートさせることとなった。

本「台湾篇」の内容は、かつての「朝鮮篇」を上回る12部門で構成した。そこには教育施策関係報告書や統計類、地方教育誌、学校要覧類、教育関係著書のほか、「公文類聚」や「枢密院会議記録」「茗荷谷文書」「隈本繁吉文書」など、各種の貴重な関係文書類が多数含まれており、これら諸資料をとおして、台湾における植民地教育政策の展開過程を制度・政策レベルにおいては勿論のこと、地方における教育施策の展開や学校経営のレベルにおいてもその具体的状況を詳細にうかがうことができるはずである。その意味で本史料集成は、今日望み得る最高の資料群を学界に提出出来るものと自負している。関係各位のご検討を切望するものである。

（'20・2・11）

残僅少

構　成

集	資料内容	巻数	本体価	ISBN
1	教育要覧類	6	150,000	978-4-8447-0129-3
2	学事法規	10	250,000	978-4-8447-0130-9
3	教育施策関係資料	6	150,000	978-4-8447-0131-6
4	学校経営関係資料	5	125,000	978-4-8447-0132-3
5	台湾教育関係著書	8	200,000	978-4-8447-0133-0
6	教科書編纂・各科教育関係資料（含：国語教育）	14	350,000	978-4-8447-0134-7
7	地方教育誌（含：原住民教育・対岸教育・内地留学）	6	150,000	978-4-8447-0135-4
8（1）	学校要覧類（上）	12	300,000	978-4-8447-0136-1
〃（2）	学校要覧類（下）	10	250,000	978-4-8447-0137-8
9	学事統計類	9	225,000	978-4-8447-0138-5
10	社会教育関係資料	8	200,000	978-4-8447-0139-2
別集Ⅰ	台湾教育関係公文書	12	360,000	978-4-8447-0140-8
〃　Ⅱ	隈本繁吉文書（台湾篇）Ⅰ部	3		978-4-8447-0142-2
	Ⅱ部	3		978-4-8447-0146-0
	Ⅲ・Ⅳ部	4		978-4-8447-0150-7
	Ⅴ～Ⅶ部	3		978-4-8447-0155-2
	計	13	390,000	
総目録・解題・索引		2	40,000	978-4-8447-0159-0

第1集　教育要覧類　全6巻

巻号	資　料　名	刊　行　者	刊行年月
1	**台湾学事要覧**（大正5年）	台湾総督府学務部	大正4年5月
	台湾学事要覧（大正8年）	台湾総督府内務部学務課	大正8年7月
	台湾教育一斑（大正10年）	台湾総督府内務局	大正10年11月
	A Review of Educational Work in Formosa, 1916	Department of Educational Affairs of the Government General of Formosa	大正5年4月
2	**台湾の教育**（昭和2年）	台湾教育会	昭和2年8月
	台湾の教育（昭和6年度）	台湾総督府文教局	昭和6年10月
	台湾の教育（昭和10年度）	台湾総督府文教局	昭和10年9月
	台湾の教育（昭和12年度）	台湾総督府文教局	昭和12年12月
	施政四十年の台湾（部分）	台湾時報社	昭和10年8月初版 昭和12年3月修訂再版
3	**台湾教育事情**（昭和12年度）	台北時代社教育部	昭和12年6月
4･5	**台湾学事年鑑**（昭和15年度）	台北時代社教育部	昭和12年6月
6	**台湾の学校教育**（昭和14年度）	台湾総督府文教局	昭和15年1月
	台湾の学校教育（昭和16年度）	台湾総督府文教局	昭和17年3月
	台湾ニ於ケル学校教育ノ現況（昭和18年度）	台湾総督府	昭和18年
	台湾統治概要（部分）	台湾総督府	昭和20年

◆第1巻～第6巻　**分冊本体価150,000円**　ISBN 978-4-8447-0129-3

第2集　学事法規　全10巻

巻号	資　料　名	刊　行　者	刊行年月
7	**台湾総督府学事法規**（明治29～35年度）	台湾総督府民政部総務局学務課編	明治35年8月
8･9	**台湾学事法規**（大正2年6月1日現在）	台湾総督府民政部総務局学務課編･台湾教育会	大正2年8月
10･11	**台湾学事法規　完**（大正11年1月初版）	台湾教育会･ 帝国地方行政学会	大正11年1月
12･13	**台湾学事法規　完**（昭和4年12月加除）	台湾教育会･ 帝国地方行政学会	昭和4年4月 改訂4版
14~16	**台湾学事法規　完**（昭和18年9月加除）	台湾教育会･ 帝国地方行政学会	——

◆第7巻～第16巻　**分冊本体価250,000円**　ISBN 978-4-8447-0130-9

第3集　教育施策関係資料　全6巻

巻号	資　料　名	刊　行　者	刊行年月
17･18	**詔勅、令旨、諭告、訓達類纂**	台湾総督府警務局	昭和16年
19	**学務部創設以降事業ノ概略** 〈付〉本島ノ実業教育振興ニ関スル卑見（某氏）	————	明治31年？
	児玉源太郎総督宛上申 〈付〉台湾教育施設之順序･書房義塾ニ関スル規程	伊沢修二	明治31年

19	台湾総督府公学模範学校規則案	伊沢修二	明治30年
	楽石自傳　教界周遊前記（部分）	伊沢修二君還暦祝賀会	明治45年
	伊沢修二先生と台湾教育	台湾教育会	昭和19年
20	県治管見（部分）	持地六三郎	明治35年？
	台湾ニ於ケル教育施設ノ要領覚書	持地六三郎	明治36年？
	台湾殖民政策（部分）	持地六三郎	明治45年
	教育勅語ニ関スル調査概要	台北師範学校	大正14年
	第壱回台湾総督府評議会会議録（部分）	台湾総督府	大正10年
	第参回台湾総督府評議会会議録（部分）	台湾総督府	大正11年
21	義務教育ニ関スル調査	台湾総督府	大正10年
	台湾大学設立論	久保島天麗 台湾大学期成会	大正9年
	文化の建設―幣原坦六〇年回想記（部分）	幣原 坦	昭和28年
22	（台湾大学設立関係資料）	『伊沢多喜男文書』	大正14年
	懊悩せる台湾大学	安藤 盛	大正15年
	苦難の台湾大学	宮川次郎	昭和3年
	裏切られつつある文教政策	宮川次郎	昭和3年
	日本々国民に與ふ	蔡 培火	昭和3年
	帝国主義下の台湾（部分）	矢内原忠雄	昭和4年
	霧社事件ノ顛末	台湾総督府	昭和5年

◆第17巻～第22巻　分冊本体価150,000円　ISBN 978-4-8447-0131-6

第４集　学校経営関係資料　全５巻

巻号	資　料　名	刊　行　者	刊行年月
23	改訂　公学校管理法概要（全）	久住栄一	昭和10年4月
	随筆　公学校教育二十年	伊集院一秀	昭和15年6月
24	台湾公学校新入学児童観念調査成績	台湾総督府学務課	明治44年5月
	台湾ニ於ケル学校児童ニ関スル研究	台湾総督府内務局学務課	大正12年1月
	台湾人児童の長所及短所に就て	台湾総督府内務局	大正10年12月
	台湾中等学校学力調査成績	台湾教育会	昭和7年2月
25	公一の教育	台北第一師範学校附属 公学校研究部	昭和8年4月
26	台湾に於ける国民学校の経営	木原義行、佐藤源治	昭和18年10月
	実践行事解説	台北第二師範学校附属 国民学校	昭和18年4月
27	公学校教師論	西巻南平	昭和4年1月
	㊙台湾ニ於ケル私立学校概況	台湾総督府学務部	大正7年
	㊙私立学校概況	台湾総督府内務局	大正10年12月

◆第23巻～第27巻　分冊本体価125,000円　ISBN 978-4-8447-0132-3

第5集　台湾教育関係著書　全8巻

巻号	資　料　名	刊　行　者	刊行年月
28~30	台湾教育沿革誌	台湾教育会	昭和14年2月
31	台湾教育史	吉野秀公	昭和2年10月
32	台湾教育の進展	佐藤源治	昭和18年7月
33	台湾教育志稿	台湾総督府民政部総務局学務課	明治35年1月
	明治国民教育史（部分）	町田則文	昭和3年3月
34	芝山巖誌	台湾教育会	昭和8年2月
35	御賜之餘香	石坂荘作	大正15年3月
	Education in Formosa	J.H.Arnold U.S.・bureau of Education Bulletin, 1908, No. 5, Whole No. 388	1908年
	Public Education in Formosa under the Japanese Administration	Mosei Lin	大正10年12月

◆第28巻～第35巻　　分冊本体価200,000円　ISBN 978-4-8447-0133-0

第6集　教科書編纂・各科教育関係資料（含：国語教育）　全14巻

巻号	資　料　名	刊　行　者	刊行年月
36	台湾適用　作法教授書　全	台湾総督府民政局学務部	明治29年11月
	教育勅諭述義	台湾総督府民政部学務課	明治32年3月
	祝祭日略義	台湾総督府民政部学務課	明治32年12月
	日本語教授書	台湾総督府民政局学務部	明治28年11月
	国語教授参考書１　初学生徒教案	台湾総督府民政局学務部	明治29年12月
	ゴアン氏言語教授方案	台湾総督府民政部学務課	明治33年7月
	台湾公学校国語教授要旨	台湾総督府民政部学務課	明治33年12月
37	台湾公学校教科書使用上ノ注意（第1篇・第2篇）	台湾総督府民政部内務局学務課	明治44年4月・大正2年5月
	台湾公学校教科書編纂趣意書　第1篇（公学校修身書　自巻1至巻4・公学校用国民読本　自巻1至巻8・公学校用国民習字帖　自第1学年用至第4学年用）	台湾総督府	大正2年7月
	台湾公学校教科書編纂趣意書　第2篇（公学校用国民読本・公学校用国語習字帖）	台湾総督府	大正3年9月
	蕃人読本編纂趣意書	台湾総督府	大正5年11月
	台湾における現行教科用図書に就て	台湾総督府内務局	大正10年12月
	公学校修身書 巻５巻６編纂趣意書	台湾総督府	大正8年12月
	公学校用漢文読本編纂趣意書	台湾総督府	大正8年9月
	公学校教授要目　第1篇：算術科、理科、手工及図画科、商業科	台湾総督府	大正2年3月
	公学校教授要目　第2篇（代謄寫）：農業科、裁縫及家事科	台湾総督府	大正2年3月
	公学校修身書　巻１巻２修正趣意書	台湾総督府	昭和3年？
	師範学校修身科教授要目	台湾総督府	大正11年3月
	公学校地理書編纂趣意書竝挿絵の解説	台湾総督府	大正11年2月

38	公学校地理書改訂趣意書	台湾総督府	大正12年？
	国語普及の状況	台湾総督府内務局	大正10年12月
	公学校用国語読本第１種編纂趣意書・公学校用国語書き方手本第１種編纂趣意書	台湾総督府	大正12年
	公学校用国語読本第１種自巻５至巻８編纂趣意書・公学校用国語書き方手本第１種自第３学年用上至第４学年用下編纂趣意書	台湾総督府	大正13年
	公学校高等科教授要目（修身・日本歴史・地理・理科・農業・商業・手工・裁縫及家事）	台湾総督府	大正11年3月
	公学校算術書　教師用自第1学年用至第4学年用・児童用自第3学年用至第4学年用編纂趣意書	台湾総督府	——
	公学校理科書編纂趣意書	台湾総督府	大正12年？
	台湾小学校理科教授要目	台湾総督府	大正9年3月
39	公学校各科教授法　全	久住栄一、藤本元次郎	大正13年10月
40・41	公学校教授の新研究	台南師範学校附属公学校	昭和2年9月
42	修身科教育の革新	台北第三高等女学校附属公学校	昭和2年11月
43	訓育に関する研究	高雄第三公学校	昭和3年6月
	公民教育カード	大甲公学校	昭和8年1月
44	公学校地理書　巻一巻二改定趣意書	台湾総督府	昭和6年10月
	公学校高等科地理書編纂趣意書	台湾総督府	昭和11年3月
	教科実践授業案例	台南師範学校附属第一国民学校	昭和18年7月
	初等科算数　取扱上の注意　第三四学年用	台湾総督府	昭和18年3月
45	台湾に於ける国語教育の展開	国府種武	昭和6年6月
46・47	台湾に於ける国語教育の過去及現在	国府種武	昭和11年9月
48	日本語教授の実際	国府種武	昭和14年11月
49	言葉の指導	台北第一師範学校附属公学校研究部	昭和5年12月
	国語保育園保育細案	台北州	昭和17年6月

◆第36巻～第49巻　**分冊本体価350,000円**　ISBN 978-4-8447-0134-7

第７集　地方教育誌（含：原住民教育・対岸教育・内地留学）　全６巻

巻号	資　料　名	刊　行　者	刊行年月
50	台北州学事一覧　大正15年度〈附〉社会社寺宗教一覧	台北州	——
	台北州学事一覧　昭和10年版	台北州内務部教育課	昭和10年10月
	基隆市教育要覧　昭和10年	基隆市役所	昭和10年
	新竹州教育統計要覧　昭和10年	新竹州教育課	昭和12年3月
	（竹南郡）教育要覧　昭和14年	竹南郡教育会	昭和15年2月
	宜蘭郡教育概況　昭和5年度	宜蘭郡	昭和5年9月
	（花蓮港庁）管内学事概況　昭和8年度	花蓮港庁	——
	台中庁学事状況一斑　大正5年2月調査	台中庁	大正5年3月
51	台中州教育年鑑　二五九四年版	台中州教育会	昭和9年

52	**（台中州）教育状況**　昭和2年度 〈附〉社寺及宗教概覧	台中州	——
	台中州教育展望　全	台中州教育課	昭和10年11月
	嘉義郡教育概況　昭和10年版	嘉義郡教育会	昭和10年
	台南州管内学事一覧　大正10年5月末現在	台南州内務部教育課	——
	台南州学事一覧	台南州内務部教育課	——
53	**台南州教育誌**	柯萬栄（昭和新報記者） 昭和新報台南支局	昭和8年8月
54	**台南州学事一覧**　昭和15年版	台南州内務部教育課	昭和16年1月
	台南市教育要覧　昭和16年度	台南市	昭和17年2月
	高雄州学事一覧　大正14年10月〈附〉社寺概覧	高雄州	——
	高雄州学事一覧　昭和15年度 〈附〉社会教育･社寺宗教一覧	高雄州	——
	高雄市教育要覧　昭和13年度	高雄市	昭和13年12月
	（台東庁）教育要覧　昭和４年度 〈附〉社会事業及社寺、宗教一覧	台東庁	昭和5年1月
	蕃人教育概況　昭和10年度	台湾総督府	——
55	**高砂族の教育**　昭和16年	台湾総督府警務局	昭和17年2月
	高砂族教育教化の概況　昭和15年	台中州警務部	昭和15年
	アミ族教化指導ニ関スル基礎調査　昭和5年調査	花蓮港庁庶務課	昭和5年
	対岸ニ於ケル教育概況	台湾総督府学務部	大正7年
	（秘）対岸籍民学校情況　大正6年11月〈附〉日本人小学校	台湾総督府学務部	大正6年11月
	在福州我文化施設改善論	林久治郎 （在福州総領事）	大正11年1月
	南支那ニ於ケル台湾総督府ノ教育施設概況 （支那事変以前）	台湾総督府文教局 学務課	——
	内地ニ於ケル台湾留学生概況	台湾総督府学務部	大正7年
	本島人内地留学者調　大正10年9月 〈附〉内地留学生ニ対スル将来ノ方針	台湾総督府内務局	大正10年9月
	台湾学生東京在学者数一覧　昭和14年度	台湾総督府 東京学生事務所	昭和14年
	高砂寮問題　台湾･南支･南洋パンフレット81	宮川次郎	昭和3年4月

◆第50巻～第55巻　**分冊本体価150,000円**　ISBN 978-4-8447-0135-4

第８集(1)　学校要覧類（上）　全12巻

巻号	資　料　名	刊　行　者	刊行年月
56	**（士林公学校）開校40周年記念誌**	台北州七星郡士林同窓会	昭和12年3月
	台北市太平公学校創立35周年記念誌	台北市太平公学校	昭和8年3月
	（台北市大橋公学校）創立10周年記念誌	台北市大橋公学校	昭和11年3月
57	**（台北市松山公学校）開校40周年記念誌**	台北市松山公学校	昭和14年4月
	（台北市龍山公学校）創立満15周年記念誌	台北市龍山公学校	昭和10年11月
	（基隆宝公学校）本校概覧　昭和10年度	基隆市宝公学校	昭和10年
	淡水公学校創立30周年季記念誌	淡水公学校同窓会	大正15年11月
	（和尚州公学校）創立40周年記念誌	和尚州公学校	昭和15年6月
	（竹南公学校創立40周年）記念会誌	竹南公学校創立四十周年 記念事業委員会	昭和14年9月

58	宜蘭公学校沿革概況 （宜蘭公学校）学校要覧　昭和9年度	宜蘭公学校	大正4年？
	台北州宜蘭公学校創立40周年記念誌	台北州宜蘭公学校	昭和14年10月
	（宜蘭市旭国民学校）学校要覧　民国35年3月	宜蘭市旭国民学校	民国35年3月
	（宜蘭女子公学校）創立20周年記念誌	宜蘭女子公学校	昭和14年3月
	（大竹公学校）創立20週年記念誌	松村逸雄	昭和13年6月
	（彰化女子公学校）創立20周年記念誌	彰化女子公学校	昭和12年2月
59	（白川公学校）開校20周年記念誌	白川公学校開校二十周年紀念祝賀会	昭和13年7月
	（新営東国民学校）学校概覧　昭和17年度	新営東国民学校	昭和17年7月
	（台南女子公学校）学報　創刊号	台南女子公学校	昭和2年3月
	鳳山公学校現今ノ情況概要 〈付〉鳳山公学校沿革概略 明治32年9月調	手書き文書	明治32年
	大湖公学校創立40周年祝賀記念誌	高雄州岡山郡大湖公学校	昭和16年4月
	（宜蘭尋常高等小学校）創立40周年紀念誌	古荘廣幸	昭和16年3月
	（花園小学校）創立40周年記念誌	花園小学校	昭和13年
60	台湾総督府台北中学校一覧　大正4年4月調	台湾総督府台北中学校	大正4年5月
	台北州立第二中学校一覧　昭和12年4月末調	台北州立第二中学校	昭和12年4月
	台北州立基隆中学校一覧表　（昭和5年8月1日現在）	台北州立基隆中学校	昭和5年9月
	台湾公立台中中学校要覧　（大正6年10月末日調） 〈付〉台湾公立台中中学校一覧表	台湾公立台中中学校	大正6年
	台湾公立台中高等普通学校規則	公立台中高等普通学校	大正10年4月
	台中州立台中第一中学校要覧	台中州立台中第一中学校	昭和4年7月
	台中州立台中第一中学校一覧　昭和17年度版	台中州立第一中学校	昭和17年
	台中州立台中第二中学校要覧　昭和15年度	台中州立台中第二中学校	——
61	台南州立嘉義中学校一覧表　昭和13年4月30日現在	台南州立嘉義中学校	——
	（嘉義中学校）校友会雑誌 （創立10周年記念号）	嘉義中学校校友会	昭和9年10月
62	台南州立台南第一中学校要覧　昭和14年度	台南州立台南第一中学校	昭和14年
	台南州立台南第二中学校一覧表　昭和13年4月末調	台南州立台南第二中学校	——
	高雄州立屏東中学校一覧表　昭和16年7月1日現在	升友 保	昭和16年7月
	私立台北中学校一覧　昭和14年4月	私立台北中学校	昭和14年4月
	（私立淡水中学校・高等女学校）学則及諸規程	私立淡水中学校・高等女学校	昭和14年11月
	私立台南長老教中学校校友会会報　第1号	私立台南長老教中学校校友会	昭和6年8月
	（台南長老教中学学友会）輔仁　第13号	私立台南長老教中学	昭和12年3月
63	台北州立台北第一高等女学校一覧　昭和9年度	————	——
	（台北第一高等女学校）創立25周年記念	台北第一高等女学校校友会・同窓会	昭和4年
	（台南第一高等女学校）校友会雑誌 第７号（創立10周年記念）	台南第一高等女学校 馬場栄吉	昭和2年12月
64・65	（台北第三高等女学校）創立満30年記念誌	台北第三高等女学校同窓会・学友会	昭和8年10月
	花蓮港高等女学校一覧　昭和9年4月30日現在	花蓮港高等女学校	昭和9年
	台南州立嘉義高等女学校一覧表　昭和13年度	台南州立嘉義高等女学校	——
	台南州立虎尾高等女学校一覧　昭和15年度	台南州立虎尾高等女学校	——
	高雄州立屏東高等女学校一覧　昭和13年6月現在	高雄州立屏東高等女学校	——

66	台北州立台北商業学校一覧　昭和15年8月調	――――	昭和15年8月
	台北州立台北第二商業学校一覧　昭和13年度	――――	昭和13年
	台中州立台中商業学校要覧（創立20周年）	台中商業学校	昭和14年10月
	財団法人私立台湾商工学校一覧	――――	――
	台北州立台北工業学校一覧　大正15年10月調	台北州立台北工業学校	大正15年11月
	台中州立台中工業学校一覧表　昭和14年6月1日現在	――――	――
	台湾総督府農事講習生一覧	台湾総督府農事試験場	大正4年3月
	台北州立宜蘭農林学校一覧表　昭和9年4月	台北州立宜蘭農林学校編	――
	台南州立嘉義農林学校一覧表（昭和13年4月末日現在）	――――	――
	高雄州屏東農業学校一覧表（昭和13年4月末日現在）	――――	昭和13年
	台湾総督府水産講習所案内	台湾総督府水産講習所	昭和14年
67	台北州立台北盲唖学校一覧　昭和8年3月現在	台北州立台北盲唖学校	昭和8年
	台南州立台南盲唖学校一覧	台南盲唖学校	昭和5年
	（台湾総督府）成徳学院要覧	成徳学院	昭和10年
	在支那福州東瀛学校概要　大正6年5月	――――	――
	福州東瀛学校規則	福州東瀛学校	大正6年
	東瀛学校調査	福州東瀛学校	昭和2年
	厦門旭瀛書院要覧	厦門旭瀛書院	大正7年
	（厦門）旭瀛書院　昭和2年4月10日調	旭瀛書院	昭和2年
	支那事変と旭瀛書院	厦門旭瀛書院	昭和15年
	汕頭東瀛学校概況	汕頭東瀛学校	昭和5年
	汕頭日本小学校及東瀛学校ニ関スル件	汕頭日本居留民会長 貴志政亮	昭和4年

◆第56巻～第67巻　**分冊本体価300,000円**　ISBN 978-4-8447-0136-1

第8集(2)　学校要覧類（下）　全10巻

巻号	資　料　名	刊　行　者	刊行年月
68	台湾総督府国語学校一覧　明治39年3月	台湾総督府国語学校	明治39年6月
	台湾総督府国語学校一覧　自大正6年至大正7年	台湾総督府国語学校	大正6年
	（国語学校）生徒募集	台湾総督府国語学校	明治39年7月
	台湾総督府国語学校第三附属学校規程	――――	――
	台湾総督府国語学校第四附属学校規程　明治30年6月制定（明治31年3月4日改正）	――――	――
	町田則文先生伝（部分）	町田則文先生謝恩事業会	昭和9年
69･70	台湾総督府台北師範学校一覧　大正9年	台湾総督府師範学校	大正9年
	台北師範学校創立三十周年　記念誌	台北師範学校 創立三十周年記念祝賀会	大正15年
71	台湾総督府台北第二師範学校一覧　昭和3年	台湾総督府 台北第二師範学校	昭和3年
	（台北第二師範学校）創立10周年　昭和12年10月	台湾総督府 台北第二師範学校	昭和12年
	芳蘭　第11号　10周年記念号	台北第二師範学校校友会	昭和13年
72	（台湾総督府台中師範学校）創立10周年紀念誌	台湾総督府台中師範学校	昭和8年

72	台湾総督府台中師範学校一覧　昭和13年10月1日調	――――	昭和13年
	台湾総督府台中師範学校要覧　昭和17年10月	――――	――
	（台南師範学校）創立10周年記念誌	台南師範学校	昭和3年
	台湾総督府台南師範学校一覧（昭和13年10月１日現在）	台南師範学校	――
	台南師範学校附属公学校内規	台南師範学校附属公学校	昭和4年7月
	台湾総督府屏東師範学校一覧表　（昭和15年度）	――――	昭和15年
73	台湾総督府台北高等学校一覧（自昭和3年至昭和４年）	台湾総督府台北高等学校	昭和4年
	台湾総督府台北高等学校一覧　昭和19年度	台北高等学校	――
	台北高等学校生徒便覧	台北高等学校	昭和12年
74	台湾総督府医学校一覧　明治38年9月	――――	――
	台湾総督府台北医学専門学校一覧　（昭和2年）	台湾総督府台北医学専門学校	昭和2年
	台湾総督府商業専門学校一覧　大正8年9月調	――――	――
	台湾総督府高等商業学校一覧（大正12年2月現在）	台湾総督府高等商業学校	大正12年
	台北高等商業学校一覧　昭和12年度	台北高等商業学校	昭和12年
75	台湾総督府台南高等工業学校一覧　昭和15年度	台湾総督府台南高等工業学校	昭和15年
	台湾総督府高等農林学校（自大正11年至大正12年）	台湾総督府高等農林学校	大正11年
	台北帝国大学附属農林専門部一覧（自昭和13年至昭和14年）	台北帝国大学附属農林専門部	昭和13年
76	台北帝国大学一覧　昭和3年	台北帝国大学	昭和3年
	開学記念　台北帝国大学概況	台北帝国大学	昭和11年5月
	台北帝国大学一覧　昭和12年	台北帝国大学	昭和12年
77	台北帝国大学一覧　昭和18年	台北帝国大学	昭和19年
	台北帝国大学学生生徒生活調査　昭和13年11月調査	台北帝国大学学生課	昭和14年

◆第68巻～第77巻　**分冊本体価250,000円**　ISBN 978-4-8447-0137-8

第９集　学事統計　全９巻

巻号	資　料　名	刊　行　者	刊行年月
78	台湾学事統計一覧　大正10年度	台湾総督府	大正10年6月
	台湾学事統計一覧　大正13年	台湾総督府内務部学務課	大正13年9月
	台湾学事一覧　昭和2年	台湾総督府文教局	――
	台湾学事一覧　昭和5年版	台湾総督府文教局	――
	台湾学事一覧　昭和7年度版	台湾総督府	――
	台湾教育ノ現況諸表（昭和7年4月末現在）	台湾総督府	昭和8年
	台湾学事一覧　昭和10年度版	台湾総督府文教局	――
	台湾学事一覧　昭和12年度版	台湾総督府文教局	――
	台湾学事一覧　昭和14年度版	台湾総督府文教局	――
	（台湾ノ教育状況）　昭和15年	台湾総督府文教局	昭和16年
	台湾学事一覧　昭和16年度	台湾総督府文教局	昭和17年3月
	台湾総督府学事第１年報　（明治35年度）	台湾総督府 民政部総務局学務課	明治37年8月
79	台湾総督府学事第３年報　（明治37年度）	台湾総督府 民政部総務局学務課	明治39年3月
	台湾総督府学事第７年報　（明治41年度）	台湾総督府 民政部総務局学務課	明治44年5月

80	Sixth Annual Report on Education in Formosa, 1907	Section of Educational Affairs, Taiwan Sotokufu	1909年
	台湾総督府学事第11年報　（明治45年・大正元年度）	台湾総督府民政部学務部	大正4年11月
81	台湾総督府学事第14年報　（大正４年度）	台湾総督府民政部学務部	大正6年7月
82	台湾総督府学事第18年報　（大正８年度）	台湾総督府内務局学務課	大正10年7月
	台湾総督府学事第21年報　（大正11年度）	台湾総督府内務局学務課	大正14年3月
83	台湾総督府学事第24年報　（大正14年度）	台湾総督府文教局	昭和2年10月
84	台湾総督府学事第30年報　（昭和６年度）	台湾総督府文教局	昭和8年9月
85	台湾総督府学事第33年報　（昭和９年度）	台湾総督府文教局	昭和11年3月
86	台湾総督府学事第36年報　（昭和12年度）	台湾総督府文教局	昭和15年3月
	台湾省五十一年来統計提要　（部分）	台湾省行政長官公署	中華民国35年(1946)12月

◆第78巻～第86巻　　分冊本体価225,000円　ISBN 978-4-8447-0138-5

第10集　社会教育関係資料　全８巻

巻号	資　料　名	刊　行　者	刊行年月
87	台湾社会教育概要　昭和7年3月	台湾総督府文教局社会課	昭和8年
	台湾社会教育概要　昭和12年2月	台湾総督府	昭和17年
	台湾の社会教育　昭和16年度	台湾総督府	昭和12年
88	台湾の社会教育	中越栄二	昭和11年
	台北市社会教育概況　昭和14年度	台北市役所	昭和15年
89	台中州社会教育概況　昭和7年12月	台中州教育課	昭和8年
	台中州社会教育要覧　昭和15年	台中州	昭和16年
90	台南州社会教育要覧　昭和5年2月	台南州芸学会	——
	（台南州）社会教育要覧　昭和12年度	台南州	昭和12年
91	（高雄州）社会教育概要　昭和13年	高雄州	昭和14年
92	風俗改良及国語普及ニ関スル最近ノ施設及成績	台湾総督府学務部	大正7年
	（台南州新営郡）国語講習所に於ける教授訓練の研究	新営郡共栄支会	昭和10年
	総督府台北州指定都市教化研究発表要項　台北市・基隆市	台湾総督府社会課	昭和15年
	優良男女青年団実績概況　昭和12年1月	台湾総督府文教局社会課	昭和11年
93	台湾保甲皇民化読本	台湾警察協会	昭和16年
94	台湾総督府図書館一覧表　大正8年7月31日調	台湾総督府図書館	大正８年
	台湾総督府図書館一覧（自昭和3年4月1日至昭和4年3月31日）	台湾総督府図書館	昭和４年
	台湾総督府図書館概覧（昭和12年度）〈付〉島内図書館表	台湾総督府図書館	昭和13年
	基隆市立基隆図書館要覧　昭和11年1月	基隆市立基隆図書館	昭和11年
	新竹州立新竹図書館一覧（自昭和4年4月1日至昭和5年3月31日）	新竹州立新竹図書館	昭和５年
	台中州立図書館一覧　昭和4年9月編	台中州立図書館	昭和４年
	台南市立台南図書館一覧　大正13年	台南市立台南図書館	——
	台南市立台南図書館一覧	台南市立台南図書館	昭和12年
	石坂文庫第一年報	石坂文庫	明治43年

94	**基隆石坂文庫第十年報** （自大正7年10月1日至大正8年9月30日） **台湾総督府博物館案内**　（第三版）	石坂文庫 台湾総督府博物館協会	大正８年 昭和12年

◆第87巻～第94巻　**分冊本体価200,000円**　ISBN 978-4-8447-0139-2

別集〔1〕「台湾教育関係公文書」　全12巻

巻号	資　料　名	刊　行　者	刊行年
	第１部　「台湾教育令」関係文書		
95	**〔1〕台湾教育令（大正8年1月4日公布）** 閣議決定関係・枢密院審議関係・勅令	公文類聚・枢密院会議文書・御署名原本	大正7年
96	**〔2〕改正台湾教育令（大正11年2月6日公布）** 閣議決定関係・枢密院審議関係・勅令	公文類聚・枢密院会議文書・御署名原本	大正11年
97・98	**〔3〕（昭和８年）台湾教育令中改正**（昭和8年3月11日公布）（師範学校の修業年限延長） 閣議決定関係・枢密院審議関係・勅令 **〔4〕（昭和10年）台湾教育令中改正**（昭和10年4月1日公布）（実業補習学校の存置） 閣議決定関係・枢密院審議関係	公文類聚・枢密院会議文書・御署名原本・その他 公文類聚・拓務省・枢密院会議文書	昭和8年 昭和10年
99	**〔5〕（昭和16年）台湾教育令中改正**（昭和16年3月26日公布）（国民学校令の適用） 閣議決定関係・枢密院審議関係・勅令	公文類聚・枢密院会議文書・拓務省・御署名原本	昭和16年
100	**〔6〕（昭和18年）台湾教育令中改正**（昭和18年3月9日公布）（中等学校令・師範教育令の適用） 閣議決定関係・枢密院審議関係・勅令 **〔補編〕台湾教育令沿革調書**	公文類聚・枢密院会議文書・御署名原本・その他 〃	昭和3年 昭和6年
	第２部　台北帝国大学関係文書		
101	**〔1〕台北帝国大学の創設（文政・理農学部の開設）** 閣議決定関係・枢密院審議関係・勅令 **（付）学位授与に関する件**	公文類聚・枢密院会議文書・台湾総督府・御署名原本 〃	昭和3年 昭和6年
102	**〔2〕台北帝国大学の整備（医学部の開設）** 閣議決定関係・枢密院審議関係・勅令 **（付）台北帝国大学初代総長幣原坦の件**	公文類聚・拓務省・御署名原本・公文別録 〃	昭和9年～12年 昭和12年・17年
103	**〔3〕台北帝国大学の拡充** −①大学予科の新設 −②工学部の開設 −③理農学部の分離拡充 −④付置研究所の設置 (1)熱帯医学研究所 (2)南方人文研究所 (3)南方資源科学研究所	公文類聚・御署名原本 〃 〃 〃	昭和16年 昭和16年・18年 昭和18年 昭和14年 昭和18年 昭和18年
	第３部　戦時期台湾の教育政策関係文書		

104	〔1〕義務教育制度の施行	拓務省･内務省	昭和17年～19年
	〔2〕志願兵制･徴兵制の施行と青年錬成（上）		
	-①陸軍兵志願者訓練所及び海軍兵志願者訓練所の設置	公文類聚･御署名原本	昭和17年～18年
	-②青年学校の拡充整備	公文類聚･内務省･拓務省･御署名原本	昭和18年
105	〔2〕志願兵制･徴兵制の施行と青年錬成（下）		
	-③青年特別錬成所の設置	公文類聚･御署名原本	昭和19年～20年
	-④補充資料 青年錬成関係法規集 昭和19年10月15日現在	台湾総督府	
106	〔3〕戦時下の教育非常措置		
	-①大学学部等の在学年限･修業年限の臨時短縮	枢密院会議文書･外務省記録･御署名原本･その他	
	-②台湾における教育に関する戦時非常措置	拓務省	昭和16年～20年
	-③台湾に対する「戦時教育令」の適用	枢密院会議文書･御署名原本･その他	

◆第95巻～第106巻　**分冊本体価360,000円**　ISBN 978-4-8447-0140-8

別集〔2〕「隈本繁吉文書（台湾篇）」　全13巻

巻号	資　料　名	刊　行　者	刊行年
	第Ⅰ部　教育行政全般		
107	1．(秘)台湾ニ於ケル教育ニ関スル卑見ノ一二並ニ疑問	隈本繁吉	明治44年3月
	2．(秘)処務上急要ト認ムル件	〃	明治44年5月
	3．教育行政概要覚書	持地六三郎	明治44年
	4．広島ニ於ル樺山総督ニ上申セシ教育方針	伊沢修二	明治28年5月
	5．明治36年学事会議席上ニ於ケル後藤民政長官ノ演述	後藤新平	明治36年
	6．(秘)書房義塾教科書ノ内容ニ関スル件 ―明治44年渡台当初内査―	隈本繁吉	明治44年春
	7．書房及ヒ在来ノ通俗教育ニ就イテ	〃	明治44年
	8．学務材料	〃	大正2年11月？
108	9．(秘)台湾人教育ノ根本方針及施設ニ就テ	隈本繁吉	大正4年9月
	10．(秘)学務部将来ノ施設	〃	大正4年6月？
	11．(秘)学務部ノ組織及定員改正ニ関スル卑見	〃	大正6年8月
	12．台湾之教育	〃	大正5年？
	13．台湾教育ノ概況	〃	大正6年4月
109	14．対人政策	松村鶴吉郎	大正5年？

◆第107巻～第109巻　計3巻　**分冊本体価90,000円**　ISBN 978-4-8447-0142-2

	第Ⅱ部　学務部日誌		
110	1．(秘)明治45年 部務ニ関スル日誌	隈本繁吉	明治45年1月～大正2年4月
	2．(秘)大正2年5月以降 日誌	〃	大正2年5月～3年1月
111	3．(秘)大正3年 日誌	隈本繁吉	大正3年1月～10月
	4．(秘)大正3年11月起 日誌	〃	大正3年11月～5年12月
112	5．(秘)大正6年1月 日誌	隈本繁吉	大正6年1月～7年1月
	6．(秘)大正元年10月 直轄学校ニ関スル件	〃	大正元年10月～3年5月

◆第110巻～第112巻　計3巻　**分冊本体価90,000円**　ISBN 978-4-8447-0146-0

	第Ⅲ部　台湾公立中学校設置問題		
113	1．台湾公立中学校設置問題	隈本繁吉	大正6年？
	2．(秘)本島人内地人共学問題・本島人中等教育問題各打合員意見　(1月28日以降)	〃	大正2年
114	3．(極秘)本島人紳士学務部長訪問談話要領	隈本繁吉	大正2年4月
	4．(秘)対本島人紳士学務部長訪問談話要領	陪席者 吉田治彦	大正2年4月
	5．(秘)対本島人中等教育問題	隈本繁吉	大正2年5月
	6．(秘)学務部長本島人紳士会談要領	〃	大正2年5月
	7．(秘)5月31日午後3時 学務部長紫雲輪番会談要領	隈本繁吉	大正2年5月
	8．本願寺関係中学書類	本願寺派台北別院輪番 紫雲玄範	大正2年
	9．田川辰一より隈本繁吉宛書信	田川辰一	大正11年2月
	10．補充資料(1)　台湾公立中学校関係公文書	――――	大正4年
	11．補充資料(2)　(秘)台湾公立中学校創設ニ関スル上申	台湾総督府官房文書課長 鈴木三郎	大正3年6日
	12．補充資料(3)　台中第一中学校創立及紀念碑建設経過報告書	創立委員林烈堂外5名	昭和8年6月
	第Ⅳ部「台湾教育令」制定関係		
115	1．台湾教育令制定由来（前篇・後篇）	隈本繁吉	大正11年1月
	2．勅令案　台湾教育令（第一桉／内務省提出桉／修正）	〃	大正5年
	3．台湾人教育制度改正案系統表	〃	――
	4．(秘)台湾教育令（勅令案）	――――	――
	5．内地及台湾学制系統調　臨時教育調査委員会資料(1)	――――	大正4年4月
	6．教育令修正案ニ対スル意見	隈本繁吉	――
	7．皇大正五年六月二日 内務省ト交渉概要	〃	大正5年6月
	8．次田拓殖課長意見抄及之ニ対スル批評	〃	大正5年6月

116	9．(秘)勅令案　台湾教育令	――――	――
	10．勅令案　台湾教育令説明	――――	――
	11．教育令ニ関スル調	藤井内務属	大正6年4月
	12．諸外国殖民地教育学制大要 〈付〉比律賓学校制度大要	隈本繁吉	――
	13．(諸外国殖民地教育調査要項)	〃	――
	14．印度統治に就て（視察復命書第一）	大野恭平	――
	15．台湾新聞掲載 印度人教育ノ弊	ロンドンタイムズ外報部長 チロール	――
	16．極東に於ける英国の事業（香港大学）	香港デーリプレス（抄訳）	大正6年1月
	17．印度支那殖民政策	――――	大正2年2月
	18．台湾教育令ノ反響	台湾総督府内務局学務課	大正8年3月

◆第113巻～第116巻　計4巻　　**分冊本体価120,000円**　ISBN 978-4-8447-0150-7

第Ⅴ部　対岸教育問題

117	1．(秘)対岸教育解決方ニ就テ	隈本繁吉	大正元年9月
	2．対岸視察報告書	〃	大正2年？
	3．対岸視察事項摘要 （大正元年12月乃至同2年1月6日）	〃	大正4年2月
	4．民国教育施設概観	――――	民国5年?
	5．福州東文学社	――――	明治31年?
	6．(小竹徳吉氏記念胸像揮毫ノ由来)	隈本繁吉	大正8年11月
	7．(秘)在支那福州 福州東瀛学校排斥事情	――――	大正6年5月
	8．(秘)南支那ニ於ケル活動ヲ主要ノ目的トスル支那人並内地人台湾人ノ教育機関ニ就テ	隈本繁吉	大正5年12月
	9．台華実業学校設立意見 〈付〉中山秀之より隈本学務部長宛添状（大正5年10月25日付）	中山秀之	大正5年8月
	10．対岸視察録	善隣協会理事 高田雄種	大正8年4月
	11．南洋発展唱歌 〈付〉宇井英より隈本学務部長宛添状	宇井 英	大正4年8月
	12．南洋発展の歌	根津金吾	大正4年
	13．三屋静より隈本学務部長宛書信	三屋 静	大正4年9月？

第Ⅵ部　教育勅語関係

118	1．勅語宣講会施行上ニ関シ在京民政長官ニ内報案	高田民政長官代理より 内田民政長官宛	明治45年1月
	2．勅語宣講会ニ関シ在京民政長官ニ内報案 〈付〉1月24日付高田長官代理意見	亀山警視総長より 内田民政長官宛	明治45年1月
	3．勅語宣講会設立ニ関スル建白 〈付〉隈本メモ（石部名刺）	石部 定	明治44年12月
	4．勅語宣講会設立稟請（漢文） 〈付〉同訳文	黄玉階ほか一三名より 佐久間総督宛	明治44年12月
	5．宣講ノ起源沿革及実行状況ノ一斑	石部 定	明治44年12月
	6．(黄玉階外十三名に関する人物評)	東京朝日新聞記者 隈 渓生	明治44年12月
	7．勅語謄本ニ関スル件	隈本繁吉	明治45年？

118	8．(秘)帝国新領土ノ民衆ニ下賜セラルヽ場合ニ於ケル教育勅語内容事項私桉	――――	明治45年？
	9．(極秘)敬擬教育勅諭草桉（漢文）	――――	明治45年？
	10．(極秘)敬擬教育勅諭草桉（日文）	――――	明治45年？
	11．教育勅旨草案ニ擬ス（日文）	――――	明治45年？
	12．敬擬教育勅諭草案（日文）	――――	明治45年？
	13．敬擬教育勅諭草案（漢文）	――――	明治45年？
	14．(秘)本島教育ニ関スル御沙汰書御下賜方内申ノ件	隈本繁吉	大正元年8月
	15．内申(書)	――――	大正元年8月
	16．(教育ニ関スル）内申	――――	大正元年8月
	17．内申	――――	大正元年8月
	18．(内申ニ関スル鄙見）	学務部嘱託館 森 万平	大正元年8月
	19．伊藤賢道より隈本学務部長宛書信	伊藤賢道	大正5年3月
	第Ⅶ部　欧米教育視察		
118	1．欧米視察談(1)～(5)	隈本繁吉	大正8年7月～11月
	2．(ハワイの教育事情）	〃	大正7年1月
	2-(付)．「サイベリア」丸船中並布ニ於ケル見聞及雑感ノ一二	〃	大正7年1月
	3．(カリフォルニア州沿岸に於ける社会･教育状況）	〃	大正7年1月～2月
	4．(ニューヨーク滞在期間中の各地見聞メモ）	〃	大正7年3月～6月
	4-(付)．下村民政長官宛報告	隈本繁吉	大正7年5月
	5．再ヒ大西洋ヲ渡ル	〃	大正7年11月～12月
	6．(フィラデルフィアの教育事情）	〃	大正8年1月
	7．(カナダ･トロントの社会･教育状況）	〃	大正8年1月
	8．(シアトルの社会･教育状況）	〃	大正8年1月～2月
	9．(バンクーバーの教育事情）	〃	大正8年2月
119	10．見聞概要	隈本繁吉	大正7年5月
	11．戦時ノ北米合衆国（国家ヲ中心トセルコト）	〃	大正7年5月
	11-(付)．北米合衆国官報（抄訳）	――――	1919年3月
	12．米国ニ於ケルデモクラシィ	隈本繁吉	大正7年5月～6月
	13．米国教育週間に関する大統領クーリッヂ氏の布告大要	――――	――
	14．北米合衆国ニ於ケル戦争及経済動員ノ戦後ニ及ボス影響	隈本繁吉	大正7年5月
	14-(付)．(北米合衆国史概観）	〃	大正7年5月
	15．U.S力今回ノ大戦ニ依リ得タル無形ノ利益ト教育上ニ及ボセル影響 〈付〉．League of Nations	〃	大正7年5月
	16．Further Plans for Study of Americanization	〃	大正7年5月
	17．英国教育	〃	大正7年10月

119	17-(付)．I.L.カンデル『英国の教育』の要旨及び目次	〃	大正7年10月
	18．大なる日本と同化問題	〃	大正9年1月
	19．世界ニ於ケル帝国	〃	大正8年
	20．Notes on Japan as the Centre of Discussion	〃	大正8年
◆第117巻～第119巻　計3巻		分冊本体価90,000円　ISBN 978-4-8447-0155-2	

阿部 洋 編　　別売可

『日本植民地教育政策史料集成(台湾篇)』
総目録・解題・索引　　全２巻

ISBN 978-4-8447-0159-0
A5判・884頁　　本体価40,000円

日本植民地教育政策史料集成（台湾篇）全12集の収録資料について利用者の便を図るべく、「総目録」「解題」「書名索引」をまとめたもの。
（'20・2刊）

渡部 学、阿部 洋 共編

編集復刻版

日本植民地教育政策史料集成（朝鮮篇）

全８集・別１集　全69巻・総74冊　A5判・総19,300頁　揃本体価1,550,000円

従来我国の教育問題を論議するに当って、朝鮮・台湾などいわゆる「外地」、すなわち植民地の教育がなおざりにされて来た。しかも今日迄この分野の資料は極めて断片的にしか見ることができず、且つ如何なる文献が存在するのかも、あまり知られていなかった。本史料集成は、そのための史料的手がかりを提供するものであり我国では入手困難な史料を多く収集したが、特に朝鮮総督府教育要覧、教科書編纂趣意書、諸学校一覧や隈本繁吉文書中の旧韓末教育史料等は貴重なものである。（'87・２刊）

残僅少

第１集　教育要覧類　全４巻

巻号	資料名	刊行者	刊行年
1	**朝鮮教育要覧**　大正４年度	朝鮮総督府学務局	大正４年
	〃　大正８年度	朝鮮総督府	大正８年
2	Manual of Education in Chosen	Government General of Chosen	大正９年
3	**朝鮮教育要覧**　大正15年度	朝鮮総督府学務局	大正15年
	〃　昭和４年度	〃	昭和５年
	朝鮮の教育　大正12年度	〃	大正13年
	〃　昭和３年度	〃	昭和４年
	〃　昭和７年度	〃	昭和８年
4	**朝鮮における教育革新の全貌**	朝鮮総督府学務局	昭和13年
	朝鮮の教育　昭和13年度	〃	昭和14年
	朝鮮教育の概観 〈付〉・歴代総督の教育方針とその実施（『施政二十五年史』・『施政三十年史』所収教育関係事項）	朝鮮総督府	昭和14年

◆第１巻～第４巻　分冊本体価80,000円　ISBN 978-4-8447-5516-6

第２集　学事例規類　全５巻

巻号	資料名	刊行者	刊行年
5	**朝鮮学事例規**　昭和７年度	朝鮮総督府学務局	昭和７年
6	**朝鮮学事例規**　昭和13年度（上）	朝鮮総督府学務局	昭和13年
7	**朝鮮学事例規**　昭和13年度（中）	朝鮮総督府学務局	昭和13年
8	**朝鮮学事例規**　昭和13年度（下）	朝鮮総督府学務局	昭和13年
	例規集（学事関係）　昭和14年４月現在	釜山府	昭和14年
9	関東庁・文部省・朝鮮総督府・台湾総督府　**現行学事法規**	関東庁内務局学務課	昭和７年

◆第５巻～第９巻　分冊本体価100,000円　ISBN 978-4-8447-5517-3

第３集　教育施策関係資料　全８巻

巻号	資　料　名	刊　行　者	刊行年月
10	各道長官ニ対スル総督訓示要領	朝鮮総督官房	明治43年
	朝鮮統治三年間成績	朝鮮総督府	大正３年
	朝鮮に於ける新施政	〃	大正12年
	朝鮮に於ける施設の一斑　大正14年版	〃	大正14年
	〃　昭和３年版	〃	昭和３年
	〃　昭和６年版	〃	昭和６年
11･12	朝鮮統治の諸問題	渡辺豊日子	昭和８年
	朝鮮施政に関する諭告・訓示並に演述集 昭和２年４月～12年３月	朝鮮総督府	昭和12年
13･14	諭告・訓示・演述総攬 朝鮮総督官房文書課編纂	朝鮮行政学会	昭和16年
15	諭告・訓示・演述総攬 第２集　朝鮮総督官房文書課編纂	朝鮮行政学会	昭和18年
16	教育ニ関スル勅語ノ奉釈上特ニ注意スヘキ諸点	朝鮮総督府	大正７年
	朝鮮訳・漢訳教育勅語	〃	大正５年
	教育勅語渙発満四十年記念要項	朝鮮総督府学務局	昭和５年
	公立普通学校予算表　大正４年度	朝鮮総督府内務部学務局	大正５年
	騒擾と学校	朝鮮総督府学務局	大正９年
	新施政と教育	〃	大正10年
	朝鮮の統治と基督教	半井 清	大正10年
	公立学校長会諮問事項答申書	慶尚北道	大正９年
	朝鮮学制改正案要領	朝鮮総督府	大正８年
	朝鮮教育令改正案	〃	大正９年
	朝鮮教育制度改正要項	〃	〃
	朝鮮教育令案・朝鮮教育令案参照条文 Revised Educational Regulations for Chosen, Promulgated under date of February 4,1922	Educational bureau of Government General of Chosen	大正15年
	臨時教育調査委員会決議要項	〃	大正10年
	教育制度施行に関する沢柳博士の意見書	〃	〃
17	内地人教育の現状	朝鮮総督府学務局	大正９年
	国語普及の状況	〃	大正10年
	釜山中等教育機関設置ニ関スル陳情書	釜山府学校費評議員及学務委員	大正11年
	江陵高等普通学校設置ニ関スル陳情書	江原道江陵高等学校普通学校期成同盟会	大正12年
	朝鮮総督府ニ於ケル一般国民ノ教育普及振興ニ関スル第一次計画	朝鮮総督府	昭和３年
	朝鮮人学齢児童就学ノ状況　―併合年より昭和９年迄	朝鮮総督府学務局	昭和９年
	書堂改善ニ関スル具体的意見	〃	昭和８年
	学校教練実施決定案	――――	昭和４年
	朝鮮教育令改正関係書類（枢密院審査関係書類）	――――	〃

17	朝鮮教育令改正参考資料	――――	昭和４年
	朝鮮に於ける同盟休校の考察	朝鮮総督府警務局	〃
	光州学生事件以後ニ於ケル学生運動取締方針	〃	昭和５年
	学生事件裏面系統図	〃	〃
	在満朝鮮人と教育問題	桑畑　忍	昭和４年
	国民精神総動員指導者必携　改訂版	国民精神総動員 全羅南道聯盟	昭和15年

◆第10巻～第17巻　**分冊本体価160,000円**　ISBN 978-4-8447-5518-0

第４集　教育書編纂関係資料　全７巻（総９冊）

巻号	資　料　名	刊　行　者	刊行年
18	旧学部編纂普通学校用教科書並ニ旧学部検定及認可ノ教科用図書ニ関スル教授上ノ注意並ニ字句訂正表	朝鮮総督府内務部学務局	明治43年
	教科用図書一覧　改訂第６版	朝鮮総督府	明治45年
	〃　改訂第９版	〃	大正４年
	朝鮮総督府編纂教科書概要	〃	大正６年
	現行教科書編纂の方針	朝鮮総督府学務局	大正10年
	普通学校教科書編纂趣意書　第１編	朝鮮総督府	大正５年
	普通学校用仮名遣法	〃	大正２年
	普通学校用送仮名法	〃	〃
	国語の発音及語法に関する調査	官立漢城外国語学校 金沢庄三郎	明治44年
	国語教授上参考すべき事項	朝鮮総督府内務部学務局	明治45年
	国語教授法	鹿子生儀三郎 朝鮮総督府	大正元年
19（上）	朝鮮総督府編纂教科用図書概要	朝鮮総督府	大正14年
	普通学校修身書編纂趣意書 ・普通学校朝鮮語読本編纂ノ要旨	〃	大正13年
	既認可教科用図書一覧　大正14年４月～昭和２年７月	朝鮮総督府学務局	昭和２年
	本府編纂教科用図書一覧　昭和12年７月現在	朝鮮総督府	
	普通学校修身書　巻一・巻二　編纂趣意書	〃	昭和５年
	普通学校国語読本　巻二　編纂趣意書	〃	〃
	普通学校朝鮮語読本　巻一　編纂趣意書	〃	〃
	〃　巻二　編纂趣意書	〃	昭和６年
	普通学校国語読本　巻五・普通学校朝鮮語読本　巻三・普通学校国史　巻一・初等地理書　巻一・初等理科書　巻二　編纂趣意書	朝鮮総督府	昭和７年
19（中）	普通学校国語読本　巻六・普通学校国語読本　巻七・普通学校朝鮮語読本　巻四・普通学校国史　巻二・初等地理書　巻二・初等理科書　巻三　編纂趣意書	朝鮮総督府	昭和８年
	普通学校国語読本（四年制）巻五・普通学校朝鮮語読本（四年制）巻三　編纂趣意書	〃	〃

19（中）	認可教科用図書一覧　昭和６年10月～昭和７年９月	朝鮮総督府学務局	昭和７年
	〃　昭和７年10月～昭和８年９月	〃	昭和８年
	各科教育の動向	西川末吉	昭和10年
19（下）	修身訓練の諸問題と其の実際	京城師範学校醇和会	昭和４年
	各科教授要綱	京城第一公立高等普通学校	昭和10年
	各科教授ノ方針並学習指導綱領	清州公立高等普通学校	昭和12年
20	本府発行教科用図書一覧　昭和14年５月現在	朝鮮総督府	昭和14年
	教科書編輯彙報　第１集	〃	昭和13年
	〃　第２集	〃	〃
	朝鮮総督府編纂国語読本教材要旨　自巻１～至巻８	京城女子師範学校国漢研究部	〃
21	教科書編輯彙報　第３集	朝鮮総督府	昭和14年
	〃　第４集	〃	〃
	初等朝鮮語読本　全（簡易学校用）編纂趣意書	〃	〃
22	教科書編輯彙報　第５集	朝鮮総督府	昭和15年
	〃　第６集	〃	〃
	〃　第７集	〃	〃
	初等国史編纂趣意書　第５学年	〃	〃
23	教科書編輯彙報　第８集国民学校特輯	朝鮮総督府	昭和16年
	〃　第９集国民学校特輯	〃	〃
	〃　第10集国民学校特輯	〃	〃
	〃　第11集国民学校特輯	〃	昭和17年
24	中学校教科教授及修練指導要目	朝鮮総督府学務局	昭和18年
	師範学校教科教授及修練指導要目	〃	昭和19年

◆第18巻～第24巻　　分冊本体価180,000円　ISBN 978-4-8447-5519-7

第５集　朝鮮教育関係著書　全10巻

巻号	資　料　名	刊　行　者	刊行年
25	朝鮮教育論	幣原 坦	大正８年
26	朝鮮の教育　（付）外人学校長処分ニ関スル顛末書	弓削幸太郎	大正12年
	朝鮮の教育制度略史	高橋 亨	大正９年
	朝鮮教育ノ沿革	朝鮮総督府学務局	大正10年
	朝鮮教育制度史	小田省吾	大正13年
27	朝鮮教育史考	高橋濱吉	昭和２年
28	朝鮮教育問題管見	大野謙一	昭和11年
	朝鮮教育の側面観	渡辺豊日子	昭和９年
	朝鮮教育の断片	高尾甚造	昭和11年
	帝国主義治下における朝鮮の教育状態	李 北満	昭和６年
29	体験五年 安山の卒業生指導	林 虎蔵	昭和７年
	卒業生指導施設ノ実際　昭和６年調	慶尚南道	昭和６年
	卒業生指導 更生をめざして	〃	昭和８年

30	朝鮮と簡易学校	池田林儀	昭和10年
	簡易学校経営指針	朝鮮総督府学務局	昭和９年
	簡易学校状況調	〃	〃
31	教育学教科書	朝鮮総督府	大正元年
	朝鮮学校管理法	高橋濱吉	昭和11年
32	学制改革と義務教育の問題	八木信雄	昭和14年
	志願兵制度の現状と将来への展望	海田 要	〃
	朝鮮教育行政	岡 久雄	昭和15年
	鮮満の興亜教育	伊藤猷典	昭和17年
33	皇国臣民教育の原理と実践	朝鮮初等教育研究会	昭和14年
34	朝鮮国民学校教則の実践	八束周吉	昭和16年

◆第25巻～第34巻　**分冊本体価200,000円**　ISBN 978-4-8447-5520-3

第６集　地方教育誌　全５巻（総６冊）

巻号	資料名	刊行者	刊行年
35	京畿道教育及宗教一班　大正10年度	京畿道学務課	大正10年
	〃　大正13年度	〃	大正13年
	京畿道教育及宗教要覧	〃	昭和３年
	京畿道ノ教育ト宗教　昭和５年度	――――	昭和５年
	〃　昭和11年度	――――	昭和12年
	京畿道の教育と宗教　昭和11年度	――――	〃
36	京畿道 教育と宗教要覧　昭和14年度	――――	昭和14年
	〃　昭和16年度	――――	昭和16年
	京城府学事一覧　大正13年度	――――	大正13年
	〃　昭和２年度	――――	昭和２年
	京城府教育概況　昭和13年度？	京城府	――
	教育及社寺宗教一覧　昭和10年度	忠清北道学務課	昭和11年
37	平安南道の教育と宗教　昭和７年度	平安南道教育会	――
	〃　昭和12年度	〃	昭和13年
	教育及宗教一班　大正12年度	平安北道	――
	黄海道学事及宗教　昭和13年度	黄海道	昭和14年
38	咸鏡南道教育一班　大正15年６月調	咸鏡南道教育会	大正15年
	学事及宗教要覧　昭和６年度	咸鏡北道	昭和６年
	江原道教育要綱	江原道教育会	昭和10年
39（上）	全羅南道教育及宗教一班　大正15年度	――――	大正15年
	〃　昭和２年度	――――	昭和２年
	（全羅南道）学校分布図　昭和２年10月末現在	全羅南道	〃
	教育及宗教一班　昭和６年度	〃	昭和６年
	教育及宗教要覧　昭和６年度	全羅北道	〃
39（下）	慶尚南道学事及社寺宗教一班　大正12年度	――――	大正12年

39（下）	慶尚北道教育及宗教一班　大正11年度	――――	大正11年
	〃　大正12年度	――――	大正12年
	釜山教育五十年史	釜山教育会	昭和２年

◆第35巻～第39巻　分冊本体価120,000円　ISBN 978-4-8447-5521-0

第７集　学校要覧類（含：日本留学・社会教育関係）　全12巻（総14冊）

巻号	資料名	刊行者	刊行年
40~42	朝鮮教育大観	西村緑也	昭和７年
43（上）	京城寿松公立普通学校一覧表	――――	昭和７年
	富民公立普通学校一覧表	――――	〃
	蔚山公立普通学校一覧表	――――	昭和６年
	学校経営（新義州公立普通学校）	――――	昭和７年
	創立三十周年記念（京城渼洞公立普通学校）	――――	昭和11年
	釜山第六公立尋常小学校経営一覧表	――――	〃
	創立五十周年記念誌	仁川公立尋常高等小学校	〃
43（下）	（京城第一公立高等普通学校学友会）学友会誌　第３号	京城第一公立高等普通学校学友会	昭和11年
	（高敞高等普通学校）規約書	高敞高等普通学校	昭和７年
	（　〃　）役員名簿	〃	〃
	実業教育要覧	朝鮮総督府	大正８年
	（京城公立農業学校）本校教育施設概要	京城公立農業学校	昭和10年
	朝鮮人教育 私立各種学校状況	朝鮮総督府学務局	大正９年
44	京城師範学校総覧	京城師範学校	昭和４年
	官立京城師範学校一覧	官立京城師範学校	昭和８年
	京畿道公立師範学校一覧　創立第２年	京畿道公立師範学校	大正13年
45	京城帝国大学一覧　昭和８年	京城帝国大学	昭和８年
	〃　昭和16年	〃	昭和16年
46	京城帝国大学予科一覧　大正13年	京城帝国大学予科	大正13年
	〃　昭和３年	〃	昭和３年
	（京城帝国大学法文学部）教務例規集　昭和11年	京城帝国大学文学部	昭和11年
	京城帝国大学予科教授要綱	朝鮮総督府	昭和18年
	京城帝国大学予科修練要綱	〃	〃
	京城帝国大学建築概要	――――	大正13年
47	京城法学専門学校一覧　昭和６年度	京城法学専門学校	昭和６年
	〃　昭和11年	〃	昭和11年
	京城高等商業学校一覧　昭和13年度	京城高等商業学校	昭和13年
48	京城高等工業学校一覧　昭和10年	京城高等工業学校	昭和10年
	〃　昭和11年	〃	昭和11年
	水原高等農林学校要覧　昭和７年	水原高等農林学校	昭和７年
	水原農林専門学校校友会会報	水原農林専門学校校友会	大正７年

49	**京城医学専門学校一覧** 昭和５年	京城医学専門学校	昭和５年
	朝鮮総督府京城医学専門学校一覧 昭和15年	〃	昭和15年
	大邱医学専門学校諸規程輯覧	大邱医学専門学校規定輯覧	——
50	**京城薬学専門学校一覧** 昭和10年	京城薬学専門学校	昭和10年
	財団法人普成専門学校一覧	普成専門学校	大正14年
	セブランス連合医学専門学校一覧 昭和15年４月現在	セブランス連合医学専門学校	昭和15年
	梨花女子専門梨花保育学校一覧 昭和12年	梨花女子専門学校	昭和12年
51（上）	**学校を中心とする社会教育状況**	朝鮮総督府学務局	大正11年
	朝鮮社会教化要覧	朝鮮総督府学務局社会教育課	昭和13年
51（下）	**朝鮮社会教育要覧**	朝鮮総督府学務局社会教育課	昭和16年
	留学生ニ関スル件	————	大正８年
	在京朝鮮人一般ノ現況ニ関スル件	————	〃
	在内地朝鮮学生状況	朝鮮総督府学務局	大正９年
	在京朝鮮人ニ関スル団体調	警務局	〃
	朝鮮人発行雑誌調	〃	〃
	朝鮮人学生調	〃	〃
	給費生成績報告ノ件	朝鮮教育会	大正14年
	在内地朝鮮学生状況調	————	大正15年
	在内地朝鮮学生調 昭和元年12月現在	朝鮮教育会奨学部	昭和元年
	〃 昭和２年11月現在	〃	昭和２年
	在内地朝鮮学生状況調 昭和５年末現在	朝鮮教育会奨学部	昭和５年
	東京在留朝鮮人学生ノ夏期休暇中ノ講演会ニ対スル対策	京畿道第三部	大正10年
	大阪府在住朝鮮人教育調査	大阪府庁内内鮮協和会	昭和６年
	朝鮮奨学会設立趣意書及規程	朝鮮奨学会事務所	昭和16年
	内地在留学生指導に関する意見書	高山秀雄	昭和16年

◆第40巻～第51巻　**分冊本体価280,000円**　ISBN 978-4-8447-5522-7

第８集　教育統計　全11巻

巻号	資料名	刊行者	刊行年
52	**学事統計** 明治43年度	朝鮮総督府	明治44年
	朝鮮人教育 私立学校統計要覧 明治45年度	朝鮮総督府内務部学務局	大正２年
	〃 大正４年度	〃	大正５年
53	**朝鮮諸学校一覧** 大正７年度	朝鮮総督府学務局	大正８年
	〃 大正８年度	〃	大正９年
54	**朝鮮諸学校一覧** 大正11年度	朝鮮総督府学務局	大正12年
	〃 大正15年度	〃	昭和２年
55	**朝鮮諸学校一覧** 昭和４年度	朝鮮総督府学務局	昭和５年
56	**朝鮮諸学校一覧** 昭和６年度	朝鮮総督府学務局	昭和７年
57	**朝鮮諸学校一覧** 昭和７年度	朝鮮総督府学務局	昭和８年
58	**朝鮮諸学校一覧** 昭和８年度	朝鮮総督府学務局	昭和９年

59	朝鮮諸学校一覧　昭和９年度	朝鮮総督府学務局	昭和10年
60	朝鮮諸学校一覧　昭和11年度	朝鮮総督府学務局	昭和12年
	朝鮮諸学校一覧　昭和12年度	朝鮮総督府学務局	昭和13年
	学事参考資料　昭和12年	朝鮮総督府学務局学務課	昭和12年
61	朝鮮諸学校一覧　昭和13年度	朝鮮総督府学務局	昭和14年
	〃　昭和15年度	〃	昭和16年
	〃　昭和16年度	〃	昭和17年
62	朝鮮諸学校一覧　昭和17年度	朝鮮総督府学務局	昭和18年
	〃　昭和18年度	〃	昭和19年

◆第52巻～第62巻　**分冊定価220,000円**　ISBN 978-4-8447-5523-4

別集Ⅰ　旧韓末教育史資料 ―隈本繁吉文書　全７巻

巻号	資　料　名	刊　行　者	刊行年
63	韓国ニ於テ学務顧問傭聘ノ件	林 権助ほか	明治38年
	韓国ニ傭聘セラレ居ル本邦人取リ調ベノ件	林 権助	〃
	韓国教育改良案　（明治38年４月）	幣原 坦	〃
	教育改良ニ関スル報告書　（明治38年８月）	〃	〃
	〃　（明治38年10月）	〃	〃
	〃　（明治38年11月）	〃	〃
	日韓新協約ノ影響トシテノ学部々内ノ情況	〃	〃
	光武九年韓国学政改善概況	〃	〃
	韓国教育	韓国学部	明治42年
	韓国教育ノ既往及現在	〃	〃
	韓国教育ノ現状	〃	明治43年
	儒学ト科挙	――	――
	各道観察使ニ対スル伊藤統監ノ諮問並訓示	統監官房	明治41年
	観察使会議要録　（明治42年７月）	韓国学部	明治42年
	時弊矯正ニ関スル訓令及訓諭　（明治43年１月）	〃	明治43年
	韓国ニ於ケル日本ノ至難事　（1909年12月12日付）	――	――
	The principal difficulty of the Japanese in Korea: a reply by J. Bolljahn.	東亜ロイド	隆熙３年
	東亜ロイドのボリアン氏への反論	――	――
	Korean educational work （The Japan Advertiser 1910年３月25日付）	――	隆熙３年
	韓国だより　（ケルン新聞1910年３月26日付）	――	――
64	学部職員履歴書　（隆熙元年八月現在）	韓国学部	隆熙元年
	学部職員録　（隆熙三年七月十五日現在）	〃	隆熙３年
	教育法規抄　（隆熙三年八月現在）	〃	〃
	私立学校令	韓国学部	隆熙２年
	学会令	〃	〃

64	私立学校補助規程	韓国学部	隆熙２年
	公立私立学校認定ニ関スル規程	〃	〃
	教科用図書検定規程	〃	〃
	学部編纂教科用図書発売ニ関スル訓令	〃	〃
	書堂ニ関スル訓令	〃	〃
	私立学校学則記載例	〃	〃
	私立学校設立認可請願書式	〃	——
	私立学校令解説	〃	隆熙２年
	実業学校設立認可請願書式	〃	隆熙４年
65	第二回官公立普通学校教監会議要録　（隆熙２年７月）	韓国学部	隆熙２年
	普通学校教養ニ関スル施設綱要　（隆熙３年12月）	〃	隆熙３年
	普通学校学徒訓練資料　（隆熙４年４月）	〃	隆熙４年
	官公立学校職員服務須知　（隆熙３年11月）	〃	隆熙３年
	学部の実業教育施設に関する俵学部次官の講話	————	——
	官立漢城外国語学校一覧　（隆熙３年３月）	————	隆熙３年
66	韓国教育と警察行政　（隆熙３年９月）	韓国学部	隆熙３年
	明治四十三年七月十三日韓国駐箚各道憲兵隊長（警務部長）会議席上俵学部次官演説要領	————	明治43年
	報告書	隈本繁吉	——
	巡幸ト地方教育　（明治42年５月）	俵　孫一	明治42年
	学事状況報告第六回要録　（隆熙４年）	韓国学部学務局	隆熙４年
	普通学校実業学校学事状況報告要録　自明治43年10月至同44年９月	朝鮮総督府内務部学務局	——
	平安北道教育視察団視察経過及感想一班　（隆熙４年７月）	韓国学部	隆熙４年
	各種教育統計（隆熙４年）	————	隆熙４年
	朝鮮総督府統計年報　（明治43年）第19教育	朝鮮総督府	明治43年
67	漢城府内私立学校学会代表者招集席上学部次官演説筆記　（明治41年10月）	韓国学部	明治41年
	京城府内私立学校現状一班　（明治43年）	朝鮮総督府内務部学務局学務課	明治43年
	北韓地方ニ於ケル基督教学校視察復命　（明治45年７月）	隈本繁吉	明治45年
	漢城府内基督教学校状況一班　（隆熙４年６月）	学部次官　俵　孫一	隆熙４年
	韓国現時に於ける教育制度と宗教との関係　（隆熙４年）	————	〃
	在韓宣教師ニ対スル意見	俵　孫一	——
	韓国国民的理想の必要　（明治43年）	H.B. ハルバート	明治43年
	大会瞥見—伊川ニ於ケル南部メソジスト会議ト運動者　（明治43年）	G.J.B. デヴィス	〃
	教科用図書一覧　増補第４版（隆熙４年刊）	韓国学部編集局	隆熙４年
	〃　増補第５版（隆熙４年刊）	〃	〃

67	教科用図書取締ニ関スル報告	筒井松太郎	——
68	普通教育学　（隆熙４年刊） 押収新聞記事摘要　自隆熙３年７月１日至同年12月末日	韓国学部	隆熙４年
	大韓興学報摘訳　自隆熙３年３月至同年12月	内部警務局	——
69	学科意見書	隈本繁吉？	明治42年
	学政ニ関スル意見書	隈本繁吉	明治43年
	意見書（韓国行政ノ根本要義）	隈本繁吉？	——
	農業教育ニ関スル私見	学部書記官沢誠太郎	——
	朝鮮学制案ノ要旨	寺内正毅？	——
	学制案修正要点	隈本繁吉	——
	朝鮮公立普通学校及官立諸学校整理案	隈本繁吉	明治43年？
	学制及其他ニ関スル意見	隈本繁吉？	——
	隈本書記官ノ普通学校教科課程改正要項ニ対スル修正意見	増戸鶴吉	——
	〈付〉普通学校教科課程改正要項案	隈本事務官	——
	契約（英国人フランプトン等） 〈付〉福井県立中学校の英語教師との雇用契約	隈本繁吉	明治44年
	朝鮮総督府ニ於ケル医事教育摘要	隈本繁吉	明治45年？

◆第63巻～第69巻　**分冊本体価210,000円**　ISBN 978-4-8447-5524-1

阿部 洋 編

『日本植民地教育政策史料集成(朝鮮篇)』総目録・解題・索引

ISBN 978-4-8447-8341-1
A5判・200頁　本体価5,000円

日本植民地教育政策史料集成（朝鮮篇）全９集の収録資料について利用者の便を計るべく、「総目録」「解題」「書名索引」をまとめたもの。

（'91・7 刊）

阿部　洋（編集代表）　　2021年１月刊行開始予定

日本植民地教育政策史料集成（朝鮮編）

別集Ⅱ　教育関係公文書　全12巻（予定）

かつて公刊した『朝鮮編』（全９期・75巻、1987～91年）には、国立公文書館所蔵の多くの教育関係公文書類が収録されていない。同館が開館、所蔵文書の公開が始まるのは2010年頃のことである。

このたび新たに編集する『朝鮮教育関係公文書』には、従来利用できなかった内閣の記録『公文類聚』や天皇の諮問機関・枢密院の『会議記録』や『御署名原本』など、貴重な公文書類が多数収められている。

これに加えて、その後公開された『外務省茗荷谷研修所旧蔵記録』からも、『拓務省記録』『内務省記録』など所収の戦時期朝鮮の教育関係公文書を抽出・整理した。

本編は４部21章で構成、植民地期朝鮮における教育政策の展開過程を多面的に考察できるよう編集し、これに詳細な解題を付すこととした。

揃ISBN 978-4-8447-5534-0　揃本体価360,000円

構　　成

配本	関係文書	巻号	本体価格	ISBN
1	**Ⅰ.「朝鮮教育令」関係文書** 一、朝鮮教育令（明治四十四年） 二、朝鮮教育令中改正（大正九年） 三、（改正）朝鮮教育令（大正十一年） 四、（第三次）朝鮮教育令（昭和十三年） 五、朝鮮教育令中改正（昭和十六年） 六、朝鮮教育令中改正（昭和十八年） 七、朝鮮教育令沿革調書	第69巻 ～ 第71巻 計３巻	90,000円	978-4-8447-5535-7
2	**Ⅱ．初等教育の普及・拡充関係文書** 一、三面一校計画（大正八年） 二、一面一校計画（昭和四年） 三、簡易学校の開設（昭和九年） 四、第二次朝鮮人初等教育普及拡充計画（昭和十二年） 五、義務教育制度の実施準備と第三次拡充計画（昭和十七年・昭和十八年） 六、初等教育の普及・拡充に伴う師範学校制度の整備（大正十一年）	第72巻 ～ 第74巻 計３巻	90,000円	978-4-8447-5536-4
3	**Ⅲ．京城帝国大学関係文書** 一、京城帝国大学の創設（大正十三年） 二、京城帝国大学の整備 (1)　法文・医両学部の発足（大正十五年） (2)　学位授与（昭和六年） 三、京城帝国大学の拡充 (1)　理工学部の新設（昭和十三年） (2)　付置研究所の設置（昭和十四年・昭和十七年・昭和二十年）	第75巻 ～ 第77巻 計３巻	90,000円	978-4-8447-5537-1
4	**Ⅳ．戦時期朝鮮教育関係文書** 一、志願兵制・徴兵制の施行と青年錬成（昭和十三年・昭和十七年） 二、大学学部等の在学年限・修業年限の短縮（昭和十八年） 三、教育に関する戦時非常措置（昭和十八年） 四、「戦時教育令」の適用（昭和二十年） 五、朝鮮奨学会の設立と運営（昭和十六年・昭和十八年）	第78巻 ～ 第80巻 計３巻	90,000円	978-4-8447-5538-8

新教育関係史料シリーズ

小原國芳 編纂／玉川学園出版部 刊
解題 白柳弘幸、槻木瑞生

編集復刻版

玉　川　学　園　機　関　誌

全５誌・総51巻

A5判　　揃本体価1,275,000円

昭和４年４月８日に創立された玉川学園は、創立者・小原國芳の描く「夢の学校」の実現に向けて、またその記録を残すために機関誌『学園日記』を発行する。その後、『学園日記　労作教育研究』『教育日本』と名前を変えながら、『女性日本』『全人』も刊行された。

これらの資料を通読することで、昭和戦前期の新教育や労作教育がどのように展開されていったのか、新教育運動についての新しい発見が生まれるであろう。　（'16・5～ 刊行開始）

収　録　内　容

配本	原資料名	原本号数	刊行年月日（昭和）	巻号	本体価格	ISBNコード
済	『学園日記』	第１号～第16号	4・6・20～5・11・1	vol. 1 ～vol. 4　全４巻	100,000円	978-4-8447-0283-2
〃		第17号～第31号	5・12・8～7・2・10	vol. 5 ～vol. 8　全４巻	100,000円	978-4-8447-0284-9
〃	『学園日記 労作教育研究』	第32号～第44号	7・3・1～8・3・10	vol. 9 ～vol. 12　全４巻	100,000円	978-4-8447-0285-6
〃		第45号～第53号	8・4・25～8・12・20	vol. 13～vol. 15　全３巻	75,000円	978-4-8447-0286-3
〃	『女性日本』	第１号～第19号	7・5・1～8・12・10	vol. 16～vol. 19　全４巻	100,000円	978-4-8447-0287-0
〃		第22号～第36号	9・5・1～10・8・1	vol. 20～vol. 23　全４巻	100,000円	978-4-8447-0288-7
次刊		第37号～第55号	10・9・15～12・6・1	vol. 24～vol. 27　全４巻	100,000円	978-4-8447-0289-4
	『女性日本』	第56号～第72号	12・7・10～13・12・1	vol. 28～vol. 30　全３巻	75,000円	978-4-8447-0290-0
	『教育日本』	第55号～第70号	9・6・15～11・4・23	vol. 31～vol. 34　全４巻	100,000円	978-4-8447-0291-7
		第71号～第86号	11・5・24～13・8・20	vol. 35～vol. 38　全４巻	100,000円	978-4-8447-0292-4
	『全人』	第73号～第88号	14・1・1～15・4・10	vol. 39～vol. 42　全４巻	100,000円	978-4-8447-0293-1
		第88号～第106号	15・5・1～16・11・10	vol. 43～vol. 46　全４巻	100,000円	978-4-8447-0294-8
		第107号～第137号	16・12・1～19・6・1	vol. 47～vol. 51　全５巻	125,000円	978-4-8447-0295-5

阿部 洋 著

中国の近代教育と明治日本

ISBN 978-4-8447-5456-5
A5判・260頁　本体価3,000円

中国は、かつて二十世紀初頭の教育近代化過程において、そのモデルを日本に求めた。年に一万人を越える留学生が日本で学び、また数百人の日本人教師たちが招かれて中国各地の教壇に立った。併し日本教育の隆盛はわずか十年足らずで衰退に赴き、代わってアメリカがモデルとして登場する。本書は、この清末＝明治末期における日中教育交流の「栄光と挫折」の具体相とその要因を構造的に解明し、そこに歴史的教訓を見出そうとする。

('90・8　初版
'02・6　2版)

残僅少

阿部 洋 編著

韓国の戦後教育改革

執筆者　阿部 洋／稲葉継雄／馬越 徹／佐野通夫
関 英子／フランクリン・レイ／リチャード・ワース

ISBN 978-4-8447-8481-7
A5判・400頁　本体価3,500円

本書は日本の戦後教育改革との比較の視点から十数年前に発表された研究論文を単行本化したものである。その独創的研究成果は発表誌の特殊性から韓国史関係などの一部研究者を除き、我国の教育学界にはほとんど知られていないが、斯学研究の進展に重要な意義を持つものと確信している。

('97・1刊)

残僅少

佐藤由美 著

植民地教育政策の研究
― 朝鮮・1905～11 ―

ISBN 978-4-8447-8493-7
A5判・332頁　本体価9,000円

「顧問政治の開始」、「韓国保護国化」、「次官政治開始」、「韓国併合」と続く日韓関係激動期を四期に分け、教育政策の中心的担い手であった日本人学務官僚の朝鮮観・教育思想・その活動を軸に論述。韓国の教育近代化が日本の植民地教育政策にからめとられて行く過程を丹念に、人物中心に描写した力作。

('00・2刊)

佐藤尚子 著／阿部 洋 編

中国ミッションスクールの研究
― 増補改訂 米中教育交流史研究序説 ―

ISBN 978-4-8447-0228-3
A5判・280頁　本体価8,000円

中国教育近代化の過程において、キリスト教学校が果たした役割を高等教育の分野を中心に、実証的に解明することを目指す。中心テーマを、キリスト教学校とナショナリズムとの対応関係に置き、激動する中国の政治社会状況のもとでのキリスト教学校の変容・消滅の過程を、戦前戦後の日本・欧米および中国での研究成果をふまえ、「日本外務省記録」や「アメリカ国務省記録」、更にはプロテスタント各派宣教会報告書など、新たに発掘した多くの第一次史料を駆使し、日本の場合との比較的視点に立って、具体的且つ詳細に描く。

著者の急逝により、恩師および同学の士らが故人の果たせなかった志を引きつぎ、関連論考六編を加えて増補改訂版として刊行。

('10・7刊)

紀 旭峰 著／すいせん 梅森直之、後藤乾一

大正期台湾人の「日本留学」研究

ISBN 978-4-8447-0305-1
A5判・430頁　　本体価8,000円

大正期は、米騒動、ロシア革命、三一独立運動など、歴史的事件が相次いで起きた時代である。同時に、さまざまな思想が咲き乱れた時代でもあった。こうした状況の中で、一部の台湾人留学生は諸啓蒙運動を展開していく。それに伴い、東アジア知識人との交流は、彼等が自らの関心を本島台湾からアジアへ、さらに世界へと広げて行く際の重要な契機になった。

本書は、大正期に日本に「留学」した台湾人の思想と行動を、彼等をとりまく国家的制度や社会的ネットワークなどの歴史的文脈とともに分析している。戦前日本における「台湾人留学生」を対象に、その内面を掘り下げた最初の本格的総合研究として、正に第一級のものである。

さらに、従来の研究において重視されて来た、東京大学の矢内原忠雄を中心とするキリスト教のネットワークに加え、早稲田大学、明治大学、中央大学等の私立大学専門部を台湾人留学生の活動舞台として設定し、従来ほとんど顧みられなかった「亜細亜公論」等の新資料を積極的に利用し、大正期台湾人「留学」生がどのように知識形成し、どのようにそれを実践的活動につなげていったかを生き生きと描き出すことに成功している。

（'12・2刊）

5．科学史・文化

龍溪書舎編集部 編
明治・大正の東京景観と風俗・行政を究める！

復刻版

近代日本地誌叢書・東京編
全42巻

A5判・総約16,300頁　揃本体価630,000円

本叢書の特色

◆明治11年（1878）11月の区郡制改正を中心として、明治後期および大正時代にまで及ぶ、東京の生活に関わる資料55点をはじめて総集した。
◆収録した資料は、いずれも編著者・出典の確定したもののみで、さらに現在ではほとんど入手困難な文献を対象とした。
◆従来の政治・経済上の区分けを排し、町鑑・繁盛記物・地理地名・公文書・商工資料・災害・都市計画・風俗・庶民生活・郷土史など広範な分野にまで収録範囲を広げた。
◆付載された統計図表・地図・写真等はすべて原本に従って復刻し歴史資料としての活用に具えた。
◆専門家・研究者のみならず、文学者・考証家および各図書館・研究機関においても利用しうる体裁とした。

収　録　内　容

配本	巻号	書名	編著者	発行所	発行年
1	1	改正區分町鑒 改正區分鑑 東京區分町鑑（全） 改正東京町鑑（15區６部） 東京開化繁昌誌（１～４編）	松本平吉 井上勝五郎 石坂吉兵衛 福田榮造 高見澤茂	松本平吉 井上勝五郎 松澤庄次郎 福田榮造 大和屋喜兵衛	明治９年11月 明治11年11月 明治10年３月 明治11年11月 明治７年５月
	2	東京名勝圖會 東京名所獨案内	阿部啓五郎、小島彦七 上田文斎	丸屋善七 青木恒三郎	明治17年３月・７月 明治23年３月
	3	東京名所鑑（上・中・下）	相澤　求	富田彦次郎	明治25年６月・９月
	4	東京古蹟史	大橋義三	大橋義三	明治31年６月
	5	東京明覧（上）	織田純一郎他	(株)集英堂	明治37年１月
	6	東京明覧（下）	織田純一郎他	(株)集英堂	明治37年３月
	7	浅草繁昌記	松本傳十郎	賽力社	明治43年12月
	8	東京見物 江戸史蹟	藪野椋十 山縣　操	金尾種次郎 内外出版協會	明治40年６月 明治45年４月
	9	京橋繁昌記	石川庄平	京橋協會	大正元年11月
	10	日本橋繁昌記	宇井善八	日本橋協會	大正２年12月
	11	下谷繁昌記	曾根松五郎	明治教育社出版部	大正３年12月
	12	東京案内	實業之日本社		大正３年３月
	13	東京史蹟寫真帖 新撰東京遊學案内	戸川安宅 藤井　眞	畵報社 集文社	大正３年９月 大正５年５月
	14	東都新繁昌記	山口義三	山添平作	大正７年６月
	◆vol. 1～vol. 14　全14巻			分冊本体価210,000円	ISBN 978-4-8447-8058-8
2	15	新東京繁昌記・附大阪繁盛記	水島爾保布		大正13年６月
	16	東京新繁昌記	服部誠一	聚芳閣	大正14年12月
	17	東京の史蹟	東京市	牧口駒三郎	大正14年４月
	18	改正増補・東京案内 史蹟名勝天然記念物概観	児玉永成 東京市公園課	大倉孫兵衛 東京市役所	明治14年３月 大正15年３月
	19	帝都郊外發展誌・城南の巻 改正・東京附地誌略（上・下） 東京市區改正全書	小松悦二 東京府學務課 深津雅直	東海新聞社 弘文社 竹内拙三	昭和３年12月 明治12年２月 明治22年５月

2	20	東京地理沿革誌	看雨隠士	稲垣常三郎	明治23年４月
	21	東京市町名起源考 渋谷町誌	鈴木 忠 渋谷警察署新築落成祝賀協賛會	鈴木 忠 有田 肇	明治28年10月 大正11年８月
	22	東京勧業協會終始一斑 東京風水害救済會報告書	宮崎豊次 中村由次郎	東京勧業協會 中村由次郎	大正６年５月 大正７年３月
	23	東京府民政史料	東京府	東京府	大正７年３月
	24	東京地名便覧	東京市電氣局	東京市電氣局	大正10年８月
	25	東京市の改造	村高幹博	民友社	大正11年２月
	26	最近東京市商工名鑑（上）	東京市役所商工課	地涌學會出版部	大正13年９月
	27	最近東京市商工名鑑（下）			
	28	職業別復興調査録（上）	佐々木元芳	東京商工通信社	大正14年７月
	29	職業別復興調査録（下）			
	◆vol. 15～vol. 29　全15巻			分冊本体価225,000円　ISBN 978-4-8447-8059-5	
3	30	職業別新東京商業便覧	須川三郎	新東京社	大正13年６月
	31	目黒町誌	村上三朗	東京朝報社	大正13年９月
	32	板橋町誌	山田元禮	板橋新聞社	大正13年11月
	33	すがも總攬	中山由五郎	巣鴨總攬刊行會	大正14年２月
	34	町会町名地番整理案輯攬 八王子	復興局整地部 八王子市役所	復興局整地部 八王子市役所	大正14年４月 大正15年10月
	35	滑稽珍談　現今東京の有様 今日の東京	西森武城 尾崎逸足	九春堂 和田篤太郎	明治21年１月 明治23年１月
	36	東京の過去及将来	細野猪太郎	金港堂書籍	明治35年９月
	37	東京	田村昌新		明治35年１月
	38	浅草案内誌 残されたる江戸	佐伯德海 柴田流星	金龍山梅園院 洛陽堂	明治36年４月 明治44年５月
	39	東京の解剖　一付都会安価生活	長谷川涛涯	研文堂	大正６年２月
	40	東京の女	松崎天民	磯部甲陽堂	大正４年５月
	41	蒲田郷土史 日本橋區大観	榑林宇翁 日本橋區役所	榑林蒲仙堂 日本橋區役所	大正８年５月 大正11年３月
	42	東京の表裏八百八町	杉韻居士	鈴木書店	大正３年５月
	◆vol. 30～vol. 42　全13巻			分冊本体価195,000円　ISBN 978-4-8447-8060-1	

龍溪書舎編集部 編　　A5判

近代日本学術用語集成

第1期
明　治　篇
（第１～７巻）　全７巻

ISBN 978-4-8447-3308-9　本体価98,000円

近代文明の普及は、その文明の利器やその背景にある文化の国民的理解なくしては成立しなかった。

漢字文化圏に育成されてきた日本は、明治維新後、それら文明や文化を日本語で語り、日本語で記述することができたことにより、この普及に成功した。 新しい概念を伝統的な言葉の中で学びとることがいかに困難であり、いかに重要であるかは、われわれが今日なお外国文化の摂取に際して体験しているところであるが、しかし明治の日本人がそのために払った努力は、まことに偉大であった。

ここに、明治期に編纂された主要学術用語集を復刻し、その苦心の跡を顧み、わが国近代文化の形成を再検討する機会を広げんとする、刊行者の素志を汲む学徒の多数出現を期待してやまない。（'88・6 初版 '89・5 2版）

残僅少

収録内容

第１巻　哲学・教育・心理・論理関係篇
- ①哲学字彙
- ②教育・心理・論理術語詳解
- ③珍袖通俗神話辞彙

第２巻　法律関係篇
- ①佛和法律字彙
- ②獨和法律辭典

第３巻　商業関係篇
- ①英和商業新字彙

第４巻　数学・物理学関係篇
- ①Vocabulary Physical Terms in The Four Languages, *English, Japanese, French, and German*
- ②Butsurigaku ni Mochiyuru Go no Wa-Ei-Futsu-Doku Taiyaku Jisho
- ③数学用語英和対訳字書
- ④電気訳語集　A Vocabulary of Electrical Terms in English and Japanese

第５巻　化学・植物・鉱物学関係篇
- ①本稿化学語彙
- ②植物学語鈔
- ③鉱物字彙

第６巻　工学関係篇
- ①工学字彙

第７巻　医学・解剖学関係篇
- ①珍袖医学字彙
- ②解剖学名彙

第２期
大　正　篇
（第１～12巻）　全12巻・総17冊

ISBN 978-4-8447-3331-7　本体価340,000円

第１期全７巻において明治の文明開化期を中心に、西欧との出会いの時代を点検した。

第２期は、大正期を中心に、いよいよ先進諸国に伍そうとして、諸国に深くかかわって文化の具体的な事象の追求に向った諸先輩の努力を集積した。そこには、軍事用語から社会主義用語まで、科学技術面では、歯科学、鉄道用語におよぶ広がりを持つとともに、第１期に収録した諸編の展開を示す改訂版も多く採録した。これらを比較検討するとき、日本の学術の進歩の足跡を実感できよう。

（'90・8刊）

残僅少

収 録 内 容

第１巻	最新哲学辞典
第２巻	英和法政経済商業辞典
第３巻(上･下)	最新独和法律経済辞典
第４巻	内外商品辞彙
第５巻(上･下)	社会科学小辞典（1930年版）
第６巻	和欧及英独和物理用語新辞典 英和和英地学字彙（第４版）
第７巻	英和工学辞典（増補改訂８版） 英和建築語彙 英和対訳鉄道用語辞典
第８巻(上)	増訂第３版化学語彙 英和化学工業語彙
第８巻(下)	英独和独和英電気工学辞典 第３回増補電気工学術語集
第９巻	英和船舶工学術語彙
第10巻(上)	英和海語辞典
第10巻(下)	DICTIONARY OF SEA TERMS
第11巻(上)	英和陸海軍兵語辞典 日英海軍用語集
第11巻(下)	仏和兵語辞典
第12巻	掌中歯牙解剖学名彙全 英羅和訳近代歯科字典

第３期

大　正　補　遺　篇

（第13～20巻）　全８巻･総９冊

ISBN 978-4-8447-3374-4

本体価180,000円

第２期では、いささか視野をひろげたために、選択した用語集が拡散し、分野によって濃淡を生じた。諸方を探索し、未だ充分とはいえないが、漸く研究者のご関心に応えられる諸冊を採集することができた。

これらは、われらが次に予定する昭和前期の学術解明への「かけはし」とする意味もある。

（'94･４刊）

残僅少

収 録 内 容

第13巻	警察辞典（富益義衛 編著　大正15年）
第14巻	社会問題辞典（高畠素之 編　大正14年）
第15巻	支那乃支那問題辞典（河瀬龍雄 著　大正15年）
第16巻	金融辞典（銀行研究社 編　昭和７年）
第17巻	神祇辞典（山川鵜市 著　大正13年）
第18巻	現代文芸新語辞典（大畑徳太郎 著　大正７年）
第19巻	現代語辞典（素人社出版部　大正13年）
第20巻(上･下)	現代語解説（文化之日本社編輯部　大正14年）

第４期

昭　和　篇　[1]

（第１～６巻）　全６巻･総12冊

ISBN 978-4-8447-0350-1

本体価300,000円

『近代日本学術用語集成』は「第１期　明治篇　全７巻　16書収録」「第２期　大正篇　全12巻　22書収録」「第３期　大正補遺篇　全８巻　８書収録」と復刻してきて、今回いよいよ昭和期に入った。20世紀第２･四半世紀本邦学術の進歩発展を、学術用語上で再検証する段階に到ったのである。今回は昭和一桁代の著作から、時勢に即した用語辞典類を挙げてみた。

明治以来の西欧文明導入の流れがひとまず頂点に達するのは昭和前期である。大戦を隔てて、戦後日本の国際化を新たな波と理解することも出来、少なくとも戦前の直列的継承･拡大発展とは異なると認識すべきである。それを現代の風と呼ぶならば、近代の流れは断絶へ向けて、最後の実りの秋を迎えつつあるといえよう。

この時期、われわれの先輩が学び蓄積したものは何だったか。分析が待たれるのである。　（'09･９刊）

収 録 内 容

第１巻(上)	新時代の尖端語辞典　長岡規矩雄著（昭和5年）
第１巻(下)	〃
第２巻(上)	昭和百科現代の常識　秋山逸博･太田武次郎編（昭和2年）
第２巻(下)	〃
第３巻(上)	教育辞典　入沢宗寿著（昭和７年）
第３巻(中)	〃
第３巻(下)	〃
第４巻	新特高辞典　横溝光輝（昭和６年） 性行辞典　友田宜剛著（昭和７年）
第５巻	広告辞典　室田庫造編（昭和８年）
第６巻(上)	食物辞典　沢村真著（昭和３年）
第６巻(中)	〃
第６巻(下)	〃

蘭学資料研究会 刊／監修 緒方富雄
索引編集 朝倉治彦
解題 杉本 勲（代表）、石山 洋、向井 晃
片桐一男、藪内 清（執筆順）

復刻版

蘭 学 資 料 研 究
（研究会報告書第１号～第316号） 全24巻

ISBN 978-4-8447-0351-8
A5判・総約8,500頁 本体価250,000円

幕末から明治への転換期、日本の近代国家成立を可能にしたものは、高い西洋文明をすでに消化吸収しつつあった民間の学問蓄積の存在にあるとも言える。今日われわれが学ぶ学問の相当部分（例えば学術用語）がすでに日本語化し、日本語で論議している事一つをとってみてもそのことは言える。それは江戸末期迄にすでに営々として蘭学を中心に、西欧文化を日本語に翻訳し、とり入れようとした先達の長い苦心が背景にあったからである。

蘭学資料研究会が過去の30年に亘って研究して来たものは、この文化導入の経過を基礎的に、網羅的に、失われつつある資料を全国的に発掘調査したものであり、他には全く類書を見ない。医学史・科学史・文化史・近代史全般の必須文献である。

（'86・6 初版
'87・10 2版）

残僅少

龍溪書舎編集部 編

『蘭 学 資 料 研 究』附巻
解題・総目次・索引篇

ISBN 978-4-8447-0352-5
A5判・188頁 本体価8,000円

蘭学資料研究会刊行の『蘭学資料研究』第１号～316号迄を全24巻にまとめて復刻。これに対応して解題・総目次・索引（人名・書名・事項）を記載した。解題は杉本勲、石山洋、向井晃、片桐一男、藪内清、総目次・索引は朝倉治彦による執筆。

（'86・6 初版
'87・10 2版）

長谷部言人 著／索引 朝倉治彦
解題 長谷部満彦

復刻版

大 小 暦

ISBN 978-4-8447-0300-6
B6判・270頁 本体価2,500円

本書は、大小暦についての最初について唯一の専門研究書である。「大小」の魅力にとりつかれた一知識人がコツコツ楽しみながら集め、説き明かしていった興奮を読者と共に分かち合える様に判り易く、興味深い内容をさまざまな角度から解説。原本（昭和18年刊）は古書としても一般にまず見られない稀覯本である。

『大小暦』は貞享の頃より発句、狂歌、戯文等と共に異常な発達を遂げた我国独特の智能的娯楽品である。

旧暦では１年の内、大の月が30日、小の月が29日で、各月の大小は年毎に変り、およそ３年毎に来る閏月の位置も大小も、また不定である。

いつの頃からか、その年の月々の大小を暗記し易い、判じ物風の標語、発句、和歌、絵などが考え出され、これを懐紙に記入して知人に分ける事が流行し、さらにそれを木版摺にして年頭の廻札に携え、名刺代りに配る様になり、年々の慣例にと発展した。これが大小暦である。機智とユーモアに満ち、明和頃より浮世絵・錦絵の技法を採り入れ、個性豊かに表現されたこれら諸作品は、絵暦とも称されている。

約200年間に亘った行事として我国民族・文化史上極めて異色の貴重資料である。 （'88・3刊）

東京市役所 編／解説 槌田満文

復刻版

東 京 市 町 名 沿 革 史
（昭和13年８月原本刊）
附・新旧対照町名一覧（昭和49年１月現在）

ISBN 978-4-8447-6397-0
A5判・約730頁 本体価25,000円

本書は、関東大震災後に東京市が都市計画としての区画整理を行うにあたって配布された各種の資料をまとめて昭和13年に刊行（非売品）されたものの復刻である。その典拠とした文献には『江戸妙子』『御府内備考』『新編武蔵国風土記稿』『江戸名所図会』『東京府志料』『東京案内』など、第一級のものを駆使している。此度の復刻には、本編のほか、昭和49年１月現在の「新旧対照町名」が附され、地名研究を立体的に把握できるようにした。東京研究には不可欠の文献である。 （'95・12 刊）

大日本監獄協会 刊／三谷一馬 序

復刻版

大日本刑獄沿革略史

（明治28年５月原本刊）

ISBN 978-4-8447-6407-6
A5判横長・図版多数・130頁　　本体価6,000円

明治28年６月、パリでの万国監獄會議開催に際し、我国の刑獄沿革史を紹介するために編纂（非売品）。合わせて現行監獄則・仝施行細則、囚人動作・監房構造図を添えた。全頁の半分は図で占められ、当時の監獄内での囚人の動作、刑執行の様子等々をビジュアルに伝えている稀覯本。

（'96・５刊）

6．社会学・社会問題関係

東京府社会事業協会 刊／解説 吉田久一

復刻版

社　会　福　利

全47巻〔解説・総目次・索引付〕

A5判　本体価480,000円

『社会福利』は、東京府慈善協会の会報『東京府慈善協会会報』として、大正６年４月に創刊された。その後、『東京府慈善協会(会)報』、『東京府社会事業協会報』、『社会福利』、『厚生事業』と改称され、昭和19年６月までの発行が確認されている。

本誌は、戦前の東京の社会事業の実態を知るにあたって欠かすことのできない貴重な資料である。また、大正デモクラシー・マルキシズム・キリスト教・仏教・報徳思想等の当時の社会思想を背景に、生江孝之、海野幸徳、川上寛一、牧賢一、谷川貞夫、大林嗣、磯村英一等多くの社会事業家や学者により、社会的事業論や方法論が論じられている。本誌は大阪の『社会事業研究』（昭和19年廃刊）、中央の『社会事業』（現在、『月刊福祉』と改題）と並ぶかつての社会事業論壇の拠点的存在であった。

（'82・3 初版
'85・10 2版）

残僅少

刊　行　内　容

配本	原本巻号	原本発行年月	冊数	分冊本体価	ISBN
1	第1号～第43号	大正 6年 4月～昭和 3年12月	10	90,000円	978-4-8447-5325-4
2	第13巻1号～第15巻12号	昭和 4年 1月～昭和 6年12月	9	90,000円	978-4-8447-5326-1
3	第16巻1号～第18巻10号	昭和 7年 1月～昭和 9年12月	9	90,000円	978-4-8447-5327-8
4	第19巻1号～第21巻12号	昭和10年 1月～昭和12年12月	9	90,000円	978-4-8447-5328-5
5	第22巻1号～第27巻11号	昭和13年 1月～昭和18年12月	10	120,000円	978-4-8447-5329-2

龍溪書舎編集部 編

『社　会　福　利』
解説・総目次・索引

ISBN 978-4-8447-0436-2
A5判・130頁　本体価3,000円

雑誌『社会福利』（大正６年４月～昭和19年６月）全225冊について解説・総目次・著者名索引を記載した。（'84・8 刊）

編集・解題 川合隆男

復刻版

明治期社会学関係資料
全10巻

●収録資料
社会雑誌〔社会学会〕明治30年４月～31年８月
社　　会〔社会学研究会〕明治32年１月～34年12月
社会学雑誌〔社会学研究会〕明治35年２月～36年４月
●本誌の主な執筆者（50音順）
元良勇次郎／松村介石／久松義典／樋口秀雄／布川孫市／十時　彌／坪井正五郎／田島錦治／高野房太郎／高木正義／島田三郎／佐久間貞一／呉　文聡／窪田静太郎／加藤弘之／片山　潜／小河滋次郎／岡　百世／浮田和民／石川千代松／有賀長雄

ISBN 978-4-8447-3346-1
Ａ５判・総5,400頁　本体価200,000円

本企画では『社会雑誌』、『社会』、『社会学雑誌』の３雑誌を一連のものとしてとらえ、一括収録した。これらは、日清・日露戦争の戦間期において約６年余にわたって続けられた「社会学会」、「社会学研究会」による社会学、社会問題、社会運動をめぐる近代日本の学問運動の貴重な足跡である。

帝国主義、国家主義の轍に迷い踏み入らんとする前夜の状況にある戦間期の激動の渦のなかで、まさに悪戦苦闘しながら足早に刻み込まれたこの足跡は、これまでは顧みられることが少なかった。この３誌は、明治20年代から30年代にかけての近代日本での新しい社会問題の出現を眼前にして、幅広い問題関心と思想傾向や系譜を内包させつつ刊行された。学問運動の草創期だけにその組織的基盤は弱かったとはいえ、さまざまな多少とも異質の学問傾向や思想傾向を共有する可能性や活力を内包していた。学問活動がますます国際的な広がりを示しつつある今日であるが故に、近代日本のこうした草創期の足跡を再掘し再考察していくことが同時に重要であると言える。　（'91・12 刊）

残僅少

日本社会学院（代表 建部遯吾）編
解題 内山秀夫、川合隆男

復刻版

現代社会問題研究
（大正９年11月～昭和２年11月）　全25巻

ISBN 978-4-8447-3366-9
Ａ５判・総約8,300頁　本体価375,000円

明治30年代から日本の資本主義は確立期に入る。大正デモクラシーとも重なり合うこの時期は、近代日本において、社会が前面に、そして国家が後景に退く状況であった。この歴史過程にあって、国家の側に立ちつくす社会学者、建部遯吾がいた。

大正２年に日本社会学院を設立し、社会学界を組織化した彼は「国体社会学」者として、社会本位主義を標榜し、大正デモクラシーに対抗した。つまり国体社会学が大正期社会学の主流であったのである。

本資料は基本的には、建部の日本社会学院が総力をあげて、「現代社会の骨がらみの社会病」に取組んだ作業で、大正９年11月から、昭和２年11月にいたる正に７年間の大事業であった。当時の社会学を代表する人々が顔を揃える。そこには社会問題が国家的大問題である事態がみえる。反語的に、大正デモクラシー期を別抉する基本資料でもある。　（'93・５刊）

残僅少

収　録　内　容

巻	題目	本論	序論跋論	巻	題目	本論	序論跋論
1	現代社會文明	建部遯吾		14	國民保健問題	戸田正三 高津寄章	戸田正三
2	貧窮	今井政吉	窪田静太郎	15	人種問題	赤神良譲	三潴信三
3	勞働者問題	平野長次郎	桑田熊蔵	16	植民問題	綾川武治	稲田周之助
4	現代都市の問題	小川市太郎	佐野利器	17	平和問題	山内雄太郎	建部遯吾
5	農村問題	小河原忠三郎	山崎延吉	18	國防上の社會問題	佐藤鋼次郎	宇都宮鼎
6	食糧問題	建部遯吾		19	政治改革	建部遯吾	
7	私有財産問題	戸田貞三	建部遯吾	20	階級問題	松本潤一郎	米田庄太郎
8	本邦社會事業	杵淵義房	小河滋次郎	21	家族制問題	田崎仁義	穂積重遠
9	犯罪問題	阿部眞之助	松井茂	22	宗教問題	建部遯吾	椎尾辨匡
10	革命及宣傳	今井時郎	近衛文麿	23	思想問題	深作安文	藤井健次郎
11	風俗問題	鷲尾浩	建部遯吾	24	國家社會觀	建部遯吾	今井時郎 戸田貞三
12	婦人問題	小林照朗	米田庄太郎	25	解題	内川山合秀隆夫男	
13	人口問題	大場寶治	亀田豊治朗		現代社會問題研究 總索引	紙本治一郎	

日本社会学院事務所 発行／解題 川合隆男

復刻版

日本社会学院年報

第１年～第10年（大正３～12年）・社会学研究
第１巻１号~第２巻１号（大正14年４月～昭和２年３月）　全11巻

ISBN 978-4-8447-3484-0
A5判・総7,200頁　本体価385,000円

「日本社会学院」は、明治期の「社会学会」「社会学研究会」などの学会組織や活動のあとに、東京帝大教授建部遯吾を中心に全国的な学会組織として1913（大正２）年５月に設立された。

その機関雑誌が、『日本社会学院年報』（編修・建部遯吾、米田庄太郎）と『社会学研究』（編修・赤神良譲など）であった。大正デモクラシーが主張されていく時代にあって、「個人本位観」と「社会渾一体観」とが渦巻く歴史状況や社会学界の動きを知る貴重な資料である。（'99・10 刊）

残僅少

編集 川合隆男

近代日本社会学関係雑誌記事目録
附・執筆者別索引

執筆者約2,200名／収録記事数約18,000
収録雑誌32誌（明治７年～昭和25年）

ISBN 978-4-8447-8452-4
B5判・680頁　本体価50,000円

本書は『明六雑誌』（1874－75年）から、戦後日本社会学が再出発し『社会学評論』が新たに刊行（1950年７月）される以前までの、32点の主な社会学関係雑誌の記事目録を収録したものである。

明治初年以降の数多くの社会学関係雑誌記事目録を個別の雑誌の個々の記事目録にとどめず、同一の書誌に編纂した点で画期的である。

本書には近代日本が歩み出す中で、人間学、交際学、世態学、社会学等が渦巻き、学問運動としての社会学、社会学界、社会学会の草創、形成、変転する様が刻み込まれている。（'97・４刊）

収録雑誌名一覧

『明六雑誌』
『社会雑誌』
『社会』
『社会学雑誌』（社会学研究会）
『丁酉倫理会講演集』
『丁酉倫理会倫理講演集』
『日本社会学院年報』
『社会学研究』（日本社会学院）
『日本社会学研究所論集』
『社会及国体研究録』
『社会学雑誌』（日本社会学会）
『季刊社会学』（日本社会学会）
『（年報）社会学』（日本社会学会）
『社会学研究（年報）』（日本社会学会）
『社会学研究』（日本社会学会）
『文化社会学叢書』
『社会学』
『唯物論研究』
『学芸』
『東京社会科学研究所年報』
『社会哲学社会科学評論』
『社会学評論』
『社会学研究』（東京社会学研究会）
『季刊社会学』（東京社会科学研究所）
『家族と村落』
『社会学徒』
『大原社会問題研究所雑誌』
『月刊大原社会問題研究所雑誌』
『社会科学』
『社会圏』
『季刊社会科学評論』
『東亜社会研究』

ソシアル・サーヴィ（社会踏査）
内務省衛生局 編／解題 川合隆男

復刻版

東京市京橋区月島に於ける 実地調査報告
全２巻

ISBN 978-4-8447-0407-2
A5判・750頁　本体価60,000円

通称「月島調査」といわれる本調査（大正10年11月刊）は「報告本文」、「附録」（別冊２冊、（１）統計表、（２）月島社会地図及写真）の３冊からなっている。内務省保険衛生調査会を調査母体として、高野岩三郎を中心に権田保之助、星野鉄男、山名義鶴、三好豊太郎らの多彩な人たちが参画し、町内に調査所をおいて長期にわたって「ソシアル・サーヴィ」を試みたユニークな総合的調査であり、近代日本史の貴重な遺産である。（'02・３刊）

近代日本社会学史叢書編集委員会（代表 川合隆男）編　　A5判
編集委員 川合隆男、原田勝弘、小倉康嗣、三浦直子、松尾浩一郎、吉村治正
すいせん 秋元律郎、新 睦人、内山秀夫、小松隆二、富永健一、中 久郎、中川 清、吉原直樹（50音順）

近代日本社会学史叢書

本企画は、1868（明治元）年から第２次世界大戦終戦後の占領期である1953（昭和28）年まで、約90年間の我国の広く社会学史に関する基礎資料としての著作の復刻刊行を意図している。全著作数約330冊を予定。

21世紀を迎えて現代社会の社会変動は内外ともに激動の様相を示し、ますます複合的・多元的な変化、不確実な変化が増大してきており、自然と人間との関係をも含めて、人間と国家・社会・世界との関係、人間関係のありようを軸に、近代・現代社会の歴史的転換をあらためて再考察していく作業が重要な課題として課せられているといえる。明治以降の我国の社会科学と社会学の展開も、また例外なく、そうした大きな激動のもとで繰り広げられてきたのであり、このような激動のもとにあっては、将来を見据えて歩むべき方向や確とした指針を探り出すべくこれまでの先人たちの歩みや営々として築かれてきた知的遺産を検証する作業は極めて重要である。編者らの復刻作業はそうした検証作業の一環であり、近代日本の知的遺産の批判的継承とともに、知的資源の創造的展開も重要な作業であると考えている。

第1期（草創期～生成期）全38巻

1868（明治初）年（草創期）
～1906年・明治30年代（生成期）　　揃本体価874,000円

配本	巻号	書名	編著者名	刊行年
1	1	百学連環	西 周	1871（明治4）
		百一新論	〃	1874（明治7）
		生性発蘊	〃	1871～73（明治4～6）
	2 3	文明論之概略（全2巻）	福沢諭吉	1875（明治8）
	4	国体新論	加藤弘之	〃
		人権新説	〃	1883（明治16）
		フェノロサの社会学講義	E.F. Fenollosa（秋山ひさ編・解説）	1882（明治15）
	5	社会進化論 社会学、巻之一	有賀長雄	1883（明治16）
	6	宗教進化論 社会学、巻之二	〃	〃
	7	族制進化論 社会学、巻之三	〃	1884（明治17）
	8	増補 社会進化論	〃	1886（明治19）
	9	民情一新	福沢諭吉	1879（明治12）
		将来之日本（第5版）	徳富蘇峰（猪一郎）	1888（明治21）
	10	日本之輿論	内山正如	〃
		社会学史	有賀長雄（斉藤正二編・解説）	1888～90（明治21～23）
	◆vol. 1～vol. 10　全10巻		分冊本体価230,000円　ISBN 978-4-8447-5525-8	
2	11	相思戀愛の現象（前編）	布川孫市	1891（明治24）
		国家的社会論	斯波貞吉	1892（明治25）
	12	最暗黒之東京	乾坤一布衣	1893（明治26）
		内地雑居可否論纂	紫尾寛太	〃
	13	東亜之大勢	末広重恭	〃
	14	神代の女性	外山正一	1894（明治27）
		藩閥の将来　付 教育之大計	〃	1899（明治32）
	15	社会学	渋江 保	1894（明治27）
		社会学	辰巳小次郎	1895（明治28）
	16	日本現時之社会問題　附 近世社会主義	田島錦治	1897（明治30）
	17	社会百方面	松原岩五郎	〃
	18	哲学大観	建部遯吾	1898（明治31）
	◆vol. 11～vol. 28　全８巻		分冊本体価184,000円　ISBN 978-4-8447-5526-5	

3	19	日本之下層社会	横山源之助	1899(明治32)
	20	内地雑居後之日本	〃	〃
		社会的制度一斑	窪田静太郎	〃
	21	社会学	岸本能武太	1900(明治33)
	22	社会研究新論	久松義典(狷堂)	1901(明治34)
	23	社会問題解釈法	安部磯雄	〃
	24	日本の労働運動	片山 潜、西川光二郎	〃
	25	社会学講義(抜粋)	浮田和民	〃
		社会外の社会	柳瀬勁介	〃
	26	五人組制度	穂積陳重	1902(明治35)
	27	新社会	矢野龍溪	〃
	28	社会学講義	久松義典(狷堂)	〃
		都市社会主義	片山 潜	1903(明治36)
	◆vol. 19～vol. 28　全10巻		分冊本体価230,000円　ISBN 978-4-8447-5527-2	
4	25補巻	社会学講義(補巻)	浮田和民	1901(明治34)
	29	社会学及研究法	遠藤隆吉	1903(明治36)
	30	女学生の栞	松原岩五郎	〃
	31	自活苦学生	苦学子	〃
		理論普通社会学綱領	建部遯吾	1904(明治37)
	32	女子職業案内	落合浪雄	1903(明治36)
	33	普通社会学、第一巻 社会学序説	建部遯吾	1904(明治37)
	34	日本社会の発達及思想の変遷	遠藤隆吉	〃
	35	女性観	加藤咄堂	〃
		世界に於ける日本之将来	矢野龍溪	1905(明治38)
	36	普通社会学、第二巻 社会理学	建部遯吾	〃
	37	社会学的研究 戦争論	〃	1906(明治39)
	38	海外活動之日本人	横山源之助	〃
	◆vol. 25補巻・vol. 29～vol. 38　全11巻		分冊本体価230,000円　ISBN 978-4-8447-5528-9	

第2期(形成期)全65巻

1907(明治40年)年
～1918年(大正7)年(形成期)

配本	巻号	書名	編著者名	刊行年
1	39	日本之社会	小林照朗	1907(明治40)
	40	近世社会学	遠藤隆吉	〃
	41	田園都市	内務省地方局有志	〃
	42	現代青年論	伊藤銀月	〃
	43	田舎之日本	木下義道	〃
	44	靜観余録	建部遯吾	〃
	45	婦人職業論	伊賀歌吉	〃
	46	谷中村滅亡史	荒畑寒村	〃
	47	日本の将来	笹川 潔	〃
	48	社会主義綱要	堺 利彦	〃
	◆vol. 39～vol. 48　全10巻		分冊本体価230,000円　ISBN 978-4-8447-5529-6	

以降、休止

7．小笠原・南洋関係

後藤乾一 著

南進する人びとの近現代史
—小笠原諸島・沖縄・インドネシア—

ISBN 978-4-8447-8320-6
A5判420頁　本体価5,000円

かつて日本は北太平洋の広大な海と島々を支配した海洋帝国であった。その中央に小笠原群島・硫黄列島はある。本書は、ここを焦点に、帝国日本の「南進」を主導した有名・無名の人びとの群像を描く。著者の「南進」研究の総決算であり、記念碑的労作である。（2019. 8 刊）

石井良則 著

戦前期の小笠原諸島
—その光と影—

ISBN 978-4-8447-0653-3
B5判240頁　本体価4,000円

本体価4,000円

第１章　回想の父島と母島
第２章　開拓者の群像
第３章　戦争の記憶

限りなく広がるブルーの海と純白な砂浜の美しい光景の背後に隠された歴史的事実をさぐり出し、人々の生々しい息遣いを昔話を題材にして筆鋒鋭く未開拓の分野に斬り込む。風光明媚な山々と静かな海に囲まれた小笠原の島民の姿を筆者の冷徹な視線で分析批判を展開。文献資料の中だけでは得られない人々の営為を本音の部分で描き出す問題作。（2020. 11 刊）

写真集 石井良則 編著

語りかける写真の中の人びと
—戦前の小笠原諸島を中心にして—

ISBN 978-4-8447-0654-0
A4判200頁（予定）　価格未定

伊豆諸島の八丈島には「出百姓」という移住施策が昔からあり、荒無地開墾による島内食料難緩和目的だった。明治後半には小笠原島民の大半は八丈島よりの移民で占められる。

大正期になると小笠原島民の「南海出百姓」が始まる。国際連盟より日本が南洋諸島の統治を委任されると、小笠原島民の入植が開始され、各地に散開し、開拓に従事した。

その中で南洋物産㈱ロタ島支店長として事業に成功した鵜澤琢正だが、小笠原島民の活動した写真類の記録に極少である人口の多くは敗戦間近かになると戦禍に巻き込まれ、不帰の人となったり、行方不明などの話が伝わっているに過ぎない。

小笠原協会 編

編集復刻

なでしこ
〔東京都小笠原村父島 大村尋常高等小学校文集〕全３巻

揃ISBN 978-4-8447-0655-7
A5判・ケース入り
総計1,500頁　価格未定

編集　青木澄夫

写真集 南方の日本人写真師と絵葉書(1890〜1940年)全5巻[仮題]
—青木澄夫コレクション—

A5判・並製・キャプション付

各巻　本体価未定

予定構成

1巻　総説・インドネシア　1(ジャワ)
本体価　未定

2巻　インドネシア　2(ジャワを除く)
本体価　未定

3巻　シンガポール、マレーシア
本体価　未定

4巻　タイ、ミャンマー、ベトナム
本体価　未定

5巻　フィリピン、アフリカ、絵葉書の中の日本
本体価　未定

今からおよそ100年前、1900年代から1930年代にかけて、東南アジアで、日本人写真師（館）が各地に散在し、大量の写真絵葉書を作成していた事実はあまり知られていない。

東南アジア諸国では、近年の経済成長とともに歴史への関心が高まり、公文書館や図書館、博物館などが、史資料として古写真や古絵葉書の入手に努めている。

本シリーズでは、第二次世界大戦までに、東南アジアとアフリカで活動した日本人写真館や日本商店が現地の人々の暮らしぶりや自然風景を撮影した写真絵葉書のうち、著者のコレクションから希重なものを更に選別し、数巻に分けて紹介する。

8．中国関係

1．満　鉄（南満洲鉄道株式会社）

満　鉄　史　料　叢　書

監修（財）満鉄会
解題 野間 清

満鉄の経営とその活動を綴る本叢書は、わが国の資本主義的発展、特に植民地経営の経過と経験、日中両国民族の関係を示す歴史的文献資料である。このたび財団法人「満鉄会」が満鉄の経営や活動の基本文献・資料を永く後代に遺すべく、『満鉄史料叢書』として系統的に監修復刻することになり小舎が協力して刊行する。

残僅少

満鉄撫順炭礦 編（昭和14年）

①秘　炭　礦　読　本

ISBN 978-4-8447-5351-3
A5判・730頁　本体価18,000円

満鉄が経営した撫順炭礦（採炭所・頁岩製油工場・石炭液化工場・化学工業所・火薬製作所・製鉄試験工場等の総合的経営組織）の沿革と組織、経営の現態、各部門の技術的現況等についての専門的解説書。当時の経営と技術の現況を網羅的に明確に示す。（'86・1 初版 '89・3 2版）

⑤満洲事変直前期満洲に於ける労働争議録集

ISBN 978-4-8447-5338-4
A5判・500頁　本体価22,000円

大正期から昭和初期にかけての満洲事変直前の時期に、南満地域を席捲した労働運動と労働争議について、満鉄の人事（労務）担当個所が作成した記録を編集。これらの「記録」を通じて、南満地域の労働運動、さらには中国全土を風靡した労働運動の性質や発展の趨勢等についての満鉄の人事（労務）担当個所の認識と対応の姿勢を知ることができる。（'87・10 刊）

⑥満鉄各箇所使役華工調査報告

ISBN 978-4-8447-5339-1
A5判・470頁　本体価20,000円

満鉄は大部分の業務を社外請負者に依存していたので、中国人労務者の実態を正確に把握していなかった。

1927年7月、満鉄社長に就任した山本条太郎は「社業実務の合理化経済化」を提唱し、調査課とは別に、経済調査委員会を設置した。委員会は、1928年1月から約4ヶ月にわたって、中国人労務者が使役されている全現場作業個所について聴き取り調査を実施した。本書は、その調査報告書である。

これは、満洲事変直前期の満鉄の現場で働いていた「社員外」中国人労務者の労働と生活の実態を描いた百科全書的記録である。（'87・10 刊）

⑦満鉄鉄道営業貨物積卸に関する 華工制度の沿革（上・下）全２巻

ISBN 978-4-8447-5340-7
A5判・計800頁　本体価30,000円

大正末期から昭和初期にかけ経済恐慌のあおりをうけ、満鉄の経営も悪化の度を急速に深めていた。この貨物の鉄道への積み卸し作業は、満鉄自身の傭員ではなく、中国人労働者（苦力）に依存し、会社としては、従来、この制度についての格別な検討も対策も講じていなかった。

しかし、この時期中国全土に沸き上った中国民衆の反帝国主義反封建の愛国運動は東北地区へも浸透し、長春駅や奉天（瀋陽）駅でストライキが勃発し貨物輸送が脅かされるに至って、満鉄もこの制度への吟味と対応をせまられ、1929年この制度の全容の調査を創業以来はじめておこなった。本書は、その調査結果である。（'87・11 刊）

---

⑧日支紛争に関する 国際聯盟調査団と満鉄

ISBN 978-4-8447-5341-4
A5判・700頁　本体価28,000円

「満洲事変」についての「リットン報告書」が国際的論議や対日態度決定の基礎的な資料になったことは、ひろく知られている。満鉄は当時、実質的にはわが国の外務省に代って、この調査団の中国東北地区での視察の東道役をつとめ、一行の東北地区における行動の詳細を会社の公式的な記録として残している。それは報告書が作成された背後の状況を示す貴重な資料である。同時に、当時の満鉄の性質や役割を示す重要資料でもあり、また国際的孤立化を深めていたなかでのわが国の対応の姿を知るうえで欠くことができぬ資料でもある。（'88・10 刊）

---

⑨撫順炭砿坑内堀採炭事業ニ於ケル 中国人労働者ノ労働条件

ISBN 978-4-8447-5342-1
A5判・約150頁・折込多数　本体価18,000円

本書は、昭和15（1940）年からその翌年にかけて行なわれた、「撫順炭砿坑内掘採炭事業ニ於ケル中国人労働者ニ関スル調査」の労働条件篇である。当時の東北地区の工砿業部門とりわけ炭坑部門では、中国人労働力が極度に不足していて、重大な影響をすべての生産部門に及ぼすおそれさえあった。撫順炭砿も例外ではなかった。この調査報告に昭和16（1941）年および18（1943）年に満鉄本社調査部（局）が行なった『満鉄中国人従業員生計費調査』を重ね合わせることによって、日本帝国主義支配下とりわけ戦争末期の東北地区における中国人労務者の労働生活の実態を知ることができるであろう。（'88・10 刊）

特秘・軍秘

⑩満鉄在籍社員統計

ISBN 978-4-8447-5343-8
A5判・約280頁・折込多数　本体価20,000円

満鉄は明治40年営業開始以来、毎年度末現在の在籍社員統計を、業務用社内資料として作成しているが、昭和20年８月の日本の敗戦により、昭和20年度はもとより、21年１月末現在の部個所別総括統計以外は、19年度末現在の統計資料も整理できなかった。そのため、満鉄在籍社員の部個所別、資格別の詳細な公式統計は、この19年９月末現在統計が最後の統計である。満鉄会社の戦後処理に当っての日本政府との折衝で、基礎資料とされた唯一の人事関係統計である。わが国の満洲支配をめぐる国内外の情勢の変転の中での満鉄社業の消長が人事行政面に反映されている公式資料である。わが国政府の代行機能をもっていた満鉄の満州経営組織を人的配置構造の側面から知ることができる重要資料でもある。（'89・3 刊）

⑪満鉄中国人労務者の生計費調査報告

ISBN 978-4-8447-5344-5
A5判・250頁　本体価17,000円

支那事変勃発2年にして、悪性インフレーションが引き起された満洲では労働力の不足と質的低下が進行し、社業が著しい支障をきたし、社会不安も高まりつつあった。かかる事情をふまえ、満鉄調査部は統一的調査課題として「日満支ブロック・インフレーション調査」をとりあげ、その調査結果にもとづき、さらにそれを深めるため「日満支戦時経済の分析」を統一的課題とした。ここに収録した資料はいずれもその調査の一環として、大連本部の調査部が現場の中国人労務者の賃金水準と生活内容の実体について行った昭和15(1940)年度の調査報告である。日本の戦時経済体制末期における、わが国の植民地的支配下にあった中国人労務者の経済生活の実態を恣意的粉飾を加えず、比較的忠実に伝えている史料として貴重である。　('89・3 刊)

⑫課級以上組織機構変遷並に人事異動一覧表 附 歴代重役及び監理官一覧表・各次「職制改正」の要旨

ISBN 978-4-8447-5350-6
A4判・280頁　本体価50,000円

満鉄は存続した約40年間に、前後21回「職制改正」とよばれた組織機構の根本的改正を行った。そしてその中間期にも課級以上の組織の手直し的改正を幾次も行っている。本書の21の組織表は、それらの根本的改正に中間期の手直し的改正を改正の年月日とともに記した会社の組織機構の変遷推移の全貌の記録である。同時に課級以上の個所及び部局の課長及び課長待遇以上の会社幹部の離就任を、その離就任の年月日とともに記録してもいる。

これは、植民地会社満鉄が存続した40年間の組織の変遷と幹部人事の異動の全貌を併せて示す唯一の公式記録であり、わが国の対満支配の「盛衰」変転の記録でもある。　('92・9 刊)

⑬満洲鉄道建設誌 附 ㊙列車運行表

ISBN 978-4-8447-5367-4
A5判・780頁　本体価30,000円

満鉄が1907(明治40)年4月1日営業を開始した当時、全満の鉄道は総計約3,400粁であったが、英・露・支・日系それぞれの経営する鉄道が広軌、狭軌、軽便と種々雑多な軌幅を採用し、全く連結性の不可能な状態であった。ところが1945(昭和20)年日本敗戦時には全満鉄鉄道総粁数約13,000粁、全鉄道は満鉄の統一的経営下、標準軌幅4呎8吋半に改修統一されていた。

本書により、右の鉄道網発展は列強の国際的葛藤を通じて実現し、中国の自主的建設が中国民衆の国権回復思潮の高揚期に現われ、また全発展の70％余が「満洲国」期に集中したことなどが具体的に示されている。それは満洲での鉄道網発展の基本的性質、特徴を具体的に示すものである。

解題は現場事業にたずさわった1満鉄人が担当、当時の心情と姿勢を卒直に語る。　('91・11 刊)

⑭南満洲鉄道株式会社中央試験所要覧 (昭和16年版)中央試験所一覧

ISBN 978-4-8447-5347-6
A5判・240頁　本体価15,000円

満鉄は社会科学部門調査機関のほか、中央試験所、農事試験場、獣疫試験所、地質調査所等数多くの自然科学部門の調査、研究組織を設置、経営していた。中央試験所はこの中の重点組織の一つであり、最後迄満鉄直属組織として最も成果をあげ、また日本敗戦時、その業務・業績が比較的完全な形で新中国に引き渡された組織である。

本書によりその全貌を知ると共に、満洲の経済・産業の開発に果した役割の実態を読みとることができる。

解題は当時の研究所の無機化学研究室の責任者が担当、それはまた満洲における科学技術と化学工業の発展小史でもある。　('92・10 刊)

（昭和3年）

⑮秘 満鉄関係條約集
附・索引　全2巻

ISBN 978-4-8447-6365-9
A5判・総1,430頁　本体価55,000円

本條約集は1925（大正14）年10月刊の『南満洲鉄道株式会社関係條約集』の改訂、増補版である。当時の満洲を取り巻く国際関係、日本国内での満鉄の地位と性質の全貌を法的側面で最も詳細、赤裸々に示す。

収録文書類の主要なものの政治・外交的背景や意義は解題によって解説。満鉄設立前期から「事変」直前期までの満洲における鉄道を中心とする列強の「権益」をめぐる政治・外交闘争の概要を知ることもできる。（'93・4 刊）

満鉄調査部 編／解題 井村哲郎

⑯ 満鉄調査部報
（昭和15年5月～18年4月）　全4巻

ISBN 978-4-8447-3490-1
A5判・総1,600頁　本体価88,000円

昭和14年4月の改組により拡充された満鉄調査部の中心部門だった綜合課が拡充調査部の任務を各地調査担当部局に伝達・浸透させ、調査の意思統一を図らせるために発行。部内の内情を詳細に読みとれる貴重資料。（'00・8 刊）

満鉄調査部（昭和12年刊）／解題 原 朗

復刻版

満洲5箇年計画立案書類
全14巻・付図1

ISBN 978-4-8447-5361-2
A5判・総約6,900頁　本体価120,000円

満鉄調査部の膨大な調査書類は、今日なおその全容を知ることさえ困難である。その中で、『満洲永年計画資料』を含む『満洲5箇年計画立案書類』全14巻の完全復刻である。（'80・3 刊）

残僅少

収録内容

第1編第1巻	満洲5箇年計画概要	第2編第6巻	鉛鉱関係資料
第1編第2巻	満洲永年計画資料	第2編第7巻	自動車工業関係資料
第2編第1巻	鉱工業部門概要	第2編第8巻	雑鉱工業関係資料
第2編第2巻	鉄鋼関係資料	第3編第1巻	農畜産部門関係資料
第2編第3巻	液体燃料関係資料	第4編第1巻	資金部門関係資料
第2編第4巻	石炭関係資料	第5編第1巻	労働部門関係資料
第2編第5巻	軽金属関係資料	第6編第1巻	交通部門関係資料

（財）満鉄会結成40周年記念出版／満鉄会 編

南満洲鉄道株式会社第4次10年史

ISBN 978-4-8447-5358-2
A5判・626頁　本体価17,000円

南満洲鉄道株式会社（満鉄）は、日露戦争後のわが国の満蒙政策遂行の唯一の代行機関として設立され、その後の満蒙をめぐる複雑な国際環境のなかで終戦に至るまでの40年間、つねに大陸開発の牽引車の役割を果した。その具体的活動については、昭和11年度までは会社が10年ごとに発行した社史により明らかであるが、12年度以降については終戦時の混乱・資料の現地焼却・米ソ両国による書類持出し等により社史が欠落したままであった。しかし、この期間こそ特急あじあ号の驀進・全満洲における鉄道等の一貫経営及び新線建設・北鮮鉄道の経営、撫順炭礦を軸とする製油・製鉄・石炭液化、国策的諸調査等会社業務の飛躍的膨張発展を遂げながら、敗戦により一切の従来蓄積を失うまさに明暗を分けた激動の時代であった。本書は、会社存続中の刊行とは異なるものの、その内容は現段階で可能な限りの資料を蒐集駆使して会社の全部門を余すところなく記述したものであり、本書によって初めて明らかにされた部分も多い。さらに終戦前後における会社の現地対応はもとより、昭和32年4月の清算結了に至るまでの全過程に言及しており、その意味で本書は会社の最後史にも相当する。（'86・10 刊）

満鉄社員会 発行

縮刷版

協　　和

昭和4年5月～16年12月（半月刊誌時代）

全25巻・総300冊

B5ワイド判　　揃本体価654,000円

『協和』は満鉄社員会の発行雑誌であった。会社の記録・資料と異なり、そこに勤務した人間の“生の声”を伝える唯一の資料である。国策遂行を任務とした「満鉄」ではあったが、しかし満鉄で働く現業日本人の多くは五族協和の理念の下、現地人満鉄社員と共に、明るく勤務に従事していた。やがて来るべき悲劇を予感させる緊張した国際環境下にあって或る意味でハツラツたる活気に満ちていた満鉄の当時を本誌は巾広く描く。ありのままの職場通信、全満各地の末端現場での社員の苦労、婦人社員の生活記事、結婚紹介、風俗習慣、言語など、「満洲」民族の詳細な紹介、読書欄での新刊図書の紹介…など仕事・生活・教養を一体化し、しかも極めて高度な編集技術で刊行。その他、政治経済上の記事…物価・人事・経済・国際関係（特にソビエト事情）等、近現代史研究のために不可欠の情報を今日に伝える第一級資料である。（'87刊）

残僅少

刊　行　内　容

配本	原本巻号	原本発行年月（昭和）	冊数	分冊本体価	ISBN
1	第１号～第40号	4．5～5．12	3	85,000円	978-4-8447-6156-3
2	第41号～第88号	6．1～7．12	4	104,000円	978-4-8447-6157-0
3	第89号～第136号	8．1～9．12	4	104,000円	978-4-8447-6158-7
4	第137号～第183号	10．1～11．12	4	104,000円	978-4-8447-6159-4
5	第184号～第231号	12．1～13．12	4	104,000円	978-4-8447-6160-0
6	第232号～第279号	14．1～15．12	4	104,000円	978-4-8447-6161-7
7	第280号～第303号	16．1～16．12	2	49,000円	978-4-8447-6162-4

※但し、第257号・第285号・第303号は原本未発見（当時）のため、収録なし。

龍溪書舎編集部 編

『協　　和』
総目次

満鉄社員会発行、雑誌『協和』全300号の各目次・頁を収録。（'83・9 刊）

残僅少

ISBN 978-4-8447-0439-3

B5判・100頁　　本体価1,500円

2．満　洲

解題 浅田喬二

復刻版

秘 興亜院 大東亜省　調査月報 全36巻

興 亜 院『調査月報』第１巻～27巻
　　原本34冊（昭和15年１月～17年10月）
大東亜省『調査月報』第28巻～36巻
　　原本16冊（昭和18年１月～19年４月）

A5判・総17,000頁・折込多数　　揃本体価612,000円

興亜院の『調査月報』には、中国占領地の重要国防資源、農工業品の生産・需給関係、農工業の労働力需給状況、農工業品の取引機構、鉄道輸送状況、財政・金融の現況、通貨・物価の動向、地方教育の現況、秘密結社・宗教活動状況、辺区（中国共産党支配地区）の政治・経済状況、思想団体の活動現況、などの調査結果が満載され、中国占領地の日本による社会的・経済的・文化的・イデオロギー的支配状況が浮き彫りにされ、日本帝国主義による中国支配のもつ諸矛盾の実相が明らかになる。

大東亜省の『調査月報』は、「調査」と「資料」を中心にして構成されたもので、主に、中国占領地における農工業品の生産・需給状況、農工業品の流通機構、「満洲移民」の入植状況、炭鉱労働者の需給状況、教育・宗教活動の状況、辺区での中国共産党の工作状況、などの調査結果が満載されている。

この二つの『調査月報』は、日本帝国主義による中国支配の全容（全体像）を体系的に明らかにするための、極めて貴重な第１次資料である。

（'88 刊）

残僅少

刊行内容

配本	原本巻号	原本発行年月（昭和）	冊数	分冊本体価	ISBN
1	第１巻～第９巻	15. 1 ～15. 11	9	153,000円	978-4-8447-6116-7
2	第10巻～第18巻	15. 12～16. 8	9	153,000円	978-4-8447-6117-4
3	第19巻～第27巻	16. 9 ～17. 8	9	153,000円	978-4-8447-6118-1
4	第28巻～第36巻	17. 9 ～19. 4	9	153,000円	978-4-8447-6119-8

満洲国実業部臨時産業調査局 編
解題 小林英夫、風間秀人

復刻版

農村実態調査報告書 全16巻

ISBN 978-4-8447-3311-9
A5/B5判・総約4,100頁・折込、写真多数 本体価120,000円

建国後間もない「満洲国」実業部臨時産業調査局は、1933年から1936年にかけて「満洲」各地の37部落を対象とし、全農家1,651戸を把握する大規模な農村実態調査を実施した。本書はこの調査の総括報告書に位置付けられるもので、そこには、当時の「満洲」農村社会の状況が生々しく描かれている。しかも、この産業調査は、以前に例を見ない悉皆調査という形式を取り、それまでにない大規模、かつ精緻なものであったことから、その後、「満洲」や中国占領地でおこなわれた農村調査に多大な影響を与えた。

（'89・7 刊）

収録内容

第１巻　農家概況編
第２巻　小作関係並に慣行編
第３巻　農業経営論
第４巻　販売並に購入事情編
第５巻　雇傭関係並に慣行編
第６巻　農家の負債並に貸借関係編
第７巻　農家経営続編
第８巻　土地関係並に慣行編
第９巻　農村社会生活編
第10巻　農産物販売事情編
第11巻　農家経済収支
第12巻　主要農産生産費
第13巻　土地関係並に慣行編（補遺）
第14巻　北満・南満農村実態調査報告書
　　―租税公課編
第15巻　農家の負債並に貸借関係編
　　（南満の部）
第16巻　耕種概要編（北満農具之部）

3．中　国

台湾憲兵隊 編

台　湾　憲　兵　隊　史

ISBN 978-4-8447-5387-2
A5判・489頁　**本体価12,000円**

凡例抄
①．本史はまず台湾における憲兵隊の制度変遷を述べ主として先輩憲兵個々の事跡を記述し、同時に台湾占領に関する軍事の梗概をも併記せり。
②．本史は台湾憲兵隊の最も活躍したる領台当時及びその後明治35年頃までの先輩憲兵個々の事跡を主として編纂せり。
③．本史の資料は改隷以来憲兵として活動し、今なお生存せる諸氏の実験談、台湾憲兵隊歴史、台湾陸軍部備付の史料、台湾総督府各州庁保存の資料その他各種の史実を基本として記述せり。（'79・11 初版 '07・10 2版）

森脇晧州 著

周　易　釋　詁
全2巻

ISBN 978-4-8447-5379-7
A5判・1,750頁　**本体価28,000円**

「周易釋詁」は、3,000枚におよぶ大著。筮法、生卦法、易経上下、繫辞伝上下、説卦法、序卦伝、雑卦伝等、およそ周易に関する原典を網羅し、その全般に亘り、極めて緻密、周到、微に入り、細に至り、１字１句、余すところなく、徹底的に解説をほしいままにしている。関連する事項については、各典籍の必要箇所を相互に引用し、考究を進め、余すところがない。本書はおよそ易学の研究者にとって、その至難なる解義を、ひたすら平明なる理解に導き、易学精神の把握にいたらしめる堪能なる力作である。（'81・9 刊）

依田憙家 著

再増補　日中両国近代化の比較研究序説

ISBN 978-4-8447-8364-0
A5判・392頁　**本体価6,000円**

従来わが国においては、社会発展の問題を論ずる場合、西欧諸国との比較研究が重視されて来た。しかし西欧もまた「特殊」な面を持つことが明らかとなり、これ迄の西欧諸国での社会発展の過程を歴史の典型とすることは不充分と認識されるに至っている。
この様な観点から、「近代化」に直面したアジア諸国、特に新中国の学術研究の成果に接して、相互の共通点や相違点を比較しつつ、近代日本の本質を明らかにしようと試みる。（'86・9 初版 '93・3 4版）

残僅少

依田憙家 著

日本帝国主義と中国

ISBN 978-4-8447-8303-9
A5判・350頁　本体価4,500円

20世紀の始まりは、同時に世界資本主義の帝国主義への移行の時代でもあった。この頃世界帝国主義陣営に参加した日本は、第１次大戦を通じて本格的な帝国主義体制を確立し、第２次大戦に突入して行った。この間、日本帝国主義の侵略の主な対象となったのは朝鮮とともに中国であり、「日韓合併」後は中国をその主な侵略の対象とし成長していった。

本書は、（１）日本帝国主義は成立の各段階において中国をどの様に位置づけ、どの様な政策をとったか、（２）侵略の各段階において、勢力範囲、植民地、占領地区などをどの様に支配しようとし、また支配したか、の問題に焦点をあて、その実態を実証的史料で明らかにする。

（'88・11 初版
'89・11 2版）

日中戦争史研究会（代表 馬場 毅）編・訳

日中戦争史資料
−八路軍・新四軍−

ISBN 978-4-8447-8337-4
A5判・524頁　本体価12,000円

日中戦争当時、「人民軍隊」といわれた中国共産党指導下の八路軍・新四軍は、その規律の厳格さと強い戦闘力で日本軍を悩ました。国家政策遂行の手段に過ぎない日本軍と異なり、中国自身の革命を目指した彼等は政治工作を重視し、人民大衆と呼応した遊撃戦を展開し、やがて勝利する。本書はこの過程を著作、回想録等を避け当時発行の第１次資料のみ４点を選出し翻訳。（'91・8 刊）

収録内容

第１編　抗日戦争時期の八路軍と新四軍
八路軍総政治部宣伝部編集
（人民出版社、1953年）

第２編　戦時政治工作
静琴編（時代資料保存社、1938年）

第３編　抗日遊撃戦争
朱徳著（新華日報館、1938年）

第４編　八路軍百団大戦特輯
第一八集団軍（八路軍）政治部編集
（八路軍軍政雑誌社、1941年）

依田憙家教授還暦記念論文集編集委員会 編

日中両国の伝統と近代化

ISBN 978-4-8447-8348-0
A5判・504頁　本体価12,000円

早稲田大学社会科学研究所依田研究室に関わって日中比較論をテーマとする中国若手研究者の力作論文集。（'92・4 刊）

坂井田夕起子 著

誰も知らない西遊記
—玄奘三蔵の遺骨をめぐる東アジア戦後史—

ISBN 978-4-8447-0207-8
四六判・280頁　本体価3,000円

『西遊記』といえば“孫悟空”と思い浮かべることが多いが、本書はその本来の主人公、玄奘三蔵法師の没後の旅を描いたものである。

インドから持ち帰った多数の経典を翻訳するという偉業を成し遂げた玄奘は、60代で生涯を終える。その遺骨が日中戦争の最中、南京で発見されるところから話が始まる。さらに遺骨は日本へ渡り、台湾、中国へと旅することになる。仏教界においては聖遺物とされる玄奘の遺骨が、戦後から現在にかけて与える影響とはいかなるものか。その真髄に迫る。（'13・12 刊）

9. 朝　鮮

継続刊行図書　分売可　A5判・並製

韓国併合史研究資料

従来の日本の朝鮮近代史研究は、韓国併合後から第二次世界大戦までの歴史に力点が置かれがちであったが、本資料集では、特に為政者側の作成した文献・著書・論文を多く蒐め、1910（明治43）年以後の経済史・文化史にも注力し、広い視野で朝鮮の開国そのものに正面から迫るべく努めた。さらに、以降の展開状況を伝える史料も順次発掘し、紹介する。

第１期（❶～❽）　全８巻・総９冊　　揃本体価 65,000円（'95・11 刊）

朝鮮新聞社 刊（昭和11年６月）

❶朝鮮統治の回顧と批判

ISBN 978-4-8447-5389-6
330頁　本体価6,000円

朝鮮「統治」から28年を経た昭和11年に刊行。90名もの当時の関係者による回想集。内容のほとんどは反省と自戒に欠けているものであるが、それ故に本書全体が日本近代史の闇の証明の意味を持ち、後世への資料として見逃せない。

朝鮮総督府 編（大正７年３月）

❷朝鮮ノ保護及併合

ISBN 978-4-8447-5390-2
450頁　本体価8,000円

朝鮮の「保護」より「併合」に至るまでのいわゆる真相を提示したとされる。内容はほぼ大な資料に基づいており、総督府の名の下に「極少部数」印刷された。現在まで、本書の名前だけは知られていたが、全冊の復刻により、研究上の空白が癒されることは必至であろう。

❸

統監府 編（明治43年９月）

韓国併合顚末書

明治37年以来の政府間の議定・覚書・協約などを「詔書・条約・法令」に基づいて説明したもの。記述は原本通りに載せられており、統監府設置から総監府設立前夜までの政体が窺われる。

佐伯有義 著（明治43年10月）

韓国併合の旨趣

日韓両国歴史的関係、韓国併合の理由（詔書）、朝鮮今後の経営、條約などを記述。

喜田貞吉 述（明治43年）

韓国の併合と国史
附・朝鮮沿革史略、明治日韓交渉史

喜田貞吉の手による大作で、朝鮮半島古来の沿革、日韓の交渉顚末をも視野に入れて記述されている。

ISBN 978-4-8447-5391-9
総360頁　本体価7,000円

韓国内部警務局 編（隆熙４年３月）

❹顧　問　警　察　小　誌

ISBN 978-4-8447-5392-6
310頁　本体価6,000円

隆熙４年（明治43年）に韓国内部警務局より出された。「現時韓国警察ノ前身タル顧問警察ノ真性ヲ明ニシテ後来執務ノ考資ニ充テントスルニアリ」と謳われている。主要目次は、警察顧問ノ傭聘、地方警察ニ対スル改革、日韓協約ニ於ケル顧問警察ノ状況、宮廷消息結社団体、所謂義兵、新聞検閲、司法制度ノ状態、保安警察、監獄制度など。各種統計とともに今日の研究上の礎石となるものである。

---

❺

朝鮮総督府 編（大正２年３月）

慣　習　調　査　報　告　書

朝鮮に施行せんとする「民法」編纂のために広く調査した、民商事慣習の一覧。

統監府 編（明治41年１月）

韓　国　最　近　事　情　一　覧

韓国における「帝国経営及在留帝国臣民」の近況を調査。主な項目は、在韓日本人戸口表、居留民団表、日本人団体調、各地発展状況一覧、日本人教育及保育機関表、韓国鉱産地、韓国金融機関一覧表、通信・鉄道統計など。ほかに政府予算、官制、政務機関などが示されている。

ISBN 978-4-8447-5393-3
総430頁　本体価8,000円

根来可敏 編著（明治43年10月）

❻朝　鮮　支　那　地　名　辞　彙

ISBN 978-4-8447-5394-0
360頁　本体価8,000円

歴史家・吉田東伍序、地理学者・根来可敏の編著になる大作。地名は日常において必要な所を先ず記し、次いで小地名に及んでいる。呼称は、原名をとらず、所謂通俗の日本よみとしている。巻末の50音索引・画引索引より検索が可能。原本620頁。

---

❼

青柳綱太郎 著（明治41年３月）

韓　国　殖　民　策
－一名韓国殖民案内－

ジャーナリスト青柳南冥（綱太郎）の手によって、従来の書物に飽き足らず植民の要素を究めることを目的とし、特に実地に事業展開している人々や農業民、漁民、移住者に調査を施して書かれたものとある。また、宗教、交通等にも稿を割いて明治末年迄の経済全般が鳥瞰できる構成となっている。〈付録〉として各種統計・法令の記述がある。

朝鮮総督府 編（大正12年３月）

朝鮮の統治と基督教

基督教の利弊または歴史的考証を行うものではなく、「基督教発達の経路を事実に基づいて」記述することを主眼としている。

ISBN 978-4-8447-5395-7
総220頁　本体価4,000円

吉田英三郎 著（明治44年12月）

❽朝　鮮　誌
全２冊

元総督府官吏、東洋拓殖会社社員、吉田英三郎の著作。６年間の調査旅行を経て、従来の地誌とは大きく異なり、「半島府郡誌」の総合的なものを目指す。目次には全ての分野が項目としてとられ、地理・歴史・風俗・慣習・社会・宗教・教育・食料から政治・経済等の全領域について記述す。また各道（府郡）の沿革・郡勢・地理・名勝・産物などを簡潔に記述する。

ISBN 978-4-8447-5396-4
910頁　本体価18,000円

第２期（❾～⓰）　全８巻・総９冊

揃本体価 69,000円
（'96・11 刊）

青柳綱太郎 著（大正10年３月）

❾朝鮮独立騒擾史論

ISBN 978-4-8447-6399-4
447頁　本体価8,000円

朝鮮の政治・治安・独立問題をとらえた青柳綱太郎の著作としてつとに有名。「併合」を正当化することは一貫しているが、1890～1900年代の政治状況の裏面に立入り、人物・心情にまで筆を進めている点で随一の書。運動家の論述、裁判の記録・傍聴記などを併載しているのも本書の資料性を裏づける。

朝鮮総督府 編（大正14年５月）

❿朝鮮人の商業

ISBN 978-4-8447-6400-7
440頁　本体価8,000円

総督府嘱託・善生永助の筆になる。善生は地誌、民族、経済史の領域で多大なる業績を遺している。大正13年刊『朝鮮の市場』と対をなす。市場取引を中心とした古来からの生活様式の中で残された特別の商慣習や証書簿記などの産物（資料）が失われることを防ぐことをも目的としている。本書により、朝鮮特有の旧慣のほとんどが解明されたといってよく、全７章（26節）にわたる叙述は出典資料の精緻さと合せて圧巻である。

青柳綱太郎 著（昭和３年３月）

⓫総督政治史論　全２冊

ISBN 978-4-8447-6401-4
904頁　本体価17,000円

朝鮮研究会代表、南冥青柳綱太郎により著作・刊行。初代―４代総監（寺内―山梨）期20年間の占領政治を跡づける資料。前半の寺内正毅時代については、寺内の移民策蹂躙、偏党処置、言論の徹底的弾圧、自治制度の廃止などに大幅に論稿を積み、事実解明の一助としている。また寺内が満州にまでその統治の手を伸ばした点も記述。全編を通じて総監時代の思想信条、人間的側面に筆の重点を置いている所が特徴。

原田豊次郎 著（明治42年12月）

⓬伊藤公と韓国

ISBN 978-4-8447-6402-1
159頁　本体価3,000円

明治42年10月に統監を３年余務めた伊藤博文が暗殺されたことを記念し執筆されたもの。伊藤の迫害政治は今日では立証されているものの、本書では、統治の困難性を示したその発言の重要性、生活改善の成功を謳うなど事実に逆行する面が多々見られることは否めない。今日の歴史研究には見られない日本の優越意識・強圧的部分も明白にしている点で興味深い。

小田切萬寿之助 著（明治23年５月）

⓭朝鮮

ISBN 978-4-8447-6403-8
346頁　本体価6,000円

「朝鮮ハ亜細亜ノバルカン半島ナリ」との認識から、朝鮮半島の実情と将来を展望するべく著された。自序によると第１篇には朝鮮外交の実情、第２篇には朝鮮内部の現状が詳説されるとあるが、今日まで本篇（第１篇）以降は見つかっていない。目次は日本の関係、清国の関係、露国の関係、英美法独白諸国の関係、朝鮮半島の未来、朝鮮攻略。私家版ながら古今の文献を索捜し、大局的な見解が散見される。横浜正金銀行にて対支借款事業に足跡を残した著者の精緻な研究成果といえる。

農商務省山林局 編（明治40年８月）

⓮ 韓　国　誌

ISBN 978-4-8447-6404-5
638頁　本体価12,000円

原著は露国（ロシア）大蔵省の手になる。「韓半島ニ於ケル建国沿革ノ大要風土民俗、制度ノ梗概、地方自治制ノ状態」などの他、産業、交通など、基本的かつ多岐にわたる内容をもつ大著。抄訳とはいわれるが、経済史、地誌、民俗を究める上での重要な参考文献。記述は極めて客観的であり、資料・データを駆使している。

朝鮮総督府 編（大正４年10月）

⓯ 朝鮮施政ノ方針及実績

ISBN 978-4-8447-6405-2
493頁　本体価10,000円

総督府「新政」実施５年を期して開かれた朝鮮物産共進会に刺激され、なお総督府職員の仕事上の参考に供するために編纂された。制度、生活、旧慣など国家形成のすべてにわたって叙述。資料は大正４年半ばまでのものを使用しながら、冒頭の総説では、いかに併合が「合法的・融和的」に行われたかに表現上、腐心しているなど、史実の何たるかを思い起こさせる内容に満ちている。

農商工部 編（明治43年４月）

⓰ 韓　国　通　覧

ISBN 978-4-8447-6406-9
244頁　本体価5,000円

日本の侵攻によって「融合同化」することで所謂産業の発展に寄与した点を主題とする。共進会の開催を契機として朝鮮の産業・社会経済一班を記録しておく必要に迫られた当事者が現況を報告したと書かれている。明治42年末までの最新データを基にしている。主な目次は、地理・農業・水産・拓殖事業・商工業・関税・物価・警察・地方行政・在留外国人・新聞雑誌など。

第３期（⓱～㉕）　全９巻・総11冊

揃本体価 109,000円
（'96・12 刊）

韓国研究会 編（明治35年９月～同38年７月）

⓱ 韓国研究会談話録（第1～3号）

ISBN 978-4-8447-6455-7
総350頁　本体価6,000円

明治35～36年にかけて発行されたもの（韓国研究会刊・大江卓発行）で、韓国における「珍本」を見出し、翻刻し、韓国を真に研究することを目的としている。内容は、孝宗北伐の謀・度量孝（衡）・韓国通貨・朝鮮儒統伝・韓文学・薩満教習俗など、政治経済に限らず、風俗・文化方面にも周到なる論稿を載せる。附録として若干の原典を掲出しているのも特長である。

⓲

朝鮮総督府 編（大正13年７月）

朝鮮に於ける支那人

大正13年７月に総督府より刊行された本書は、同時代に著しく増加した中国人の生活形態を実地調査により解明せんとしたものである。商業・農業・労働の各業種の内容・売上数字・生活費などをできるだけ克明に記している。記載は12の県（府）別となっている。

鳥越静岐、薄田斬雲 共著（明治42年１月）

朝　鮮　漫　画

明治42年に日韓書房により刊行。鳥越静岐・薄田斬雲の共著。近代史の中で特に風俗に関する説明が絵（マンガ）によってなされたもの。50種以上のテーマをもとにして、ユニークな解説、一級の面白さを持った画風で、日常生活をわかり易く、強い風刺をもって我々に訴えかけている。

ISBN 978-4-8447-6456-4
総380頁　本体価7,500円

⑲

星野良吉 編（明治15年８月）

日韓紛議　**政　略　纂　論**

大内暢三 著（明治33年９月）

外交之危機　**韓　国　問　題**

内田良平 編（大正９年11月）

極秘　**朝鮮統治問題に就て 先輩並に知友各位に訴ふ**

ISBN 978-4-8447-6457-1
総328頁　本体価6,000円

明治15年７月の京城における朝鮮兵反乱（壬午事変）に関し、日本の政策の「正当化」を目指す花房義質らの施策を各種資料に基づき論ずる。（附）朝野新聞・自由新聞論説。

明治33年９月刊。（内容）江華島事変・十五年の変乱・天津條約・金玉均の殺害・露国の陰謀・日露協商・開港問題

大正９年刊。日韓国民の「和合同化」を図ることを目的として、内田独自の制度改革案を元に、政府を批判、明治６年以来の日朝関係を辿りながら、８項目の問題点を評論。（附）宋秉畯・張錫周論文

---

⑳

煙山専太郎 著（明治40年９月）

征　韓　論　実　相

惜 香生 編（明治25年１月）

文禄征韓水師始末　**朝鮮李舜臣伝**

ISBN 978-4-8447-6458-8
総410頁　本体価7,000円

明治政府の重要政策の一つであった征韓論問題を、幕末まで遡って論じている。維新初年の内政、外交、條約改正談判の努力、小笠原島問題、琉球問題、台湾問題、幕政時代における対韓関係、宗家と韓国との関係などを原資料に基づき、歴史家の厳しい眼を通して綴る。

陸軍大尉柴山尚則の友人であった惜香生から寄贈された李舜臣の伝記に、自身の見解を加えたもの。日本側の正当性を敢えて主張しながらも、李舜臣の実力とその背景も克明かつ、できるだけ公平に描いている。日本史の欠落部分を補うものといえる。

㉑

幣原 坦 著（明治40年６月）

韓　国　政　争　志

内部警務局 編（明治42年５月）

韓　国　警　察　統　計

ISBN 978-4-8447-6459-5
総320頁　本体価6,000円

複雑を極めるといわれる韓国の政治政争を論述し、その原因を見つけることによって国情の審査を有為にすることを目的としている。概論、東西分争論、老少分争論から成り、引用例を多くすることによって朝鮮半島の政治と歴史とに興味を持つ人々に読み易く説いている。

本書は主として隆熙２年度（明治41年）における「韓国警察統計」であり、統監府その他の統計書中、韓国警察に関係する部分はほとんど使われている。内容は職員配置・巡査家族数・巡査勤続年数年令・戸口・半島人口分布・著名市街地戸口・外国人国籍など49項目にわたって掲載される。

東邦協会 編（明治27年６月）

㉒ **朝　鮮　彙　報**

ISBN 978-4-8447-6460-1
364頁　本体価6,500円

世界列国が著しく流動し、文明の力によってその力関係も変ってきつつある時、「東方民族の尊栄を恢復し、興隆を」促す一助としての研究飼料の目的を持って刊行されたもの。朝鮮論、朝鮮西岸ノ水路、朝鮮探検の結果、朝鮮ノ現制并日本トノ関係、朝鮮紀行、外国貿易（附）漁業ノ景況、李昱応の事、などからなり、人文科学的に見た朝鮮が細かく語られている。

㉓

高橋章之助 著（大正９年10月）

宗　家　と　朝　鮮

高橋章之助の手になり、大正９年に出された。徳川以前の交際国である中国と朝鮮を、対馬（宗家）と朝鮮との交渉に重点を置き、貿易に留まらず、釜山開発の実際、戦国革命の推移等を金石文庫・総督府・韓国宮内府等の秘蔵資料を駆使して解明した労作である。内容は、地理及経済的関係・通交條約・和館設置経営・明治維新と宗家・宗家系譜、など。

中村金城 編著（明治43年９月）

朝鮮風俗画譜（上・下）〔巻頭カラー〕

中村金城の筆になる近代朝鮮の生活誌を画によって表わした貴重な作品。朝鮮に永く滞在し日常の観察を人物・風俗に置きそれを実写した。「一毫一糸に至っても架空想像によるものは無く」、それらは今日においても十分に美術および歴史資料として耐えられるものである。文官武官に始まって故山退致、乗轎に至る100点余の題材は正にユニークなものといえる。

ISBN 978-4-8447-6461-8
総300頁　本体価25,000円

朝鮮総督府 編（大正13年11月）

㉔朝　鮮　の　市　場

大正13年に総督府により出された。研究員・善生永助の筆による大著。それまで在った1300もの市場が、市場規則が発布されることにより、営業年限を満たし、その存廃が問題となり、同時に市場の監督、取締、経営などが難しい時期となった当時、その沿革・取引・主要市場・家畜など、およそ市場に関する内容をほとんど網羅的に調査したもので、今日においても十分通用する論述である。

ISBN 978-4-8447-6462-5
724頁　本体価15,000円

㉕

統監官房文書課 編（明治40年、同42年、同43年）

統監府統計年報（第1次・明治40年）（第2次・明治42年）（第3次・明治43年）　全３冊

本書は明治40年～43年に統監府官房より出されたもので、韓国における日本の官庁及在留日本人に関するデータ・状況を記載している。内容は土地・教育・警察・監獄・裁判・銀行・産業・貿易・通信・鉄道などの多岐に及ぶ。純粋な統計であると同時に、各所に適切なコメントが付してあり、政治・経済・法律の有機的な動きが分かる貴重なもの。

ISBN 978-4-8447-6463-2
総1,350頁　本体価30,000円

第４期（㉖～㉟）　全10巻・総11冊

揃本体価 103,000円
（'01・3 刊）

相沢仁助 編（明治38年12月）

㉖韓国二大港実勢

天然良港として名高い釜山港の歴史、日韓修好条規（1876年）以降の開港による貿易上の発展から1905（明治38）年の日露戦争に至る歩みを詳述。さらに1883（明治16）年の開港から国際貿易港へと進んだ仁川港の鉄道との絡みも含んだ実情をそれぞれ居留問題、自治制、財政、商業、教育、気象をも視野に入れて述べた非常に資料性の高いものである。

ISBN 978-4-8447-6511-0
478頁　本体価10,000円

京城居留民団役所 編（明治45年６月）

㉗京　城　発　達　史

ISBN 978-4-8447-6512-7
500頁　本体価12,000円

明治13年、日本人が初めて京城に生活を始めた時点より同43年までの京城の有様を、「朝鮮開拓」「京城の発達」の観点から叙述した。執筆は青柳綱太郎に委嘱した。項目は居留地発展・経済発展・商業会議所・教育・衛生・宗教・教育など。

山田市太郎、安藤一枝 共著（大正２年12月）

㉘北　朝　鮮　誌
全２冊

ISBN 978-4-8447-6513-4
900頁　本体価21,000円

当時の“北満州”“北鮮間島”などロシア領に接する地域すなわち植民地化された流浪の民にとっての〈最後の安住地〉の自然・経済・通行・旅行案内などを詳述する。取り上げた地域は、咸鏡南道（北道）、間島、（露領）浦塩斯徳など。

朝鮮総督府 編（大正３年１月）

㉙朝鮮統治三年間成績

ISBN 978-4-8447-6514-1
160頁　本体価3,500円

1910（明治43）年の“統治”開始以来1913年迄に発布された総督諭告・訓示21編を記録したもので、司法・行政・経済政策（独立運動の弾圧、土地調査、教育令など）の重要なる部分が見てとれる。

今村 鞆 著（大正４年10月）

㉚朝　鮮　風　俗　集

ISBN 978-4-8447-6515-8
500頁　本体価12,000円

本書で注目したいのは、「朝鮮の特殊部落」（明治42年５月稿）として設けられた一章で、15世紀以来の差別社会（＝白丁）を詳細に取り上げているところである。職業・結婚・居住など、あらゆる面から、５万～40万人ともいわれる人々が強い賤視を受け、1894年の申午改革によって一時無くなったかのように見られたが、差別はその後も厳存した。1923（大正12）年には解放組織（朝鮮）衡平社が結成される。全篇を通して日朝近代史研究に及ぼす内容は深いものといえるが、本章もまた、朝鮮の歴史を学ぶ上で不可欠な部分であり、純粋に学術的・資料的な見地から、特に原本の通りに復刻した。

樽木末實 著（大正２年10月）

㉛朝鮮の迷信と俗傳

ISBN 978-4-8447-6516-5
200頁　本体価4,500円

迷信というものを通して朝鮮人の人情・風俗を知ることを目的としている。取り上げた18項目は、すべて朝鮮人の倫理観・宗教信念・社会思想全般に関わるものばかりで、その国民性、古代からの民族の交通移動の考証に役立つものである。付録として、10篇の迷信物語が綴られている。

朝鮮総督府 編（大正８年７月）

㉜朝　鮮　の　謎

ISBN 978-4-8447-6517-2
230頁　本体価5,000円

朝鮮民俗資料第一編として朝鮮総督府学務局より刊行された非売品。本書でいう謎とは、天文・歳時・地理・鳥獣・玉石・疾病・被服・食物・住居・精神現象・鬼神など多岐に及ぶことがらで、各題について釈文・答・註解を付し、諺文（ことわざ）を加えている。第２部として破字（字謎）を部首順に示す。

㉝

朝鮮総督府 編（大正12年３月）

朝鮮部落調査予察報告
（第１冊）

大正9～10年に小田切道敏によって行われた、部落調査の予察報告書。咸鏡北道を除く16の地域を対象とし、調査の威儀、経過・計画、概相、各道の特質を記す。また、部落図・住家平面図と、住家の内部写真も記録されている。

朝鮮総督府 編（大正13年３月）

朝鮮部落調査報告
（第１冊）

大正12年に小田切道敏によって行われた、朝鮮火田民および来住中国人の生活に関する調査報告書。

朝鮮総督府 編（大正13年３月）

朝鮮部落調査特別報告
（第１冊）

朝鮮総督府が大正11年に生活学者・今和次郎に依嘱して朝鮮の民家を調査したレポートである。著者は実証的研究と学問創造の姿勢において夙に有名。内容は、構造・間取り・内地人と交渉を持てる民家などと、図版41点を収める。

ISBN 978-4-8447-6518-9
総400頁＋カラー折込計18点　本体価18,000円

朝鮮総督府 編（昭和４年３月）

㉞朝鮮の市場経済

善生永助によって、朝鮮に於ける市場経済の変遷・現状を簡明に叙述したもの。多くの原資料を駆使し、経済史的また人文地理学的考察にも富み、さらに日本内地・中国との比較にも眼を配る。通常の生活市はもとより、薬令市、現物市場（穀物市、証券）をも調査している。

ISBN 978-4-8447-6519-6
570頁　本体価12,000円

田保橋 潔 著（昭和18年）

㉟朝鮮統治史論稿

日韓関係史の中でも特に、近代政治史の研究において著名な著者による「朝鮮は日本の植民地」にあらずとの立場から講演されたもので、大著「近代日鮮関係史の研究」（昭和15年）を補完する貴重資料である。中でも、初代総督寺内の施策には詳しく、以降30余年の全貌を見渡す。

ISBN 978-4-8447-6520-2
220頁　本体価5,000円

第５期（㊱～㊷）　全７巻・総９冊

揃本体価 88,000円
（'03・6 刊）

㊱

朝鮮総督府 編（大正15年10月）

朝鮮の契

朝鮮の伝統的な経済的相互扶助組織・組合的な性質を持つケイを、その歴史、分布、現状、取締にわたって論じたもの。研究員善生永助により綿密にして浩瀚なる資料にまで仕上げている。

稲葉君山 著（大正12年９月）

朝鮮の姓の由来

朝鮮民族社会の根底に根ざす「族譜」に視点を射る。「族譜」は家族主義の近代的結晶を象徴したもので、その理解なしに半島文化は語れないといわれる。著者は「カスト制度と印度文化」との密接な関係と対比しつつ、世襲階級の象徴であるその「姓」を歴史的・多面的に検討する。

ISBN 978-4-8447-5458-9
総280頁　本体価6,000円

朝鮮及朝鮮人社 編(昭和２年10月)

㊲最近間島事情
附・露支移住鮮人発達史

ISBN 978-4-8447-5459-6
530頁　本体価15,000円

本書は間島（中国吉林省の朝鮮に接する豆満江の流域）の地理・経済上の事情を詳説したものである。1875年からの農民の定住、1910年以降の植民地化の象徴に見られるように、政治経済上の要所といえるこの地の歴史・外交・産業・交通などを網羅する。従来南満洲鉄道沿線をとかく重視して書かれてきた傾向があるが、人口食糧問題から考えても、この地方の持つ役割は大きい。「満洲」経営研究の上からも重要な一次資料といえよう。

朝鮮総督府 編(大正13年10月)

㊳地方行政区域名称一覧

ISBN 978-4-8447-5460-2
572頁　本体価12,000円

「総督政治」のまっ只中で刊行されたもので、大正13(1924)年６月現在の朝鮮総督府道・府・郡・島・町洞里の名称をすべて収めている。洞里は農村の集落を１～数個あわせた形のもので、日本の「町」ともいえる。

総督府は農民所有のいっさいの土地を国有化し、それを〈東拓〉に管理させたが「韓国民のために開発」との謳い文句が崩壊する過程も、本書の網羅する地名全容を見るに、歴史の必然を感じさせるものである。

㊴

村山智順 調査(大正14年)

朝鮮の群衆

ナショナリズムともいうべき朝鮮人集団現象を社会主義運動と絡めて、労働事情・市井の生活にも鑑み考察する。(大正14年現在)

杉村 濬 著(昭和７年１月)

明治廿七八年 在韓苦心録

在韓外交官による東学党の乱(甲午農民戦争)の詳録。朴泳孝問題、明治29年の広島地裁結審までを記録文献に基づき論じた主に政府側の見解。

ISBN 978-4-8447-5469-5
総460頁　本体価8,000円

大阪商業会議所 編(明治37年12月)

㊵韓国産業視察報告書

ISBN 978-4-8447-5462-6
210頁　本体価4,000円

日露戦争開戦の同年に韓国に派遣され、京釜鉄道の完成、産業の実情等を調査し、報告したもので、朝鮮内陸部と日本との経済関係にも触れられ、写真も含めて活写されている。大阪商業会議所の内部報告で、交通・商業・貨幣・農業・労働・教育・旅行など多岐に亘って記述されている。比較的安定した時期と思われる韓国内部の生活が読み取れる。

朝鮮総督府 編(昭和６年２月)

㊶朝鮮の風水
全２冊

ISBN 978-4-8447-5470-1
880頁　本体価16,000円

地中に存在する「地力」は朝鮮半島に住む人々にとって生活の安定と繁栄のために不可欠の風水信仰のもとである。多くの写真・挿画と共に民間信仰としての墓地風水、住民風水を説いた随一の書である。

越智唯七 著(大正６年５月)

㊷ 新舊對照 朝鮮全道府郡面里洞名稱一覧 全２冊

ISBN 978-4-8447-5464-0
1,150頁 本体価27,000円

大正６年４月現在の編纂で特色とするところは、高麗時代からの郡県制の根幹をなす旧郡面里洞と新たな道･郡･面･里洞を併記し、詳説している点（新旧対照）。また各地方事務所の所在地を明記してあることで、多便に供せられる。〈目次〉は朝鮮全道沿革、京畿道沿革、忠清北道沿革、忠清南道沿革、全羅北道沿革、全羅南道沿革、慶尚北･南道沿革、朝鮮全道ニ関スル沿革、ほか。

第６期（㊸～㊿） 全18巻･総21冊

揃本体価 167,000円
('06･1 刊)

小松 緑 著(大正９年９月)

㊸ 朝鮮併合之裏面

ISBN 978-4-8447-5490-9
334頁 本体価6,000円

「日記の綜合と見るべく備忘録の抜萃」の形をとり、現場に居合わせた官僚小松の見た併合10年目の日本政府を肯定したる歴史観といえよう。付録「桑権一家説」。

韓国駐箚憲兵司令部 編(明治44年)

㊹ 日韓併合始末（正･続篇）

ISBN 978-4-8447-5491-6
192頁＋特大折込9点 本体価10,000円
（第２刷）

韓国併合をアジア大陸に「確乎タル地歩ヲ進メ」るに必要との立場から書かれているが、特徴とするところは、軍人は外交問題には不干渉との考えから、この事態を「如何なる状況のもとに、如何なる行動をとったか」を事実のみ書き上げたとする点である。軍隊ノ集中･７月ニ於ケル併合準備･８月ニ於ケル準備･軍隊ノ解散など。付表の統計データは貴重。

戸叶薫雄、樽崎観一 共著(大正元年８月)

㊺ 朝鮮最近史 附･韓国併合誌

ISBN 978-4-8447-5492-3
330頁 本体価6,000円

明治38年の「保護協約」以降５年間に重点をおき、文物制度の変遷から最近史の研究にまで及ぶ。日韓関係の沿革･保護協約の締結･初期統監政治･丁未の政変･併合条約の成立など14章より成る。

小田幹治郎 著(昭和６年３月)

㊻ 小田幹治郎遺稿〈私家版〉

ISBN 978-4-8447-5493-0
270頁 本体価6,000円

法務官、総督府事務官小田の在任中を回顧するもので、古蹟･旧慣調査、特に海印寺大蔵経の整理、辞典編纂など朝鮮の学芸全般に精通した著述となっている。

47

長田忠一 著（明治37年３月）

露西亜 朝鮮 支那 **遠征奇談**
新　々　赤　毛　布

明治・大正期の劇作家・仏文学者としても名高い著者による寓話集と云ってよいもの。「国賊李華昌」「韓語中の外国語」「朝鮮人の呑気さ加減」「在韓西洋人の朝鮮化」「宮崎滔天仙人と為る」「孫逸仙の日本語」「朝鮮の日本左衛門」など問題作131篇。

佐田白茅 輯（明治８年３月）

朝鮮聞見録（上・下）

外務省出仕の編者による朝鮮出向中の見聞記。特に巻初の「交際」＝外交の項の対韓談判は興味深い。
〔内容〕冠・婚・喪・祭・雑誌・朝鮮略図・武備・刑罰・官制など。

ISBN 978-4-8447-5494-7
総366頁　本体価6,500円

48

柵瀬軍之佐、久保田呆僊 共著（明治27年８月）

見聞随記 **朝　鮮　時　事**

明治26年の防穀令事件、日清戦争などの取材過程での時事見聞録であり、久保田米僊の挿画とともに時事的資料価値の高いものである。

金 横根 著（大正15年２月）

朝鮮賭博要覧
〈私家版〉

朝鮮国内での日常生活の中で賭博との関わり方、その民族学的考察、さらに日本での朝鮮人と賭博などを取締上の見地からまとめた。鮮文から訳述したもの。

ISBN 978-4-8447-5495-4
総260頁＋図　本体価6,000円

49

大江 卓 著（明治32年６月）

極秘 **京釜鉄道意見**

東洋の平和を掲げ、即ち日本に同化させるための根本として鉄道＝京釜鉄道会社の設立を目指す。そのための具体的提言として「極秘」文献の形で韓国政府との交渉内容などを詳細に書き留めたもの。

服部 徹 著（明治27年７月）

日　韓　交　通　史
−上世史・中世史・近世史−

古来よりの日韓交通の歴史を大きく３編に分け、上世史は神代から斉明天皇まで、中世史は、天智天皇より弘和２年北朝後円融天皇まで、近世史は、小松天皇より明治天皇期までを著す。参考文献としたものの中には「竹島書類」「外交忘稿」などきわめて今日的なテーマの史料も見られる。

ISBN 978-4-8447-5496-1
総286頁＋特大折込４点　本体価8,000円

水路部 編（昭和８年１月、同９年８月）

50 朝鮮沿岸水路誌（1・2巻）
全２冊

朝鮮沿岸に関するわが国最初の水路誌として明治19年に刊行されたものから朝鮮全岸にわたる記事を分離して明治27年に刊行されたものが最初である。風、波、燈光の方位、潮流など、人間・文物の移動に不可欠のデータを集め、航路記とし、朝鮮東岸・南岸・西岸を解説する。

ISBN 978-4-8447-5497-8
900頁　本体価20,000円

韓国銀行 編(明治43年11月)

㊶韓国貨幣整理報告書

ISBN 978-4-8447-5498-5
330頁＋特大折込５点　本体価8,000円

1909年に中央銀行として設立された韓国銀行が1911年に朝鮮銀行として継承された際に、最大の業務であった貨幣整理事務の概要を詳細に報告したもの。開国以来の幣制・旧白銅貨の整理・銀行券・日本通貨・還収旧貨の処分など10章よりなる。

藤戸計太 著(昭和５年３月)

㊷質屋及典當舗之研究

ISBN 978-4-8447-5499-2
230頁　本体価4,500円

過渡期朝鮮における庶民金融機関の新旧制度および経営方法を解明し、不備なる面を抽出し、生活上の安全を図ることを目的とし書かれた。業界の沿革・経営・副業・法規等全般に及ぶ。〔典當舗＝チョヌタンヌポ〕

第八師団軍病部 編(大正４年４月)

㊸朝鮮人ノ衣食住及其ノ他ノ衛生

ISBN 978-4-8447-5500-5
440頁　本体価8,000円

本書は、所謂ガリ版形式にて出された報告書で、明治44年現在の朝鮮半島における衛生事情の概要である。20余名の軍医をして調査にあたらせたデータを基にしており、内容の正確さに重点を置く。「衣」「食」「住」に分けて記録し、可能な限り、細かく項目を立てて書かれている。

㊹

朝鮮総督府 編(昭和３年３月)

朝鮮の犯罪と環境

善生永助 著(昭和15年４月)

朝鮮の姓氏と同族部落

岡本湖月 編／揚洲周延 画(明治15年８月)

絵本朝鮮異聞

全３編

ISBN 978-4-8447-5501-2
総402頁　本体価12,000円

善生永助により書かれ、昭和初年現在の朝鮮における犯罪現象を社会環境を背景に統計学・地理学的に考究したもの。朝鮮の文化、経済を解く上でも一級の文献である。

朝鮮の民族・生活史に通じた著者による労作で、支那の姓氏、姓の起源、姓の種類、族譜などから成る。古代日本の帰化による姓の由来に始まり、韓国、「併合」、「内鮮一体化」までの経過をいわゆる「恨の国」史観などもとり入れて平易に論じている。今日テーマとなっている「創氏改名」を考える上でも重要な文献である。

明治15年の「壬午事変」に端を発する事件を詳細なる彩色図画・地図等により、公使花房らが英測量船で帰着するまでの様子を描く。

55

朝鮮総督府 編（昭和２年３月）

朝　鮮　の　服　装

朝鮮総督府 編（昭和８年３月）

朝　鮮　の　習　俗

ISBN 978-4-8447-5502-9
総269頁　本体価6,000円

朝鮮人の生活実相を理解する資料として、彼等の通常の服装についてその形式、色形、装飾及びこれ等に伴う行動居座、その他朝鮮服装の衣料と価値変換等を調査したもの。

風俗習慣は民族性の一反映であるとの観点から、朝鮮を知ろうとする日本人向けに朝鮮人の習俗を社会全般に亘って解説紹介。主に京城中心に取材している。

岡 良助 著（大正４年６月）

56 京　城　繁　昌　記

ISBN 978-4-8447-5503-6
650頁　本体価12,000円

地理に始まり、歴史、名所旧蹟、教育、宗教、財政など生活に係る殆どすべてを調査描写した。さらに「人物伝」では、40余名の事蹟を紹介するなど旺盛なる生活誌たる大著。

中田孝之介 編著（明治38年６月）

57 在　韓　人　士　名　鑑

ISBN 978-4-8447-5504-3
324頁　本体価6,000円

韓国在住の“商工家成功”の人物の事歴と日本本国の対韓貿易・各方面の朝鮮関係者を紹介した唯一の人名録である。開市開港、内地雑居、貿易概況にも筆は及び、当時の朝鮮最新事情を知る手がかりとなる。

朝鮮総督府 編（大正４年３月）

58 国境地方視察復命書

ISBN 978-4-8447-5505-0
272頁　本体価5,000円

鴨緑、図們の二ヶ所を国境として調査し、地勢、気候、地方自治の状況、宗教、教育衛生、産業等万般に及び詳述する。また、移住民の実況も見聞を入れて細かく書かれている。

幣原 坦 著（大正８年２月）

59 朝　鮮　教　育　論

ISBN 978-4-8447-5506-7
428頁　本体価7,000円

植民地教育を志した著者による朝鮮教育史の成果。朝鮮「合邦」を是とする歴史観に基づき総督府の依頼により全道を歩き、朝鮮の教育界の現状、展望、朝鮮内の日本人の教育状況、満洲の教育との比較など興味は尽きない。

60

統監官房 編（明治41年12月）

韓国施政年報（明治39・40年）

統監府 編（明治43年４月）

第二次韓国施政年報（明治41年）

朝鮮総督府 編（明治44年３月）

第三次施政年報（明治42年）

全３冊

ISBN 978-4-8447-5507-4
総1,020頁　本体価30,000円

本年報は、明治38年の統監府開庁より明治42年中ばまでの間、統監府・同所属官署に於て施行し、及韓国政府の各機関をして施行せしめたる政務の大綱を第１次より第３次にわたる約３年間について記述したもの。

附録は明治40年より43年迄に発表された重要條約、協約、勅令並に統監府、韓国政府の発布した重要法令等を掲げている。

第７期（61～72）　全12巻・総13冊

揃本体価 138,000円
（'08・1 刊）

統監府 編（明治39年11月）

61 韓国ニ関スル條約及法令

ISBN 978-4-8447-0006-7
570頁＋折込地図14点　本体価12,000円

韓国併合に向けての政治的プロセスを跡付ける条約関係資料。
第１編　政治上ニ関スル條約、第２編　通商航海ニ関スル條約、第３編　漁業ニ関スル條約、第４編　居留地ニ関スル條約、第５編　内地旅行ニ関スル條約、第６編　漂流船及難破船救助費用償還ニ関スル條約、第７編　犯罪人引渡ニ関する條約に亘り、関係する條約、議定書、規則、章程、書翰、取極書、宣言、約定等を編集整理する。地図多数、和・英併記。

62

統監府 編（明治40年２月）

統監府施政一斑

統監府総務部内事課 編（明治39年７月）

韓国事情要覧

ISBN 978-4-8447-0007-4
総290頁　本体価7,000円

統監府の開設以来條約及法令の定める所に従い経営・施行した政務の大綱を略述したもの。官庁予算・顧問制度、行政、警察、財政金融、鉱業、土地制度、鉄道事業、通信事業、地方制度、裁判制度、移民保護、教育、土木事業、大韓医院設立、勧業模範場、棉花栽培、林業、農林学校設立、園芸模範場、養蠶伝習所等多岐に亘っている。

韓国に於ける日本帝国の経営及び在留日本人の発展、その他韓国の経済事情等々略述、地図付。

63

度支部 編

韓国財務經過報告
(第1回・隆熙二年上半期)
(第2回・隆熙二年下半期)

全２冊

ISBN 978-4-8447-0008-1
総1,254頁　本体価38,000円

第３次日韓協約に基づき、日韓人共同の下に組織された新官制発布の下、各行政機関の活動が開始された。その第１年次の財政報告書である。財政刷新の第一着手は歳計の整理、租税制度の一部改善、新移属の駅屯賭収租事務の実行、金融機関に対する施設、貨幣整理の進捗、紅蔘専売の準備、財源涵養事務の伸暢、会計検査の励行、関税事務の刷新、港湾設備の進展等広汎に亘る。一方地方騒擾により徴税機関の業務が妨げられ、予期した成績未達成云々とも記されている。

64

統監府地方部 編(明治42年５月)

居留民団事情要覧

朝鮮総督府 編(明治44年３月)

朝鮮貿易年表 (明治43年)

ISBN 978-4-8447-0009-8
総380頁　本体価7,000円

明治41年４月１日現在の在韓日本人居留民団の状況（財政を除く）を主として理事庁の調査報告に依り、各地域の概況の外、戸口調査、教育状況、土木事業、衛生設備（病院）、警備状況、救恤調査、財政状況等をまとめる。

明治43年度の貿易総量を集計した統計。輸移出入状況を価格別、金銀地金、港別、国別、収税額等に分類整理している。

釋尾春芿 編(明治44年10月)

65 朝鮮古書目録

ISBN 978-4-8447-0010-4
286頁　本体価8,000円

クーランの朝鮮書籍解題、文献、備考、海東繹史等の文芸考等を主とし、総督府李王家の図書目録その他の目録を参照し作成した約三千点に及ぶ書籍目録。經籍儒家、歴史地理、制度典章、諸子百家、文章詩歌の五部に分ける。末尾に各国人の朝鮮に関する著書を付す。朝鮮古書研究の必備文献。

バード・ビショップ 著／工藤重雄 訳
(大正14年７月)

66 三十年前の朝鮮

ISBN 978-4-8447-0011-1
326頁　本体価6,000円

英国王立地学協会々員バード・ビショップ女史のコレア・エンド・ハー・ネーボアスの抄訳で、「外人の見たる朝鮮」の第１巻。折しも全羅道で東学党蜂起、動乱の時代が始まった頃か？

鶴谷誠隆 著（明治41年６月）

⑥⑦ 朝鮮の宗教

京城府公立普通学校教員会 編
（大正15年８月）

京城五百年

ISBN 978-4-8447-0012-8
総320頁＋地図折込等　本体価8,000円

著者は、浄土宗開教使として活動した人物。約1500年以前に遡り、以後の朝鮮宗教の展開の歴史を時代背景、人物史を含めて綴る、彼地の独特の宗教・信仰観を社会状況に言及しつつコンパクトにまとめている。

京城並びに附近の名所旧跡を郷土誌の形で編纂。京城の歴史はつまる所李朝史のことである。朝鮮史に造詣深い総督府嘱託加藤灌覚氏の「李朝実録」を始めとする諸文献に基づく講演録を基にさらに実地踏査してまとめた資料。

申 来鉉 著（昭和18年９月）

⑥⑧ 朝鮮の神話と傳説

ISBN 978-4-8447-0013-5
320頁　本体価8,000円

朝鮮の古文献にある神話、民間に伝わる伝説を民間伝説と建国神話に分けて計20篇、可能な限り生のままの物語をそのまま読者の前に抛り出し、歴史的な考證や批判的な考察を試みなかったとある。

今村 鞆 著（昭和３年８月）

⑥⑨ 歴史民俗朝鮮漫談

ISBN 978-4-8447-0014-2
510頁　本体価12,000円

朝鮮民俗の歴史を伝説・昔話・風俗等実に巾広くていねいに調べ上げ、しかも平易に読み易くまとめる。自ら一介の俗吏の古手の素人芸と謙遜しているが、その知識、研究の奥深さが窺える好著。

朝鮮総督府 編（昭和４年７月）

⑦⓪ 朝鮮の鬼神

ISBN 978-4-8447-0015-9
534頁　本体価9,000円

朝鮮文化を理解するにはまず朝鮮人の思想を理解するべきで、そのための第一歩は民間信仰を研究することとの考えに基づいた研究書。第一部として鬼神信仰を取扱う。
第一編で鬼神の観念を明らかにし、第二編で鬼神の及ぼす影響を免れようとする攘鬼法を列挙している。

朝鮮総督府 編（昭和７年３月）

⑦① 朝鮮の巫覡（フゲキ）

ISBN 978-4-8447-0016-6
770頁　本体価15,000円

悠久の昔より朝鮮文化の根幹を為し来り、現在もなお朝鮮大衆の精神生活を支配している巫禱の信仰の大要を述べる。

朝鮮総督府 編（昭和16年３月）

⑦② 朝鮮の郷土娯楽

ISBN 978-4-8447-0017-3
418頁　本体価8,000円

昭和11年、朝鮮総督府により全鮮各地に亘って現行の郷土的娯楽を府郡島管下の小学校に依頼蒐集した調査記録。歌謡では朝鮮語のまま蒐録されている。

第８期（⑬～⑭）　全12巻・総16冊

揃本体価 139,000円
（'10・1 刊）

度支部 編

⑬ 韓国財務経過報告
（第３回・隆熙三年上半期）
全２冊

ISBN 978-4-8447-0189-7
660頁＋折込９点　本体価20,000円

⑧に続く第３回（隆熙三年上半期）報告書。

度支部 編

⑭ 韓国財務経過報告
（第４回・隆熙三年下半期）
全２冊

ISBN 978-4-8447-0190-3
694頁＋折込14点　本体価20,000円

⑬に続く第４回（隆熙三年下半期）報告書。

度支部 編

⑮ 韓国財務経過報告
（第５回・明治43年上半期）
全２冊

ISBN 978-4-8447-0191-0
826頁＋折込13点　本体価24,000円

⑭に続く第５回（明治43年上半期）報告書。

北川左人 著（昭和７年12月）

⑯ 朝鮮固有色辭典
全２冊

ISBN 978-4-8447-0192-7
628頁　本体価15,000円

朝鮮における凡ゆる固有色―特徴を風俗・習慣を含め広汎な語彙二千数百点を選び、その解説を付したもの。語彙は日本語・朝鮮語・支那語の３種類を掲げ、稀に英・佛・独語も用いた稀覯書。参考にした書籍、新聞、雑誌は幾千か膨大な数の由。

朝鮮総督府 編（大正２年11月）

⑰ 朝鮮ニ関スル東亜経済調査局報告

ISBN 978-4-8447-0193-4
422頁　本体価9,000円

ウィードフェルド博士が東亜各地を実地踏査し編述した「東洋経済観」のうち朝鮮半島に関するものを訳写したもの。

小川雄三 編（明治36年７月）

㊽仁川繁昌記
附・仁川官民人名録

ISBN 978-4-8447-0194-1
338頁　本体価6,000円

仁川開港二十年記念出版とある。韓国仁川港の今昔、20年の昔よりその繁栄を綴る案内記。貿易、海陸運、行政、教育、宗教、社会、雑の外懐旧談等に分けて述べる。附録として仁川官民人名録を加える。

青柳綱太郎 編（明治45年１月）

㊾朝鮮野談集

ISBN 978-4-8447-0195-8
402頁　本体価9,000円

朝鮮半島の民衆を同化するためには社会の裏面、国民性を先ず知るべしとの前提で民衆に伝わる野談・俗伝、百余篇を蒐集編纂したもの。娯楽的読本ながらその中に自ら風俗、習慣を伝え赤裸々な民衆の姿を写し出し、さらに日鮮比較文学上の資料ともなるとしている。

㊿

林 驛作 著（明治38年？）

韓国蚕業調査復命書

朝鮮総督府 編（大正15年３月）

火田の現状

ISBN 978-4-8447-0196-5
総336頁＋写真44点　本体価7,000円

韓国の蚕業の現況を調査し、その養蚕・製糸の技術水準の低さを指摘し、その改善策を述べる。

火田とは山野を焼き払い、穀物、馬鈴薯、大豆等を栽培する粗放的農耕法の朝鮮特有の名称であるが、朝鮮における林政、治水、農政、経済社会上重要な問題として調査編纂したもの。

81

稲葉岩吉 著（大正？）

朝鮮社会史ノ断面（上・下）

齋木寛直 編（明治38年６月）

韓国写眞帖

福澤泰江 著（明治39年４月）

韓国實業管見

外交文書彙纂件別類輯（明治27年）

金玉均謀殺ノ顚末

ISBN 978-4-8447-0197-2
総314頁　本体価10,000円

朝鮮半島の社会的特性を社会組織、階級制度、家族制度等さまざまな角度から分析。その後進性を論じる。

日露戦争が終結し、朝鮮における日本の覇権が確立した直後の日韓関係、日韓・日露の交渉史、韓国の紹介等を写真入りで伝える。月刊雑誌の臨時増刊号。

長野県の嘱託として韓国を約40日間旅行し、調査した韓国の実視報告書。産業、生活状態、社会組織、政治・農業組織、土地利用の状況、交通、通貨と金融、経済慣習、邦人の地位、企業、教育その他全般にわたっている。

金玉均被害ノ顚末、在上海大越總領事代理ヨリ具報等、６点の外交文書彙纂を収録する。

⑧②

今村 鞆 著(昭和５年11月)

船　の　朝　鮮

臨時財源調査局 編(隆熙３年12月)

韓國沿岸航路開始顛末

ISBN 978-4-8447-0198-9
総270頁　本体価6,000円

法制面より見た朝鮮船舶史である。著者は旧朝鮮の海運不振が社会の発展を阻害し、反面近代海事政策の発展が今日社会の文化、経済の繁栄を可能にしたことを主眼にまとめた極めて示唆に富む史料。

韓国の経営は先ず交通機関の発達こそ急務との認識の下、日本政府は航海業を奨励し、且つ同時に厳重監督の要を認め関係方面の参考に供した報告書。

幣原 坦 著(明治38年12月)

⑧③日　露　間　之　韓　国

ISBN 978-4-8447-0199-6
224頁　本体価6,000円

優れた実務官僚であり、且つ学者であった著者が、日露開戦前より、開戦そして終結、露韓条約廃棄迄、日露両国にはさまれ苦悩する韓国国内の激動の推移を当時の韓国諸新聞記事、帝国陸海軍諸報告等より史料として重要なものを保存する意図のもとに綴った。

松田行蔵 編(明治24年４月)

⑧④慶尚道全羅道旅行記事並ニ農商況調査録

ISBN 978-4-8447-0200-9
382頁　本体価7,000円

標題の通り実地に山川の模様、村落の位置体裁等を記している通商顧客の道案内書であり、内地村落の様子、商況の繁閑の状況を知る情報誌であるとしている。

第９期（⑧⑤～⑩⓪）　全16巻・総17冊

揃本体価 126,000円
('11・2 刊)

⑧⑤

朝鮮総督府 編(大正５年９月)

朝鮮半島史編成ノ要旨及順序
朝鮮人名彙考編纂ノ要旨及順序

朝鮮総督府朝鮮史編修会 編(昭和５年７月)

朝鮮史編修会要覧

朝鮮総督府朝鮮史編修会 編(昭和13年６月)

朝鮮史編修会事業概要

ISBN 978-4-8447-0235-1
総228頁　本体価5,000円

混沌とした旧態を色濃く残す朝鮮半島人を教化し、日本帝国臣民として辱じない地位に導く一助とするために編纂された本書には、数多ある「韓国通史」に惑わされることなく朝鮮統治の同化を図るための主眼点が示されている。

朝鮮の文化は非常に古く、且つ優れたものも多い。にもかかわらず、学術的見地から資料を蒐集編纂した史書は見るべきもの少く、しかも、古記録、古文書等は逐年湮滅しつつあるのは甚だ遺憾であるとの観点に立ち、総督府の訓令第64号を以て朝鮮史編修委員会規定の公布を見、本事業は開始された、とある。

朝鮮の文化は極めて遠く深い、しかも数千年にわたる文化変遷を辿る史書の少なさを遺憾とし、日韓併合後朝鮮総督府は訓令第64号を以て朝鮮史編纂委員会を組織し、さらに勅令第218号によりこれを官制と為し、10ヶ年をかけて朝鮮史を完成する予定を立てた。新羅統一以前より朝鮮時代後期を六編に大別、編年体で編纂、昭和12年全35冊、２万４千頁の朝鮮史を完成させたこの大事業の経過と概要をまとめる。

小田省吾、魚 允迪 共著（大正13年３月）

朝鮮文廟及陞廡儒賢
附・朝鮮儒学年表、朝鮮儒学淵源譜

皇太子殿下結婚の慶事を記念し、これを機に朝鮮文廟の由来と現状並びに先哲従亨の事実を明かし、朝鮮儒学の発達及び学統の淵源を世上に周知させようとした。朝鮮史学会長・小田省吾著述、朝鮮総督府中枢院参議・魚允迪編纂、十八儒賢の詩文と合わせて完成した。

小田省吾 著（昭和９年９月）

㊻ 辛未洪景来乱の研究

1811年発生の洪景来の乱は李朝23代純祖11年辛未の変乱で、東学党の乱と共に李朝末期の二大民乱である。官軍側の記事は各種あるが賊軍側資料は一切ない。しかし叛賊の巨魁とされる洪景来は西北人の不遇を憤慨して起ったとして何となく朝鮮人間に同情を有する人物である。
ここに疑問を持ち、調査研究してまとめた、とある。巻末に小田の略年譜を掲載。

李 王職 編（昭和13年５月）

徳　壽　宮　史

徳壽宮は李王家に属する旧宮殿中の重要なものの一つであるが、本宮の由緒は複雑多岐に渉り誤伝も多い。これを正し、本宮と李王家との特別な関係を明らかにする。

ISBN 978-4-8447-0236-8
総590頁　本体価8,000円

瀬野馬熊 著（昭和11年10月）

㊼ 瀬　野　馬　熊　遺　稿

朝鮮史研究の黎明期に於ける開拓者とも云うべき卓越した史学者・瀬野馬熊氏の朝鮮史関係論文で、史学雑誌・東洋学報・青丘学叢・朝鮮史学等に掲載された代表的な11篇を選択収載する。

ISBN 978-4-8447-0237-5
520頁　本体価10,000円

尹 瑢均 著（昭和８年３月）

㊽ 尹　文　學　士　遺　稾

朝鮮の歴史、社会を支配した思想的原理、「仏教」と「朱子学」、特に後者は現代朝鮮の社会に深く影響感化を止めているとし、朱子学の朝鮮への伝来・普及、そして影響についても考察している名著である。著者は京城帝国大学法文学部史学科で朝鮮史学を専攻した。

ISBN 978-4-8447-0238-2
230頁　本体価5,000円

⑧⑨

内閣不動産法調査会 編(明治40年)

韓國土地所有權ノ沿革ヲ論ス

韓国の土地制度につき大古の箕氏時代から三国時代、高麗朝時代、李朝時代と時代順にその概要を述べる。人民に土地所有権を与えて保護する観念がなく、国庫収入の増加一途の法制定の歴史だった韓国社会。蓄財観念の欠乏と惰民遊俚の徒の増加に驚き、近き将来の改革を期待して、財産権の完全な保護の重要性を指摘する。

法典調査局 編(明治41年)

不動産法調査報告要録

不動産に関する法制・慣習について韓国の内閣直属で梅謙次郎によって組織された不動産法調査会において、1906（光武９）年から1907（光武10）年にかけてほぼ韓国全土を網羅する調査が実施された。元となった調査資料は各地方ごとの分冊となり膨大な分量であるため、そのダイジェスト版を編纂し、閲覧の便を図ることとした。

度支部 編(隆熙３年２月)

土　地　調　査　綱　要

土地調査の目的を土地制度の確立と租税制度の確立にありとして、韓国の混沌と乱雑を極めた現状の土地制度を改革する調査の基本指針を示す。総説、所有権の處分、課税的調査、土地測量、業務の実施と監督、業務の整理、所有権・税額の告示と図簿の授受、に亘って詳述する。

朝鮮総督府 編(明治44年２月)

臨時財産整理局事務要綱

従来より韓国宮中、府中の混乱と財政の紊乱とは相互に因果関係を持って永く政治を腐敗させており、その解決容易ならざるものが在った。
しかし明治37年の日韓協約以来財政顧問の就職統監の指導により宮府の別も明らかになり、財政整理も改善した。さらに諸不動産の国有化、或は帝室財産、及宮府内での徴収諸税の整理と関係所官庁への引継、若しくは正当なる所有者への還付等、二年余の歳月をかけて宮中財政整理を為し遂げた、その要綱と経過をまとめたもの。

ISBN 978-4-8447-0239-9
総486頁　本体価9,000円

---

⑩

和田一郎 著(大正10年１月)

朝　鮮　の　匂　ひ

著者が雑誌『金融と経済』の毎号に寄稿した漫筆「忙中問題」より選び、夫人の喪を悲しむ慰安として更に数篇を加え刊行。内鮮融和の一助を願う、とある。和田一郎は土地調査事業の事務方の責任者を務めていた。

ISBN 978-4-8447-0240-5
450頁　本体価9,000円

---

⑪

西村眞太郎 著(大正12年６月)

朝　鮮　の　俤

朝鮮半島の治安維持に当る警察官に対し、朝鮮の民情をまず洞察し、不適切な執行をしてはならないと説く。アメリカ大陸征服に失敗したスペインと、広大な領土を持てたオランダの成功を例示。著者は長らく朝鮮総督府の通訳官を務めていた。

今村 鞆 著(昭和15年７月)

螺炎随筆　鼻を撫りて

在野の朝鮮学者、今村鞆の古稀を記念し、新聞雑誌等に寄稿したものから選んだもの。
朝鮮に関する関心は広く深く、古今東西に亘り、気取らず、学者らしからぬ学者の正義感と不屈の精神とそしてユーモアに満ちた味わい深い読み物である。

ISBN 978-4-8447-0241-2
総512頁　本体価10,000円

⑨②

度支部建築所 刊／谷井濟一、栗山俊一、関野 貞 述
（明治42年）

韓　紅　葉

韓国度支部の依頼で、韓国古代の建造物及び東洋芸術の史学研究に従事した工学・文学関係の３氏が、各専門の立場から行った講演抜粋。
上世の日韓関係、平壌・開城の古墳、韓国芸術の変遷について述べる。挿図72点。

度支部建築所 編（明治43年８月）

朝鮮芸術之研究

在韓旧蹟遺物につき研究されないまま、それ等を破壊して新建築が為され、尊重すべき文化財史料の滅却されることを憂い、古建築物の調査を東京帝国大学工科大学助教授・関野貞ほか２名の計三氏に委嘱したとある。三氏等が明治42年９月より12月にかけて半島全域を調査した報告書。『韓紅葉』の続編である。

朝鮮総督府 編（明治44年７月）

朝鮮芸術之研究 続編

上記資料の続編

朝鮮総督府 編（大正3年９月）

朝鮮古蹟調査略報告

古蹟調査嘱託の関野貞、谷井済一、栗山俊一の三氏の共同調査報告書である。
廣州での百濟古墳・高勾麗の遺蹟・楽浪帶方古墳等、重要な遺物を発見。写真多数。

ISBN 978-4-8447-0242-9
総462頁　本体価8,000円

---

⑨③

朝鮮総督府中枢院 編（昭和13年２月）

朝鮮舊慣制度調査事業概要

朝鮮に於ける旧慣制度調査事業の概要を記す。調査内容には触れていないが、明治39年不動産調査会設置以来昭和12年に至る32年間の諸調査の他、朝鮮半島史、人名辞書、地誌の編纂古文書の研究等、関連事業も記す。

朝鮮総督府中枢院 編（昭和５年３月）

小作ニ關スル慣習調査書

朝鮮に於ける民事慣習中の物権、債権の一部につき、主として私法上の法律慣習を重点的に調査。小作慣習の大体は之により明らかになるとしている。

ISBN 978-4-8447-0242-9
総462頁　本体価5,000円

朝鮮総督府中枢院 編（昭和８年12月）

⑨④民事慣習回答彙集
全２冊

隆熙三年（明治42年）～昭和８年９月の間、旧韓国法典調査局、朝鮮総督府取調局、同参事官室ないし中枢院が相次いで裁判所その他の官庁の照会に対し発した民事慣習に関する回答の悉皆収録。概ね年月順に回答の要旨を適記し、又事項別に彙類し、私法法典の編集別に対応させ巻初に列記する。
以上の外、朝鮮総督府旧慣及制度調査委員会の決議を以て、親族及相続に関する慣習の大綱を記述したものがあり、これを巻末に添載。

ISBN 978-4-8447-0244-3
946頁　本体価17,000円

⑨⑤

此經春也 著（明治44年９月）

朝　鮮　偉　勲　録

朝鮮総督府 編（明治45年４月）

朝　鮮　芸　文　志

ISBN 978-4-8447-0245-0
総298頁　本体価6,000円

日韓併合を血なまぐさい戦争、闘争を経ずに為し遂げた点、類いまれなる事件なりとし、貢献した人士の業績をほめたたえる。主として日本側観点で評価する。

佛人モーリス・クーラン氏の著「ビブリオグラヒー、コレエンヌ」は古代より朝鮮半島に於ける1890年迄の著述・翻刻2824点の目録解題の外、追加・附録等を加え通計3821点の目録解題集である。

当時朝鮮に関する著述の稀有なる中にあって、此の国の地理・歴史・風俗・文学・哲学に関し詳しく説明をしようとした、とある。これを総督府有志の読書会における講演原稿として、クーラン氏の書籍目録の叙論をまとめたもの。

満洲日日新聞社 編（明治43年５月）

⑨⑥ 安重根事件公判速記録

ISBN 978-4-8447-0246-7
210頁　本体価4,000円

伊藤公爵は明治42年10月26日大連にて、ロシア儀仗兵一個中隊を閲兵中に狙撃され不帰の人となった。正犯者安重根の他３名は公判に附され、明治43年２月７日より４日間旅順地方法院で公判の結果彼は死刑確定、３月26日執行された。

本書はこの公判速記録をまとめたもの。裁判官、検察官、弁護士の校閲済みとある。

大邱府 編（大正４年５月）

⑨⑦ 大　邱　民　団　史

ISBN 978-4-8447-0247-4
338頁　本体価7,000円

明治39年11月、邦人の大邱居留民団が結成される。以来大正４年３月に廃止される迄の歴史とその全貌を、民間邦人が始めて大邱に移住した明治26年９月に迄遡って綴る。

当初の韓国外部、又観察府の邦人駆逐策による苦闘、日清・日露戦争による国際関係の変転による改善と大邱の発展史を、広汎に具体的に記録として残す。

八田己之助 著（昭和９年10月）

⑨⑧ 樂浪と傳説の平壌

ISBN 978-4-8447-0248-1
490頁　本体価9,000円

二千年の昔、朝鮮楽浪郡に高度に栄えた文化の存在が判明した。考古学の権威は口を揃えて地下の正倉院と呼ぶ。数千の古墳群、十数町の土壁に包まれた楽浪郡治址、それは大同江面の石岩里で畑作業中の一農夫が発見した青銅製金具―漢鏡に端を発する。

以後多くの遺跡発掘のドラマが展開され、それを物語り風の読物として、いにしえに想いをはせつつ読者に語りかける。

前田 力 編（大正15年11月）

⑨⑨ 鎭　南　浦　府　史

ISBN 978-4-8447-0249-8
530頁　本体価9,000円

明治30年10月1日開港の一漁村鎭南浦は、30年の年月を経て今日、海陸輸送の連絡網も整い、居住者も数万人と云われる西鮮唯一の大貿易港へと発展した。

その発展史を時代、国際関係、産業社会等のさまざまな角度から鳥瞰する。

高尾新右衛門 著（大正11年４月）

⑩⓪ 大陸発展策より見たる元山港

ISBN 978-4-8447-0298-6
250頁　本体価5,000円

軍拡競争より経済的な活動と競争に移ってきた大正後期、資源乏しく、人口過剰の日本が今後目指すべきは経済的大陸発展策也。我国は企業的精神を発揮し、大陸の富源を開発し、国際的善隣友好、共存共栄を計るべしと説く。そして、まず重要なるは日本海の活用にあり、そのためには半島元山港を研究すること肝要なりとし、その歴史、地勢、産業経済、宗教等をトータルに幅広く紹介する。

第10期（⑩⓫～⑪④）　全14巻

揃本体価　113,000円
（'14・5　刊）

⑩⓫

度支部 編（隆熙２年３月）

韓南島嶼ノ富源

釜山日本人商業会議所主催により、韓国各島嶼の資源調査を行ったとある。内容は、田畑・戸数・職業・生産品・生産高等。

全羅南道 編（大正元年10月）

明治四十四年 全羅南道道勢要覧

明治44年における全羅南道の道勢全般を自然、社会、産業、商業、交通、通信、財政、物価、教育、宗教等の分野に分けて調査。

春陽堂 刊（明治27年９月）

日清韓新三國志

日清韓三國の要人の奇言、異行を一見普通に述べつつも、その裏の意味を吟味されたしとある。

ISBN 978-4-8447-0175-0
総378頁＋折込4　本体価8,000円

---

⑩⓬

京城日報社 編（大正元年９月）

朝鮮百業百種

朝鮮での庶民の日々の暮らしぶりをざっくばらんに新聞記者が思いつくままに語る。京城をはじめ朝鮮各地での生活臭あふれる語りぶりは、移民を志望する若者にはかなり興味深い情報源だったかも知れない。

西尾守行 著（明治44年１月）

朝鮮常平通寶錢譜

朝鮮で古来鋳造された貨幣の廃貨作業部署に在籍の著者が収集した3,137点もの硬貨の銭譜。未発見物のなお多くあるを予想し、その鋳造所、年代、種類を記録したとし、これに係る詳しい情報の提供も呼びかける。

ISBN 978-4-8447-0176-7
総362頁　本体価9,000円

103

統監府警務総監部 調(明治43年９月･同年10月)

朝鮮在来教派概観

朝鮮に於ける数ある結社団体中、かなりしっかりした教義を持ち、勢力もある下記７団体をとり上げ、その概要（沿革、政治関係、布教状況、組織、信教の形式、教の維持方法等）を紹介する。（天道教、太極教、孔子教会、大同教、大成宗教、大倧教、大宗教）

朝鮮佛教団 編（昭和５年８月）

朝鮮佛教大会記要

長く不振状態にあった朝鮮に佛教普及をうながすべく、内鮮佛教徒の交流を深め、半島文化の発展と民衆の福祉増進に貢献する目的をもって京城にて初めて開催された大会の紀要。

国民協会本部 編（昭和６年10月）

国民協会運動史

大正８年発生の朝鮮独立騒擾事件は朝鮮全土に拡大した。いわゆる三･一運動で、これに対し陸軍省、朝鮮総督府による軍事弾圧と政治犯処罰の強化が実行されたが、その時局下、日･支･露の列強の影響下、自立力の弱い朝鮮民族を救うには、日韓併合をあえて受け入れ、その中で参政権を要求し、内鮮一体化によって日朝両民族の共存共栄の道をめざすとした「新日本主義」をかかげるも、凶漢に倒れた「閔元植」の政治理念と活動の記録を綴る。

ISBN 978-4-8447-0177-4
総342頁+写真8頁　本体価9,000円

104

学部編輯局 編（明治26年）

世界萬国年契

神代～紀元前670年～紀元1898年間の朝鮮、漢土、日本、西洋の総合年表。アジア三国は柱に皇帝名、西洋は紀元年を表記。漢字文献。

ISBN 978-4-8447-0178-1
288頁　本体価8,000円

105

善生永助 著（昭和９年７月）

朝鮮帰化族の発展

古来、我国に在住する朝鮮帰化人を歴史的に概説し、全国的な分布図、帰化人集落、帰化人賜姓の由来、その系統･分布を調査。近代に入っての移住者についての叙述は一切触れていない。

朝鮮総督府学務局 編（昭和２年12月）

朝鮮青年成功録

各道より調査報告された青少年男女の学校卒業後直ちに実業に身を投じ成功した三百余名中、特に優れたと認められた115名の経歴を紹介。

ISBN 978-4-8447-0179-8
総344頁+写真2頁　本体価9,000円

106

群馬県下尋常高等小学校長他５名(大正15年11月)

満鮮北支視察記

埼玉県教育会 編(大正15年８月)

満鮮支視察記録

ISBN 978-4-8447-0180-4
総316頁　本体価9,000円

満鉄主催の全国小学校長会議（奉天）を機会に、視察団に加わり、40日余の満洲･北支の視察旅行を行った５名の校長の報告。

第４回満洲･朝鮮･支那視察旅行14名の視察報告書。埼玉県下小中学校の校長･教師ら中心の14名が約１ヶ月の視察旅行を実施。県下の普通教育の資料作成を目ざした。
［埼玉教育No. 226に掲載（昭和２年３月15日）］。日支両国の友好関係が損なわれ、排日の風潮全支にみなぎる時局を憂い、原因の一班は日本人にもあるとし、この記録を県下教育指針の一端に願うとある。

107

三浦兼助 著(大正６年11月)

明治癸卯 朝鮮紀行
−三浦在六遺稿

ISBN 978-4-8447-0181-1
176頁　本体価4,000円

佛書専門の其中堂古書店主の25日間の朝鮮旅行記。古書収集家にして才人。軍人、官吏、文人、僧侶、医者、新聞記者、商工業者など巾広い交友関係を持つ著者が己が不治の病末期なるを悟り、知人らに本旅行記こそ面白く楽しく読んでもらいたいと書き残している。（原本和綴）

108

朝鮮総督府 編(昭和５年５月、昭和８年12月)

朝鮮道立醫院概況

ISBN 978-4-8447-0182-8
188頁+写真68頁+折込6　本体価8,000円

明治40年京城に設置された大韓医院（京城帝国大学の前身）により、中央救療機関はスタートした。それにつづき、地方に近代医療を展開すべく統監府は韓国政府を動かし、ここに地方慈恵医院が展開された。その沿革･現況を２度にわたり調査した報告書。

109

(社)朝鮮鉱業会 編

鉱業状況

京畿道（昭和５年10月）
忠清南道（昭和５年12月）
忠清北道（昭和５年12月）
咸鏡南道（昭和５年10月）
咸鏡北道（昭和５年10月）

ISBN 978-4-8447-0183-5
総268頁＋折込10　本体価8,000円

各道における鉱業状況を地理、地質、鉱床、鉱業出願件数、稼働鉱区及鉱山状況、産額状況等を網羅的に調査。附表、稼働鉱山分布図付。

⑩

(社)朝鮮鉱業会 編

鉱　業　状　況

江 原 道（昭和５年12月）
平安南道（昭和５年10月）
平安北道（昭和５年12月）

ISBN 978-4-8447-0184-2
総280頁＋折込8

本体価8,000円

⑩⑨に同じ。

---

⑪

(社)朝鮮鉱業会 編

鉱　業　状　況

黄 海 道（昭和５年10月）
全羅南道（昭和５年12月）
全羅北道（昭和５年12月）
慶尚南道（昭和５年10月）
慶尚北道（昭和５年10月）

ISBN 978-4-8447-0185-9
総278頁＋折込10

本体価8,000円

⑩⑨に同じ。

---

⑫

植木秀幹 著（大正８年11月）

朝 鮮 の 救 荒 植 物

朝鮮総督府山林部 編（昭和４年）

火田整理ニ関スル参考書

ISBN 978-4-8447-0186-6
総316頁+折込2

本体価8,000円

食用可能の野生植物、特殊栽培植物387種につき、その産地･産額･食用部分･採取季節等を明かし、特に食用法、薬用その他を調査し紹介する。

火田民の存在を長期に亘る朝鮮の社会現象としてとらえ､その問題解決を計るべく道知事会、中枢院会･営林署長会からの答申の他、調査研究諸報告をまとめる。

---

⑬

全羅南道 編（昭和６年12月）

全羅南道小作慣行調査書
（昭和５年調査）

ISBN 978-4-8447-0187-3
262頁+折込2

本体価9,000円

各区域内の事情精通者につき調査の上、郡･道にて再審議し作成。本府指示の「小作慣行調査要項」に依る。

平安北道 編

⑭ 平安北道小作慣行調査書
（昭和６年７月調査）

全羅南道調査に準ず。

ISBN 978-4-8447-0188-0
296頁　本体価8,000円

第11期（⑮～㉒）　全８巻・総11冊

揃本体価　124,000円
（'17・9　刊）

⑮

酒井與三吉 著（大正５年５月）

朝鮮民籍法令集

大正5年5月現行の民籍法・戸籍法を掲載。さらに各種心得、書式・手続きに関する件についての詳細な説明、内地人用の戸籍諸届書式に合わせて、一部ハングル語を用いた訳文も収録されている。

朝鮮総督府財務局 編（大正11年９月）

改正朝鮮税令

「地税」「所得税」「鉱税」「朝鮮銀行券発行税」「取引所税」「酒税」「煙草耕作税」「砂糖消費税」「印紙税」「登録税」「驛屯土」について、大正11年9月現行の各改正令を収録。

ISBN 978-4-8447-0466-9
総364頁　本体価9,000円

⑯

木村富士 著（昭和14年４月）

鮮満地方出張視察報告書

朝鮮および満洲に於ける製紙工業、満洲に於けるパルプ工業について、現地を視察した著者による報告書。

東京府教育研究会 編（昭和７年?）

鮮満地方視察報告

同年5月～6月にかけて行われた視察の結果得られた、「教育に関する事項」「満洲国に対する認識」「関東洲の状況」「朝鮮統治の概況」が綴られており、「朝鮮人・満洲人風習の一端」「朝鮮・満洲の建築・工芸・彫刻」についても触れられている。

台湾地方自治連盟本部 編（昭和９年３月）

朝鮮地方制度視察報告書

台湾の政治上の施設、とりわけ地方自治が朝鮮に比べて劣っていると捉えていた同本部が制度改革を要求すべく、朝鮮全般の実情を把握するために行った視察。朝鮮の現行自治制度や経済・教育状態、政治的関心などを調査している。

同光会本部 編（大正12年２月）

朝鮮民情視察報告

大正11年10月に行われた視察について、政友会代議士の上塚司、憲政会代議士の荒川五郎、無所属代議士の副島義一の3名による報告を掲載。さらに、上塚氏によって執られた視察中に接客した現地関係者との聴取録も採録している。

二見鏡三郎 著（明治43年12月）

清国及朝鮮視察報文

理工科大学教授であった著者が明治43年8月から行った視察について、京都帝国大学総長の菊池大麓に宛てた報告書。土木工事を中心とした視察を行っており、関係する図面も附されている。

ISBN 978-4-8447-0467-6
総384頁　本体価10,000円

117

廣韓書林編輯部 編（昭和５年４月）

家庭百万吉凶宝鑑

目次より…「第1編 秘訣」「第2編 択日」「第3編 陰陽」「第4編 婚姻」「第5編 祈祷」「第6編 修造」「第7編 交接」「第8編 畜産」「第9編 陰晴」「第10編 葬事」「第11編 命運」「第12編 断時」「第13編 卜字及雑方」「第14編 夢讖」「第15編 療治」が、ハングル語で記されている。

笠原次郎 著（明治37年９月）

清韓染織視察報告書

染織業技師であった著者が、農商務省の官命により、清国の「綿織物およびその染物の種類·寸法·価格等」「綿織物および染物生産の状況および生産費」「輸入される諸外国産の綿織物および染物の種類·数量·価格·状況」「織物職工·染物職工等の賃金額および労働程」についての調査を厳命され、その結果をまとめたもの。11年9月現行の各改正令を収録。

ISBN 978-4-8447-0468-3
総444頁　本体価11,000円

118

山道襄一 著（明治43年８月）

社会状態及階級制度

「朝鮮半島の社会組織は不完全であるのに対し、階級制度の厳重さに疑問を感じることが多い」とした著者によってまとめられた調査書。詳細にこの問題を研究するにあたって諸問題の調査にあたり、最後にその結論をまとめている。

向井 忠 著（大正３年６月）

平壌経済一班

朝鮮銀行平壌支店の沿革から始まり、「総説」「商圏内の諸取引」「金融」「通貨」の記述が続く。単に経済情報を記しただけではなく、銀行の預金·貸出残高や金利、為替受払なども記録されている。

佐々木忠右衛門 著（大正13年１月）

朝鮮部落の一形態 副業の盛なる道也味里

朝鮮部落の一つである道也味里の調査報告書。「沿革」「社会状態」「経済状態」「風俗習慣」「民家」「農業」「自然地境」についての報告と共に、「道林里矯風副業契規約」も掲載されている。

（明治43年９月）

（全州） 産業之栞

全州を中心とした全羅北道の産業についてまとめられたもの。「位置·地形」「陸上交通」「通信」「水運」「気候衛生」「警備機関所在」「教育」「戸口」「物資集散の状況」「産業概況」「農業」「金融機関」等についての記述がある。

ISBN 978-4-8447-0469-0
総358頁　本体価10,000円

朝鮮総督府中樞院 編（昭和９年11月）

119 朝鮮の姓名氏族に関する研究調査

今村鞆の編纂によってまとめられた調査書。姓名氏族の概要から、時にはその由来·沿革等についても触れており、著者による私見も含まれている。

ISBN 978-4-8447-0470-6
514頁　本体価11,000円

朝鮮博覧会京城協賛会 編（昭和５年２月）

⑫⓪ 朝鮮博覧会京城協賛会報告書

ISBN 978-4-8447-0471-3
360頁　本体価8,000円

昭和4年9月に開催された朝鮮博覧会の全容を記載。発起人の氏名から予算編成、開会中の事業、閉会後の残務内容や寄付者氏名などが、詳細に記されている。

統監府臨時間島派出所残務整理所 編（明治43年３月）

⑫① 間嶋産業調査書 全２冊

ISBN 978-4-8447-0472-0
940頁　本体価26,000円

明治42年9月の日清協約締結によって突如閉鎖となった統監府臨時間島派出所が、その残務整理中に編纂した調査書。清国官憲からの壓迫があるなかで、「農業」「地質及鉱産」「商業」について当時の職員が調査を行っている。

朝鮮総督府看守教習所 編（大正12年３月）

⑫② 朝鮮刑務提要 全３冊

ISBN 978-4-8447-0475-1
1,260頁　本体価39,000円

法令等の前文は省略されているが、大正12年3月1日現行の「法令」「訓達」「通牒」等を収録したもの。「憲法」「法例」「官規」「位勲、褒章、救恤、恩給、賞罰」「文書、統計、指紋」「会計」「官有財産」「監獄」「裁判失効、刑期計算」の全9編からなる。

第12期（⑫③～⑬②）　全10巻

揃本体価　104,000円
（'20・11 刊）

◉府邑面雑誌社発行（昭和６年６月、９月）

⑫③ 府邑面雑誌

第１巻・第１号84頁／第１巻・第４号76頁

ISBN 978-4-8447-0533-8
計160頁　本体価5,000円

朝鮮総督府は斉藤監督の「文化政治」への転換を計る中で、1930年12月、地方制度を改編し、その施策として、従来の制限された諮問機関から議決機関として新たに道会、府会、邑会を設置し、面も含めてすべての議員は公選制となった。総督府は「地方政治」の充実を謳うと同時に植民地支配の基盤を強化していった。本誌は植民地下の自治制度の運用と実態を知る朝鮮唯一の自治行政研究雑誌。

◉外地評論社発行（昭和14年7月）

⑫④ 外地評論―夏季特大号・朝鮮特輯

第２巻・第12号

ISBN 978-4-8447-0534-5
414頁　本体価15,000円

日中戦争の勃発（1937年7月）を契機として朝鮮は日本の大陸進出の兵站基地としての重要性を増していった。その基盤整備と強化を進めている朝鮮の姿を内外識者に紹介するために特輯を組み、当時の一流のエキスパートを執筆陣とし、収録記事は経済（工業・農業）、軍事、社会、文化等、多岐にわたっている。

◉府尹郡守会議編（昭和13年5月）

⓬⑤ 府尹郡守会議資料

1．道知事指示　66頁
2．府尹郡守会議ニ於ケル道知事訓示要旨　22頁
3．府尹郡守提出意見　227頁
4．府尹、郡守提出処理概要　37頁
5．府尹、郡守会議諮問答申書　177頁

ISBN 978-4-8447-0535-2
計537頁　本体価20,000円

国家総動員法が朝鮮に施行された1938年５月、府尹郡守会議が開催された。それに先立って開催された道知事会議に基づき、内鮮一体の促進、道政の進展を図ることを目的として、各道の事情報告と庶政に関する意見の聴取が行われた。議題は国体明徴、鮮満一如、教学振作、農工併進、庶政刷新、農山漁村振興運動、非常時財政経済、国民精神総動員運動。日中戦争期朝鮮の地方史研究に必須の資料。

⓬⑥

◉韓国出版協会発行（隆熙２年５月）40頁

韓国名所写真帖　第１号

隆熙２年当時の朝鮮の主要な都市、釜山、京城、密陽、馬山、大邱、平壌、水原等の名所を紹介したもので、市街地の様子を知る貴重な記録写真。

◉東京堂册房発行（明治41年６月）32頁

北韓名勝写真帖

日本の統監府時期の朝鮮北部の咸鏡南道の元山を中心に、感興、咸鏡北道の城津、鏡城、会寧、豆満江等の市街地風景を紹介する記録写真。

◉平壌真鶴洋行発行（明治42年６月）38頁

平壌風景風俗写真帖　第２版

日本の土産物として作られたもので、平壌の離宮之門、大和町通等の名所風景の他、大同江での水汲、洗濯、炭売の児童、運動会、風俗、官妓等全32点の写真を収録。

◉財藤勝蔵自著・発行（刊行年不明）68頁

朝鮮百四十景

京城及付近：朝鮮神宮、朝鮮総督府、京城市街地等23点、**内鮮之部**：慶尚南道釜山等17点、慶尚北道大邱、慶州等16点、忠清北道大田等７点、全羅北道全州等２点、忠清南道２点、京畿道１点、計45点、**西鮮之部**：黄海道７点、平安南道平壌等18点、鴨緑江３点、計28点、金剛山之部14点、**北鮮之部**：咸興南道咸興等12点、咸興北道清津等５点、計17点、朝鮮風俗之部17点収録。

◉白と黒社（昭和11年８月）24頁

版芸術８月号　朝鮮土俗玩具集

朝鮮人の生活と結びついた郷土玩具として愛用されていた紙太鼓、凧、風車、木靴、藁偶人等20点を網羅した色版画を収録。

◉清水完治編輯・発行（昭和14年11月）30頁

朝鮮の郷土玩具　土偶志臨時号

1930年10月28日、釜山放送局より全鮮に放送された朝鮮の郷土玩具を紹介した最初のもので、それに補筆し刊行された。李朝時代圧制によって路傍の石として棄て去られた中で残った玩具から、木彫の将軍の人形、仮面、虎の玩具、凧など13種余を紹介。

ISBN 978-4-8447-0536-9
計233頁　本体価12,000円

◉京城商工会議所（昭和12年３月）

⑫⑦ 朝鮮に於ける家庭工業調査

ISBN 978-4-8447-0537-6
222頁　本体価7,000円

京城商工会議所は1936年度、都市と地方にわたる朝鮮の家内工業の全般的調査を行った。朝鮮総督府の近代化政策の中で朝鮮の工業は発展しつつあったが、その中で家内工業は全工産額の30％近くを占めており、依然として重要な役割を演じていた。1930年代の朝鮮の家内工業の現状を知る基礎資料。

---

⑫⑧

◉徳野真士（昭和13年９月刊）60頁

昭和11年　朝鮮鉱業要覧

鉱種別出願件数、内鮮外人別鉱区数、道別鉱区数、道別鉱夫数、鉱種別鉱夫平均賃金、鉱山災害ニ因ル死傷者数、主要鉱山産額別等21項目の明治43年～昭和12年迄の統計。

◉全羅南道（昭和13年３月）150頁

全羅南道土木要覧　昭和13年度

全羅南道の道路、河川、港湾、上水及下水、鉄道及軌道、航路、航空の解説。付図として全羅南道道路網図、河川港湾及水運図。

ISBN 978-4-8447-0538-3
計210頁　本体価7,000円

帝国地方行政学会朝鮮本部刊　◉坂本嘉一著（昭和２年11月再版）

⑫⑨ 朝鮮河川令釋義

ISBN 978-4-8447-0539-0
256頁　本体価8,000円

総督府は1921年６月、産業調査会を設置し、農業、工業、鉱業等産業全般にわたる開発政策を立てた。その中心は農業政策、なかでも日本の食糧問題解決方法として立てられた朝鮮産米増殖計画であった。その為には治水・水利問題の解決が急がれたが、朝鮮には河川に関する根本法がなく、その管理、改良、費用負担、権利の制限等の河川法が設置された。本書は朝鮮の土木行政事務に精通する著者が解説したものである。

◉朝鮮殖産銀行（昭和16年３月）

⑬⓪ 朝鮮ニ於ケル不動産関係統制法規　付朝鮮農地令

ISBN 978-4-8447-0540-6
318頁　本体価12,000円

日中戦争以来、戦時経済運行上、農地価格の騰貴、農産物価格の騰貴を抑制し、物価引上停止政策の一環として、小作料統制令、宅地建物等価格統制令、臨時農地価格統制令、臨時農地等管理令、地代家賃統制令が設定された。付・朝鮮農地令。本書は国家総動員法下の不動産関係統制法規と逐条約的解説を付したもの。

⑬⑪

◉新聞解放満鮮総支社発行(昭和12年６月)100頁

朝鮮・満州新聞現勢

朝鮮内発行新聞通信（内地人発行新聞23紙、朝鮮人発行５紙、通信社７）、満州内発行新聞通信（日文・満文・英文・露文・鮮文）新京７、奉天12、大連８、哈爾濱15、安東５、吉林３、斉々哈爾３、海拉爾２、営口２、撫順２、鞍山１、遼陽２、開原１、北安鎮１、本渓湖１、鉄嶺１、四平街１、南２、承徳２、錦州２、山海関２、間島３、大黒河１、佳木斯１、牡丹江２、図們１、大毎大朝在満通信部）の現勢を記す。植民地メディア史研究の基礎資料。

◉朝鮮公論社発行(大正11年11月)328頁

朝鮮公論十週年記念　鮮満人物批判号

植民地朝鮮・満州の各界で活躍する人物評。朝鮮官界、警察界、京城財界、土木建築界、全鮮醸造界、鮮満映画界、鮮満文芸界、音楽界、美術界、運動選手、釜山、平壌、龍山の代表的人物、全鮮旅館と女中評判記等収録。

ISBN 978-4-8447-0541-3
計428頁　本体価10,000円

大阪屋号書店　◉鈴木栄太郎著(昭和19年５月)

⑬②朝鮮農村社会踏査記

本書は朝鮮の農村社会学の大家で、当時、京城帝大助教授であった著者が、昭和18年、朝鮮人生活における基本的社会構造の下部組織の究明のために行った事例調査をまとめたもの。調査地は江原道原州部、忠清北道堤川郡、慶尚北道栄州郡、尚州郡。農村社会における儒林の一般社会生活に対する指導的機能に関する事情、両班の同族組織、郡の社会的統一性の問題の解明が、朝鮮人社会の正しい理解に不可欠であり、本書は植民地末期の朝鮮社会基盤の実態解明に必須の資料である。

ISBN 978-4-8447-0542-0
256頁　本体価8,000円

陸軍参謀本部 編／解題 村上勝彦

復刻版

朝　鮮　地　誌　略
全２巻

第１巻　京畿道／忠清道／咸鏡道　('81･10 刊)
ISBN 978-4-8447-8457-9
A5判･710頁　本体価10,000円

第２巻　平安道／江原道／全羅道　('85･８ 刊)
ISBN 978-4-8447-8458-6
A5判･742頁　本体価10,000円

明治21年、陸軍参謀本部は、朝鮮全土の疆域、沿革、人口、教育、自然、物産等22項目の調査を行ない、「朝鮮地誌略」全８巻（和綴じ）という厖大な調査報告書を完成させた。これは将来予想される日清･日露開戦における戦略及び兵站の用に作成されたものであり、朝鮮支配の実用的、歴史的裏付けとして調査されたものと思われる。本書は同時期に刊行された兵要地誌のなかでもっともすぐれたもので、「慶尚道之部」(学芸書林既刊）及び「黄海道」（未発見）をのぞき全巻刊行。

残僅少

エドワード･W. ワグナー 著(1904～1950)

復刻版

日本における朝鮮少数民族

ISBN 978-4-8447-0004-3
A5判･158頁　本体価3,000円

1904年から1950年にかけて、日本に移住した朝鮮人に関する資料をあつめ、解説。年代順に移住のあとをたどり、ついでそれによって起こった問題と発展の経緯とさらに性格を追求する。在朝鮮米軍政庁および連合国軍総司令部による在日朝鮮人処理についてまとめられた最初のレポート。

('89･３ 初版
'09･５ ３版)

残僅少

樋口雄一編・解説

編集復刻

戦時下朝鮮人徴兵資料
全３巻（予定）

A5判･総約1000頁　本体価未定

朝鮮人徴兵は1944年と45年に実施され、それ以前に軍属、志願兵等として徴兵された人を含め、総数36万余に達する。犠牲者は約２万２千人と推定される。徴兵資料は敗戦と同時に大半焼却された。本資料は朝鮮人徴兵を知る貴重なものである。

10. アジア（含・旧植民地）

20世紀日本のアジア関係重要研究資料

アジア太平洋戦争終結から今日に至るまで、我国はぼっ興するアジア諸国と経済・社会・文化の各方面でますます緊密度を深めつつある。そして、アジアの一員としての自覚に立って友好、安定平和の環境づくりに鋭意努力している。しかし、アジア諸国を“対日観”の観点でみるとき、表面的友好関係とは別に“従軍慰安婦問題”に象徴されるような反日感情や軍事大国への警戒意識が厳として潜在することを忘れてはならない。本企画は、日本が近隣アジアとの関係をより深く理解するために、日本対アジアの関係史と現状を100年の視座でとらえ直そうとするものである。識者のご理解を念願する。

刊行内容

※本企画は次の３部に分け、それぞれのジャンルでの重要文献を順次発掘、刊行する。

第１部　東亜研究所刊行物
第２部　定期刊行資料（雑誌・新聞等）
第３部　単行図書資料

第１部　東亜研究所刊行物

◇東亜研究所設立趣旨◇

我日本民族ノ海外發展ト東亜ニ於ケル平和ノ樹立トハ我帝國天與ノ使命ニシテ我國策ノ重要目標タリ
而シテ一國ノ國策ハ確固タル科學的研究ニ基礎ヲ置クノ必要ハ警言ヲ要セズ帝國ノ東亜ニ對スル使命達成ニハ先ヅ東亜ニ於ケル人文自然ノ科學的調査研究ニ發足セザルベカラズ
由來東亜ノ地ハ各國ノ政治的勢力互ニ錯雑複綜シ加フルニ氣候、風土、其ノ他自然ノ障碍大ナルノミナラズ幾多先住民族アリ其ノ傳統、習慣及政治經濟事情等ヲ異ニスルヲ以テ之ガ調査研究決シテ容易ノ業ニ非ズ爲ニ從來ノ調査研究動モスレバ肯綮ヲ失スルノミナラズ官民各方面ニ統一連絡ヲ缺キ又調査研究ノ結果ハ實際的利用ノ途ヲ失ヒ徒ニ匡底ニ死藏セラルルモノ尠カラズ誠ニ遺憾ト謂フベシ
茲ニ於テカ各般ノ調査研究ヲ深刻ナラシムルト共ニ廣ク官民ノ智能及調査研究機関ノ協力利用ヲ圖リテ綜合的調査研究ノ完璧ヲ期スル爲昭和十三年九月一日財團法人東亜研究所ヲ設立シタルモノナリ

（財）東亜研究所は昭和13年９月に創立された。そしてわずか７年で歴史の幕を閉じる。その短い期間は丁度15年戦争の拡大期であり、広汎な領域にわたり、有能な研究者達が戦争遂行のために調査に動員させられた。「国策」の美名の下に広汎に人材を動員する権力機能は正に他の研究機関を睥睨するものがあり、（1943年当時）優に1,000名を越える研究者をかかえる巨大組織として運営された。その東亜研究所のぼう大な調査研究蓄積の中から、今日なお重要と思われる資料を選別し、順次復刻刊行する。なお刊行の都合上、刊行順、資料名等に若干変更のあり得ることをご了承願いたい。　A5判・並製

本シリーズの「資料紹介」は小舎既刊『東研成果摘要』より抜粋した。

【第１期】 全16巻（①～⑯）　（'99・12 刊）

ISBN 978-4-8447-0346-4　本体価250,000円　残僅少

①中国憲政運動の発展と最近の動向（翻訳）

昭和15年11月原刊　91頁

邵翰齋「憲政問題読本」（民国29年刊）の第３章「中国憲政運動的回顧」の翻訳。内容は清末の憲政啓蒙運動、辛亥革命より第二次護法に至る憲政運動、民主憲政運動と民族革命運動の合流、民族統一戦線の形成と憲政運動の発展である。

②支那近代百年表草稿

昭和16年1月原刊　401頁

阿片戦争以後支那事変勃発までの、政治、経済、社会に亙る詳細なる歴史的事実を年代順に、整理記述。「前史」には近世的防疫の開始より阿片貿易の隆盛に及んだ事情を、次いで「本史」では、阿片戦争の勃発以降の欧米列強の対支活動をはじめ、支那近代化産業の開始、支那の排外運動、世界大戦と日本の対支発展、国民党の抬頭、満州事変の対支諸問題を、また個々の歴史的事件、条約、変乱、政変等に「解説」を附す。此種の資料としては異色あるものである。

③三民主義民族理論に関する研究

昭和16年6月原刊　373頁

孫文の思想発展を究めつつ、「前篇」を三民主義民族理論の成立とその展開とし、三民主義の成立とその民族主義の内容、ついでその変貌の過程を説明。「後篇」は三民主義民族理論の基本分析とし、まずその理論的基礎を明らかにし、次いでその基本原則として民族自決権、民族政策の原理を明らかにし、最後に民族革命の理論と方策とを解説。

④抗日民族統一戦線の史的考察

昭和16年4月原刊　241頁

序言としてコミンテルンと植民地問題を解説し、支那の反帝統一戦線の発生と発展を示し、次いでソヴィエト運動、紅軍の建設、さらに人民戦線運動の成立、発展を示している。

⑤抗日民族統一戦線(翻訳)

昭和16年5月原刊　251頁

凱豊『抗日民族統一戦線教程』の翻訳で、民族危機下の中国に支那の政治的経済的危機、抗日民族統一戦線の発生とその展開、統一戦線の意義内容を取扱い、最後に抗日戦争への態度に触れている。

⑥満支に於ける共産運動概況

昭和16年9月原刊　82頁

在満共産運動の発展、現況、特質、八路軍の満州国への侵入、北支の遊撃運動、共産党の経済政策、抗日教育、中支の新四軍、国共関係を概観している。

⑦支那事変と日本(翻訳)

昭和16年９月原刊　199頁

Westel W. Willoughby: Japan's Case Examined, 1940の翻訳。米国側の対日的見解の一典型としての資料である。支那に於ける日本の行動、日本のモンロー主義その他数章からなっている。

⑧国民党支那の教育政策
―特にその民族主義的傾向を中心として―

昭和16年9月原刊　523頁

旧中国国民党の教育政策をその民族主義的傾向の観点から考察せるもの。その教育政策の民族主義的傾向の強化を述べ、排日、抗日教育政策への転化、抗戦下の教育政策を叙し、結論としてその民族主義的教育政策の意義を明らかにし、その功罪を批判している。

⑨抗日政権の東亜新秩序批判（翻訳）

昭和16年10月原刊　245頁

重慶側新聞・雑誌の東亜新秩序に対する批判論集、汪精衛氏の和平運動、近衛声明、日本の三民主義対策、東亜新秩序などに対する反駁約40篇を収めている。

⑩支那知識階級の民族主義思想（上）

昭和16年11月原刊　338頁

支那知識階級の思想動向を考察するため、その五四運動以前の支那の代表的思想家の民族主義思想を康有為、梁啓超、孫文などにつき辛亥革命とその後に分ち述べている。

⑪中国ソヴエート（翻訳）

昭和16年11月原刊　308頁

Victor A. Yakhontoff, The Chinese Soviets, 1934の翻訳で、中国共産党の発達をその歴史的背景より最近に至るまでの発展を概観している。歴史的背景として太平天国の乱、秘密結社、辛亥革命、国民党の諸問題を取上げ、ついで中国共産党の起源、国共の関係、剿共戦、党内外の抗争、中蘇一全大会、列強の態度などにつき叙述し、将来の問題につき要約、結論をも行っている。附録として中共憲法大綱、土地法、労働法草案その他６篇の綱領、布告等を附加している。

⑫中外を震驚せる皖南惨案（翻訳）

昭和16年12月原刊　233頁

1941年１月皖南（安徽省南部）の新四軍事件・国共相剋に関する報告集で、国共の第二次合作、国共協議の経過、移駐問題等を内容とし、附録として新四軍戦績略記、延安解放報の論説を附加している。

⑬七項運動宣伝綱要（翻訳）

昭和17年5月原刊　279頁

中国国民党中央執行委員会宣伝部製、南京特別市執行委員会宣伝部印、民国18年刊の「七項運動宣伝綱要」の翻訳。識字運動、合作運動、衛生運動、造林運動、造路運動、保甲運動、国貨提唱運動の七運動につき、それぞれ如何にすれば最も宣伝効果を挙げ得るかという見地から、運動の意義、方法、施設等につき述べている。

⑭支那民主主義建設（翻訳）
―支那工業合作社問題関係資料(2)―

昭和17年12月原刊　445頁

Edgar Snowの夫人であるNym Wales著 China Builds for Democracy, A Story of Cooperative Industry, Shanghai, 1941.の翻訳である。本書は９ケ年に亙り支那に在住し、該運動を指導した著者が僅々２カ年（1938-40）の間に全支に拡大した工業合作社運動発展の経緯を概説したものであるが、エドガー・スノーの諸著と同様アメリカ的見解に立つものであり、且表題の如く民主主義をふりかざす程理論的なものでもないが、重慶政権下に於ける合作社運動を一応概説せる参考資料。

⑮陝甘寧辺区の政策と近況(翻訳)

昭和17年12月原刊　198頁

中国共産地区の中心をなす陝甘寧辺区の政策と政治経済事情に関する諸論文の翻訳である。(1)同地区の施政綱領関係論文、(2)同地区の一般政策関係論文、(3)同地区旅行記、となっている。

⑯重慶政権の政情

昭和18年4月原刊　218頁

東亜新秩序と支那の政治的地位調査の一部として大体昭和15年末迄の資料によって支那抗日政権の内情を調査せるもの。内容は(1)国民党の性格と地盤、(2)抗日政権の政治的機構と施設、(3)民衆動員の状況、(4)軍事状態、(5)国共関係、とその対内的政治事情の調査に重点をおいているが、(6)東亜新秩序と抗日政権、に於て東亜新秩序に対する重慶政権の見解にも若干触れている。

【第２期】全17巻（⑰～㉝）

('00･12 刊)

ISBN 978-4-8447-6528-8　本体価380,000円

残僅少

⑰東亜日誌１（上）
⑱　〃　（下）

紀元2600年(昭和15年）1月～6月

昭和16年10月原刊　計902頁

世界情勢との関連のもとに、東亜各地の事情を政治、経済、社会の各分野に渉って記録。資料を外国の新聞、雑誌四十二種にとり、支那、華僑、佛印、泰、マレー、比律賓、蘭印、インド、ビルマ、オーストラリア、ニュージーランド、西亜細亜地方、ソ連に分ち、それぞれ主題の項目を定め記述（内容の詳細説明はパンフレット№１参照)。附録として、日本、満洲国、アメリカ、最後にヨーロッパ戦争につき各々細目別に叙述している。

⑲東亜日誌附録１

紀元2600年(昭和15年）1月～6月

昭和17年2月原刊　294頁

⑳東亜日誌２（１）
㉑　〃　（２）
㉒　〃　（３）
㉓　〃　（４）
㉔　〃　（５）

紀元2600年（昭和15年）７月～12月

昭和18年3月原刊　計2,060頁

㉕東亜日誌３

紀元2601年（昭和16年）１月～３月

昭和20年1月原刊　560頁

㉖南 方 統 計 要 覧（上）

佛印、泰国、マレー、ビルマ、印度、セイロンの各地域につき、それぞれの事項に関する統計数字を掲げている。⑴土地・氣候、⑵人口、⑶産業、⑷貿易、⑸金融、⑹物價・賃金、⑺交通・通信、⑻教育・宗教、⑼衛生、⑽財政。

㉗南 方 統 計 要 覧（下）

昭和17年11月原刊　456頁

フィリピン、旧蘭領印度、ボルネオ、ニューギニア、濠州、新西蘭の各地域につき、上巻と同様の各項目毎に之に関する統計数字を掲げている。ただし、ボルネオに関する数字は旧英領及旧蘭領の分を集計したもので年次その他に不統一の点があり。ニューギニアに就いては濠州領のみに関する数字を掲げてある。

㉘蘭 領 印 度 史（翻 訳）

昭和17年１月原刊　258頁

A.J. Eijkman, F.W. Stapel: Leerboek der geschiedenis van Nederlandsch Indie.（1939年刊）の翻訳で、蘭領印度の歴史を概観。第一章太古より第六章迄にポルトガル進出以前の蘭印を取扱い、以下27章迄は東印度会社時代の蘭印を、その創立、発展、末期の状況を明らかにし、次いで、バタビヤ共和国治下の蘭印、ダーンデルス総督（1808-1811）、コンミッサリス・ヘネラル（全権委員）の統治時代、強制栽培制度、アチェー戦争等を説明し、39章以下は19世紀よりの新しき産業的、政治的発展を叙述。

㉙泰 国 農 民 と 華 僑
―暹羅農村経済調査を中心として―

昭和15年6月原刊　118頁

泰国農村における華僑について、泰農村経済調査報告を中心として調査。内容は泰農村の一般事情、華僑と農民の取引、農村負債と信用組合運動を述べ、泰農村の貧困は、一因として華僑の高利要求によることを明らかにしている。

㉚南洋華僑教育調査研究（翻訳）

昭和15年8月原刊　474頁

朴之光、朱花『南洋華僑教育調査研究』（民国25年刊）の翻訳で、内容は前論、華僑教育史ではその史的発展支那政府と僑民教育を述べ、本論を南洋華僑教育調査として、統計、学科、学校、建築、経済などを記述している。

㉛華 僑 関 係 法 規 集（翻 訳）

昭和16年10月原刊　570頁

旧国民政府僑務委員会秘書処編「僑務法規彙編」（民国24年６月刊）の翻訳で、僑務委員会関係の法規として、管制、管規を収め、またその他僑務と関係ある法規として、実業関係、教育関係、内政関係、外交関係、党務関係とあらゆる法規を集めている。

㉜

日支事変と支那経済機構の変化（翻訳）

昭和15年11月原刊　64頁

何幹之『中國社會經濟機構』の第五章「中日戰爭與中國經濟機構的變動」の翻訳。事変と支那経済の関係、戦時農業政策、戦時金融財政政策、戦時交通政策、社会生活問題を論じている。

支那近代工業構成の変化（翻訳）
—支那工業基本統計の一整序—

昭和17年8月原刊　118頁

支那事変前の支那近代民族工業の構成を「中国工業調査報告」を基礎資料として考察。考察の対象を、工業構成——工場数、資本額、労働者数及び生産額の産業別分布——、費用構成、企業形態及び地域分布に限る。且つ、表の作成に際しては、原表数字を整理するにとどめた。

中国国民党農業政策序説

昭和16年10月原刊　56頁

中国国民党の農民政策、農業政策を概観せるもので、三民主義と農業政策との関係、北伐開始より南京政府樹立までの農業政策を取扱い、ついで北伐の進行によるその急進的な農業政策を放棄せることを述べている。

㉝

支那農業基礎統計資料・1

昭和15年8月原刊　76頁

支那農業の生産額の地方分布を明らかにする目的のために、国民政府主計処の農業統計報告を基礎として基準を1932年にとり編纂。支那、旧東三省の25省、1781県に亙り、西康33県、青海12県を欠くのみである。各県の外に省別、地域別の集計を行っている。その内容は「各省農戸田地總表」は農家戸数、土地に関するもので、各省の総戸数、農家戸数、その比率、毎戸平均入口、総面積、既耕地面積、その比率、水田、早地、作物総畝数、作付指数、毎戸平均畝数をそれぞれ明らかにしている。「主要作物平常年之面積及産量總表」は米、麦、高粱、小麦その他主要農作物を取扱い、その面積、産量、毎年の産額を記し、「各縣總戸農戸田地表」は各県の総戸数、農家戸数、田地畝数、水田、草地を明らかにしている。また「各縣主要作物平常之面積及産量分表」では各県の米、麦、粟、高粱の面積、産額を明らかにしている。各県別の農業統計として殆んど唯一のものである。

支那農業基礎統計資料・2

昭和18年3月原刊　216頁

資料１が1932年度を基準とする国民政府主計処の農業統計報告を基礎とした各省別各県別の支那農業基礎統計であるに対して、本報告は実業部中央農業実験所「農情報告」（1933-37年）を基礎として各省別の歴年的或は年次的統計を以て系統的にその趣向をあらわしたものである。第一編を農業生産統計とし、各種農作物及び畜産物に関する種植、収穫統計等を掲げ、第二編は郷村経済統計とし、農村人口趨勢、耕作面積趨勢、農業経営諸要素、郷村経済諸要相、郷村人民食糧消費、郷村教育等に関する統計を克明に掲げ、資料１と相俟って支那農業に関する画期的な資料である。

【第３期】全14巻（㉞～㊼）

（'02・２刊）

ISBN 978-4-8447-5446-6　本体価280,000円

残僅少

㉞

北方地域農林畜産業文献目録

昭和18年10月原刊　264頁

本文献目録は、北方地域（ソ連）における農林畜産業調査の便に資するため、主として本邦に所在する文献を収録。A・一般部門、B・農業部門、C・林業部門、D・畜産業部門の四部門に分ち、それぞれ地域別に或は項目別に細分類されている。

南方地域邦文資料目録
—昭和16年12月現在—

昭和17年3月原刊　66頁

本目録は、昭和16年12月末日現在の本所所蔵邦文資料中より、南方地域のもののみを搬出収録している。資料の配列は本所の地域分類表の順序に依る。同一地域内の配列は著書名のアルファベット順で、ただし、同一地域に比較的多数の資料を含む場合は項目分類順に配列されている。

南方地域邦文資料目録追加　第一輯
—昭和17年1月～3月現在—

昭和17年3月原刊　94頁

前資料追加分

㉟東亜関係統計資料目録

昭和17年5月原刊　331頁

東亜諸地域を対象とする研究に必要な統計資料（主として1930年ないし1940年度）にして、本研究所並びに著名二十九機関が昭和15年８月現在において所蔵せる文献名を収録したもの。目録の配列順序は、東亜、欧羅巴、阿弗利加、北中亜米利加、南亜米利加及び世界一般の順とし、日本、満洲国、ソヴィエト連邦関係図書は除かれている。なお書名索引、著書名・発行機関名索引を附す。

㊱南方地域資源統計地図
（カラー刷）

［A4判］昭和17年10月原刊　250頁

南方地域に於ける農畜林及び鉱業中の30余品目について、その生産の地方的分布を図示す。特に重要資源については、その世界的地位と流動とを総覧し得るようにし、かつ生産及び貿易統計表並びにそれらの統計図を添付している。

㊲

蘭領印度統治組織(翻訳)

昭和17年6月原刊　122頁

C.J. Franssen, J. van Zwijndregt, H.J. Mollen: Beknopt Leerboek der Staatsinrichting van Nederland en Nederlandsch-Indie. Groningen. Batavia.の1939年版（第６版）中、東印度に関する部分の翻訳。原書は和蘭及び蘭印に於ける高級中学校用の教科書として著述せられたもので、実際的見地から統治組織の概観を与うることを目的としている。第１章和蘭憲法中蘭領印度関係条文、領域、土地問題及住民、第２章総督及蘭印評議会、第３章中央行政機関及総督官房、第４章国民参議会、第５章立法、第６章財政、第７章司法、第８章行政区画、第９章地方分権より成る。

回教圏の人種及び民族

昭和16年6月原刊　131頁

回教圏の人種につき概説せるもの。アラビア人・トルコ人よりインドネシア人に及んでいる。

㊳南方諸地域の石油(未定稿)

昭和18年2月原刊　330頁

東印度諸島並びにニューギニア島に於ける石油の一般調査で、⑴東印度に於ける油田発達の歴史、⑵皇軍占領以前に於ける石油事業の状況、⑶石油地質の概説、⑷ボルネオ、スマトラ、ジャワ、セラム、ニューギニアに於ける各油田の地質、産額等を詳説せるものである。附録として各地域別の地質構造図７葉を附す。

㊴安南史講義(翻訳)

昭和16年9月原刊　260頁

本書は、仏領印度支那に於ける初等学校中級及び上級科用の歴史教科書、Duong Quang-Ham著 “Leçons d'Histoire d'Annam” の翻訳である。仏領印度支那の歴史研究の１資料とし、且つ仏蘭西が其植民地の土民教育上、歴史を如何に利用し居るかを知り、またこれを通じて、仏蘭西の殖民政策の一端を窺知せんが為めに、翻訳した。原書には各講毎にResumeを附してあるも、本翻訳に於ては凡て之を省略した。また、人名地名等の固有名詞は、安南式ローマ字にて表してあるも、本書には出来る限り当該の漢字を以て置き替え、これに安南語の発音に近い振仮名を附した。

㊵日本大陸政策の発展

昭和15年12月原刊　248頁

満洲事変以後の日本大陸政策の発展を概観せるもの。重要なる事件を年月順に配列叙述し、その推移を示す。

㊶支那農村慣行調査報告書 第一輯

昭和18年10月原刊　330頁

本書にされた論説３篇は、何れも東亜研究所第六調査委員会学術部委員並びに研究員の手による北支農村慣行の研究に関する中間報告書で、其の資料は専ら満鉄北支経済調査所慣行班が提供した現地調査報告書に負う。

⑫

支那農村慣行調査報告書
第二輯
—土地公租・公課の研究—

昭和19年1月原刊　94頁

本書は㊶の継続第２輯で第六調査委員会学術部委員会嘱託石田文次郎氏の手による北支農村慣行の研究に関する中間報告書である。

〃

第三輯
—北支に於ける小作の法律関係—

昭和19年1月原刊　162頁

本書は前第２輯の継続第３輯で第六調査委員会学術部委員会嘱託磯田進氏の手による北支農村慣行の研究に関する中間報告書である。

㊸全国生産会議総報告（上）

㊹　〃　（下）

昭和17年5月原刊　計641頁

重慶政府刊行「全国生産会議総報告」（民国28年重慶刊）の全訳。奥地建設の基本的政策を議するため民国28年重慶に召集された第一次生産会議の経過を明瞭にする目的をもって、本会議の規則、議案、審査報告及び決議を収録したものである。奥地経済建設の全貌を見る上に、まとまった重要参考資料である。

㊺商事に関する慣行調査報告書—合股の研究—（上）

㊻　〃
〃　（下）

昭和18年6月原刊　623頁

第六調査委員会に於ける支那商事慣行調査の一部として、古くから存在する支那固有の企業形態にして且現在に至るまで支那における重要な企業組織をなす合股に関して全般に亙り精密に調査したもの。先ず、総説に於いて合股の淵源、社会生活形態としての合股、合股の法律的、企業的性質を略説し、以下本論を四篇に分け、第一篇 合股生活に於いてはその協同体社会性、店友生活等の生活に関する問題、第二篇 合股法制に於いては、その起源、本質、債務に関する股東の責任及び権利義務、解散及び清算等法制に関する問題、第三篇 合股会計に於いては、帳簿、損益、決算等会計に関する問題、第四篇 合股変貌に於いては、その歴史的発展に於いて合股と関係を有する一種の匿名組合たる隠名合股、資本主義の影響を受けて発生した複合企業形態たる連合、合股の会社化等の問題に就いて検討している。

㊼中国工業合作社運動の全貌
—支那工業合作社問題関係資料(3)—

昭和19年10月原刊　436頁

工業合作社運動が最初に掲げた目標は「支那産業化のための態度の諸変革」という野心的なもので、それ迄の産業政策と異なる新しい志向である。それは支那が先進諸国の支援に依らず自主的に産業化を実現しようとする運動であり、その形態は古来広汎に発展している小工業、農村副業を新しい組織原理によって結合化、組織化することにある。その原理とは「協同組合主義」である。それと全く対蹠的な発展傾向は国営工業組織であって、この二つのものは重慶経済政策の主要な動向である。

本書は編著者が香港促進会の活動に依りつつ、その間集めた豊富な資料をまとめたもので、理論的分析を意図したものではなく資料的扱いを主としている。

【第４期】全12巻（㊽～㊾）

（'02・５刊）

ISBN 978-4-8447-5457-2　本体価200,000円

残僅少

㊽英国ノ対支金融業及保険業投資（未定稿）

昭和14年11月原刊　345頁

この未定稿に於いて銀行業ではその対支活動の沿革、その金融活動機能を概説し、更に各論として香上銀行、麦加利銀行、大英銀行、沙遜銀行につき沿革、資本金等を記述している。保険業では概説として在支の外国保険会社、殊に英国保険会社を説明し、各論においてその資本関係を略説している。

㊾英国ノ対支鉄道権益（一）（未定稿）
—英国ノ対支鉄道借款ニ就テ—

昭和14年7月原刊　146頁

主題に関する未定稿で、北寧鉄道、道清鉄道、滬寧鉄道、以下各鉄道別に英国の対支鉄道権益の内容を説明している。附表は次のごとくである。

1　英國對支鐵道借款表
2　英國對支鐵道材料借款一覧表
3　英國對支鐵道借款年表
4　英國對支鐵道對照表

㊿

英国ノ対支水運業投資（二）
—港湾施設篇—（未定稿）

昭和10年11月原刊　69頁

英国の対支水運業投資のうち、港湾施設に関する未定稿である。その内容は、上海港湾施設として上海港岸諸碼頭、公和祥碼頭公司、その他、香港九龍港湾施設、天津、塘沽、大沽などを取扱い、その施設業績等を明らかにしている。

英国ノ対支公共事業投資
—電灯・ガス・水道・バス・電車—（未定稿）

昭和14年11月原刊　168頁

英国の対支公共事業として電灯・ガス・水道・バス・電車の投資を調査せる未定稿で、電気事業関係では北平電燈公司以下五社、バス事業、ガス事業、水道事業、電車事業など合計十社について投資額、経営業績などを記述している。

51支那慣行調査彙報

昭和17年２月原刊　120頁

対支政策遂行に寄与するべく支那に於ける社会諸慣習調査の主要性を強調。実態調査に基づく資料をありのままの形で報告している。

52経済に関する支那慣行調査報告書
—特に北支に於ける小作制度—

昭和18年12月原刊　418頁

京都大学経済学部内に設けられた支那経済慣行調査書。支那社会の経済的基礎である農業生産の枢軸は農地問題であるとし、現行の生活慣行を特に北支に於ける小作制度に関する諸慣行に焦点を当てて、経済学的見地より科学的、体系的に調査研究している。

⑤③経済に関する支那慣行調査報告書
—旧式金融に於ける慣行—

昭和19年２月原刊　176頁

北支に発祥したいわゆる支那旧式金融が強力な地盤を把めている現実と、銀號ないし錢荘の支那金融界に占める特殊な伝来の地盤に着目し調査している。

---

⑤④経済に関する支那慣行調査報告書
—北支に於ける土地所有の移動と分布並に土地の開墾—

昭和19年10月原刊　316頁

全五章より成る本報告書は、第一章 支那農家の相続慣習と相続による土地所有の移動と分散。第二章 土地賣買の慣行とこれによる土地所有の移動。第三章 典の慣行と典による土地所有の移動。第四章 抵押の慣行とこれによる土地所有の移動。第五章 民國以降における支那、特に北支における土地開墾問題を論じている。

---

⑤⑤中国水利史（翻訳）

昭和15年５月原刊　386頁

鄭肇經『中國水利史』（民国28年刊）の翻訳で、内容は黄河・揚子江・淮河・永定河・運河の水利史と、各省の灌漑、海塘についての沿革を述べ、最後に水利の職官に関して略説している。

---

⑤⑥中国田賦史（翻訳）

昭和17年12月原刊　286頁

陳登原著『中國田賦史』を翻訳せるもの。原書は中国の古代より最近世に至るまでの田賦の変遷を原典に拠って克明に研究している。

---

⑤⑦緬甸（ビルマ）の経済

昭和17年９月原刊　258頁

ビルマに於いて地租設定官、土地記録局長官、並びにビルマ調査会役員として土地制度、租税制度、社会機構等を検分せるＪ.S. Furnivall：An Introduction to the Political Economy of Burma, Rangoon, 1931.の第二版の翻訳である。ビルマがインドから分離した後に改訂せられた1938年版で、ビルマの富、作物と農耕、王朝時代の農村経済、近代の経済的発展と主要様相、デルタ地帯の開墾、上、下ビルマに於ける地主、農民及び農業労働者、資本と負債、商業及び工業、ビルマの税収等の項目より成り、ビルマ経済の現状と発展過程の概観書として唯一のものである。

---

⑤⑧

印度民族運動史

昭和18年12月原刊　418頁

印度民族運動の本質を歴史的に解明したもので、特にインド人側からの観察に重点を置いている。セポイの反乱に筆を起し、国民会議派の誕生、チラック一派の活動より世界大戦当時に及び、次いでガンジーの登場、国民会議派の分裂、印回両教徒の対立時代となり最後に統治法改革時代から第二次世界大戦勃発当初まで詳述している。附録として国民会議派の機構を解説している。

馬来地誌（翻訳）

昭和19年２月原刊　176頁

マライに於いて中等学校地理教科書として使用せられていたC. Richardson B.A.（旧マライ政府教育局勤務）著The Regional Geography of Malaya Singapore, 1935.の翻訳。旅行体で地域別に平易に記され、旧マライ政府が植民政策上、地理教育に於いてマライ人の子弟を如何に導いていたかを窺知することが出来る。

⑲蘭領印度の貿易及貿易政策

昭和18年12月原刊　134頁

蘭領印度貿易の発達を概観し、且つその貿易の特徴を地理的、政治的に記述。且つ背景となる地域特性を人口、資源、産業のそれぞれにつき分析する。1930年の世界恐慌を境にした貿易政策の変遷の推移を日本との交渉経済を中心に記述。詳細な貿易統計を多数掲載。

【第５期】全10巻（⑳～㉙）

（'03・７刊）

ISBN 978-4-8447-5471-8　本体価150,000円

残僅少

---

⑳世　界　農　産　統　計

昭和18年３月原刊　309頁

世界に於ける主要農産物四六品目に就いて1925年ないし1939年迄の年次的作付面積、収穫高、ヘクタール当り収穫高等をローマの国際農業研究所統計を初め、各国の代表的農業統計類数種より採録し、更に家畜、家禽数、畜産品生産量にも及び附録として面積及び人口、土地利用状況、農地所有者数及び所有面積、農産物価格指数等の詳細統計を添え、世界の農産関係諸統計を再整理してその趨向を一目瞭然たらしめた本邦唯一のものである。

㉑世　界　鑛　産　統　計

昭和17年９月原刊　196頁

世界に於ける鉱産物の諸統計を主要各国十数種の鉱業関係諸統計から抜粋再整理したもので、先ず鉱業指数を集め次に金属、非金属に亙り54品目に就き1925年ないし1940年の生産高を年次的に網羅し最後に鉄、石炭、石油の埋蔵量を添えてある。尚生産額のグラフ一六葉も揃えている。世界鉱産関係統計としては資料を吟味した点に於いてまた、年次的変遷を知り殊に東亜地域と世界との対比を知るためには極めて利用価値が高い。

㉒スマトラの民族（上）

昭和17年９月原刊　196頁

ローブ著の「スマトラの歴史と民族」1935年ウィーン版Loeb： Sumatra, Its History and People, Wien 1935を翻訳したもの。原書の第三章ミナンカバウ人迄を収める。

㉓スマトラの民族（下）

昭和19年５月原刊　333頁

原書第四章スマトラ西部諸島以下第七章結論、スマトラの人種と文化迄及び図版22点、附図１点を収める。

㉔南方植民史文獻目録（上）

㉕　　〃　　（下）

昭和17年９月原刊　840頁

列国の南方諸地域に於ける植民史の調査研究に資せんがため、本邦諸大学及び研究所、並びに米国の議院附属図書館、和蘭の王立植民研究所等十八カ所に於いて所蔵する文献を集録したものである。分類は先ず各国別とし、各国に就きその植民地別に細分し、各植民地に就き一般史、一般事情、政治、経済等必要に応じ適宜事項別になっている。

⑥⑥

在支英國貿易商社の調査

昭和15年２月原刊　126頁

未定稿で、英国対支貿易政策並びに商社発展の沿革を概観し、商社数、資本額、内容、業績などの現勢について述べている。附録として在支英国商社一覧表18葉を添えている。

佛印主要會社要覧（翻訳）

昭和15年２月原刊　126頁

Imprimerie du Courrier d'Haiphong, Repertoire des Principales Valeurs Indochinoises、第一版の翻訳。仏印の主要銀行会社51社の各々について、目的、本店、資本金、取締役会、営業年度、株主総会、利益金分配等につき概要を表示し、かつ1936、37、38年各業期末の貸借対照表、利益金処分表ならびに各年中に於ける株式相場の最高最低表を掲載している。なお巻末に仏印関係財界人一覧表を掲ぐ。

---

⑥⑦

印　度　年　表　草　稿

昭和14年11月原刊　134頁

1765年より1939年に至るインドの年表で、第一期より第八期に分けており、1600年より1764年に至る前史を附している。年表は国際関係、政治、経済、社会文化に分ち、各期に史的動向を附しその時代の動向を把握するに便ならしめ、また摘要として生産統計、貿易統計を掲げ数葉の地図と巻末には行政区画別の面積人口表を附し、読者の便に供している。

東亜研究所役員名簿

昭和14年11月原刊　32頁

総裁、副総裁、常務理事、理事５名、相談役７名、監事３名、評議員63名、顧問43名、参与６名、調査参与31名、計161名の名簿である。

---

⑥⑧印度・アフガニスタン國境

昭和16年８月原刊　194頁

インド・アフガニスタンに於ける重要なる政治的紛争の一角たるその国境地帯の諸事情を解明せるもので、その英・ア政治的関係を述べ、次いで果敢な山岳地帯住民の生活様相を明らかにし、国境問題発生の淵源を説いている。

---

⑥⑨支那に於ける外國行政地域の慣行調査報告書

昭和17年９月原刊　394頁

支那に於ける外国行政地域として最も重要であった上海及び天津の租界並びに北京公使館区域に於ける諸種の慣行調査を要約したもので、（一）租界の沿革、租界行政權と支那国、第三国及び設定国との関係、租界と戦争（二）上海に於ける共同租界、仏国租界の慣行（行政、司法、警察、課税、居住営業、不動産等）（三）天津に於ける日本、英国、仏国、伊国各租界の慣行（四）北京公使館區域の法律的根拠、慣行よりなる。附録として参考文献、関係法規を附す。

【第６期】全13巻（⑳～㉒）

（'04・９刊）

ISBN 978-4-8447-5479-4　本体価260,000円

残僅少

⑳

第二調査委員會 北支委員會綜合報告書

昭和16年７月　34頁

黄河陝州歴年流量圖表

（A4版・折込多）

昭和16年５月原刊特殊形 特殊形　58頁

本論文は第二調査委員会北支委員会各部会において昭和13年以来の研究を紹介したものである。

黄河流域及び隣接諸河川流域に居住する民衆の洪水災害防止と発電・水運・農工業用水利用計画とある。

内容概要

○基本的調査資料　○発電計画
○黄河水力発電地点の経済的価値
○治水及他の利水事業との関係
○工業用水としての黄河の適性
○黄河流域の地質及地下資源
○電力受給の趨勢と黄河水力の意義
○積極的工業立地の計画
○三門峡地点計画

附録図表は黄河水利委員会、河南省河務局、北支水利委員会、順直水利委員会等の報告による河南省陝州測水所の水位流量図を基に算出した製図で次表より成る。

１．歴年流量表
２．陝州歴年水位流量年表
３．陝州歴年水位流量図
４．陝州歴年流況曲線図

㉑

黄河水力發電計劃報告書 其ノ一

昭和16年５月原刊 36頁

〃

其ノ二

昭和16年５月原刊折込12、59頁

〃

其ノ三

昭和16年５月原刊折込36（特大１）105頁

㉒黄河水力發電計劃報告書 其ノ四

昭和16年５月原刊大折込多、143頁

㉓黄河水力發電計劃報告書 其ノ五

昭和16年５月原刊大折込多（特大１）、206頁

昭和11年　中南支那外国貿易詳細統計

⑭第１編　中支那ノ部（上）
（1936年）

⑮　〃　（中）
（1936年）

⑯　〃　（下）
（1936年）

昭和15年８月24日原刊　計1,257頁

昭和11(1936)年の中南支の貿易の詳細統計で、満鉄上海事務所調査室に於いて海関の原資料を基とし、同室編「中南支外国貿易統計年表報」よりさらに詳細に、各海関を中心として輸出入詳細品目別に収録。

第１編、中支那には総合表、主要品表、輸出入品表を載せ、更に動物及び動物産品はじめ31品目、其他生地綿織物以下32品目に分ち、各々の商品につきその貿易額を記述。第２編、南支那もまた総合表、主要品表、輸出品表、輸入品表に分けて説明。

（第一調査委員会―満鉄上海事務所調査室編）

⑰第２編　南支那ノ部（上）
（1936年）

⑱　〃　（中）
（1936年）

⑲　〃　（下）
（1936年）

昭和15年８月24日原刊　計1,048頁

---

⑳

東亜諸地域に在住する日本人の人口動態に関する二、三の考察

昭和15年２月　70頁＋図16

昭和11年及び12年の東亜諸地域に在住する日本人の人口動態を、内閣統計局に委嘱せる動態統計表を資料として、整理記述。内容は年齢構成、婚姻、出生、死亡、自然増加、出生率と死亡率との比等。在東亜日本人の出生率は特別の地を除くと低いことが特に注目される。

支那農業気象俚諺集（編訳）

昭和18年２月25日原刊　148頁

国立中山大学理工学院編者『中国気象諺語集』を邦訳編纂。日々天を仰いで天地自然の循環を観察した結果生まれ出た農事関係の俚諺918篇を風、雲、天空の光景その他に分類集録してある。

㉑開拓民に関する資料的調査研究（中間報告）

昭和16年４月８日原刊 166頁

20ヶ年に100万戸の入植計画でスタートした日本の満洲開拓民政策が直面した下の様な諸問題に対応せんとして問題点を調査整理した中間報告。

開拓用地の問題／対原住民問題／農業経営上の問題／労働力不足とその対策／土地生産力維持の問題／在来農法に対する改良農法確立の問題／農具と農業技術の改良問題／開拓地の主穀農業の廃業と混合農業への発展問題等々

㉒東亜鉱業統計（東研統計業書７）

昭和19年３月20日原刊　358頁

本書は、東亜地域の鉱業状況を分析する為の基礎数字の編纂を企てたものである。内容を生産・流通と労働・資本とに区別し、各国毎に語とに篇別し、各篇初頭にその篇に含まれる目次概要、使用せる諸資料の総覧を掲げ、尚利用上注意すべき諸事項を付記。

（第一部編　331頁　昭和17年５月）

【第７期】全12巻（⑬～⑭）

（'08・１刊）

ISBN 978-4-8447-0001-2　本体価200,000円

⑬列國對支投資と支那國際収支

昭和16年10月原刊　258頁

第一調査委員会の最終報告としての列国の対支投資と支那国際収支の実状を要約したもので、前篇では日本の対支投資の特徴を述べ、列国との比較を行っており、後篇では支那貿易の趨勢を示し、日本の進出と諸外国の地位の変動、支那市場の重要性～収支について取り扱っている。

⑭支那對外借款契約彙纂（翻訳）

昭和14年８月原刊　186頁

本書は、支那の主要なる対外借款に関する契約の全文を翻訳したものである。資料は中国銀行総管理処経済研究室編『中国外債彙編（中華民国二十四年）』に依る。

⑮中国有用植物一覧

昭和16年３月原刊　426頁

中国有用植物の物産別一覧表で、産地・産出額・送出先等を示している。主要資料は、「中國通郵地方物産誌」である。

⑯数字より見たる世界と東亜

昭和17年２月原刊　206頁

国際連盟発行の諸統計その他を基礎として、土地・人口・各種生産物・貿易等に関し、世界と東亜全体並びに各地域との数字的対比をあらわし東亜の世界における地位を分析したものである。

⑰世界油脂工業

昭和17年８月原刊　208頁

本書は、油脂経済に関する創意的資料や総合的研究を呈示せんとするのではなく、油脂経済が世界経済の一環をなせる発展の過程に於いて、油脂鉱業と油脂原料生産との関係を分析せんことを企画するものである。

⑱馬来編年史研究（スヂャラ・マラユ）

昭和17年８月原刊　245頁

馬来文学の王座を占めるものといわれる「馬来編年史」の一般的紹介を目的とするもの。「編年史」は西暦1400年以前に於ける馬来の歴史を取扱った唯一の馬来語の資料であると共に、馬来人の心理的性格や世界観がかなり明瞭に反映しているので民族学的にも興味あるものである。

⑲比律賓の民族

昭和17年９月原刊　294頁

フィリピンの諸民族につき、民族誌的にその生活の現状を明らかにすることを目標に記述された。第一編は非キリスト教民族とキリスト教民族に二大別しさらに細分化し、通計四十余族につき綿密な考察を行う。第二編は民族全体を経済・社会・宗教等の観点から詳述。附録として文献目録・関係各種統計・索引・ほかに写真四十七点、地図六点を附す。

⑩ソ連邦内回教徒事情参考資料

昭和16年８月原刊　213頁

ソ連史料の翻訳で、ソ連邦回教徒地域の諸共和国、ウズベク、タジク、カザフ、キルギース、トゥルクメン、アゼルバイヂャン、タタール、クルイム、バシキール、ダヂスタン諸国につき、風土、人口、産業、交通、文化の諸事情を述べている。

---

⑪

蘭領印度の民族運動

昭和15年10月原刊　72頁

蘭印における回教徒の民族運動たるサレカート･イスラム運動を取扱う。その運動は赤色イスラム運動とも関係したが遂に宗教的共産主義として発展した。発生･発展･没落の過程を述べ、今後の民族運動の動向について参考の資料としている。

印度民族運動概観

昭和17年３月原刊　130頁

本書は、印度民族運動の本質を歴史的に解明することに中心を置いたものであるが、内容としてインド人側からの観察に重点を置いて取りまとめた。

---

⑫イギリスの對印度教育政策

昭和16年12月原刊　179頁

序論としてインド経略の概観、インド社会の特性、其他植民地教育の問題を取扱い、本論としては第一部で対インド教育政策の史的概観を行い、第二部では教育政策の展開と現状として高等教育、中等教育、初等教育、回教徒教育につき叙述している。附録として「英領植民地の教育政策（翻訳）」を英領植民地一般の教育政策と比較の為附加している。

---

⑬英領新西蘭の経済資源

昭和18年３月原刊　351頁

英国自治領新西蘭政府刊行のThe New Zealand Official Year-Book 1940年版及び1941年版を抄訳したもの。年鑑の叙述不十分なる部分に於いてはGriffith Taylor … A Geography of Australiaの抄訳を以て之を補足し、面積･気候等に関する日本との比較叙述は翻訳者に於いて加筆。

---

⑭イ　ラ　ク　王　国

昭和19年２月原刊　414頁

本書はイラク王国の各方面の事情について極く一般的な紹介を試みたものである。イラクに関する著作は我国においては殆んど皆無の状態にあるが、幾分でもその欠を補い、戦争の勃発以来次第に関心を惹きつつある当国の真の事情を知る一つの手引きとなるであろう。

昭和16年３月　原刊

復刻版

東亜研究成果資料摘要（稿）

本書は、東亜研究所昭和13年創立以来揃えられた調査、研究資料の内容を紹介する為に作製された。全文タイプ謄写刷りを復刻。　（78･8 刊）

残僅少

ISBN 978-4-8447-0485-0
B5判･140頁　本体価3,000円

第２部　定期刊行資料

※第２部は長期継続刊行の雑誌・新聞・年鑑その他より学術史料として価値の高いものを精選紹介

［第１期］

比律賓協会 発行／解題 早瀬晋三

比　律　賓　情　報
全21巻

創刊号～90号
（昭和11年12月28日～19年12月１日）
比律賓協会会務報告（昭和10年８月～18年５月）
〔解説・総目録・索引篇 付〕

ISBN 978-4-8447-0488-1
A5判・総8,000頁　本体価460,000円

本誌は財産法人「比律賓協会」の情報誌として昭和11年12月に創刊、計90号迄発行された。1930年代半ば以降日本の占領期迄の日比関係を巾広い分野で展望し、記述。フィリピンの政治・社会・経済・文化全般に亘り記述している。在留邦人の活動状況、日比交流活動の報告記録・日本の占領政策等の記録他、本企画では類似機関では残されていない『比律賓協会会務報告』をも収めた。アジア学の新展開を期待させる正に資料の宝庫と云える。（'03・5 刊）

早瀬晋三 編

『比　律　賓　情　報』
―解説・総目録・索引（人名・地名国名・事項）篇―

ISBN 978-4-8447-5449-7
A5判・300頁　本体価8,000円

本誌の内容だけでなく、発行母体だった比律賓協会の概要も合わせて詳細に紹介する。（'03・5 刊）

［第２期］

大亜細亜協会 刊／解説 後藤乾一、松浦正孝

大　亜　細　亜　主　義
全26巻

創刊号～108号（昭和８年５月１日～17年４月１日）

A5判・総10,200頁　揃本体価650,000円

大亜細亜協会は、1930年代中葉、「日・満・支」を中核とするアジア新秩序論の高まりの中、下中弥三郎を中心に松井石根、徳富蘇峰ら政・軍・学等の要人40名が創立委員となって、発足した。

アジア諸国の政治・経済・社会諸事情の調査研究、日本文化の紹介普及等を通じて、日本を「盟主」とする亜細亜連盟の実現を目指した。同協会刊行の機関誌である本史料は、国際連盟脱退後の日本の進路と深くかかわった一方の側の動きを伝えると共に、「大亜細亜戦争」開戦前後の日本と、日本をとりまく国際情勢の複雑な動きを知る、第一級の史料である。（'09・2 初版 '10・7 2版）

収録内容

配本	巻　号	原本号数	原本発行年月（昭和）	冊数	分冊本体価	ISBN
1	第１巻～第８巻	第１号～第32号	8．5～10．12	8	200,000円	978-4-8447-8283-4
2	第９巻～第17巻	第33号～第68号	11．1～13．12	9	225,000円	978-4-8447-8284-1
3	第18巻～第26巻	第69号～第108号	14．1～17．4	9	225,000円	978-4-8447-8285-8

後藤乾一、松浦正孝 共編

『大亜細亜主義』
解説総目録篇

ISBN 978-4-8447-0491-1
A5判・310頁　本体価15,000円

復刻版『大亜細亜主義』全26巻の解説と収録した原本108号分の目次集を合せて利用の便宜を計り別冊として作成。（'08・9 刊）

［第３期］

亜細亜公論社 刊／柳 泰慶 主筆
編集・解題 後藤乾一（代表）、羅 京洙、紀 旭峰

亜細亜公論・大東公論
全３巻

第１巻１号～第２巻１号・大東公論創刊号
（大正11年５月～12年１月、12年７月）

ISBN 978-4-8447-0492-8
A５判・総1,500頁　本体価100,000円

大正11年５月、大正デモクラシーの最中『亜細亜公論』は創刊された。「人類主義」を掲げ、“アジアの問題をアジア人の相互連帯で”と説く本誌には、三浦銕太郎、石橋湛山、安部磯雄、大山郁夫、佐野学ら主に早稲田系の大正デモクラットらが盛んに論陣を張った。政府当局により、発禁、字句消去等の処分を受けつづけた本誌は、創刊よりわずか９号で廃刊に追い込まれた。そして専門研究者らからは、長い間ほとんど忘れられていたが、そこには今日著名な上記の大正知識人のみならず、R.B.ボーズ、蔡培火、戴季陶ら、日本と関係の深いアジア人民族主義者らの、これまで見落とされていた論文が数多く存在していた。（'09・1 刊）

［第４期］

南方開発金庫調査課　発行／編集･解説　早瀬晋三

南方開発金庫調査資料
（1942～44年）　全17巻＋附１巻

A5判･総6,200頁　揃本体価435,000円

南方開発金庫は、日本占領下の東南アジアで、事実上、中央銀行として活動した日本政府の金融機関である。占領地の資源開発のための資金を日本の軍受命企業に融資するなど、軍政に大きくかかわり、占領地の住民への影響も大きかった。

その南方開発金庫が発行した調査資料200点余のうち、約４分の３の所在が明らかになった。日本占領地の金融政策や構造だけでなく、日本占領下の東南アジアの実相の一端がわかる貴重な資料である。（'15･7 刊）

配本	巻号	資料名（刊行年（昭和）･月）	本体価格	ISBNコード
1	1・2	南方日誌（17･11～18･10）計24点	50,000円	978-4-8447-0309-9
2	3・4	金調資料（17･7～19･7）計18点	50,000円	978-4-8447-0310-5
3	5・6	経調資料（17･6～17･12）計15点	50,000円	978-4-8447-0311-2
4	7～10	産調資料（17･6～19･10）計30点	100,000円	978-4-8447-0312-9
5	11	貿調資料（17･6～18･6）計９点	25,000円	978-4-8447-0313-6
6	12･13	社調資料（17･7～18･11）計26点	50,000円	978-4-8447-0314-3
7	14～17	メモ･金庫現地報告･新聞 論調･南方資料･他　計32点	100,000円	978-4-8447-0315-0
	附　巻	解説･総目次･索引篇	10,000円	978-4-8447-0316-7

［第５期］

日南公司南洋調査部 刊／伊藤友治郎 編
解説　青木澄夫

南洋年鑑
全４巻

（大正５年10月～９年11月）
ISBN 978-4-8447-0489-8
A5判･総2,250頁　本体価120,000円

「南洋調査会」を起した伊藤友治郎の著になる年鑑。大正５年10月１日より同９年11月29日迄に４回刊行。時あたかも欧州戦乱により、我国への需要が急速に高まり、日本は未曾有の好景気にわき立ち、同時に「南洋」への関心も高まりつつあった時期であった。巻頭に南洋発展の気運に乗じ「南洋貿易、南洋渡航の便覧を供し、その針路に誤りなきを期すべく統計データを編纂した」とある。それ迄未知の豊かな南洋に対する参考資料として有益な最初の総合的年鑑であった。（'11･11 刊）

収録内容

第１巻　南洋年鑑（第１回）大正５年10月1日刊
　附 興信鑑　A5判･470頁
第２巻　南洋年鑑（第２回）大正７年3月28日刊
　附 南洋要覧　A5判･650頁
第３巻　南洋年鑑（第３回）大正8年7月3日刊
　附 南洋要覧　A5判･645頁
第４巻　南洋年鑑（第４回）大正9年11月29日刊
　A5判･480頁

［第６期］

刊行中

文化時報社 発行／編集解題 大東 仁、槻木瑞生

文　化　時　報

全18巻 附１巻

日中戦争期（1937~41年）

A3判・5,000頁余　揃本体価870,000円

附巻（総目録・索引）別定価

「文化時報」は民間会社刊行の宗教専門紙で、且つ特定宗教の広報紙ではなかった。

ここでは宗教組織の問題点を指摘したり、時には批判したり、また欧米の宗教事情を紹介するなど日本宗教全体を俯瞰できる性格を持っていた。

時は「日中戦争勃発期」である。

戦争と宗教はどのように関わったか。

報道された事実から見えて来る新たな視点を提示する。

編成表

カタログ

巻号	原紙号数	発行年月日（昭和）	合計頁	本体価格/円	ISBNコード	刊行
1	序言（日・中・英） 3564～3660	12・１・１～12・４・29	212	40,000	978-4-8447-0624-3	済
2	3661～3765	12・５・１～12・８・31	238	40,000	978-4-8447-0625-0	〃
3	3766～3860	12・９・１～12・12・23	256	40,000	978-4-8447-0626-7	〃
4	3864～3935	13・１・１～13・３・31	304	50,000	978-4-8447-0627-4	〃
5	3936～4011	13・４・１～13・６・30	306	50,000	978-4-8447-0628-1	〃
6	4012～4089	13・７・１～13・９・30	314	50,000	978-4-8447-0629-8	〃
7	4090～4162	13・10・１～13・12・28	296	50,000	978-4-8447-0630-4	〃
8	4163～4234	14・１・１～14・３・31	292	50,000	978-4-8447-0631-1	〃
9	4235～4309	14・４・１～14・６・30	296	50,000	978-4-8447-0632-8	〃
10	4310～4388	14・７・１～14・９・30	318	50,000	978-4-8447-0633-5	〃
11	4389～4458	14・10・１～14・12・26	276	50,000	978-4-8447-0634-2	
12	4459～4531	15・１・１～15・３・31	302	50,000	978-4-8447-0635-9	
13	4532～4632	15・４・２～15・７・31	398	60,000	978-4-8447-0636-6	
14	4633～4754	15・８・１～15・12・26	332	50,000	978-4-8447-0637-3	
15	4755～4825	16・１・１～16・３・30	262	40,000	978-4-8447-0638-0	
16	4826～4900	16・４・１～16・６・29	292	50,000	978-4-8447-0639-7	
17	4901～4978	16・７・１～16・９～30	312	50,000	978-4-8447-0640-3	
18	4979～5051 （教学新聞５号分） 解題（日・中・英）	16・10・１～16・12・28 （16・８／21・23・25・26・28）	298 10	50,000	978-4-8447-0641-0	
計	3564～5051	12・１・１～16・12・18	5000余	870,000	978-4-8447-0642-7	

（'20・10 現在）

［第７期］

南洋協会 発行／編集 早瀬晋三

南洋協会発行雑誌（全30巻）
―会報―南洋協会々報―南洋協会雑誌―南洋―

第１期（大正期）全12巻　計11冊
A4判・総3,900頁　揃本体価320,000円

刊行開始

日本帝国は列強の椅子を占める過程で、南洋が示した重要性に鑑み列強諸国との摩擦を回避しつゝも、南洋諸地域の広範な情報を切実に望んでいた。

協会はこうした要求に応えんがため設立された組織だった。南洋協会が発行した刊行物は南洋に関してほとんど知識の無い当時の日本人に貴重な情報をもたらした。政・官・軍・民の有志が集い、分野を問わず調査分析を行う活動を三十年継続し、蓄積された情報は膨大かつ多岐にわたる。諸者が本企画と既刊の解説・総目録・索引を併用することによって、一層研究発展されんことを願う次第である。

第１期（大正期）刊行内容　星カタログ

巻	雑誌名	原本巻号	原本発行年月（大正）	原本冊数	合計略頁	本体価（円）	ISBNコード
１・２	巻頭言（日・英） 会報 南洋協会々報	 1号～１巻11号 ２巻１号～９・10号	 ４・２～12 ５・１～11	 11 9 計20	326	28,000	978-4-8447-0582-6
3	南洋協会々報	3・１～12	6・１～12	12	256	25,000	978-4-8447-0583-3
4	〃	4・１～４・12	7・１～12	12	292	25,000	978-4-8447-0584-0
5	南洋協会雑誌	5・１～５・12	8・１～12	12	346	28,000	978-4-8447-0585-7
6	〃	6・１～６・12	9・１～12	12	360	30,000	978-4-8447-0586-4
7	〃	7・１～７・12	10・１～12	12	318	28,000	978-4-8447-0587-1
8	〃	8・１～８・12	11・１～12	12	396	30,000	978-4-8447-0588-8
9	〃	9・１～９・11・12	12・１～12	10	342	28,000	978-4-8447-0589-5
10	〃	10・１～10・12	13・１～12	12	374	30,000	978-4-8447-0590-1
11	〃	11・１～11・12	14・１～12	12	440	35,000	978-4-8447-0591-8
12	〃	12・１～12・12	15・１～12	12	376	30,000	978-4-8447-0592-5
セット	大正期揃	1号～12・12	4・２～15・12	218	3826	320,000	978-4-8447-0593-2

編集 早瀬晋三／解説 河原林直人

南洋協会発行雑誌
『会報』・『南洋協会々報』・『南洋協会雑誌』・『南洋』　1915～44年

解説・総目録・索引
執筆者・人名・地名・事項

全２巻

ISBN 978-4-8447-0319-8
B5判・総650頁　本体価30,000円

南洋協会は1915年の設立以来、率先して南洋地域の情報を収集し、国内における当該地域の認知度の向上を図るべく様々な活動を展開してきた。また、南洋地域に進出する邦人へのサポートにも携わっており、近代日本における「南方関与」の促進を企図した団体であった点については、共通の認識とされている。

その南洋協会に考察を加えた研究は極めて少ないのであるが、同協会が発刊した刊行物は膨大で、当時の南洋地域に関する情報記録はかなり高い評価を受けている。本企画はそれらの認識に立ち、南洋協会を代表する機関誌（全31巻・総358冊）の内容を総じて紹介した、編者ら積年の労作である。（'18・1 刊）

第３部　単行図書資料
（大東亜戦争前後迄外地での刊行邦文図書を中心に）

明治以降、我国がアジア諸地域とさまざまな面でかかわって来た歴史を辿ることは、容易なことではない。特に大正～昭和、そして「大東亜戦争」に突入する迄の期間、徐々に緊迫の度を高めていった国際関係の複雑極まりない動きを単純に鳥瞰することは難しいが、十分な資料の存在はその解決の糸口となるに違いない。本企画はこのような意図の下、戦前期刊行の一次史料を、主に外地で刊行された邦文図書に力点を置いて読者に提供しようとするものである。　［配本単位分売可］

［第１期］
- 政治篇（１）　第１～11巻（計11巻）
- 経済篇（１）　第12～21巻（計10巻）
- 社会及総合調査篇（１）　第22～31巻（計10巻）

第31巻

A5判 揃本体価682,000円（'00・4 刊）

部門	巻号	資料名	編著者・発行所等	発行年・月(昭和)
政治篇(1)	1	台湾統治綜覧	台湾総督府官房文書課	明治41・10
	2	支那・南洋における最近日貨排斥の経過並びに影響	日本商工会議所	4
	3	中南支地方共産党及ヒ共産匪行動状況ニ関スル調査報告書	桑原主計、好富正臣	5・12
	4	仏領植民地の関税政策	台湾総督府	6
	5	南洋庁施政十年史	南洋庁長官官房	7
	6	中国紅軍及ソヴェート発展史梗概	台湾総督府	11
	7	藍衣社ニ関スル調査	満鉄調査部	13・4
	8	中華民国臨時政府ノ成立過程ト現状	〃	13・4
	9	激変した蘭印の相貌 激動の一年	東印度日報社	16・2
	10	北支那方面支那軍編成表	甲集団参謀部	17・3
		敵軍編成表	第十三軍司令部	17・2
	11	独逸東洋艦隊殲滅日記	独逸東洋艦隊殲滅記念会	大正４
	◆ 第１回配本　vol.1～vol.11　全11巻		分冊本体価 242,000円　ISBN 978-4-8447-7355-9	
経済篇(2)	12	南洋ニ於ケル邦人ノ護謨投資事業	商工省職務局貿易課	3
		南方読本	台湾南方協会	17・7
	13	通商上ヨリ見タル支那ニ於ケル排日運動概況	通商局第二課	10・3
	14	ボルネオ事情概要	台湾総督府外事部	18・8
		シンガポールを中心に興隆活躍 南洋の五十年（上）	南洋及日本人社発行	12・4
	15	シンガポールを中心に興隆活躍 南洋の五十年（下）	〃	12・4
	16	支那の戦時財政	大蔵大臣官房財政経済調査課	14・4
		東亜経済事情　第12号	日本銀行調査局	17・3
	17	南支調査資料蒐録（第１巻）	台湾銀行調査課	15・7
	18	英領馬来事情	台湾総督官房調査課	２・４
		英領馬来の経済事情	――	――
	19	馬来及昭南島	南方産業調査会	17
		蘭印統計書【1940年版】	国際日本協会	17・9
	20	大亜細亜開戦后ニ於ケル重慶経済並ニ対支戦性格	支那派遣軍参謀	17・2
		1936年度蘭領印度事情	東亜経済調査局	12・3
		蘭印における民族資本と産業組合	産業組合中央会南方調査室	――
	21	南洋関係会社要覧	南洋経済研究所　長野道雄	14
	◆ 第２回配本　vol.12～vol.21　全10巻		分冊本体価 220,000円　ISBN 978-4-8447-7356-6	
社会一般及総合調査篇(1)	22	南洋要覧（上）	河野公平	大正９・６
	23	〃　（下）	〃	大正９・６
	24	委任統治地域 南洋群島調査資料　第１輯	南洋庁	２・３
	25	大東亜資料総覧	天野敬太郎	19・３
	26	英領北ボルネオ・タワオ地方事情	拓務省拓務局	９・３
		南洋群島に於ける旧俗習慣	南洋庁	14・３
	27	スマトラ研究（上）	清野謙次	18・８
	28	〃　（下）	〃	18・８
	29	大南洋年鑑（上）	南洋団体連合会	17・６
	30	〃　（下）	〃	17・６
	31	南洋協会十年史	南洋協会	大正14・２
	◆ 第３回配本　vol.22～vol.31　全10巻		分冊本体価 220,000円　ISBN 978-4-8447-7357-3	

［第２期］

政治篇（２）	第32～37巻（計６巻）	総38巻
経済篇（２）	第38～49巻（計12巻）	
南洋華僑篇（１）	第50～64巻（計15巻）	
南洋協会関係篇（１）（社会一般及総合調査篇改め）	第65～67巻（計３巻）	
社会一般篇（２）	第68・69巻（計２巻）	

A5判 揃本体価836,000円（'03・4 刊）

部門		巻号	資料名	編著者・発行所等	発行年・月（昭和）
政治篇（2）		32・33	リットン報告附属書（満州の諸問題及ボイコットに関する専門家の研究九編）	国際聯盟協会	8・3
		34	日独海戦史（上）第１編 海戦	森山慶三郎	大正４・5
			第２編 青島方面	〃	〃
		35	〃（中）第３編 支那海及印度洋方面	〃	〃
		36	〃（下）第４編 太平洋方面	〃	〃
			第５編 日独戦役海軍一般行動概要	〃	〃
		37	日独国交断絶秘史	船越光之丞、関野直次	9・4
		◆ 第１回配本 vol.32～vol.37 全６巻 分冊本体価132,000円 ISBN 978-4-8447-8216-2			
経済篇（2）	A、蘭印関係	38	蘭領印度ノ農業	外務省通商局	大正３・9
			蘭領印度モロッカス群島近海の鰹漁業		
			並に同地方沖縄県漁民の状況	台湾総督官房調査部	3・9
			蘭印最近の経済、外交政策	J.ファン・ヘルデレン（原田偵正）	15・10
			蘭領東印度に於ける動力資源	南方研究会	16・12
		39	蘭印東印度立法行政並選挙法	東亜経済調査局	12・3
			附・蘭領東印度の政党		
			蘭領東印度鉱業法	台湾総督官房調査課	大正11・3
			附・蘭領東印度鉱務部組織及鉱業規定概要		
			THE MINING LAW OF THE NETHERLANDS EAST INDIA（假訳文）	外務省南洋局調査室	16・11
		40	蘭領東印度胡椒の生産と市場	台湾総督官房調査課	大正11・9
			蘭印輸入制限及特許品目一覧表	蘭印日本人商業協会聯合会	13・9
			地域別に観た蘭印の重要輸出品	野村合名会社海外事業部	——
		41	蘭領印度ニ於ケル日、英、蘭三国織物類ノ角逐	商工省貿易局	6・9
			織物市場としての蘭領印度 第２輯	台湾総督官房調査課	11・2
		42	南洋叢書業畜第１巻蘭領東印度篇	東亜経済調査部	15・12
	B、南洋全般	43	南洋重要物産	吉田彌太郎	14・8
		44	南洋栽培事業要覧（昭和九年版）	拓務省拓務局	10・10
		45	我国民ノ海外発展ト南洋新占領地	山本美越乃	大正６・12
		46	南洋ニ於ケル水産業調査書	拓務省拓務局	6・6
		47	南洋諸国に於けるエステート・ゴム及び土人ゴム	南洋協会台湾支部	6・10
			天日製塩業より見たる南洋	大日本塩業株式会社	12・3
		48	大東亜経済施策ニ関スル想定問答	大東亜省崎谷軍需官	19・8
			『大東亜共栄圏ニ於ケル米需給ノ基本状態ト日満支ノ食糧対策概観』『附表』	三井本社	19・6
			南方労働力の研究	鈴木舜一	17・6
		49	新南島大観	庵崎貞俊、古山鉄郎	大正４・10
			蘭領ニューギニア買収案	松江春治	9・10
		◆ 第２回配本 vol.38～vol.49 全12巻 分冊本体価 264,000円 ISBN 978-4-8447-8217-9			
南洋華僑篇（1）			Ⅰ、日中戦争と華僑半日運動資料		
		50	南洋華僑事情	台湾総督官房外務部	13・11
			華僑調査彙報（第１輯）	満鉄調査部	15・5
		51	南洋印度等に於ける支那人の排日貨に関する報告	通信調査会	14・7
			南洋華僑調査の結果概要	東亜研究所	16・10
			南洋華僑と其の対策	台湾拓殖株式会社	17・10
		52	支那事変下ニ於ケル南洋華僑ノ動向ト其ノ影響	拓務局南洋課	13・2
			英領馬来ニ於ケル華僑ノ排日運動ノ現状ト其ノ展望	満鉄・総裁室広報課	14・1
			一附 シンガポールヲ中心トスル抗日団体ノ解剖	大島重雄	——
			支那事変と華僑	台湾拓殖株式会社	14・12
			佛印華僑工作案	印度支那派遣軍司令部	16・6
			大東亜戦争カ奥地ニ与フル影響・第三部華僑	満鉄・上海事務所調査室	17・4

南洋華僑篇（1）				
	53 54	Ⅱ、華僑送金関係資料 列国の対支投資と華僑送金 華僑送金額ノ評価ト其誘致吸収対策 戦時支那経済と華僑送金 重慶の戦時国債と華僑送金 福建華橋の送金（満鉄東亜経済調査局）	井村薫雄 波集団司令部 満鉄調査部 在上海日本大使館特別調査班 ――――	15·10 16·12 17·11 18· 2 18· 3
	55 56 57 58 59 60 61	Ⅲ、華僑関係資料一般 華僑 華僑経済 我南洋貿易を阻害する華僑の真相 支那民族の海外発展華僑の研究 南洋に於ける支那人 華僑ノ現勢 南洋華僑の研究 南洋華僑（1） 〃　（2） 現代華僑問題 南洋華僑概観 南洋ト華僑 南洋華僑調査（第一輯） 南洋華僑ニ就テ 現下の華僑概観 南方圏に於ける華僑 ―我が損害保険業の進出と華僑との接触― 南方華僑有力者名簿 南方華僑団体調査	満鉄·東亜経済調査局 国民政府實業部 東亜経済調査局　竹井十郎 小林新作 満鉄庶務部調査課 通商局第二課 興中公司新川伝助 興亜院政務部 〃 丘澤　平 情報局 外務省欧亜局第三課 台湾総督臨時情報部 東亜研究書　三好俊吉郎講演 東洋協会調査部 北澤宥勝 台湾総督府外事部 〃	2 ·12 9 ·12 7 · 7 6 ·10 大正15· 6 10· 6 12· 5 14· 3 〃 14· 5 ―― 14· 9 14· 7 14· 9 15· 6 17·11 17· 9 18· 3
	◆ 第３回配本　vol.50～vol.61　全12巻　分冊本体価 264,000円　ISBN 978-4-8447-8218-6			
	62 63 64	Ⅳ、国別華僑調査資料 〈タイ〉 在暹華僑の現勢 暹羅ニ於ケル華僑ノ動向 暹羅中華総商会規約及役員名簿 泰国華僑 〈マライ・福建省〉 馬来事情 華僑其他情報ニ関スル件 有力華僑名簿 反日華僑と新嘉坡 馬来華僑 馬来の華僑団体 英領馬来と華僑 華僑（廣東省） 福建華僑経済 〈ジャワ・その他〉 ジャワ華僑の近況 バタビヤ華僑調査 緬甸の華僑 比律賓華僑の概観	天田六郎 三井暹羅室 〃 台湾拓殖株式会社調査課 華南銀行新嘉坡支店 南支調査会 華南銀行新嘉坡支店 南支調査会 〃 台湾総督官房外事課 台湾銀行廣東支店 興亜院厦門連絡部 東亜経済懇談会 台湾銀行在バタビヤ 繊維製品輸出振興株式会社企画部	4 13·10 14· 2 14·11 13· 5 14· 1 14· 1 14· 5 ―― 13 8 · 3 15· 2 19· 3 14· 1 ――
南洋協会関係篇（1）	65 66 67	南洋の風土 南洋協会二十年史 南洋経済懇談会報告書	南洋協会 〃 〃	大正５·11 10· 6 15· 1
社会一般篇（2）（社会一般及び総合調査篇改め）	68 69	昭南日本学園 風土と愛情	神保光太郎 〃	18· 8 18·11
	◆ 第４回配本　vol.62～vol.69　全８巻　分冊本体価 176,000円　ISBN 978-4-8447-8219-3			

［第３期］

旧満洲・中国関係資料（１）	第70～73巻（計４巻）	総30巻
台湾関係資料（１）	第74～78巻（計５巻）	
旧南洋委任統治領関係（１）	第79～91巻（計13巻）	
日本占領下の東南アジア関係（１）	第92～99巻（計８巻）	

A5判 揃本体価660,000円（'06・5 刊）

部門	巻号	資料名	編著者・発行所等	発行年・月（昭和）
旧満州・中国関係資料（1）	70	上海ニ於ケル電気事業調査	満鉄上海事務所	13・3
		保定石家荘太原 電気事業調査報告書	満鉄・産業部	13・3
		中華民国ニ於ケル電気事業ニ就テ	満鉄・産業部	——
	71	満州国建国側面史（上）	宮内 勇	17・12
		〃 （下）		
	72	満州帝国共和会指導要綱案	山口重次	13・7
	73	北鉄接収前後	満鉄社員会	10・9
		支那南方間大陸連絡鉄道ノ敷設運営ノ可能性如何（物資交流ニ伴フ諸問題１、２）		
		一、支那人口疎散及南方資源開発ノ見地ヨリ上海租界及香港ノ支那人ヲ南方ニ送ル可能性如何	支那調査関係機関聯合会 水谷幹事 南満州鉄道株式会社東京支社調査室	17・4
		一、南方失業僑工處理方法如何 支那物資南方向供給問題（五） 南方資源支那向期待問題（六）	支那調査関係機関聯合会 小林幹事 東亜研究所	17・4
		大東亜戦争勃発ノ新事態下ニ於ケル中支那通貨及金融機構ニ就テ	満鉄・上海事務所調査室	16・12
台湾関係資料（1）	74～77	台湾商工統計	台湾総督府 殖産局商工課	2・7・8・9
	78	台湾 保・甲 皇民化讀本	鷲巣敦哉	16・11
	◆第１・２回配本 vol.70～vol.78 全９巻		分冊本体価 198,000円 ISBN 978-4-8447-5769-6	
旧南洋委任統治領関係（1）	79	太平洋諸島 統計書	国際日本協会	18・3
	80	太平洋の宝庫 独領 南洋諸島	川崎良三郎、丸芳 保 共編	大正２・７
		南洋諸島	寺崎留吉	大正４・７
	81	我が南洋	山崎直方	大正５・２
	82	南洋情報及資料（第一号）	財団法人南洋協会	13・12
		〃 （第四号）		14・2
		タンニン資源としての紅樹林	〃	18・1
		南洋地名集成	台湾南方協会	——
		南方農林水産要員指導者養成会関係綴	尾崎教諭	18・12
		南洋群島水路図誌目録	財団法人南洋経済研究所	19・3
	83	パラオ叢書 パラオ語 概略	宮武正道	6・10
		パラオ叢書 パラオ語 テキスト（第一編）	エラケツ	7・2
		〃 （第二編）		
		パラオ叢書 パラオ語 会話		
		パラオ叢書 パラオ語集（第一編）		
		〃 （第二編）		
		ミクロネシア群島 パラオの土俗と島語テキスト	宮武正道	8・11
	84	南洋パラオ諸島の民俗	北村信昭	8・11
		ミクロネシア民族資料	山口洋兒	——
	85	南洋群島案内	大宜味朝徳	12・4
	86	我が統治南洋群島案内	〃	5・9
	87	南洋叢書 第一輯	南洋拓殖株式会社	13・7
		〃 第二輯	〃	13・12
		パラオ島誌（南洋叢書 第五輯）	〃	13・12
		ヤップ島誌（南洋叢書 第六輯）	〃	14・4
	88	南洋群島人事録	大宜味朝徳	15・1
	89・90	南洋群島引揚者名簿	南洋群島協会会長 高橋進太郎	
	91	南洋貿易五拾年史	郷隆	17・6
	◆第３回配本 vol.79～vol.91 全13巻		分冊本体価 286,000円 ISBN 978-4-8447-5770-2	

日本占領下の東南アジア関係（1）	92	南方開発金庫調査課資料（６点）		
		・南方ニ於ケル本邦資本ニ依ル主要会社一覧表		17・6
		・東亜共栄圏ニ於ケル南方地域ノ通貨比率ノ問題	南方開発金庫調査課	17・9
		・東亜共栄圏ニ於ケル南方地域ノ通貨比率ノ問題 —前号ニ続イテ—	〃	17・10
		・南方占領地為替管理令併支那向送金取締規則	〃	18・5
		・南方各地米穀事情概要	〃	17・8
		・南方占領地財政概況	〃	18・8
	93	昭和十五年度ニ於ケル本邦人商社ノ経営ニ係ル出商業取引	貿易局	13・3
		大東亜農事統計書	東京国際日本協会	17・6
	94	緬甸に於ける印度人	緬甸研究会	17・1
		在緬英資事業	〃	17・2
		研究資料　第一年　第九号	南洋経済研究所	13・9
	95	泰国の産業貿易事情	財団法人日本貿易振興協会	17・1
	96	大東亜共栄圏　資源図絵　マライ編 付 ボルネオ・ブルネイ・サラワク	横浜商工会議所	17
	97	英・蘭　南洋に於ける邦人農園事業概要調査報告	南洋協会新嘉坡商品陳列館	大正14・11
		爪哇の村落に於ける商業慣行	財団法人南洋経済研究所	17・5
		南方林業経営の苦心	〃	18・10
	98	馬来統計書	国際日本協会	17
		スマトラ重要統計	大東亜出版KK.	18
	99	林業関係資料	拓務省拓南局	17・3
		西部ニウギニア河川誌	財団法人南洋経済研究所	18・9
		古々椰子・油椰子　関係資料	拓務省拓南局	17・3
		ニウギニア関係図書目録	財団法人南洋経済研究所	19・1
		南方法秩序説 —民族信仰を中心として—	国民精神文化研究所	17・1
		ニウギニアの森林	財団法人南洋経済研究所	17・12
	◆第４回配本　vol.92～vol.99　全８巻		分冊本体価 176,000円　ISBN 978-4-8447-5771-9	

［第４期］ 旧満洲・中国関係（２）　第100巻～107巻（計８巻）

部門	巻号	資料名	編著者・発行所等	発行年・月（昭和）
旧満洲・中国関係資料（2）	100	英国ノ對華経済発展	外務省通商局	６・８
	101	南支南洋の通貨	台湾銀行総務部調査課	大正６・５
		青島港貿易統計年報	青島日本商工会議所	10・8
	102	黒河省瑷琿縣 農村実態調査一般調査報告書	臨時産業調査局	康徳三年度
	103	奉天省遼中縣 農村実態調査一般調査報告書（上巻）	〃	康徳三年度
	104	〃（下巻）	〃	康徳三年度
	105	満州事情案内所報告（二四） 蒙古事情概要	満州事情案内所	10・6
	106	露領漁業の沿革と現状	露領水産組合	14・8
		露文翻訳　ソ聯極東及外蒙調査資料第四十編 西部シベリア地方要覧	南満州鉄道株式会社 満鉄産業部	12・3
	107	編譯彙報第八十七編 揚子江流域炭礦調査報告	中支建設資料整備事務所	17・3
	◆第１回配本　vol.100～vol.107　全８巻		分冊本体価 176,000円　ISBN 978-4-8447-0003-6	

以降、休止

南方軍政関係史料

富集団軍政監部 発行／編集･解題 倉沢愛子

復刻版

①富　公　報

（１号、昭和17年10月～21号、同18年４月）

ISBN 978-4-8447-6326-0
A5判･280頁　本体価14,000円

マレー、シンガポール、およびスマトラを占領し、軍政を担当していた陸軍第25軍（富集団）軍政監部（在シンガポール）が発行していた官報（日本語）。索引付。（'90･5 刊）

馬来軍政監部 発行／編集･解題 倉沢愛子

復刻版

②馬　来　公　報

（１号、昭和18年５月～71号、同19年２月）

ISBN 978-4-8447-6327-7
A5判･334頁　本体価15,000円

陸軍第25軍（富集団）が昭和18年５月１日にスマトラに移駐したのちマレー、シンガポールの軍政を担当したのは馬来の軍政監部（在シンガポール）であった。馬来公報はこの軍政監部がその後つづいて発行していた官報（日本語）。索引付。（'90･5 刊）

爪哇軍政監部総務部調査室 編
解題 倉沢愛子

復刻版

③極秘軍政下ジャワ産業綜観

全２巻

第１巻　農業編
第２巻　畜産･林産･水産･鉱業･金融編

ISBN 978-4-8447-9328-4
A5判･総970頁　本体価45,000円

第二次大戦中日本軍占領下のジャワで、軍政を担当していた第16軍軍政監部の総務部企画課の小黒光雄氏を中心に行われたジャワ産業調査の成果をまとめた「極秘」の報告書。現在ほとんど入手することのできない極秘の統計をふんだんに引用しており、戦時期インドネシアの経済史研究には欠くことのできない貴重資料。（'90･8 刊）

ジャワ新聞社 発行／解題 倉沢愛子

復刻版

④新　ジ　ャ　ワ

（昭和19年10月創刊号～20年８月終刊号）

全２巻

ISBN 978-4-8447-6329-1
A5判･総910頁　本体価45,000円

第二次大戦中日本軍占領下のジャワでジャワ新聞社から終戦時迄発行されていた日本語雑誌。全11冊完全揃。各号80頁前後のもので、ジャワ統治にまつわる戦局問題から社会的、文化的な研究論文までさまざまな内容を掲載している。（'90･8 刊）

治集団司令部 発行／解題 中村光男

復刻版

⑤秘全ジャワ回教状況調査書

ISBN 978-4-8447-6338-3
A5判・460頁　本体価20,000円

第二次世界大戦中、東南アジアに於ける日本の対イスラーム政策の成否は、大戦全体の帰結に大きな影響を与えるものと考えられた。

本書は1943年当時のジャワ・イスラームの状況に関する第１級の一次資料であり、かつ日本軍の対イスラーム政策研究上の貴重な情報源である。また戦前・戦後の諸資料と比較することによって、ジャワ・イスラームの長期的動向を明らかにすることができる。イスラーム専門家ばかりでなく現代インドネシア研究者必備の資料。（'91・11 刊）

インドネシア日本占領期史料フォーラム 編

⑥証　言　集
＝日本軍占領下のインドネシア＝

ISBN 978-4-8447-8339-8
A5判・760頁　本体価9,500円

インドネシア現代史を専攻する研究者や専門司書からなる研究グループが、日本占領にさまざまな立場（軍人、官僚、民間人）、地域（ジャワ、スマトラ、スラウェシ等）で関わった日本人17名を対象に行なったインタヴューを再構成したもの。本書で語られている数多くの興味深い証言や視点は、この時期について専門的関心をもつ人のみならず、日本・東南アジア関係の歴史および現状に興味をもつ広範な日本人読者にとっても現代史理解を深める上での一助となるであろう。（'91・6 刊）

岩武照彦　南方軍政の物資動員計画に関与して／総山孝雄　激動の北スマトラに接して／前野健男　スマトラの産業政策を語る／斎藤鎮男　ジャワ軍政に参画して／糀谷慶次郎　悲喜こもごものジャワ時代／谷口五郎　ジャーナリストとしてみたジャワ軍政／清水　斉　民衆宣撫ひとすじに／別枝篤彦　南方文化の研究にたずさわって／萩原敏夫　「復帰邦人」とジャワ軍政／宮元静雄　16軍作戦参謀の終戦処理／西嶋重忠　軍政研究のオーテンティカシーを求めて／中居台介　日本軍支配下のマカッサル／伊藤定典　マカッサル時代の思い出／飛鳥音久　「ポンティアナ事件」の背景を語る／パネ・ペリック　私の南方特別留学生時代／河野恒雄　司政官のみたバリ社会／貴島正道　陸軍主計中尉としてみた東ティモール

爪哇軍政監部総務部調査室 編
解題 倉沢愛子

復刻版

⑦極秘爪哇に於ける文教の概況

ISBN 978-4-8447-6343-7
A5判・347頁　本体価14,000円

第二次大戦中、日本軍占領下のジャワで実施された文教政策の浸透状況について、軍政監部総務部調査室が行った極秘の調査報告（昭和18年12月31日現在）。他では入手不可能な当時のデータ、統計がふんだんに使われている。ジャワにおける皇民化政策の実状解明の鍵を握る貴重な資料。（'91・11 刊）

残僅少

ジャワ新聞社 発行／解題 倉沢愛子(和・英)
特別協力 米国コーネル大学図書館

復刻版グラビア誌

⑧ジャワ・バル[Djawa Baroe(新ジャワ)]

1943年1月1日号～1945年8月1日号 計63号(揃)
全5巻

ISBN 978-4-8447-3344-7
A4変型判・総2,200頁 本体価150,000円

本誌は、日本軍（南方軍第16軍）占領下のジャワで、インドネシア語、日本語を併用して編集された唯一の「総合雑誌」であり、戦時下ジャワの社会状況を知る上できわめて重要な文献である。日本はインドネシアを「南の生命線」と位置づけ、過酷な「物的・人的収奪」を進める一方、民心離反を防ぐためオランダ支配時代にはみられなかった様々な政治・軍事的、文化的政策を導入し、それが結果的に一定の「衝撃」を与えたことも、従来指摘されてきた。内容でジャワ各地でなされた軍事訓練や増産運動、戦意高揚のための種々の宣撫活動、あるいは民衆生活の一端などを豊富な写真を使って紹介しており、「大東亜共栄圏」に組み込まれた当時のジャワを知る上で興味津々たる画報でもある。

('92・2 刊)

本書の特色

1 全頁の1/2は写真頁、インドネシア社会の日本占領当時をビジュアルに伝える
2 本書（原本）をほぼ完全に所蔵する図書館は世界で唯一ヶ所しかない稀覯本
3 同じ内容が日本語とインドネシア語で書かれた大衆雑誌
4 ジャワ占領10ヶ月目より日本敗戦の月まで月2回刊行、移り変る戦局の背景を庶民の日常生活の実写を通して再現

大日本軍政部・爪哇軍政監部 編
解題 倉沢愛子

⑨日本語教科書［ジャワ］

ISBN 978-4-8447-6353-6
A5判・800頁 本体価25,000円

占領下のジャワで教材として使われた日本語教科書、小学生向きの初歩教材、一般用教材、ラジオテキスト等を収録。 ('93・1 刊)

収録資料

ニッポンゴ マキ1…大日本軍政部編
ニッポンゴ マキ2…大日本軍政部編
日本語巻 3…爪哇軍政監部編
日本語巻 4…ジャワ軍政監部編
一般用日本語 上巻…ジャワ軍政監部編
日常日本語ラジオ講座…1・2巻（合冊）
日常日本語ラジオ講座…4巻

森本武志 著

⑩ジャワ防衛義勇軍史

ISBN 978-4-8447-8352-7
A5判・800頁 本体価12,000円

太平洋戦争の諸戦に勝利した我国の南方総軍はインドネシア人による民族軍――ジャワ防衛義勇軍を編成し、軍人としての教育訓練を実施した。総数約39,000名の大部隊で、これはやがて対オランダ独立戦争のとき、中核となる運命を持つ。

本隊に参加した日本軍人も多く、今日なお当時のインドネシア軍人と「戦友」としての暖かい交流が続いている。

本書は義勇軍に投じた著者が300名にのぼる日本軍人のインタヴュー録を基に、その生誕～解散迄を克明に記録したもので、単にジャワ防衛義勇軍の歴史を綴るのみでなく、太平洋戦争の性格の一端を示す重要な資料でもある。地図、写真多数。 ('92・11 刊)

比島調査委員会 編
立命館大学図書館 特別協力

復刻版

⑪極秘比 島 調 査 報 告
全２巻

解題　第１巻　民族・統治・教育及宗教編
中野　聡、早瀬晋三、寺田勇文（執筆順）
第２巻　経済編
永野善子

ISBN 978-4-8447-6362-8
A5判・総850頁　本体価45,000円

比島派遣軍最高顧問・村田省蔵の発議で、1942（昭和17）年12月に設立された比島調査委員会が、約10ヶ月の現地調査を経て執筆した、フィリピンの「民族」、「統治」、「教育及宗教」、そして「経済」に関する報告書。比島調査委員会は、南方軍政のなかでも特異な存在であった。既存の調査機関と異なり、村田個人の意図と政治力で作られた組織であった。こうした設立経緯と委員らの自立した研究姿勢を反映し、委員会の研究活動は軍政に即応した政策立案的研究よりもむしろ、フィリピン社会の客観的・構造的研究に向けられた。

本書は、比島軍政のありようを新たな視角から再検討する上でも、太平洋戦争期におけるわが国第一線の研究者たちの知られざる知的営為を明らかにする上でも、また、そこに展開された独自の「大東亜共栄圏論」を考察する上でも、きわめて興味深いデータを提供している。

（'93・4 刊）

残僅少

比島調査委員会メンバー（一部）

委員長　村田省蔵
委　　員　伊藤兆司、大島正徳、末川　博、杉村広蔵、東畑精一、蠟山政道
補助委員　周郷　博、武内辰治、馬場啓之助、林　純一、平田隆夫、福島英二
（50音順）

治集団報道班～うなばら新聞社 発行
解題 後藤乾一、木村一信

復刻版

⑫赤 道 報・う な ば ら

創刊号～200号（昭和17年３月９日～10月31日号）
■赤道報１号～14号　（治集団宣伝班発行）
■赤道報壁新聞15号～21号（治集団宣伝班発行）
■うなばら22号～200号　（うなばら新聞社発行）
（１号～200号のうち８号分欠）

ISBN 978-4-8447-6363-5
B4判・446頁　本体価28,000円

1942年３月～12月、日本軍支配下におかれたジャワで刊行された、「赤道報」のち「うなばら」と改題された本誌は、戦時期東南アジアで刊行された最初の日本語新聞である。「皇軍将兵の士気鼓舞」のため、軍直属の宣伝班に徴用された作家、ジャーナリストらの手で編集された本誌は、日本軍政初期のインドネシアの動きのみならず、「大東亜共栄圏」各地の様子、国際政治の動向などを豊富な写真やスケッチを使い生々しく伝えるきわめて貴重な一次資料である。またその文芸欄には阿部知二、大木惇夫、北原武夫、武田麟太郎、富沢有為男ら、戦後文壇でも活躍した錚々たる作家が数多く寄稿し、昭和文学の空白を埋める上でもきわめて重要な意味をもっている。

（'93・9 刊）

渡集団報道部 発行
編集・解題 人見潤介、中野 聡、寺見元恵

復刻版

⑬極秘第14軍軍宣伝班宣伝工作史料集
全２巻

ISBN 978-4-8447-6385-7
A5判・総1,072頁　本体価50,000円

人見潤介氏（元・第14軍報道部大尉）秘蔵の比島派遣軍宣伝工作資料。彼は、フィリピン各地で行った宣伝工作について詳細な極秘報告を書いていた。それらの記録は、日本がフィリピンで行おうとしていた大規模な宣伝工作の全貌を知ることができる極秘資料である。

（'96・11 刊）

ジャワ軍政監部 発行／解題 倉沢愛子

復刻版

⑭極秘 ジャワ軍政規定集〔1〕

収録資料
①爪哇軍政監部規定類聚
②現地民職員人事事務概要
③労働者給与統制要領
④工場事業場労務者災害扶助要領

ISBN 978-4-8447-6376-5
A5判・484頁　本体価22,000円

①は第二次大戦下のジャワにおける日本軍政の統治機構に関する諸規定を収録した極秘文書。軍政機構がほぼ整った昭和18年３月現在のもの。これにより当時の行政機構の全貌が明らかになり、オランダ植民地時代との違いを知る基礎資料である。②は当時のインドネシア人公務員人事関係の法規（法令、通牒、規則、その他）のうち昭和19年８月１日迄のものすべてをまとめた極秘資料。③④は日本軍政中悪名高い「労務者」徴発に際しての給与、災害扶助に関する規定等いずれも極秘資料。　('94･5 刊)

日本のフィリピン占領期に関する史料調査フォーラム 編

⑮インタヴュー記録 日本のフィリピン占領

ISBN 978-4-8447-8370-1
A5判・710頁　本体価10,000円

第二次世界大戦終結より50年の歳月を経た今日、「日本のフィリピン占領時代」は未だ過去のものとはなっていない。大戦時フィリピン軍政に関与した人々を中心に17名へのインタヴュー記録をまとめ、「日本フィリピン占領期」の知られざる多様な側面にせまる。　('94･8 刊)

福井政男　軍政監部産業部に勤務して／秋山　龍　軍政最高顧問・村田省蔵をめぐって／浜本正勝　ラウレル大統領とともに／武内辰治　比島調査委員会をめぐって／福島栄二　比島調査委員会に参加して／松崎秀一　憲兵隊長からみた軍政／佐竹　久　現場の若き憲兵からみた軍政／岩本鐵男　ザンボアンガ軍政を振り返って／古川晴風　モロ族調査に関与して／萱原宏一　陸軍省報道部嘱託のみたフィリピン／堀田正一　鉱山開発の現場から／大川浩男　最後までダバオに留まった総領事館員／田中義夫　ダバオ生れの軍国少年／人見潤介　第14軍宣伝班・報道部をめぐって／志村辰弥　比島宗教班を送りだして／小野豊明　比島宗教班の活動／山北タツエ　カトリック女子宗教部隊の活動

編集・解題 小野豊明、寺田勇文

復刻版

⑯比島宗教班関係史料集 全２巻

ISBN 978-4-8447-6492-2
A5判・総1,110頁　本体価50,000円

比島宗教班は、カトリック司祭、プロテスタント牧師、神学生など20数名で構成され、日本占領下のフィリピンで同地のキリスト教会指導者に対する宣撫工作を行なった。本史料集には、「宗教宣撫状況報告」、「比島ローマ・カトリック対策」等、極秘文書が多数収録されている。　('99･12 刊)

収録内容

VOL. 1：第１部	「宗教宣撫状況報告」および「業務状況報告」	
第２部	軍司令部歴史編纂ニ関スル原稿	
第３部	田口芳五郎司教起草文書	
第４部	比島軍政監部「極秘・比島ローマカトリック対策」	
VOL. 2：史　料	１．「比島宣撫と宗教班」	小野豊明 著　1945年
	２．「従軍司祭の手記」	塚本昇次 著　1945年

解題 倉沢愛子

復刻版

⑰農村実態調査
—ジョグジャ州・ボゴール州・マラン州—

ISBN 978-4-8447-6384-0
A5判・510頁　本体価27,000円

日本軍政下で、ジャワの４つの農村において実施されたフィールド・リサーチの報告書。村落の支配構造、土地所有形態、産業構造など多岐にわたる実態が、聞き取り調査の結果に基づいて報告されている。（'95・4 刊）

残僅少

昭南・馬来軍政監部 編／解題 倉沢愛子

復刻版

⑱極秘戦時月報・軍政月報
全５巻

ISBN 978-4-8447-3494-9
A5判　本体価150,000円

第二次大戦中、マレー、シンガポール、スマトラを占領していた日本軍が記録していた月報で、統計資料も含まれており、占領地方関係の記述を中心とした極秘資料。（'00・6 刊）

収録内容

- vol. 1　戦時月報［軍政関係］（昭和17年３月～６月）
- vol. 2　戦時月報［軍政関係］（昭和17年７月～10月）
- vol. 3　戦時月報［軍政関係］（昭和17年11月～昭和18年３月）
- vol. 4　戦時月報［軍政関係］（昭和18年３月～７月）
- vol. 5　戦時月報［軍政関係］（昭和18年８月～昭和19年２月）／軍政月報（昭和19年３月）

編集・解題　明石陽至

編集復刻版

⑲軍政下における マラヤ・シンガポール教育事情史・資料
（1941～45）　全２巻

ISBN 978-4-8447-6482-3
A5判・総620頁　本体価50,000円

マラヤ・シンガポール占領後、日本軍は軍政を施行した。旧英領植民地の戦略的重要性から日本は同地域を大日本帝国の恒久的版図とし、その意図に基づいて作成、展開された文教政策は徹底的な日本語教育の実施と普及であった。その意図するところは日本語を大東亜の共通語たらしめるだけでなく、日本語教育を通じて被占領民族に日本精神、日本文化を浸透させ、彼らの皇民化を計ることにあった。

本資料集に収録されている要綱、調査・報告書は皇道教育理念に基づいた文書である。これらの史・資料は初等、中等、練成教育課程で実施された日本語教育、普通教育の実態を伝え、占領地における皇民教育行政研究の第一級の一次史料である。（'99・2 刊）

編集・解題 明石陽至

編集復刻版

⑳渡邊渡少将軍政関係史・史料 全５巻

ISBN 978-4-8447-3478-9
A5判・総2,320頁　本体価140,000円

渡邊少将は戦前昭和期の「中国通」の政治軍人であった。昭和前期の軍歴から明らかな様に、彼は占領下中国で長く政務関係の任務についていた。昭和15年９月に総力戦研究所員に任命され、翌年11月まで戦力・占領地統治行政研究を担当した。山下奉文指揮下の第25軍編成に伴い彼は軍政担当参謀に任命された。17年２月マレー・シンガポール占領後、翌年３月末迄、同地域の実質的な軍政責任者として経済・華僑・スルタン・教育対策等にみられる独自の「渡邊軍政」を施行した。

本書は渡邊家にも私蔵されていた渡邊少将の日誌・回想録・軍政施策要領、口演等マレー軍政史・資料を集録したものである。これらの史・資料から「伝統への復帰」「無為の無」「法３章」に集約された渡邊軍政哲学を読みとることが出来る。この文書はマレー軍政研究のみならず、南方各地で行われた占領行政を比較、考察するにあたっても一次資料として大変貴重なものと考える。（'98・6 刊）

岩武照彦 著

復刻版

㉑南方軍政下の経済施策 ―マライ・スマトラ・ジャワの記録― 全２巻

ISBN 978-4-8447-6388-8
A5判・790頁　本体価30,000円

第二次大戦当時、南方軍総司令部参謀部軍政班に勤務し、物資動員計画の立案・実施に関与した著者がまとめた南方軍政下の経済施策の記録。マライ、スマトラ、ジャワにおける物資交流、農園管理と食料増産、工業化および通貨・財政・金融に問題を絞り、一次資料を駆使した実証的政策史。（'95・5 刊）

大庭定男 著

㉒ジャワ敗戦抑留日誌 (1946～47)

ISBN 978-4-8447-8411-1
A5判・360頁　本体価8,000円

若き陸軍主計中尉であった著者は終戦の後、タンジョン・プリオク港の作業隊に送られ、翌22年５月迄現場通訳、英軍将校官舎住込雑役、沖仲仕の労働、オランダ軍との連絡業務などに敗戦降伏軍人として屈辱の日々を送った。この中にあって著者は毎日のできごと、随想を、克明に日記に書き記した。

敗戦後50年、初めて紹介される当時の貴重な証言である。（'96・5 刊）

解題 明石陽至、石井 均

編集復刻版

㉓大東亜建設審議会関係史料 (総会・部会速記録)　全４巻

ISBN 978-4-8447-3387-4
A5判・総1,630頁　本体価80,000円

大東亜建設審議会は、昭和17年２月に設置された東条総理の諮問機関である。この審議会は、いわゆる「大東亜共栄圏」の形成を目指して設置された総合的な審議会であるが、従来その具体的な審議内容は殆ど解明されていなかった。内容は「大東亜」建設のための総会（第６回総会を含む）、第２部会（文教政策）、第３部会（人口・民族政策）、第２・第３部会連合会、第４部会（経済政策）、第５部会（鉱・工業政策）、第６部会（農林水産政策）、第８部会（交通政策）の各速記録、及びその答申集である企画院「大東亜建設基本方策（大東亜建設審議会答申）」（昭和17年７月）からなる。なお同審議会の第１部会（総合政策）と第７部会（交易・金融政策）では議事速記録自体がとられていない。（'96・5 刊）

残僅少

江上芳郎 著

㉔南方特別留学生招へい事業の研究

ISBN 978-4-8447-8466-1
A5判・384頁　本体価9,000円

南方特別留学生とは、太平洋戦争中の昭和18年～19年に、日本政府が東南アジア諸地域から招聘した205名の留学生たちをいう。終戦により彼らは帰国し、それぞれの母国で首相、大臣、国会議員、外交官、実業家、大学教授・学長として活躍している。本書はこの事業について、その発足の経緯や教育事業の実態、留学生の帰国後の活動状況等を解明し、同事業のもつ歴史的意義を明らかにしようとする。（'97・2 刊）

編集・解題 木村一信　すいせん 池田浩士、内海愛子、浦西和彦、神谷忠孝、川村 湊、倉沢愛子、西田 勝、西 成彦（敬称略50音順）

㉕ 南方徴用作家叢書

アジア太平洋戦争が終結してから今日に至るまで、アジア・東南アジアを中心とした各国、各地域に悲惨な戦禍を残し、国の内外を問わず多くの犠牲者を出したこの戦争を、二度と繰り返してはいけない歴史的教訓として、さまざまな立場から総括する作業は続けられている。文化に関わる視点、側面からの取り組みも例外ではない。

1941年の開戦に際し、いわゆる文化人たちのもとに陸海軍からの「徴用令書」が届けられ、文学者、画家、音楽家、評論家、思想家、さらには映画人、ジャーナリスト、カメラマンといった人たちが「宣伝班」に組みこまれ、「報道班員」として各戦地へと送られた。赴いた先は、ジャワ（現在のインドネシア）、マレー（同マレーシア、シンガポール）、ビルマ（同ミャンマー）、フィリピンなどである。徴用された期間は、三ヵ月から、長くは敗戦時にまで及んだ。文学者に限って言えば、70人から80人にものぼる人たちが動員されたのである（ただし、準徴用とでも言うべき軍以外の、新聞社・出版社などからの派遣も含んでいる）。

彼らは、戦地にあって陣中新聞を編集、発行し、現地視察や日本語教育に携わり、宣伝・宣撫活動に従事した。また、その体験を現地や日本国内のメディアに発表し、帰還後も、小説・詩・評論・エッセイ・ルポルタージュなど、数多くの作品を公にしたのである。しかし敗戦後、戦時下に書かれたこれらの文章は文学界から放擲され、一部を除いて顧みられなくなった。出版社などによる規制、また戦後の戦争責任追及の風潮が働いてのことであった。

いま、アジア太平洋戦争を「記憶・歴史」として総体的に捉えるにあたり、私たちは文学的に資料を読み、分析し、評価する時を迎えている。「南方徴用作家叢書」刊行は、その基礎的・資料的営為として意義をもつものと考えている。南方徴用作家たちの言説は、文学史の一コマとして、たしかな歴史認識とともに位置づけられなければならない。

［第１期］ジャワ篇　全15巻

揃ISBN 978-4-8447-1452-1
四六判・平均300頁　全15巻セット本体価45,000円

収録作家（10名）　淺野　晃、阿部知二、大江賢次、大木惇夫、大宅壮一、群司　次郎正、北原武夫、斎藤良輔、武田　麟太郎、富澤　有爲男（50音順）
収録作品185点

（'96・10 刊）

※（単）：単行本　（散）：雑誌・新聞等に掲載、または単行本より抜粋した散文　（座）：座談会

巻号	収録作家名	収録作品	ISBNコード	本体価
第１巻	淺野　晃	（単）ジャワ戡定余話	978-4-8447-1437-8	3,000円
第２巻	淺野　晃	（単）遠征前後	978-4-8447-1438-5	3,000円
第３巻	淺野　晃	（散）三亜運動の展開／現在の事態／海の大道／賀歌（短歌）／亜細亜は一なり／花六首（短歌）／築け新アジア文化／陣中拾遺／歌のふるみち／天言／戦争と文学者／天降言／大東亜文学の構想／忠魂を哭す（歌）／文学の決戦態勢／外地に於ける日本人の態度／タワラ・マキンの勇士に代りて懐を述べるの歌十二首／文学の威儀の現成／「文芸日本」の覚悟／神の鉾杉／ゆく春（歌）サイパンの忠魂を哭す／マリアナの忠魂を哭す／限りなき力／敵の総力戦と我の総力戦 （座）インドネシアの文化を観る／南方より日本を見る／南方の報道戦線より帰りて／一年の収穫	978-4-8447-1439-2	3,000円
第４巻	阿部　知二	（単）火の鳥	978-4-8447-1440-8	3,000円
第５巻	阿部　知二	（散）大国民／ボイテンゾルフ植物園／バタビア／一発見／バタビア博物館について／闇を追う光明の戦／ボロブドウルにて／バリの娘たち／バリ島／創造と文化／同人諸氏に／建設戦の司令塔だ／ジャワの林檎／千夜一夜／ジャワの文化とわれら／大空襲／敵のうしろへ／日本との共通性／家のこころ／帰来感想／東洋の家／最近の南方書／「信頼」と「沈着」／国民として／嵐のひびき／BUDDHA'S IN THE TROPICS／BALI TODAY／虎と孔雀／言葉 （座）南方建設の鼓動を聞く／南方の女と風物／戦争と作家	978-4-8447-1441-5	3,000円
第６巻	大江　賢次	（単）ジャワを征く旗 （散）スラバヤ便り／ジャバ便り／スラバヤ沖海戦目撃記／ジャワ風景／逞し建設の一路／ジャワより帰りて／ジャワ作戦夜話／南方三題／収穫ノート／ボロブドール紀行／スラバヤ突入の思い出／琴／バリーの一夜／シンガポール総攻撃現地報告／尊重と指導／ジャワみやげ／女碑銘／無反省な獣的性格／極楽鳥／従軍手帖から／海員魂／密林の教訓／海の果／シラバヤ沖海戦と俘虜／ジャワの子供たち	978-4-8447-1442-2	4,000円
第７巻	大江　賢次	（単）陸海協力 （散）原住民の協力／バリーだより／ジャワ日本語学校建設記／遼原	978-4-8447-1443-9	4,000円
第８巻	大木　惇夫	（単）海原にありて歌へる／神々のあけぼの	978-4-8447-1444-6	3,200円
第９巻	大木　惇夫	（単）椰子・りす・ジャワの子／豊旗雲	978-4-8447-1445-3	3,300円
第10巻	大木　惇夫	（単）雲と椰子 （散）よい日本語で歌へ／詩に就て天下に訴ふるの辞／その日／ジャワの米／征旅南海行／序詩・あとがき／『海原にありて歌へる』拾遺／『豊旗雲』拾遺／未刊詩集『新防人の歌』	978-4-8447-1446-0	3,300円
第11巻	大宅　壮一	（散）ジャワでの宣伝活動／南方と文化宣伝 （座）ジャワ作戦の印象／南方建設の一年	978-4-8447-1447-7	3,300円
	群司次郎正	（散）スマトラより帰りて／随筆初夏／南方女性に就いて （座）ジャバ従軍座談会		
	北原　武夫	（単）雨期来る		
第12巻	北原　武夫	（散）武士の情／日本精神／寸感／神兵讃歌／薔薇／無題／宣伝と謀略／マヅルカ／ジャバの感覚／日本女性の本質／南方からの私信／現地より帰りて／バンテン湾／ジャワの文化工作／ジャワの家庭／ジャワの「うなばら」当時／新生ジャワ／現代精神の行方／薔薇について／若楠の顔／判断力と訓練／ジャワの話／芸術家の確信について／戦いの厳粛さについて／決戦下の文学 （座）文化の本質	978-4-8447-1448-4	2,500円
第13巻	斎藤　良輔	（散）スラバヤ沖海戦詳報／壮絶・バタビヤ沖海戦	978-4-8447-1449-1	2,500円
	武田麟太郎	（単）ジャワ更紗 （散）民族の黎明来／なつかしい風物／旅だより／ジャバのフクチャン／バリー二題／妻への手紙／上陸半歳の所感／「啓民文化指導」小感／わが新ジャワ観／Pengharapan Kami kepada Sastrawan moeda／南の佳節／出版統制の混乱と本の氾濫／ジャワで見た「八雲」／その妻／郷愁／東印度の確信		
第14巻	富澤有爲男	（単）ジャワ文化戦 （散）私達の勝利／レンバン街道／ジャバ作戦の九日間／心を結ぶ愛情無限／インドネシアの朝／ジャワの気候	978-4-8447-1450-7	3,400円
第15巻	富澤有爲男	（単）光のジャワ （散）南十字星／神々に祈る／日本人の愛情／雨季乾季／現地字新聞 （座）現地文化工作を語る／大東亜文化建設を語る	978-4-8447-1451-4	3,500円

［第２期］ビルマ篇 全14巻

ISBN 978-4-8447-0203-0
四六判・各巻平均400頁　本体価120,000円

収録作家（11名）　岩崎 榮、小田嶽夫、北林透馬、倉島竹二郎、榊山 潤、清水幾太郎、高田秀二、高見 順、豊田三郎、平野零児、山本和夫（50音順）
収録作品　単行図書16冊、散文126点　（'09・12 刊）

［（単）：単行本、（散）：雑誌・新聞等に掲載又は単行本より抜粋等の散文、（合）：合著より収録、（座）：座談会］

高見 順

第１巻
（単）ビルマ記

第２巻
（単）共栄圏文化ビルマ
（散）扶桑華（１）～（15）

第３巻
（散）子供の遊びその他／帰っての独白／芸術の背景その他／戦場の童謡／シツタン河を渡る／この戦友／バモウ首相に呈す／ウ・サン・モンのこと／戦ふ少国民／孔雀旗

高田秀二

（単）ビルマ追撃戦

小田嶽夫

第４巻
（単）ビルマ戦陣賦
（散）鞭―ある帰還作家のノート―／宣伝班文芸家として／死に面した時の強さ／ビルマ戦線の兵士へ／印度人の血／マンダレーの営舎／祖国の山河
（合）ラングーンの興奮／美しい協力／日本語学校学芸会／（単）帚星／秋日抄／火

榊山 潤

第５巻
（単）ビルマの朝

第６巻
（単）航空部隊

第７巻
（単）一機還らず
（散）一夜の飛行場／熱い水道の水―南の暑さ・東京の暑さ（上）―／浄らかな国土―南の暑さ・東京の暑さ（下）―／ラングーン日記／武魂―従軍手帖より―／ビルマ詩篇／帰還／文化的色彩に就て／復讐／昭南まで／シンガポール総攻撃への期待／南方記（１）～（５）／特派員／盤谷挿話／蘭貢郊外／独立ビルマへの回想／輸送班／蘭貢陥落の頃／
（合）翼の蔭に見たビルマ戦／ビルマの英兵について

豊田三郎

第８巻
（単）行軍／孔雀

第９巻
（散）軍の宣伝に協力―モールメン戦線の親日少年―／健気な一少年／船中日記／ビルマ日記抄―２点／印度人街に立ちて／ビルマの友に与ふ／ラングーン入城／以心伝心／高地／秘境の人／唖男／不思議な鳥の声―従軍手帖から―／東の祭／（合）シヤンの日／マンダレー獄中日記／風化の顔／東洋の魂／新生蘭貢案内／釈迦祭／愉しきビルマの旅

北林透馬

（散）ビルマの放送／ビルマの日本語学校／ビルマ三題／性急は禁物
（合）宣伝戦は如何に戦はれたか／緑深きイラワヂの流／カンチヤブリ無血進軍／イラワヂ河を溯る／英軍列車顛覆す／トンゼーにて

清水幾太郎

（散）土着文化の見方―ビルマから帰って―／南方の宗教生活／日本文化の自己表現／ラングーン日記抄／バーモ長官会見記／新しき日本女性の品格／敵としてのアメリカニズム／東洋の涯―ラングーン日記抄―／東亜大の意識を／文化工作の基本問題

山本和夫

第10巻
（単）亜細亜の旗
（散）ビルマ戦線猛進記／北ビルマ作戦（１）～（２）／熱帯にある四季／緬甸戦線の支那兵／ビルマの女性点描／熱帯の木陰／ビルマの若者／インド人の表情／無智と野蛮の塊り／シヤンステートに就て／（合）シヤン高原／泰・ビルマ国境突破／金のパゴダ／ビルマの僧侶／ビルマの情熱／ペグの大寝仏陀／ビルマの踊子／雲南雑感

倉島竹二郎

第11巻
（単）明けゆくビルマ
（散）南方から／ビルマ戦線の思ひ出／服装に見る祖国愛／印度の武力蹶起／義勇音楽隊／
（合）サルウイン河の華／兵士になったビルマの僧侶／新生ビルマの諸相／頼母しきビルマ防衛軍／新らしきビルマの女性／燃え上る日本語熱

岩崎 榮

第12巻
（単）萬歳（チャイヨウ）／戦場の怪

第13巻
（単）パゴダの鐘が鳴る
（散）ビルマ戦線／紙の花

平野零児

第14巻
（単）マンゴウの雨
（散）ビルマ征空記／ビルマの空を翔ける／ビルマ産「トツケイ」／荒鷲部隊長着任

座談会・対談

（座）建設途上のビルマ・ジャワ／南方建設の途／アジア青少年運動／南方戦線自慢ばなし

早稲田大学アジア太平洋研究センター
（代表 後藤乾一）編

㉖戦後日本・東南アジア関係史総合年表

ISBN 978-4-8447-1454-5
A4横判・300頁　本体価18,000円

本年表は、1945―95年の戦後50年間の日本と東南アジアの関係全般を整理したもので、東南アジア10ヶ国の専門家の３年間に及ぶ地道な共同作業の成果である。21世紀の日本と同地域の関係のあるべき姿を考える上でも貴重な素材となろう。国際関係、地域研究、近現代日本研究を専攻する研究者、学生のみならず、当該テーマに関心を持つ広範な読書人にとっても有益な手引きとなろう。（'03・5 刊）

マラヤ日本占領期史料フォーラム
（代表 明石陽至）編

㉗マラヤ日本占領期文献目録（1941-45年）
付 戦前期日本マラヤ関係文献目録

ISBN 978-4-8447-0022-7
B5判・322頁　本体価11,000円

マラヤ・シンガポールの日本軍政期に関連する三千余のタイトルを、各分野の研究者が編纂した初の文献目録。日本の防衛研・徳川資料、日記、現地や英・米・豪の公文書や研究書等、日・英・馬・華語の史・資料を所収。（'08・1 刊）

早瀬晋三 編

㉘「領事報告」掲載フィリピン関係記事目録 1881-1943年

付録1.「通商月報」・「通商彙報」・「南方院時報」（大阪発行）
付録2.「日本外交文書」・「外務省外交史料館文書」（戦前・戦中）

ISBN 978-4-8447-5450-3
B5判・300頁　本体価12,000円

「領事報告」と呼ばれる通商経済情報は、政治的外交的情報とは区別され、民間業者の要望に応えるため、定期的に編集・刊行された。その内容は、当該地の消費者のニーズを知るための単なる通商経済情報に留まらず、風俗・習慣・流行に至るまで幅広く、詳細にわたっており、日本と当該地の関係史を研究する者にとって、欠くべからざる史料である。今日のグローバル化のなかで、日本史やフィリピン史研究者だけでなく、さまざまな地域・分野の人の利用を期待したい。（'03・5 刊）

予 告　森第7900部隊 編／解題 武島良成

復刻版

㉙緬　甸　軍　政　史
全２巻

価格未定

本史料は、ビルマ方面軍が1943年までの軍政の歩みを詳述した内部史料である。前半部では、政務・産業・軍事などの個々の事項を解説し、後半部には、大量の資料を収めているのが特徴である。日本占領期のビルマを知る上での最重要史料の一つとして、研究者の便に供すべく、欠落部分を補い、完全版として出版する。

「日本のマラヤ・シンガポール占領期」フォーラム（代表 明石陽至）編／解題 原 不二夫

復刻版

㉚北ボルネオ軍政概要

ISBN 978-4-8447-6468-7
A5判・730頁　本体価35,000円

本資料は軍政機構、日本人職員、「種族別現地住民官吏数」、治安状況、「民族」政策、教育政策、経済政策、生産状況、輸出入状況などを丹念に記述しており、従来ほとんど知られていなかった日本軍占領下「北ボルネオ」（今日のサバ、サラワク、ブルネイ）の実情を知る上で希有な貴重資料である。（'97・4 刊）

インドネシア日本占領期史料フォーラム 編
【責任編集 高橋宗生、秋野晃司、後藤乾一】

㉛インドネシア日本占領期文献目録

ISBN 978-4-8447-8454-8
B5判・386頁　本体価12,000円

本文献目録は、昭和17年～20年の終戦にいたるインドネシア日本占領期を対象にした、世界最初の総合的文献目録である。10年以上にわたって広範な蒐集活動を行った結果、邦文図書、外国語図書、邦文雑誌論文、戦友会会誌記事、陸・海軍公文書、日記など約2,000タイトルを精選し、全ての文献に英訳とヘボン式ローマ字を付して８章に分けて収録した。国内外のインドネシア日本占領期に関する研究には、多様な視点と評価があり、本文献は研究の一層の進展を願って編集された。（'96・12 刊）

解題 明石陽至、宮脇弘幸
すいせん 磯田一雄、川村 湊、倉沢愛子

編集復刻版

㉜日 本 語 教 科 書
―日本の英領マラヤ・シンガポール占領期(1941～45)―　全６巻

ISBN 978-4-8447-0484-3
A5判・総約2,500頁　本体価162,000円

軍政下のマラヤ・シンガポールで使われた日本語教科書の研究はほとんど行われていない。収録された教科書は現地で収集したものである。当時軍政監部は大東亜の共通語としての日本語の普及と日本語教育を通して現地人の皇民化を進めた。各教科書の内容から皇国教育が如何に施行されたかが浮彫りにされ、その実態がくっきりと表われている。

1943年半ば以降、「国定」教科書的なものを刊行する試みがあったが、紙不足で十分な部数が配布出来ず、軍政監部は宣伝班、各州庁の文教科、各種訓練所、養成所が独自に編纂した教科書の使用を認可した。そのために、日本語の導入方法も統一されていないのが特徴である。これらの教科書は日本が占領下のマラヤ・シンガポールで何をしたかを客観的に知る重要な手掛かりとなる。（'02・4 刊）

収 録 内 容

Vol.1：国語読本　巻１	軍政監部国語学校	昭17.12.25
〃　巻２	昭南軍政監部国語学校	昭17.11.20
〃　巻３	軍政監部国語学校	昭18.１.７
コクゴノサクブン	〃	昭17.11.25
日本語会話（草稿）	〃	昭18.５.10
Vol.2：日本語教本（成人用）巻１	馬来軍政監部	
〃　（成人用）巻２	〃	
〃　（成人用）巻３	〃	
日本語読本　巻１	ペラ州政庁	
日本語教科書　巻２	日本語教員養成所	
Vol.3：日本語読本　巻１	昭南日本学園	昭17.８.20
日本語読本　巻２	昭南日本学園	昭17.８
ニッポンゴトクホン　マキ１	グンセイブ	
〃　マキ２	昭南軍政監部文教科	昭17.11.10
工業日本語読本　巻１	昭南特別市教育科	
〃　巻２	〃	
国語副読本１	昭南特別市教育科	昭17.12.24
Vol.4：日本語の文法（草稿）	〃	昭18.４
日本語文法		
Vol.5：Kogo Nippon Go Grammar	The Nippon-Go Teacher's Training Centre	
國語教科書　下巻	軍政監部馬来興亜研究所	昭18.８.30
日本の道	昭南軍政監部文教科	昭17.12.１
新馬来（創刊号）	馬来軍政監部馬来興亜訓練所	昭18.９
Vol.6：正しい日本語―Tadashii Nippon-go	軍宣伝班	昭18
PELITA BAHASA	MARAY SEINEN CLUB	
日語提徑	陳　雁影 編	昭17.８

「日本の英領マラヤ・シンガポール占領期史料調査」
フォーラム 編

㉝インタヴュー記録 日本の英領マラヤ・シンガポール占領(1941～45年)

ISBN 978-4-8447-9480-6
A5判・700頁　本体価11,000円

日本のマラヤ・シンガポールの占領からほぼ52年が経ち、生存関係者は極めて少なくなりつつある。本フォーラムは日本占領期の本格的研究の基礎資料として当事者の貴重な証言を記録すべく数多くのインタヴューを行った。その中から資料価値の高いものを厳選し、テーマや対象地域のバランスも考慮して編集したものが本書である。（'98・11 刊）

収 録 内 容

日本軍政下のマラヤ・シンガポールにおける調査……板垣與一、山田秀雄
ペラ州政庁の農業指導員として……片野昭二、左光茂三郎
宣撫工作の実体……河合 武
ペラ州の警察署長として……大石小太郎
昭南華僑粛清事件・マラヤ人民抗日軍掃討戦をめぐって ……大西 覚
南方特別留学生の「姉」として……上遠野寛子
昭南特別市の行政に携わって……山城正道、根岸誠夫、古財睦男
昭南海軍武官府に勤務して……平野 博
戦時北ボルネオの日々……北野至亮、石橋慶道
マラヤ共産党員の抗日戦争……陳 瑞瑶
華僑農村の占領時代……黄 耀謙
マラヤ人民抗日軍指導者として……呉 亮明
藤原機関の対インド工作……石川義吉
南方軍政について……今岡 豊
マラヤの残留日本兵……橋本恵之
日本軍政下のサンダカン……遠藤方三
マラヤ人民抗日軍と戦った特警隊員として……中山三男、石部藤四郎
宣伝班員として―文化人の徴用……中沢金一郎
報道班員として―文化人の徴用……松本直治
陳平（マラヤ共産党ペラ州委書記）と和平交渉をした憲兵……関 道介
日本軍政下のジョホール州コタ・ティンギの村民 ……Mohd Noor bin Mohd Sah、彭 接生、鐘 徳満、馮 仁候、Hi Md Noor bin Hj Md Shah、Harum bin Alwee
昭南興亜訓練所の教官時代……毛利可信
軍政監部の日本語教育……鳥居次好
南方軍戦闘序列・組織・人事一覧……明石陽至

編集・解説 明石陽至

編集復刻版

㉞榊原家所蔵南方軍 軍政総監部関係文書

全９巻

ISBN 978-4-8447-5451-0
A5判・総約3,100頁　本体価250,000円

「榊原文書」は陸軍中尉榊原政春氏が昭和16年11月に南方軍総司令部付勤務となり、18年５月帰還する迄に職務上入手した公文書である。１年７ヶ月の在勤中、総司令部宣伝班、軍政総監部軍政班と軍政の中枢部において書類整理・会議の設営役を務めていた。榊原家は越後高田藩十五万石の藩主であり、東大法学部卒の政春氏は徳川家康の四天王の一人榊原康政の十六代目の嫡子である。戦後は貴族院が昭和22年廃止になる迄貴族院議員を務めた。夫人は徳川慶喜の孫娘で、高松宮喜久子妃の妹である。以上のような社会的地位にあった氏は軍政総監部内でも特異な存在であったため、台湾・フィリピン・ジャワ・マラヤ・スマトラ等の各占領地を長期に亘り隈なく視察旅行しており、またその特別な身分と、軍人の特権として帰国の際大量の極秘文書を持ち帰っており、それが同家に保管されていた。

「榊原文書」には150点余の公文書が含まれている。それ等資料の特徴は第１に殆どが経済・金融関係の原資料であり、これだけ総軍軍政総監部関係文書が纏って発掘されたことは前例を見ない。第２に文書の多くは「○○案」と策案されたものであり、それがどの程度迄実際の政策として施行されたかは不明で、今後の研究の課題であろう。第３に大部分が「極秘」扱いの資料である。榊原資料の極く一部が公刊書で引用、または文献目録で紹介されているが、本書の大部分は未見の原資料であり、戦史部にも所蔵されていない文書が大量に含まれている。（'04・11 刊）

残僅少

Ⅰ．当時機密扱い（後に公表された）資料29点（vol. 1, 2）

vol. 1　（1）極秘「南方軍経済施策要綱」
（2）極秘「南方経済陸軍處理要領（改訂案）未定稿」
（3）極秘「南方地域ニ於ケル銀行ニ関スル措置要領」
（4）極秘「大東亜建設審議会決定書類」６点
（5）極秘 南方諸地域通貨對策要綱
（6）極秘 南方港湾運営要綱
（7）極秘 敵産管理ニ関スル意見
vol. 2　（8）①極秘緬甸獨立政府樹立要領第一案
②軍事機密ビルマ獨立政府樹立要領
（9）交易擔当業者及企業者ニ関スル件　13点

Ⅱ．公文書ないしその内容たる資料53点（vol. 3, 4）

vol. 3　1．軍政政策一般資料　２点
2．敵産問題資料　４点
3．南方物資還送対日期待物資関係資料　５点
4．現地自活関係資料　４点
5．莨麻子、苧麻、産業、工業、関係資料　６点
6．調査研究関係資料　１点
7．南方開発金庫銀行関係資料　２点

vol. 4　8．通貨・為替・予算・会計関係資料　13点
9．衛生関係資料　５点
10．其の他関係資料　10点

Ⅲ．会議関係資料36点（vol. 5, 6）

vol. 5　1．昭和十七年八月総務部長会議　５点
2．昭和十七年九月財務部長会同　３点
3．軍政総監・軍政監等合書類綴　４点
（陸軍省・大本営陸軍部）

vol. 6　4．昭和十八年二月八・九日
総務部長会議書類綴　21点

Ⅳ．部内（軍政総監部、他部）作成資料41点（vol. 7, 8）

vol. 7　14点
vol. 8　20点

Ⅴ．部外（民間）よりの提供資料（vol. 9）
Ⅵ．榊原氏個人の意見・主張　計16点

vol. 9　16点

編集・解説 明石陽至

編集復刻版

㉟南方軍軍政総監部調査部 馬来軍政監部調査部 報告書

1943～1945　全22巻

ISBN 978-4-8447-5452-7
A5判・総約8,300頁　本体価550,000円

昭和17年７月末、陸軍省と参謀本部は南方占領各地の軍政監部に調査機関の設置交渉を始め、翌年１月総監部調査部及び各軍政監部調査部（室）を開設した。その目的は「軍政実行ニ必要ナル資料収集ト調査研究ニ當ル」ことである。

本巻に所載された報告書は、防衛研究所戦史部の『徳川史料』と一橋大学経済研究所に所蔵されている資料を収録したものである。第25軍軍政（部）監部所属の満鉄マレー・スマトラ班が作成した資料の一部が本資料に含まれているが、報告書の大部分は総監部調査部（昭南所在）、後の第29軍所属の馬来軍政監部調査部（19年４月タイピンに設置）が作成した調査資料である。

調査部員の多くは、東京商科大学（現一橋大学）東亜経済研究所員で構成し、部長赤松要教授の下で約40名の学究者が調査研究に従事した。

調査研究の重点順位は国防資源獲得、生産、利用に資することを最優先とし、以下の順位に重点を置いた。（１）現地生活必需品の充足、（２）特産物資の処理、（３）民族指導、（４）熱帯衛生、（５）交通通信網、（６）通貨工作、金融機関、（７）大東亜圏内、特に南方諸地域内の物流に関する件等…である。

調査部は、南方全域の研究、試験、調査機関を統一する必要性に鑑み、より効率的に軍と軍政協力体制を構築する為に、南方科学委員会の設立（19年10月14日）に中心的役割を果たした。

調査部が作成した調査資料は「総調資」39点、「馬来調資」50点、「調査部報」34点、「南科記事」２点、総計125点が刊行されている。

板垣與一氏の「推薦のことば」に見られる様に、これ等の調査資料は文献に依らず、実地調査に徹した実態調査であること、調査部が「調査項目の選定及び調査方法は自主的に発案」し「純粋な学術調査として実施」したことが特徴として挙げられる。

収録資料はマラヤ・シンガポール占領期の政治、経済、社会史研究、更に、今後の我国の東南アジア研究に寄与する貴重な基本史料である。

（'06・10 刊）

Ⅰ. 第25軍調査班資料（vol. 1～7）

vol. 1　第25軍資料及び統計集（１）（１号～17号・別号）
vol. 2　〃　（２）（18号～24号、別号）
vol. 3　〃　（３）（26号～31号、別号、他）
vol. 4　〃　（４）（スマトラ、蘇島諸重要統計）
vol. 5　〃　（５）（スマトラ調査報告（1号～9号）、スマトラ島北部四州経済調査報告等、計10点）
vol. 6　第25軍昭南復刻文書（１）（１号～13号）
vol. 7　〃　（２）（14号～22号）

Ⅱ. 南方軍政総監部資料（vol. 8～13）

vol. 8　総調資（１）（１号～６号、他１点）
vol. 9　〃　（２）（７号～９号、他１点）
vol. 10　〃　（３）（10号～14号、他１点）
vol. 11　総調資（４）（15号～18号、他１点）
vol. 12　〃　（５）（19号～20号、22号～26号）
vol. 13　〃　（６）（28号～29号、32号～33号、35号、41号）

Ⅲ. 馬来軍政監部調査部資料（vol. 14～17）

vol. 14　馬来調資（１）（36号～40号、他２点）
vol. 15　馬来調資（２）（41号～45号、別冊、47号）
vol. 16　馬来調資（３）（48号～51号、54号、55号、58号、61号）
vol. 17　（馬来調資（４）
・馬来地区総合物価調査（計６号分）
・調査部報（１号～６号）
・昭南小売物価調査概要（計３点）
・その他（２点））

Ⅳ. その他の軍政調査資料（vol 18～22）

vol. 18　１．南方科学委員会記録（24点）
vol. 19　２．軍政部各部局別資料（11点）
vol. 20　３．一般諸調査（１）（24点）
vol. 21　〃　（２）（９点）
vol. 20　〃　（３）（４点）

編集・解説 浅野豊美
すいせん 倉沢愛子、酒井哲哉、根本 敬、
山室信一

㊲大東亜法秩序・日本帝国法制関係資料
全３期・総36巻

A5判・総約12,000頁　揃本体価800,000円

本資料は、第二次大戦中に南方占領に加わった日本の司政官によって作成されたところの、大東亜共栄圏における「旧慣調査資料」に該当する資料群である。1942年の７月、３人の司政長官と28人の司政官が司法省から派遣されたのを皮切りにして、南方各地の軍政監部に大量の司法関係者が派遣された。南方占領の際、とりわけ司法制度が重視されたのは、清瀬一郎の言を借りれば、南方が「満州や北支の場合と異なり、我占領以前に於て既に相当完備した裁判制度を有し」、「イギリス人や、オランダ人と接触してきた結果、裁判といふことに相当の期待と信頼をもつ慣習を養」ってきたためであった。こうして派遣された司政長官と司政官にとって、「南方将来の司法制度を立案」することは必至の課題であり、特に、「現地従来の実体法、殊にイスラム教から来る慣習法」であるアダット研究や、それを専門とする現地人補助官の必要が叫ばれ、また、約半世紀前の台湾での後藤新平の活躍や「台湾旧慣調査会」の活動への関心も、一種のブームを呈することとなった。

本資料の内容は、南方各地のヨーロッパ植民地法制と、現地の人々の伝統的旧慣についての、欧州文献からの翻訳を交えた独自の調査に基づく、ジャワ、スマトラ、マラヤ、ボルネオ、フィリピンでの包括的調査となっている。また、「満洲国」建国以後にも、多数の司法官が海を渡り、満洲で司法官として勤務したが、その経験の延長線上に位置づけられる資料群でもあるため、満洲国と中華民国における対応する資料も含むようにした。

近年の日本政治外交史の研究においては、第二次大戦中の太平洋における争点が、英米仏蘭の旧植民地である東南アジア地域、及び、中国・朝鮮の脱植民地化にあったことが、共通の理解とされつつある。本資料は、こうした政治過程の背後において、どのような基礎資料が作成され供給されていたのか、その重要な一端を明らかにするものであり、「共栄圏」が「大東亜法秩序」として司法関係者の手で洗練され、地域的法秩序構想に高められようとしていた軌跡やそこに潜む複雑な問題が、法制的な厳密さを以て明らかにされることであろう。更には、戦後にこうした諸地域が独立して以後、各国が樹立していった法体系と、植民母国、或いは、日本の法体系とがどのような関係にあるのか、法の継受の系統を明らかにするうえでも貢献するにちがいない。

㊲―(1)　第1期　『司法資料一般（司法研究所・他資料）』全10巻　（'05・2 刊）

vol. 1　比島に於ける司法制度の研究（司法研究所）
vol. 2　仏領印度支那に於ける司法制度（司法研究所）
vol. 3　蘭領印度に於ける司法制度の研究（司法研究所）
vol. 4　旧蘭領印度の司法（蘭印の検察制度）（司法研究所）
vol. 5　海峡殖民地に於ける英国の司法政策に就て（司法研究所）
　　印度及海峡植民地證據法（司法省秘書課）
　　―附　印度證據法概説―
vol. 6　英領マレーの検察（司法研究所）
　　ビルマの裁判制度及びビルマ佛教徒の婚姻制度に於いて（司法研究所）
vol. 7　在支治外法権撤廃問題（司法研究所）
vol. 8　独逸国植民地司法制度の発展及び植民地法の統一（司法省秘書課）
　　―附録　保護領法・領事裁判法―
vol. 9　原住民司法論集（上）（司法省秘書課）
vol. 10　〃　（下）（　〃　）

vol. 1～vol. 10・全10巻　ISBN 978-4-8447-5453-4
総約3,200頁　本体価200,000円

㊲―(2)　第2期　『南方軍政監部資料』全10巻　（'06・1 刊）

vol.11～13　〔１〕〈比島軍政監部資料〉
vol.14～17　〔２〕〈昭南軍監部・ジャワ軍政監部資料〉
vol.18～20　〔３〕〈スマトラ軍政監部司法資料〉

vol. 11～vol. 20・全10巻　ISBN 978-4-8447-5484-8
総約3,600頁　本体価240,000円

㊲―(3) 第3期 『満洲国関係・蒙疆政府関係資料』 全16巻 （'09・5 刊）

vol. 21 { 中国現行法規概説（治外法権に関する研究）
中華民国司法制度（治外法権に関する研究）
vol. 22 中華民国臨時政府民法親族相続編修正案
vol. 23 満洲国司法部総務司調査課司法資料
（1）満洲關於地方法院、地方分庭附設地方庭、懸司法公署、兼理司法懸公署、承審處之事物之管轄（1号）
（2）於北満特別区不動産登記問題（2号）
（3）大理院関於民事習慣之判例及訳集（3号）
（4）満洲に於ける合股―その法律関係を中心として―
vol. 24 満洲国国籍竝会社国籍及資本方策
（南満洲鉄道株式会社経済調査会）
vol. 25 枢密院審査委員会
昭和12年11月1日会議議案
満洲国ニ於ケル治外法権ノ撤廃及南満洲鉄道附属地行政権ノ移譲ニ関スル日本国満洲国間條約締結及関係公文交換一件
vol. 26 枢密院審査委員会
昭和12年11月1日会議議案（続）
満洲国民事法規ノ整備状況
vol. 27 （1）治外法権に関する慣行調査報告書
（2）満洲国治外法権撤廃問題
（3）満洲国の法治建設と治外法権撤廃後の情勢
vol. 28 （1）中華民国刑法・刑事訴訟法（第202号）
（2）大東亜共栄圏に於ける法系樹立の基本理論―それの参考案としての独逸に於ける法律同化の問題―（興亜政治経済研究（第2輯）抜粋）
vol. 29 満洲帝国 新刑法典、同草案、同施行法、新刑事訴訟法典、同草案（第229号）
vol. 30 満洲帝国商事法規（第235号）
vol. 31 満洲帝国 民事訴訟法典・強制執行法典（第237号）
vol. 32 （1）蒙古連合自治政府司法部資料
①暫行商業登記法（第1号）
②阿片と労働・労働者の阿片吸煙の範囲及び影響に関する調査書（第2号）
（2）領事裁判権の撤廃に関する司法部の整備概況（満洲国国務院総務庁情報處）
vol. 33 満洲帝国民法典（第233号）
vol. 34 親属継承法要綱審議録（上）（満洲国司法部）
vol. 35 親属継承法要綱審議録（中）（満洲国司法部）
vol. 36 （1）親属継承法要綱審議録（下）（満洲国司法部）
（2）満洲国治外法権撤廃問題一件（関係条約ノ枢密院審査委員会議事録）

vol. 21～vol. 36・全16巻 ISBN 978-4-8447-5485-5
総約5,300頁 本体価360,000円

東ティモール日本占領期史料フォーラム 編

㊳日本軍占領下の東ティモール視察復命書
―日本・ポルトガル両国当事者の記録―

日本軍占領下の東ティモール。宗主国ポルトガルは、この自領への視察員派遣を迫る。錯綜した国際環境を背景に、同領をめぐる虚々実々たる関係を双方当事者の緊迫した記録によって浮き彫りにする。（'05・9 刊）

ISBN 978-4-8447-8482-4
A5判・180頁 本体価4,000円

三好俊吉郎 著／解題 後藤乾一

㊴ジャワ占領軍政回顧録
付・東インド民族運動の現状（外務省南洋局）

第2次大戦前・中期を通じ、外務省きってのインドネシア通による本回顧録は、月刊誌「国際問題」（日本国際問題研究所）に16回連載された。
外務省勤務26年のうち、16年をインドネシアで過ごした蘭印専門家の目で見た大戦直前時の在留邦人の引き上げや、緊迫の度を増す現地情勢など、当事者ならでは描き得ないきびしい筆致で詳細に綴られている。「ジャワ軍政史」もまた、三好の関わった史料（原本手書き）として、当時の状況を知る上で極めて貴重な史料である。（'09・12 刊）

ISBN 978-4-8447-0020-3
A5判・250頁 本体価6,000円

早瀬晋三 編

㊵フィリピン関係文献目録
—戦前・戦中、「戦記もの」—

ISBN 978-4-8447-0005-0
B5判・463頁　本体価20,000円

ひとつの研究には、教育・研究工具、資料集、一般書、専門書が揃ってこそ発展がある。本書は近現代日本—フィリピン関係史研究のための工具として編集された。解説・目録・索引より成る。

目録のうち、「戦前・戦中」では単行本を基本に雑誌に掲載されたものも加え、総約1,000点余のうち６割を編者は現物確認している。

「戦記もの」では図書館に登録され、インターネットで検索できるもののうち同じく現物確認を行った1,300余点を基本としている。

（'09・12 刊）

東ティモール日本占領期史料フォーラム（代表 後藤乾一）編

㊶第二次世界大戦期 東ティモール文献目録

ISBN 978-4-8447-0021-0
B5判・328頁　本体価15,000円

前大戦時、日本軍の事実上支配下におかれたポルトガル植民地—東ティモールの文献調査の成果を網羅する。

日本語を主とする各国語の関係文献（著作・論文・戦友会誌・新聞記事・地図等）、ポルトガル・オーストラリア・オランダ・イギリス・日本等の公文書館所蔵の一次史料の目録の集成である。すべての項目に英訳を付す。（'08・7 刊）

ラフマット・小野 盛 著／編集・解説 林 英一

㊷インドネシア残留日本兵の社会史
—ラフマット・小野盛 自叙伝—

ISBN 978-4-8447-0202-3
A5判・380頁　本体価8,000円

本書は、国策「南進」によって海をわたった一帝国軍人が敗戦の衝撃によって残留を選択し、インドネシア独立戦争に参加した後、日系インドネシア人として異国で生きた自身の体験記録である。

残留日本兵903名の内2010年現在の生存者わずか３名の中の一人が本書の主人公で、彼が綴った原資料、独立戦争時の「陣中日誌」「戦闘詳報」及び数奇な運命を生きた「生涯の記」の３点を編者の解説を交えて翻刻。

本書の刊行によって、まずは「陣中日誌」という一次史料の発掘による歴史研究の未検証部分の解明が可能となった。さらには、残留日本兵のライフストーリーを、その末裔たちとの生活世界と結びつける新たな視野の拡がりも期待されよう。（'10・6 刊）

編集・解題 小野耕世、木村一信
寄稿文・エッセイ・対談録
加藤 剛、A.D. ピロス、足立 元、
小野耕世、鶴見俊輔

㊸小野佐世男ジャワ従軍画譜

ISBN 978-4-8447-0304-4
AB判変形・198頁・カラー刷　本体価25,000円

1945年７月、敗戦間近のジャワ・ジャカルタにおいて、漫画家・画家の小野佐世男による『ジャワ従軍画譜』（ジャワ新聞社刊）は刊行された。デビュー当時、マンガ界に「麒麟児現る」と評され、風刺画や女性風俗画などで溢れるばかりの才能を発揮していた小野は、「徴用」を受け、三年余りにわたってジャワで宣伝・宣撫活動や文化運動に従事していた。

「幻の書」と言われる本書は、軍政下のジャワ・バリ島の街や村の様子、人々の暮らし、戦争・軍事、また、宗教、風俗、市場、お祭り、自然などを、余すところなく魅力ある筆と文章で描き出している。（'12・11 刊）

ジヤワ新聞社 刊／朝日新聞社 協力
編集 木村一信／解題 後藤乾一、小野耕世

㊹ジヤワ新聞・カナジヤワシンブン
全８巻・総９冊

A3判・各巻平均240頁　揃本体価500,000円

『ジヤワ新聞』は、アジア太平洋戦争下のジャワ（現在のインドネシア）において、1942年12月から日本の敗戦後の1945年９月まで発行された日刊邦字紙である。朝日新聞社が発行事業を担い、軍政下の統治下における行政、経済、文化などの政策とその有様、人々の暮らしや動態、さらには彼の地での戦況なども伝えた。まさに当時の外地の様子を明らかにする第一級の新聞資料である。

そのジヤワ新聞に、同じく現地で刊行された『カナジヤワシンブン』（各号A4判４頁）を加えて一層の内容充実を図り、最終巻に解題を附す。

収　録　内　容

巻号	収録史料名	原本号数	発行年月日（昭和）	本体価格	ISBNコード
1	ジヤワ新聞	1～113	17･12･８～18･３･31	50,000円	978-4-8447-0216-0
2		114～231	18･４･１～18･７･31	50,000円	978-4-8447-0217-7
3		232～349	18･８･１～18･11･30	50,000円	978-4-8447-0218-4
4		350～466	18･12･１～19･３･31	50,000円	978-4-8447-0219-1
5		467～584	19･４･１～19･７･31	50,000円	978-4-8447-0220-7
6		585～702	19･８･１～19･11･30	50,000円	978-4-8447-0221-4
7		703～818	19･12･１～20･３･31	50,000円	978-4-8447-0222-1
8（上）		819～906	20･４･１～20･６･30	70,000円	978-4-8447-0223-8
8（下）		907～966 973	20･７･１～20･８･31 20･９･８	80,000円	978-4-8447-0225-2
	カナジヤワシンブン	1～ 62 64～ 77 79～ 84 86 87以降発行不明	19･12･16～20･３･３ 20･３･17～20･６･16 20･６･30～20･８･４ 20･８･18		

編集 早瀬晋三／解説 河原林直人

㊺南洋協会発行雑誌
『会報』・『南洋協会々報』・『南洋協会雑誌』・『南洋』 1915～44年
解説・総目録・索引
執筆者・人名・地名・事項
全２巻

ISBN 978-4-8447-0319-8
B5判・総650頁　本体価30,000円

南洋協会は1915年の設立以来、率先して南洋地域の情報を収集し、国内における当該地域の認知度の向上を図るべく様々な活動を展開してきた。また、南洋地域に進出する邦人へのサポートにも携わっており、近代日本における「南方関与」の促進を企図した団体であった点については、共通の認識とされている。

その南洋協会に考察を加えた研究は極めて少ないのであるが、同協会が発刊した刊行物は膨大で、当時の南洋地域に関する情報記録はかなり高い評価を受けている。本企画はそれらの認識に立ち、南洋協会を代表する機関誌（全31巻・総358冊）の内容を総じて紹介した、編者ら積年の労作である。（'18･1 刊）

ボルネオ新聞社 刊／朝日新聞社 協力
編集・解題 早瀬晋三

㊻ボルネオ新聞
全13巻

A3判・総3,000頁　　本体価650,000円

「ボルネオ新聞」は、大東亜戦争開戦一周年の1942年12月８日より、日本海軍から委託された朝日新聞社が担当し、南ボルネオ（現在のカリマンタン）地域で発行された。

この「ボルネオ新聞」の注目すべき点は、中部、東部、西部と３地域で発行されていたことに加えて、それぞれ日本語版とマレー語版があり、西部版には中国語版もあったことである。このように、それぞれの言語で書かれた内容の比較ができる『ボルネオ新聞』の利用が容易になることで、日本海軍民政下のボルネオの実情のいったんが、より明らかになることだろう。

＝構　成＝

番号	収録史料名	原本号数	発行年月日	収録号数	総頁数	本体価格	ISBNコード
1	中部版	1～123	17・12・８～18・４・30	122	246	50,000円	978-4-8447-0567-3
2		124～228	18・５・１～18・８・31	105	262	50,000円	978-4-8447-0568-0
3		229～281	18・９・１～18・10・31	53	212	50,000円	978-4-8447-0569-7
4		282～333	18・11・２～18・12・31	52	210	50,000円	978-4-8447-0570-3
5		334～384	19・１・１～19・２・29	51	206	50,000円	978-4-8447-0571-0
6		385～437	19・３・１～19・４・30	53	212	50,000円	978-4-8447-0572-7
7		438～568	19・５・２～19・９・30	109（マ26）	218	50,000円	978-4-8447-0573-4
8	中部版	569～677	19・10・１～20・２・３	81	240	50,000円	978-4-8447-0574-1
	東部版	122～149	18・４・29～18・５・30	39（マ13）			
9	東部版	150～228 46～85（マ語）	18・６・１～18・８・31	116（マ40）	232	50,000円	978-4-8447-0575-8
10		229～333 87～132	18・９・１～18・12・31 18・９・４～18・12・18	95 36（マ）	262	50,000円	978-4-8447-0576-5
11		334～384	19・１・１～19・２・29	51	202	50,000円	978-4-8447-0577-2
12		385～515	19・３・１～19・７・30	86 27（マ）	226	50,000円	978-4-8447-0578-9
13	東部版	516～666	19・８・１～20・１・22	123	260	50,000円	978-4-8447-0579-6
	西部版 解題	178～184	19・９・５～19・９・12	7 7（マ）			

註：（マ）はマレー語頁
（'19・3 刊）

編集 倉沢愛子

㊼倉沢愛子コレクション全二巻
―軍政期インドネシア 散逸希少文献彙報(1942～45)―

第一巻　戦時期
第二巻　終戦処理復員関係

揃ISBN978-4-8447-0604-5
A3判・上製・総480頁　揃本体価120,000円

〔特色〕
① 編者が50年の歳月をかけ国内及インドネシア各地で収集（含僻地）
② 大学、公的研究機関、文書館、図書館では所蔵しない
③ 大部分はインドネシア関係史料
④ 収集史料は軍事関係に限定せず、日常生活に係はるノート、写真、地図、各種証明書、㊙書類、医師試験合格証、官吏登用試験合格証、火災保険証書、子供達の片カナ手紙（日本の子供達への）、新聞切抜き等さまざまで、苦しい中でもたくましく生きる人々の姿を巾広く伝えている。また、終戦混乱時、日本軍が対応した連合軍との戦後処理と帰還のプロセス記録、また不穏な世相の動き等、一部ではあれ今日の日本人が初めて知る生々しい証言の記録である。
⑤ 目次では日・英・イ三ヶ国語で標記
⑥ 新刊㊾のインドネシア日本軍政関係日本語一次史料目録と連結　('19･10 刊)

早瀬晋三 編

㊽「ボルネオ新聞」
解題・総目録・索引

ISBN 978-4-8447-0596-3
B5版・上製・420頁　本体価25,000円（＋税）

ボルネオ島はアジア太平洋戦争期の東南アジア史研究の中で、ほとんど語られたことがなかった。日本海軍「民政」下のこのボルネオ島（カリマンタン）に関する情報を伝える世界唯一の日刊紙、ボルネオ新聞（日語・マレー語標記）を詳細に調査分析。（復刻版ボルネオ新聞全13巻購入の読者には本書１冊贈呈）('19･12 刊)

「目録」編纂委員会 編　南方軍政関係史料㊾

㊾インドネシア日本軍政関係 日本語一次史料目録

ISBN978-4-8447-0605-2
A5判・並製・240頁　本体価5,000円

大東亜戦争期、日本軍占領統治下のインドネシアの歴史史料計529点をまとめ紹介。公文書を中心に企業や個人の私的記録（日記、回想録、書簡、各種証明書、教科書、講義録）などで、日本語に限定して選定。占領期が大部分であるが、開戦前、準備段階のもの、終戦直後の数年間のもの、終戦処理と引き揚げに関する記録、連合軍に提出する報告書など、また回想録類の内未刊行の入手困難なものを収録。なお「倉沢愛子コレクション全２巻」に収集した史料名は本目録にて紹介。　('20.7刊)

地域・内容別史料数		
	ジャワ関係	182点
	スマトラ関係	66点
	海軍関係	58点
	南方全域	26点
	残留日本兵	47点
	終戦処理・復員関係	98点
	朝日新聞社関係史料	52点
	合　計	529点

岡田健治 筆 龍溪書舎 編 南方軍政関係史料⑤⓪

⑤⓪時空はるか 繪手紙「南方画信」

A5判・上製・250頁（カラー） 本体価4,500円

第二次大戦期、インドネシア・スマトラ島パダンに赴任した一人の軍人が昭和17～20年の間、任務の合間に、現地で見聞した珍しい風物や人々の日々の姿を、こまめに軍事郵便ハガキに水彩画で描き、少しばかりのメモや和歌、俳句を書き添えて内地の妻と、娘に送り続けた。その数―百余通。戦時下にありながら、日本人がフト故郷を尋ねたくなるような懐かしさを感じるに違いないそのハガキ―遺族の元にひっそりと保管されていた―「その思い出の数々」が75年の時空を超えて今よみがえる。 （'21･2 刊）

セレベス新聞社 発行
編集・解題 ホートン・ウィリアム・ブラッドリー、
山本まゆみ

復刻版

⑤①セレベス新聞
附コドモシンブン 全９巻(予定)

A3判 総約2900頁（内日文1800頁インドネシア文1100頁）
紹介文は日・イ・英3ヶ国語で標記 揃予価未定

海軍南西方面艦隊民政府および第２南遣艦隊司令部の所在地セレベスは、海軍軍政の要衝であった。『復刻版 セレベス新聞』は、海軍軍政を体系的に知る上でも、当時の社会状況を知る上でも、貴重な史料である。

『復刻版 セレベス新聞』は、セレベス新聞社が発刊した邦字新聞とインドネシア語新聞の２篇からなる。第１篇の全６巻には、『セレベス新聞』マカッサル版、『セレベス新聞』メナド版、『コドモシンブン』を所収し、第７巻から始まる第２篇にはインドネシア語の『プワルタ・セレベス』を所収した。

本復刻版は、ジャワ中心主義的な日本占領期インドネシア研究から脱却し、海軍軍政地域の魁となる研究を生み出す一級の史料である。

構 成（予定）

巻号	言語文	発行地	原紙発刊号	発行年月日（昭和）	頁数	ISBNコード
1	日文	マカッサル	編集序文 1～169	17・12・８～18・６・30	324	978-4-8447-0644-1
2	〃	マカッサル	170～356	18・７・１～19・１・30	310	978-4-8447-0645-8
3	〃	マカッサル	357～539	19・２・１～19・８・31	350	978-4-8447-0646-5
4	〃	マカッサル	540～617	19・９・１～19・10・25	210	978-4-8447-0647-2
			コドモシンブン 2～67	18・６・３～19・10・25		
5	〃	メナド	137～353	18・５・23～19・１・13	304	978-4-8447-0648-9
6	〃	メナド	354～525	19・２・１～19・８・25	296	978-4-8447-0649-6
7	インドネシア文	マカッサル	1～854	17・12・8～20・８・29	未定	978-4-8447-0650-2
8	〃				未定	978-4-8447-0651-9
9	〃				未定	978-4-8447-0652-6
合計					1911(約)	978-4-8447-0643-4

アジアにおける日本の軍・学校・宗教関係資料

近年、かつて「外地」と呼ばれたアジアや環太平洋地域、さらに環日本海地域の研究が大きく展開し、数多くの新しい研究成果が出てきているが、これからはさらにもう一歩歴史に踏み込んで、幕末の開港以降に日本と「外地」がどのような結びつきを持っていたのかを、改めて考えることが求められている。

本企画はそのような考えに基づき、これまで着目されなかった基礎的な史料を順次公開し、新たな研究の時代を開拓しようと試みるものである。

［第１期］

編集・解題 槻木瑞生

満洲帝国学事要覧 全４巻

ISBN 978-4-8447-0231-3
A5判・総1,330頁　本体価100,000円

満洲国教育の公式資料。満洲国が自国の教育を十分に支配しきれていないことを読み取ることが出来る。

満洲国文教部学務司、および同民政部教育司が発行した康徳２年度～同10年度の原本、全８冊を収録。（'11・10 初版 '13・2 2版）

［第２期］

編集・解題 槻木瑞生

満洲国留日学生録 全６巻

ISBN 978-4-8447-0232-0
A5判・総1,900頁　本体価150,000円

これまで一部しか把握されていなかった満洲国留日学生の記録を補う資料。

駐日満洲国大使館が発行した康徳２年度～同10年度の原本、全８冊を収録。（'12・9刊）

［第３期］

編集・解題 槻木瑞生

日本留学中国人名簿関係資料 全７巻

A5判・総2,200頁　揃本体価175,000円

日本は近代国家を作るため、教育の分野で多様な作業をしてきた。また、中国も欧米や日本の姿を見て、自国に必要な情報を得ようとさまざまな努力をし、一般の学校に多くの学生を派遣していた。さらには日本から教習を呼ぶことで、互いに国家の発展を目指したのである。

本資料からは、日本や中国の「文化のぶつかりあい」の姿を垣間見ることができる。（'14・10刊）

収 録 内 容

配本	資 料 名	編著者・発行所等	刊行年月
1	調査資料第９号　日本留学中華民国人名調	興亜院	昭和15年10月
	◆vol. 1～vol. 3　全３巻　本体価75,000円　ISBN 978-4-8447-0230-6		
2	調査資料第27号　日本留学支那要人録	興亜院政務部	昭和17年３月
	（満洲）留日学生名簿（昭和10年６月現在）	日華学会学報部	昭和10年11月
	日本陸軍士官学校　中華民国留学生名簿	日本陸軍士官学校　郭栄生校補	民国64年８月
	留日学務規程及概況（大正７年６月調査）	日華学会編	昭和12年６月
	支那留学生状況調査書（大正８年６月）	東亜同文会編	大正８年６月
	支那人本邦留学情況改善案（大正７年６月調査）	〃	大正７年６月
	中国留日同学会季刊　第１号	中国留日同学会編	民国31年９月
	◆vol. 4～vol. 7　全４巻　本体価100,000円　ISBN 978-4-8447-0233-7		

［第４期］

編集・解題 大東 仁、槻木瑞生

日本佛教団（含基督教）の宣撫工作と大陸―日本語学校―

日本の宗教教団は、大陸でいろいろな関係を持ち、布教活動のみではなく多大な影響を与えていた。この期は、そうした宗教教団の活動を知るための基礎史料である。

本シリーズは、植民地・占領地での「文化耕作」を捉えるものである。そのためには、軍・現地行政と教育・宗教の動向分析が必須となる。これに関連するさまざまな資料を採録し、各々の独立した行動と深い連帯の実態を順次明らかにしていく。

収 録 内 容

	資 料 名	編著者・発行所等	刊行年月
第1集	朝鮮開教五十年誌	真宗大谷派本願寺朝鮮開教監督部	昭和２年10月
	支那事変と曹洞宗	曹洞宗興亜局教学部長　蔵山光瑞	昭和14年11月
	新東亜の建設と佛教	佛教連合会	昭和14年４月
	南京及蘇州に於ける佛教の実情調査	興亜院華中連絡部	昭和15年５月
	光華抄	大谷智子	昭和15年２月
	南京及蘇州に於ける基督教の実情調査	興亜院華中連絡部	昭和15年５月
	満洲に於ける天主教	満鉄鉄道総局営業局旅客課	昭和14年２月
	大陸に於ける宗教工作状況	大倉精神文化研究所調査部	――――
	滞在支那記	谷了然	明治９年６月～明治31年11月
	◆vol. 1～vol. 4　全４巻	本体価100,000円　ISBN 978-4-8447-0234-4（'12・10 刊）	
第2集	真宗本派本願寺台湾開教史	浄土真宗本願寺台湾別院	昭和10年５月
	昭和14年版　宗教年鑑	有光社	昭和14年１月
	満洲国の宗教	満洲事情案内所	康徳６年１月
	康徳十年度　奉天市宗教便覧	奉天市公署行政科厚生股	康徳11年３月
	浄土宗開教要覧	浄土宗宗務所教学部	昭和４年３月
	◆vol. 5～vol. 9　全５巻	本体価125,000円　ISBN 978-4-8447-0058-6（'15・6 刊）	
第3集	東本願寺上海開教六十年史	東本願寺上海別院	昭和12年８月
	中支宗教大同聯盟業務報告	中支宗教大同聯盟	
	中支宗教大同聯盟月報		昭和16年４月～昭和17年12月
	第二年　四号分（六、七、八、九号）		
	第三年　八号分（一、三、四、七、八、十、十一、十二号）		
	第四年　八号分（一、三、五、六、七、十、十一、十二号）		
	昭和十五年　三ヶ月分（二、七、八号）		
	㊙昭和十五年度總会要録	中支宗教大同聯盟	
	中支宗教大同聯盟年鑑	中支宗教大同聯盟	昭和15、16、17年
	中華民国三十年 東亜佛教大會紀要	中支宗教大同聯盟	中華民国30年
	朝鮮諸宗教　全	吉川文太郎	
	㊙ 天理教青年会 満州移民事業日誌 参考資料　第三巻	橋本正治編	昭和10年７月23日～昭和13年６月１日
	◆Vol. 10～Vol. 16　全７巻	揃定価175,000円（＋税）　ISBN978-4-8447-0082-1（'18・12刊）	
第4集 第1回配本	子供の絵本８点（オールカラー）	日本語教育振興会	昭和17年３月～４月
	幼稚園読本２点	商務印書館	中華民国24年４月・６月
	小学日本語読本３点	教育部編審会	中華民国28年９月・11月・12月
	宗教維新臨時号（中華版）	佛教固有研究会	昭和16年11月
	短期小学課本２点	国立編訳館	中華民国25年１月・９月
	対訳 日本尋常小学国語読本１点	東方印書館	昭和12年８月
	日本語読本３点	日本語教育振興会	昭和16年～17年
	◆Vol. 17～Vol. 20　全４巻	分冊本体価100,000円　ISNB978-4-8447-0323-5	

第4集	第2回配本	ハナシコトバ　上・中・下３点	東亜同文会	昭和16年２月～３月
		日本文化読本さくら	日本語教育振興会	昭和17年10月28日
		日語速成	広東迅報社	昭和14年９月３日
		児童故事遊劇４点	商務印書館	中華民国19年６月～７月
		共和国教科書新国文 高等小学校春季始業学生用（第２冊）	商務印書館	中華民国４年６月
		日本語読本１点	東亜学校	昭和10年12月10日
		日本語話方入門（上）	昭和印刷所出版部	昭和14年12月10日
		民衆日本語課本１点	東亜印書局編集部	昭和12年12月20日
		ハナシコトバ学習指導書　上・中	東亜同文会	昭和16年３月・７月
		◆Vol. 21～Vol. 25　全５巻	分冊本体価125,000円　ISNB978-4-8447-0324-2	
	第3回配本	ハナシコトバ学習指導書　下	日本語教育振興会	昭和17年２月
		日福会話集	福州博愛会医院親睦会	昭和３年７月１日
		満州語二十時間教程　上	満州帝国委任官試補	不明
		初級小学校　国語教科書２点	維新政府教育部	中華民国27年８月
		初級小学校　修身教科書１点	〃	〃
		修正　初小国教科書２点	教育部編審会	中華民国27年７月・12月
		修正　初小常識教科書１点	〃	中華民国27年12月
		修正　初小常識教科書２点	〃	中華民国27年
		初級小学校　常識教科書（教育部暫行本）３点	維新政府教育部	中華民国27年８月
		高級小学校　自然教科書（教育部暫行本）４点	〃	中華民国27年８月
		北京同学会語学校々則	北京同学会語学校	昭和11年４月１日
		民衆学校課本（第１・２合訂本）	教育部編	中華民国25年11月
		〃　（第３・４合訂本）	〃	中華民国26年２月
		日本補充読本１点	北京近代科学図書館纂部編	昭和13年３月22日
		新編　時文教本全	光風館書店	昭和14年12月18日
		◆Vol. 26～Vol. 30　全５巻	分冊本体価125,000円　ISBN978-4-8447-0325-9	
	第４集セット◆Vol. 17～Vol. 30		本体価350,000円　ISBN978-4-8447-0322-8	

［第５期］

編集・解題 大東 仁、槻木瑞生

宗　教　調　査　資　料

全７巻

A5判・総2,600頁　　揃本体価175,000円

日本宗教団体による「満洲」開教は、日清戦争直後に始まり日露戦争後に増加。そして「満洲国」建国以後飛躍的な増加をみせる。また「満蒙開拓団」の侵出が始まると、都市部ではなく「開拓地」への侵出が増加する。もちろん「満洲国」には現地の宗教団体も多数存在していた。本史料は、「満洲国」の調査による侵出宗教教団と現地宗教教団を網羅した記録となっている。植民地「満洲国」の宗教事情理解には必携の史料である。

なお、本調査資料には「第４輯　熱河・承徳宗教調査」が存在していることを確認しているが、原本の収集が叶わず、やむをえず未収録のまま刊行することとした。

（'14・12 刊）

収　録　内　容

配本	資　料　名	編著者・発行所等	刊行年月
1	その１　満洲の佛教と其の諸問題	文教部禮教司	康徳２年11月
	第２輯　吉林、間島、濱江各省宗教調査報告書	民生部社会司	康徳４年11月
	第３輯　民間信仰調査報告書	〃	康徳４年12月
	第５輯　満洲宗教概要	民生部社会司禮教科	康徳５年10月
	第６輯　満洲旗人の祭祀に就て	〃	康徳６年６月
	第７輯　基督教調査報告書	民生部厚生司	康徳７年12月
	◆vol. 1～vol. 3　全３巻	本体価75,000円	ISBN 978-4-8447-0205-4
2	第８輯　佛教調査報告書［日本宗教ノ部］	民生部厚生局教化科	康徳８年12月
	第９輯　カライム教調査書	〃	康徳９年11月
	第10輯　喇嘛廟々會と鄂博祭	文教部教化司禮教科	康徳10年11月
	第11輯　開拓地ニ於ケル佛教事情	〃	康徳11年２月
	第12輯　国内に於ける邪教及秘密結社の概要	〃	康徳11年２月
	第12輯　宗教叛亂史	〃	康徳11年４月
	第13輯　満洲國の回教徒問題	〃	康徳11年８月
	◆vol. 4～vol. 7　全４巻	本体価100,000円	ISBN 978-4-8447-0224-5

中京大学社会科学研究所
台湾史研究センター（代表 檜山幸夫）編
解題 東山京子

台湾史研究資料①

殖　産　部　史　料
全８巻

ISBN 978-4-8447-0299-3
A5判・総2,900頁　本体価200,000円

本史料に収録の「殖産部報文・殖産報文等」は、台湾総督府が台湾統治初期の段階で、台湾全土を把握するために総力をあげて行った調査の報告書である。この結果として纏められたこれらの諸報文は、台湾総督府が政策の決定や執行を行ううえで、貴重な情報源であった。（'12・11 刊）

収　録　内　容

・台湾総督府民政局　殖産部報文
　水産之部、林業・鉱業・商工業、農業・雑・各部、度量衡之部
・台湾総督府民政局　殖産報文
　農業・水産・林業・鉱業之部、植民地之部、漁業・塩業之部、拓殖之部
・台湾総督府民政部殖産課　台東殖民地予察報文

ジャワ軍政監部 発行／編集・解題 倉沢愛子

編集復刻版

治　官　報　・　K　A　N　P　O
全８巻

ISBN 978-4-8447-0162-0
A5判　本体価150,000円

『治官報（オサム）』ならびに『KANPO』は、第二次大戦中、占領下インドネシアのジャワで日本軍政当局陸軍第16軍（治集団）が発行していた政府広報である。前者は日本人に対し、後者はインドネシア人に対して発行された。日本の南方占領に関する資料は非常に少なく、これらの官報は数少ない残存資料の一つで、当時の歴史を知る上で非常に貴重な基礎資料である。しかもこの両資料は内容的に重複しない部分がはるかに多い。この幻の史料が、編者をはじめアメリカ、オランダの関係者の長期に亘る努力により、このたびほぼ完全な形で収録整理することができた。これを全７巻にまとめ、解説・総目次・索引（和・英）を付す。（'89・10 刊）

内　容　構　成

治官報（日文）　２巻
〔昭和17年12月～20年８月　全31号（第30号欠）〕
治官報（日文）　２巻
KANPO（インドネシア文）　５巻
〔昭和17年８月～20年８月　全74号〕
附巻（解題・総目次・索引篇）　１巻

後藤乾一 著

日本占領期インドネシア研究
（人名索引付）

ISBN 978-4-8447-8319-0
A5判・362頁　本体価6,000円

今日、日本のODA（政府開発援助）の約10％がインドネシア一国に向けられていることからも分かるように、近年の日・イ両国の経済・政府機関はきわめて「緊密」である。しかし、インドネシア社会には今なお底流として前大戦中の日本軍政に対する複雑な国民感情が横たわっており、それが教育、マス・メディア等を通じ世代を越えて「歴史化」されているのも現実である。本書は、内外の一次史料を駆使し、また国際学界の多彩な研究成果をふまえつつ、日本軍政期のインドネシアの政治、社会経済、文化等の諸相を実証的に考察したものである。従来の研究史において十分に論じられることの少なかったカリマンタン、ティモールに関する論考も、日本軍政下インドネシアの全体像を理解する上での一助となるであろう。（'89・10 初版　'94・７ ２版）

日本植民地研究会 編

年報 日本植民地研究

ISSN 0915-0951　A5判

本誌（年報）は戦前日本帝国主義下の植民地・占領地であった台湾、朝鮮、「満洲」・中国・東南アジアを、政治・軍事・外交・経済・社会・文化・思想などの諸側面から理論的、歴史的、実証的に検討し、その報告をまとめたものである。（第５号以降は当社より刊行せず。詳細は研究会へ。）

内容紹介

創刊号　（'88・11 刊）
本体価2,500円

◎日本植民地（朝鮮）地主制再考……　浅田喬二
◎日本軍政期香港における通貨金融政策の展開…　柴田善雅
◎朝鮮における幣制改革の一考察
——通貨主権の奪取を中心に——……　八木慶和

第２号　（'89・6 刊）
本体価2,500円

◎朝鮮における銀本位幣制改革と
日朝マネタリー・ユニオン構想……　大森とく子
◎南京政府期における棉作改良事業の展開
——湖南省を中心に——……飯塚　靖
◎戦前期日本資本輸出史研究の方法と視角
——対中国借款投資研究を中心として——　須永徳武

第３号　（'90・8 刊）
本体価2,500円

◎第一次大戦中の日本植民地産業政策
——経済調査会の活動を中心に——……　小林英夫
◎第一次憲政擁護運動と朝鮮の官制改革論……李　熒娘

第４号（特集—日本資本輸出）　（'91・6 刊）
本体価3,300円

◎日本の対朝鮮借款について
——開港から「韓国併合」まで——……　大森とく子
◎第一次大戦期日本の対中国借款投資
——財閥資本を中心に——……　須永徳武
◎15年戦争期の日本の資本輸出
——財閥資本の対「満州」株式会社を中心に——…　疋田康行
◎戦後韓国における外資導入
——日本資本との関連を中心に——……郭　洋春

塩谷巖三 著／編集・解題 後藤乾一

わが青春のバタヴィア
—若き調査マンの戦前期インドネシア留学日記—

ISBN 978-4-8447-1459-0
A5判・366頁　本体価4,200円

昭和初期オランダ支配下のインドネシア、バタヴィア法科大学に日本人として初めて留学した若き知識人の原日記である。

著者は27歳の時、台湾総督府の調査マンとして１年半の留学機会を与えられ、その間の大半をインドネシア各地の旅に費やした。

著者らしい新鮮な目で、肥えたオランダ植民地支配下のインドネシア社会、そして旅する地のほとんど至る所で出会う孜々営々と生活に励む日本人の商店主、小農園主らの生活とその心情を描き、調査マンらしい克明なデータと若々しい、そしてユーモアを湛えた筆致で読む者を魅き込み、旅情をかきたてる。戦前期日本人の姿の一面を今に伝える好記録である。　（'87・10 刊）

中野 聡 著

フィリピン独立問題史
—独立問題をめぐる米比関係史の研究（1929～46）—

ISBN 978-4-8447-8464-7
A5判・400頁　本体価5,000円

米・比・日の一次資料を用い、従来ほとんど未検討のフランクリン政権期の米比関係を明らかにする。1930年代米国の主要外交課題＝互恵通商・極東政策、第二次世界大戦後の世界政策との関連、植民地期米比関係のフィリピン・エリートの連続性への影響、戦前日本の対比政策や日本のフィリピン占領の歴史的意味の検討等、米比関係史にとどまらない、アジア、太平洋地域の新たな国際関係史研究の意義を有し、「世界史としてのアメリカ史研究」の新分野を開拓した力作。
（'97・1 刊）

原 不二夫 著

マラヤ華僑と中国
―帰属意識転換過程の研究―

ISBN 978-4-8447-0318-1
A5判・550頁　本体価12,000円

1920年代から60年代までのマラヤ（今日のマレーシア、シンガポール）華僑と中国、とりわけ中国共産党との関係を詳細に分析するとともに、その緊密な関係がいつどのようにして後退し現地に根差した「マラヤ華僑」が形成されたか、を論じた書。

「第２次世界大戦によって東南アジア華僑の現地帰属意識が確立した」との従来の定説を覆す労作。（'01・3 刊）

武島良成 著

日本占領とビルマの民族運動
―タキン勢力の政治的上昇―

ISBN 978-4-8447-5474-9
A5判・270頁　本体価8,000円

ビルマが早期に社会主義色の濃い独立国家となったことは、日本占領期にタキン勢力が急成長したことの１つの政治的帰結だった。本書はこの激動期にメスを入れ、タキン勢力の急成長を可能にした東亜青年連盟（アーシャ・ルーゲー）の成長とその取り込みに注目し、日本軍の対応を、軍内部の構造に留意しつつ考察する。（'03・11 刊）

解題 浅野豊美

復刻版

「外地法制誌（第６部）」
全２巻

vol. 1　関東州租借地と南満洲鉄道附属地［中編］390頁
vol. 2　関東州租借地と南満洲鉄道附属地［後編］560頁

ISBN 974-4-8447-0408-9
A5判・総950頁　本体価30,000円

『外地法制誌』シリーズは、戦後日本の対アジア外交展開のための基礎資料として、昭和30年から44年にかけて外務省条約局により編纂された。植民地化から全統治期間を通じて制定された重要な法令が網羅されて納められ、また、外地法制度が確立されるに至るまでの帝国議会での審議録や、外地法制度の基本的な構造についての戦後の外務省による解説も付されている。更に、文生書院から小林勇之助氏の手で復刻された際には、当事者への聞き取りをふまえたと考えられる極めて詳しい解説まで施されている。

しかしながら、『満洲法制誌』として編纂された15編中、現在までに復刻されたのは、13編だけで、『関東州租借地と南満洲鉄道附属地（第６部）』においては、前編が復刻されているのみで、中・後編は、「内容の性質上、対外的に問題となる箇所があるため、あくまでも部内資料として公開並びに公刊」されてこなかった。

今回、情報公開法が施行され、国家機関で作成され組織的に用いられる行政資料は、すべて公開されることが原則となった。長く、秘蔵され部内参考資料とされてきた「関東州租借地と南満洲鉄道附属地（第６部）」の中編と後編も、ついに公開され、ここに出版が可能となった。何がこの資料を世に出さしめることをためらわせたのか、戦後アジア外交の展開と、戦前の植民地統治との複雑な連関について、さまざまな想念をかき立てずには措かせない。あえて、前出のシリーズとは別に復刻する所以である。（'04・9 刊）

11. 日本大学生物資源科学部国際地域研究所（RRIAP）叢書
農業・報徳（二宮尊徳関係）

◆農　業

大西信治 著

生協運動50年 第2部
満州農村合作社運動の記録

ISBN 978-4-8447-0420-1
四六判・222頁　本体価1,300円

満洲国――実質は関東軍統治下の中国――の東北農民に対し、関東軍統治政策に批判的な日本の合作者運動家の活動は外来的な改良運動とはいえ、誠実にかつ自己犠牲的に活動してこの搾取を排除し、農業技術の向上に一抹の貢献を果した。本書は合作社運動員として、表立たず地味な働きを果した著者の見聞と自己の体験をめぐる関係資料をまとめたもの。（'80・7 刊）

金沢夏樹 編

農　業　と　農　村

ISBN 978-4-8447-0412-6
A5判・304頁　本体価3,800円

元農業総合研究所長・元日本大学農獣医学部教授、渡辺兵力博士の古稀記念論文集。但しこの種の刊行の常識を破り、渡辺兵力氏自身も含め、当代一流の学者、研究仲間による現代農業・農村問題解明の力作集として刊行。（'86・2 刊）
残僅少

日本拓殖学会（編集代表 金沢夏樹）編

日本拓殖学会創立20周年記念出版
農　業　開　発　の　課　題
―経済・技術・社会―

ISBN 978-4-8447-0411-9
A5判・302頁　本体価3,000円

農業開発研究は、自然科学と社会科学とのあらゆる分野からの接近が必要である。それだけに農業開発研究の総合化は難しい。今回、日本拓殖学会創立20周年の記念誌として農業開発に係る経済・技術・社会の問題が論じられる意義は大きい。それぞれ斯界の第一線で活躍している14人の研究者の労作を収録。（'88・2 刊）
残僅少

滝川 勉、広瀬昌平 共編

【金沢夏樹教授退職記念論集】
東南アジア農業生産の課題

ISBN 978-4-8447-8342-8
A5判・274頁　本体価4,500円

日本大学農獣医学部国際地域研究所（当時）の国際研究交流と地域研究を目指した活動は、金沢夏樹教授が所長就任以後急速に展開しつつある。
本論集は東南アジア農業生産の現状と問題点について研究所に関わる自然科学、社会科学両分野の研究者による最新の研究成果を、教授の退職記念として刊行したものである。（'91・12 刊）

金沢夏樹 著

農業経営学と私

ISBN 978-4-8447-8351-0
四六判・206頁　本体価3,000円

農業経営学の泰斗金沢夏樹教授の古稀を記念し、教授の幅広い学問のエッセンスを弟子達が質問の形でまとめる。日本稲作の研究の深化とともに精緻化された金沢農業経営学理論の全体像解明を試みる。

深い学識、幅広い日本農業・アジア稲作への問題関心は若い学徒に極めて示唆に富む貴重な助言となるであろう。

('92・7 刊)

残僅少

広瀬昌平 編／日本大学生物資源科学部国際地域研究所(RRIAP)10周年記念論文集

アジアの食料と環境を考える
―地域研究の新たな展開にむけて―

ISBN 978-4-8447-8467-8
A5判・304頁　本体価6,000円

日本大学生物資源科学部国際地域研究所（RRIAP）設置10年目の記念出版。RRIAP所員、日本大学派遣研究員が東南アジアや中国で現地研究者と共同で行った調査結果に基づく論文11点を収める。

主要テーマは、1．新しい農業システム　2．農業の多様化　3．食料消費と持続可能な食料システムの実現　4．森林消失と環境劣化

('97・2 刊)

松村祝男 著

果樹作と庶民と地域の近代化
―河内みかん発達史―

ISBN 978-4-8447-5511-1
A5判・約487頁　本体価10,000円

本書は、特にこれまで各産地の柑橘史や果樹発達史において、詳らかにされてこなかった昭和恐慌後から戦中・戦後における地域住民のみかん栽培についての国の政策への対応過程が、①自己の生活を守るための抵抗的行動や農地の解放を免れるために園地等の「耕種移動」、「耕作地移動」にみられる果樹農家の「したたかさ」と、②不在地主と位置づけられて僅かな農地を根こそぎ強制買収されていく農地改革時の帰国を希望する海外在留邦人の実態にみられるような「むなしさ」の両面を内包しつつ経過していった近代化の流れを、地域に残る資料を基に実証的に解明する。

('07・4 刊)

金沢夏樹先生追悼論文集編集委員会
（世話人代表 髙橋正郎）編

金沢農業経営学とその展開
―追悼論文・偲ぶ文集―

ISBN 978-4-8447-0301-3
A5判・358頁　本体価6,000円

農業経営学ならびにアジアの稲作農業論に多大の功績を残し、日本の農業経済学界をリードした東京大学名誉教授・元日本大学生物資源科学部教授金沢夏樹先生は、平成22年９月、惜しくも不帰の人となったが、同氏が稲作技術論を基礎に現場から積み上げた数多くの論文は、日本農業経済学会、国際農業経済学会に、また国内のみならずアジア各地の農業発展に多大の寄与を果し、正に金沢農業経営学ともいうべき金字塔を構築している。

本書は、人生訓「大道を行く」を身をもって実践した同氏の教訓を受け継いだ門下生一同中の有志が企画し、同氏の主要学説と回想を紹介すると共に、三十余名の追悼論文・偲ぶ文集を収録し、氏の研究業績、ご遺族の思い出等をまとめたものである。

('11・9 刊)

日本大学生物資源科学部国際地域研究所
（Regional Research Institute of Agricultural Productlon）編　　A5判・並製

日本大学生物資源科学部国際地域研究所（ＲＲＩＡＰ）叢書

日本大学生物資源科学部国際地域研究所（Regional Research Institute of Agricultural Production：RRIAP）は、生物資源科学の国際地域研究に関する学際的な総合研究・調査並びに国際交流を含む教育活動を実施することを目的としている。本叢書はこの趣旨に沿い、同学研究者はもちろん、広く世界各地域の生物資源や生産活動などに関心を持つ読者に情報を提供する。継続刊行の年報である。

①グリーン・レボリューションの20年

ISBN 978-4-8447-0501-7
186頁　本体価2,000円

世界の飢餓問題に対し始まった国際協力による食料増産キャンペーン「グリーン・レボリューション」活動（フィリピン国、ロスバニオスの国際稲研究所の活動と関係稲生産国との関連活動等）の20年間を振り返って、モンスーンという高温多湿の風土の歴史のもとに、形成されて来た農業生産と技術のしくみ、農民のビヘイビャーの特質、さらに、近代化を進めるに当っての政府と農民の間のギャップ等に問題意識をもちながら、農学研究者の目でこれを見つめようとする。（'87・6 刊）

②東南アジアの畜産 —過去・現在と将来—

ISBN 978-4-8447-0502-4
250頁　本体価2,000円

東南アジア農業において「畜産」はこれ迄おくれた分野であったが、今後必ずニューフェースとして展開する新分野であることは間違いない。この観点から家畜と農業の結びつきの深い西欧型農業と比較しつつ、東南アジアで畜産が発展し得なかった要因を分析し、今後の順調な展開を可能にする条件・課題などをさまざまな角度から検討する。（'88・9 刊）

③東南アジア・農業と水

ISBN 978-4-8447-0503-1
150頁　本体価2,000円

東南アジアの「水」の生態がその農業を特徴づけている姿を３つの側面から検討。①温度・降雨量及び降雨の型等からみた自然条件的側面から。②「水」を管理する側（時には政府自身）と利用する側（生産農民）とを対比して考察する政治・社会的側面から。③水を人工的に統御する灌漑の技術レベルの面から。

豊富な水にめぐまれ、可能性豊かながら、しかし停滞的なアジア農業の実態に分析のメスを入れ、その未来を展望する。（'89・11 刊）

④東南アジアの農民とルーラル・デベロップメント

ISBN 978-4-8447-0504-8
184頁　本体価2,000円

1970年代に入り、多くの発展途上国では基本プロジェクトにルーラル・デベロップメントが取り上げられる様になった。食糧増産中心の時代から、都市と農村、近代部門と伝統的部門との格差、農民間での進歩の格差といった問題に論議の中心が移りつつある。それは雇用の創出、文化、教育、産児制限など人間生活の広い範囲に亙っているが、今回は主に雇用問題を中心とする地域振興にポイントをおく。理論的にも政策論上も示唆に富むところ大であろう。（'90・3 刊）

⑤東南アジア農業と日本

ISBN 978-4-8447-0505-5
202頁　本体価2,300円

東南アジア農業の発展方向を考える時も、日本農業の将来を考える時も、東南アジア諸国と日本との共通した環境と課題についての認識が重要である。本集は日本だけでなく中国・マレーシア・タイ・アメリカ等の研究者の参加を得、東南アジア農業と日本の役割についてのレベルの高い議論を展開。（'91・3 刊）

⑥東南アジア農業と環境保全

ISBN 978-4-8447-0506-2
206頁　本体価2,300円

現在世界的規模で環境破壊、環境汚染問題が起っている。農業面では集約的農業生産の追求から化学肥料、農薬の大量使用をもたらし、結果として生態系の破壊と環境汚染を生み出している。今や生態系維持型農業が求められている。本集では東南アジア地域を主要対象に農業にかかわる環境問題に対する多面的接近を試みた。（'92・3 刊）

⑦東南アジア農業開発と環境・資源

ISBN 978-4-8447-0507-9
160頁　本体価2,300円

80年代の後半に入ると、二酸化炭素の増加による気象異変、フロンガスによるオゾン層の破壊、あるいは酸性雨による樹木枯死といった環境問題が地球規模で問題にされるようになった。資源問題は環境問題と密接不可欠の関係にある。本集では統一テーマを資源・環境問題とし、東南アジア地域の資源・環境問題に焦点を置いて、農業開発とも関連してこの問題の実態認識にせまる。（'92・12 刊）

⑧東南アジアの自然・技術・農民

ISBN 978-4-8447-0508-6
166頁　本体価2,300円

今日東南アジアでは国際的関連の下で環境悪化、生態系破壊が生じている。この地域で果たして環境と開発の両立は可能であろうか。東南アジアの自然環境の変化の現実を知り、熱帯的風土下での農業技術のあり方を問う。「自然災害」も単に自然現象と割り切らず、社会的要因をも追求し、環境・生態系・技術の多面的な調査分析報告をまとめる。（'94・3 刊）

⑨東南アジアの食品加工業

ISBN 978-4-8447-0509-3
178頁　本体価2,300円

東南アジアの食品工業を、原料を供給する農村、その原料を使用して伝統的在来食品を加工する町、さらに大都市で大規模企業によって開発された新しい食品加工業、そして、その流通形態等に焦点を当てる。これ等の食品加工業の各国での生産構造を知ることは、食料の多くをかの国々に依存しているわが国としては、重要な問題である。（'95・2 刊）

⑩東南アジアの技術協力をめぐる諸問題

ISBN 978-4-8447-0510-9
194頁　本体価2,500円

わが国が発展途上国に対して資金及び技術援助を開始してからすでに久しい。開始当時と現在とでは、発展途上国の社会経済的環境も大きく変化し、農業生産をとりまく環境も変わった。技術協力のあり方も、それに沿って内容の変化が要求されるはずであるが、実際にはどのように推進され、どのような成果が得られたのか。「技術移転」の本質を考え直す意図の下に、現状認識と今後に解決すべき問題点を提示する示唆に富む報告。（'96・2 刊）

⑪アジアの農業・食料資源を考える

ISBN 978-4-8447-0511-6
200頁　本体価2,500円

21世紀に向けてのアジアは農業・食料に関連するより深刻な問題を内包するであろう。例えば世界人口の60％近くを占める中国とインドの人口増加、急激な工業化と耕地面積の減少、生活の向上と食生活の変化、飼料穀物消費量の増加等々。これらの問題にたち向かう戦略と技術、予想される生活環境の劣化、農業を担う農民自身等をテーマに論議する。（'97・2 刊）

⑫ポスト・グリーンレボリューションを考える

ISBN 978-4-8447-0512-3
194頁　本体価2,500円

グリーン・レボリューションのもたらした食糧増産は多くの地域に恩恵をもたらし、世界平和に貢献したが、同時にもたらされた“負”の経験を多面的に検討。今回は①グローバルに見た人口と食糧問題、②高収量品種の開発、③豊かさにつながる農業生産方式の多様化、④動物蛋白の生産地としての半乾燥地帯の活用の4点につき議論する。（'98・2 刊）

⑬ポスト・グリーンレボリューションを考える Part 2

ISBN 978-4-8447-0513-0
170頁　本体価2,500円

ひとの歴史は餓えとの戦いの歴史であり、食糧増産を目指す努力の歴史でもあった。戦後の品種改良技術の発達、肥料・農薬の開発、農地基盤整備は多くの国々で穀類の増産を実現した。しかし収量増大の光の陰に発生した都会的貧富の格差をはじめとするさまざまな問題について、特に地球環境と自立・援助のあり方を中心に論議。（'99・2 刊）

⑭ポスト・グリーンレボリューションを考える Part 3

ISBN 978-4-8447-0514-7
186頁　本体価2,500円

⑬につづき“緑の革命”のもたらした負の遺産を如何にしてクリアするか。多様な生物資源、土・水資源の多元性と調和した伝統的農業の持つプラスの面をどうとり入れるか。新たなる“続緑の革命”を目指し学際的多面的に議論を展開。（'00・2 刊）

⑮農業と環境の未来 ―土壌から見た環境―

ISBN 978-4-8447-0515-4
152頁　本体価2,500円

土壌の視点から環境を考えようとする。日本ではさほど深刻でないが、土壌侵食、塩類化といった東南アジアをはじめ諸外国で深刻化している問題を基点に、環境問題を考える。（'01・2 刊）

⑯農業と環境の未来 ―水圏から見た環境―

ISBN 978-4-8447-0516-1
188頁　本体価2,500円

人類の諸活動のもと、各種生物が広く深く複雑に関係し合っていることが認識されつつある。特に大きなウエイトを占めている「水圏」の問題にはこれ迄認識の浅かった点は否めない。今回は「水圏」から環境や生態系問題を論議する。（'02・2 刊）

⑰農業と環境の未来
—森林から見た環境—

ISBN 978-4-8447-0517-8
178頁　本体価2,500円

市民とのパートナーシップによる流域環境保全の視点から「森林」に迫る。「流域」とはそれ自体水を介在した人の生活の場であり、流域問題とは資源と水と人との問題でもある。流域管理のテーマを水の問題、都市の問題、ルーラルエリア、要するに農山村と漁村の環境問題としてとらえ議論を進める。（'03・2 刊）

---

⑱農業と生態系
—水田の多面的機能—

ISBN 978-4-8447-0518-5
146頁　本体価2,500円

日本の農業の原点に立ちかえり「水田・米・イネ」をモチーフとしてシンポジュウムをこれから3回に亘って開催する。今回は第1回目として「水田の多面的機能」をテーマとした。生産の場として、環境との調和の面から、そして環境の相互依存性の視点からそれぞれ議論を展開する。（'03・2 刊）

---

⑲農業と生態系 PartⅡ
—米をめぐる経済学—

ISBN 978-4-8447-0519-2
156頁　本体価2,500円

農林水産省の米政策改革大綱決定により自主的な水田農業構造の改善方針が定まったこの時期、日本の水田農業の転換期を迎えるに当り、今日の米問題、水田農業、日本の農業・農村の行方を展望した極めて示唆に富む内容である。（'04・10 刊）

---

⑳農業と生態系 PartⅢ
—ゲノム研究の発展と今後のイネ育種—

ISBN 978-4-8447-0520-8
148頁　本体価2,500円

水田でコメを生産する母体である「イネ」に焦点を当て、育種学の分野からゲノム解析、遺伝子組換え作物、除草剤耐性、虫害耐性、耐湿性、耐寒性品種育成などの研究と成果の現状を紹介する。（'05・10 刊）

㉑グローバリゼーションと食料・生物資源
—21世紀の食料生産・生物資源利用の展望—

ISBN 978-4-8447-0521-5
148頁　本体価2,500円

国際地域研究所20周年記念シンポジウムとして海外から各分野の著名な研究者を招き、それぞれの国での研究内容紹介を通して食料生産と生物資源利用を広汎に展望する。

21世紀には環境の悪化から食料不足に陥るという懸念が一般的であり、この点に留意しつつ課題や対応を探る。（'06・10 刊）

㉒アジアの農業と農村の将来展望

ISBN 978-4-8447-0522-2
118頁　本体価2,500円

第二次世界大戦後、小麦・米の高収量品種の普及と化学肥料の投入の増加に伴い、農業生産は人口増加を上回って増加した。しかし今後さらに増加が予想される世界人口を養う食料を確保する為の問題点として、アジア諸国の所得の向上がもたらしつつある食料消費の構造変化、世界的なグローバリズムの進行によるアジアの農業・農村への正負両面の影響等を水不足、砂漠化、温暖化等の自然環境の急激な変化との関連で掘り下げ議論し、アジアの農業と農村の未来像をさぐる。（'08・2 刊）

㉓東シベリア地域における動物群集の多様性と保全に関する研究

ISBN 978-4-8447-0523-9
124頁　本体価2,500円

シベリア永久凍土地域の動物群集については詳細な調査がなされておらず、環境変遷に伴う貴重な動物種の絶滅が危惧されている。
そこで、東シベリア地域における動物群集の種構成を把握し、その進化的背景と多様性の維持機構についての解明を目的とした日ロ共同の学際的研究報告。多数のカラー写真付。
（'09・10 刊）

㉔アジア農村の環境・エネルギー問題

ISBN 978-4-8447-0524-6
143頁　本体価2,500円

アジアに於ける農業と環境というテーマの中で、とりわけインドネシアを中心として、農村の環境問題とエネルギー問題に焦点を当てての議論。先進国と開発途上国とのエネルギー効率を比較しながら、農業生産性や環境にあたえる影響について討論を行う。（'10・6 刊）

㉕南・東南アジア諸国における都市近郊農業の現況と展開方向

Status and Tendency of Suburban Agriculture in South and Southeast Asian Countries

ISBN 978-4-8447-0525-3
108頁　本体価2,500円

昨今は100年に一度といわれる大不況下で、農業の価値を見直すことが問われる時代に入っている。そこで今回は、都市近郊農業あるいは都市農業について開発途上国、特に南アジア・東南アジアに焦点を当て、これら地域での都市化の進行と共に表れて来た農業環境・生態環境の変化を、三年間に亘って実態調査を行ったプロジェクトの最終成果報告である。（'11・3 刊）

㉖インドネシア東カリマンタン・マハカムデルタにおける開発が陸水生態系に及ぼす影響と環境修復

The development and rehabilitation to Mahakam delta ecosystem

ISBN 978-4-8447-0526-0
232頁　本体価3,500円

今日、環境破壊を伴う産業は、同時に環境保全を強く迫られる。これは東南アジア各国共通の課題で、早急な対応が望まれている。日本大学生物資源科学部国際地域研究所は、この問題関心から東カリマンタン・マハカムデルタ調査のプロジェクトを立ち上げ、インドネシア・ムラワルマン大学と共同で、開発が陸水生態系に及ぼす影響と環境修復についての調査を行った。本書は、その研究成果・関連研究の報告であり、実に両国研究者の19論文（内英文論文16点）を収める。両大学で行われた国際シンポジウムでは、活発な議論が展開された。
（'12・3 刊）

㉗家畜と野生動物の共通伝染病に対する国際地域連携による早期警報システムの構築

Early warning system for emerging zoonotic diseases in Asian regions and the world: the wildlife/livestock interface

ISBN 978-4-8447-0527-7
112頁　本体価2,500円

近年、大きな問題となっている口蹄疫や鳥インフルエンザ、ニューカッスル病等々が、野生動物と家畜、ヒトとの間で、どのような感染ルートを辿っているのか、また、迫っている危険に対し、その対策としての早期警報システムの開発は、どのように構築されているのかについて、各々専門的立場から問題を提起し、議論を行った。本書は、それらの問題について、多方面からアプローチを試みた研究結果の報告書である。（'13・1 刊）

㉘国際的な動物園ネットワークを用いた野生動物感染症の早期警報システム

Wildlife infectious diseases and the early warning system using zoo network of the world

ISBN 978-4-8447-0528-4
160頁　本体価2,500円

国境を持たない野生動物がもたらす感染症対策は、「その制御および監視を動物園で行うこと」「動物園動物と野生動物の感染症情報を、密に交換していくこと」、そして「感染症予防のための早期警報システムの構築」が急がれるという趣旨のもと、国内はもとより、イギリス・台湾・韓国・シンガポール・中国の識者からさまざまな意見報告がなされた。

ここに収録された内容は、世界の動物園ネットワークを構築していく好機となる貴重な記録である。（'14・1 刊）

㉙野生生物の利用管理 ―フードシステム・エコツーリズム・エコビレッジの観点から―

Wildlife Management and Utilization

ISBN 978-4-8447-0529-1
224頁　本体価2,500円

本書は、平成23年度日本大学生物資源科学部国際地域研究所海外研究プロジェクト事業、「野生生物の利用管理―フードシステム・エコツーリズム・エコビレッジの観点から―」の3か年プロジェクトの取りまとめである。その目的は、「寄生虫や病原菌の検査と衛生管理体制の比較」「農村地域づくりや居住地づくり」などの調査結果から、野生生物との共生型地域づくりの論点を明らかにすることであった。

この調査内容について、まずはじめに各年に実施された派遣・招聘事業の成果報告を掲載し、最後に取りまとめとして国際シンポジウムでの講演内容を収録した。（'15・1 刊）

㉚東アジアにおけるローカルフードシステムの再編と展望

ISBN 978-4-8447-0530-7
212頁　本体価3,000円

近年進みつつあるグローバル化によって、フードシステム、いわゆる食品自給率の問題、食の安全・安心、その他にいろいろな問題が出てきている。その中で、ローカルフードシステムというものが見直されるようになり、地場産業が発展してきている。

本シンポジウムでは、それらの問題について韓国・中国・台湾、そして日本での取り組みについて議論し、今後の新たな展開を検討しようとする場が持たれた。（'16・2 刊）

㉛休閒・福祉農業の現状と農地保全に係る今後の展開

ISBN 978-4-8447-0531-4
230頁　本体価3,000円

台湾において、行政院農業委員会の主導によって振興が図られている休閒農業の有用性と農地保全の方策について考察し、日本・台湾および韓国での今後の展開方向について調査・検討したプロジェクトの記録。国の政策とも言える台湾の休閒農業の研究を行うことにより、これによる農場運営計画等の技術指針を取りまとめるとともに、東アジア国際休閒農業学会の設立をも目指している。（'17・1 刊）

㉜昆布食文化のロシアにおける普及ならびに昆布産業の振興に向けて

ISBN 978-4-8447-0532-1
260頁　本体価3,000円

天然ものの昆布が獲れる環境にあるロシアにおいて、さらなる昆布食文化の普及と、今後の産業振興の方向性について議論がなされた。

実際に普及活動を行うにあたり、現在の問題点はなにか、消費者が興味を示す宣伝方法は、食卓での消費を則す調理法は、といった提案から、需要が増えることに対応する産業の振興の仕方についてなど、具体的な話が展開された。（'18・2 刊）

★32号を以って当社からの本シリーズは終了致します。長期間御愛書ありがとうございました。

◆報徳（二宮尊徳関係）

神谷慶治 講述／川口 諦、佐々木豊 共編

二宮尊徳を現代においてどう捉えるか

むらづくりの原理
―二宮尊徳に学ぶ

ISBN 978-4-8447-0422-5
四六判・256頁　本体価1,800円

晩年の尊徳の特徴は、「仕法雛型」。これを一種の社会発展計画のようなものだとすると、その思想はそのまま現代につながる。（“はじめに…”より）

（'81・11 刊）

渡辺利春 著

二宮尊親の北海道開拓

ISBN 978-4-8447-0423-2
B6判・192頁　本体価1,200円

二宮尊徳が、疲弊その極に達した、各藩の財政建て直しと貧苦に喘ぐ農民救済に当った偉大な業績は、勿論経済繁栄を目ざしたものである。しかし、尊徳はその裏打ちとしての精神的支柱を打ち建てることに、より懸命であった。ここに尊徳の独自の世界を見出すことができる。この精神を未開の北海道に開拓という姿で顕現させたのは、尊徳の弟子たちと、嫡孫尊親であった。

（'79・11 刊）

12. 書誌［総目次・索引含む］・年鑑・目録

桜井義之 著

増補 朝鮮研究文献誌
［明治・大正編、附 昭和編（遺稿）］

ISBN 978-4-8447-9349-6
A5判・総700頁　本体価17,000円

既刊「明治・大正編」は桜井義之氏の名著として朝鮮研究者には必携の書であるが、平成３年逝去された同氏の遺稿中に昭和編の草稿がかなり発見され、今や忘れられようとする文献も含まれていたために増補版を別冊として加え刊行することとした。（'79・10 初版 '88・2 2版）

朝倉治彦 編／解説 槌田満文

『風俗画報』
目次総覧

ISBN 978-4-8447-0435-5
B5判・472頁　本体価23,000円

『風俗画報』本誌が他社において復刻刊行されたことは周知のことであるが、本書は、その一半を成す“総目次”である。創刊号～478号、および“新撰東京名所図会”第54編～第64編、“大日本名所図会”第65号～第92号のすべてを細目として収載したものである。なお巻頭には槌田満文氏による詳細な解説を付した。（'87・11 2版）

残僅少

龍溪書舎編集部 編

『海軍省日誌』
索引

ISBN 978-4-8447-0330-3
A5判・44頁　本体価1,000円

復刻版『海軍省日誌』全４巻（明治９年～15年）から人名・事項別の索引を記載。（'89・11 刊）

監修 市古宙三／塚瀬 進 編

近代日中関係史研究論文目録
（1946～1989）

ISBN 978-4-8447-8330-5
A5判・280頁　本体価4,500円

戦後の近代日中関係史研究は多くの優れた成果を生み出し、その内容もますます深化して来た。しかしその進展と共にいくつかの研究潮流が形成され、それぞれの側での研究が志向されつつある。特に「近代日本史側」と「近代中国史側」との相互理解が不十分となって来たが、原因の一つには文献目録の欠如があげられる。本書は以上の問題認識に立ち、企画された。（'90・8 初版 '91・12 2版）

インドネシア日本占領期史料フォーラム 編
【責任編集 高橋宗生、秋野晃司、後藤乾一】

南方軍政関係史料㉛

インドネシア日本占領期文献目録

ISBN 978-4-8447-8454-8
B5判・386頁　本体価12,000円

本文献目録は、昭和17年～20年の終戦にいたるインドネシア日本占領期を対象にした、世界最初の総合的文献目録である。10年以上にわたって広範な蒐集活動を行った結果、邦文図書、外国語図書、邦文雑誌論文、戦友会会誌記事、陸・海軍公文書、日記など約2,000タイトルを精選し、全ての文献に英訳とヘボン式ローマ字を付して８章に分けて収録した。国内外のインドネシア日本占領期に関する研究には、多様な視点と評価があり、本文献は研究の一層の進展を願って編集された。（'96・12 刊）

宮島太郎 著

ロシア語図書目録法入門

ISBN 978-4-8447-0428-7
B5判・156頁　本体価12,000円

本書は、ソ連邦の目録規則に依拠しつつ、AACRやISBDを考慮しながら、もっぱらわが国におけるロシア語図書目録作成の実務上の指針を与えるものである。（'81・10 刊）

喜田昭次郎 著

現代中国外交研究文献目録
（1949―1980）
BIBLIOGRAPHY OF STUDIES ON CONTEMPORARY CHINA'S FOREIGN POLICY IN JAPAN

ISBN 978-4-8447-0430-0
A5判・254頁　本体価3,500円

日本における現代中国外交の研究成果を網羅的に収録（収録文献約5,000点）。1949年から1980年にいたる約30年間に邦文で公刊された中華人民共和国の対外活動関係についての単行本・論文が収められている。とくに論文には、いわゆる「時評論」、総合誌に掲載される関連論文を含み、また、関係史料集や邦訳史料も若干収録した。末尾に著者索引を付す。（'82・5 刊）
残僅少

龍溪書舎編集部 編

『協　　和』
総目次

ISBN 978-4-8447-0439-3
B5判・100頁　本体価1,500円

満鉄社員会発行、雑誌『協和』全300号の各号目次・頁を収録。（'83・9 刊）
残僅少

龍溪書舎編集部 編

『社　会　福　利』
解説・総目次・索引

ISBN 978-4-8447-0436-2
A5判・130頁　本体価3,000円

雑誌『社会福利』（大正６年４月～昭和19年６月）全225冊について解説・総目次・著者名索引を記載した。（'84・8 刊）

武田 勉 編

『帝　国　農　会　報』
記事索引目録

ISBN 978-4-8447-0429-4
B5判・130頁　本体価8,000円

戦前系統農会の中央機関誌「帝国農会報」に収録されているほとんどすべての記事を検索し得るよう整理分類する。（'86・7 刊）
残僅少

龍溪書舎編集部 編

『蘭 学 資 料 研 究』 附巻
解題・総目次・索引篇

ISBN 978-4-8447-0352-5
A5判・188頁　本体価8,000円

蘭学資料研究会刊行の『蘭学資料研究』第１号～316号迄を全24巻にまとめて復刻。これに対応して解題・総目次・索引（人名・書名・事項）を記載した。解題は杉本勲、石山洋、向井晃、片桐一男、藪内清、総目次・索引は朝倉治彦による執筆。
（'86・6 初版
'87・10 2版）

編集 川合隆男

近代日本社会学関係雑誌記事目録
附・執筆者別索引

執筆者約2,200名／収録記事数約18,000
収録雑誌32誌（明治７年～昭和25年）

ISBN 978-4-8447-8452-4
B5判・680頁　本体価50,000円

本書は『明六雑誌』（1874－75年）から、戦後日本社会学が再出発し『社会学評論』が新たに刊行（1950年７月）される以前までの、32点の主な社会学関係雑誌の記事目録を収録したものである。

明治初年以降の数多くの社会学関係雑誌記事目録を個別の雑誌の個々の記事目録にとどめず、同一の書誌に編纂した点で画期的である。

本書には近代日本が歩み出す中で、人間学、交際学、世態学、社会学等が渦巻き、学問運動としての社会学、社会学界、社会学会の草創、形成、変転する様が刻み込まれている。（'97・４刊）

収録雑誌名一覧

『明六雑誌』
『社会雑誌』
『社会』
『社会学雑誌』（社会学研究会）
『丁酉倫理会講演集』
『丁酉倫理会倫理講演集』
『日本社会学院年報』
『社会学研究』（日本社会学院）
『日本社会学研究所論集』
『社会及国体研究録』
『社会学雑誌』（日本社会学会）
『季刊社会学』（日本社会学会）
『（年報）社会学』（日本社会学会）
『社会学研究（年報）』（日本社会学会）
『社会学研究』（日本社会学会）
『文化社会学叢書』
『社会学』
『唯物論研究』
『学芸』
『東京社会科学研究所年報』
『社会哲学社会科学評論』
『社会学評論』
『社会学研究』（東京社会学研究会）
『季刊社会学』（東京社会科学研究所）
『家族と村落』
『社会学徒』
『大原社会問題研究所雑誌』
『月刊大原社会問題研究所雑誌』
『社会科学』
『社会圏』
『季刊社会科学評論』
『東亜社会研究』

阿部 洋 編

『日本植民地教育政策史料集成(朝鮮篇)』
総目録・解題・索引

ISBN 978-4-8447-8341-1
A5判・200頁　本体価5,000円

日本植民地教育政策史料集成（朝鮮篇）の収録資料全９篇約300点について利用者の便を計るべく、「総目録」、「解題」、「書名索引」をまとめたもの。（'91・7 刊）

近代アジア教育史研究会（代表 阿部 洋）編

近代日本のアジア教育認識・目録篇
―明治後期教育雑誌所収中国・韓国・台湾関係記事―

ISBN 978-4-8447-8383-1
B5判・200頁　本体価9,000円

日清・日露戦争以後、日本の各種教育雑誌には中国・韓国・台湾等の教育文化に関する論説・記事が盛んに掲載されるようになる。これ等を通してアジア諸国の教育文化の具体的状況を把握し、近代日本におけるアジア教育認識の形成過程を知ることができる。既刊の「明治後期教育雑誌にみられる中国・韓国教育文化関係記事目録」（1989年）を一層充実し、新たに「台湾の部」を加え、「資料篇」の姉妹篇として発展的に内容を一新。（'95・７刊）

大阪図書出版業組合（昭和11年５月）編刊

復刻版
享保以後 大阪出版書籍目録

ISBN 978-4-8447-6477-9
A5判・500頁　本体価15,000円

大阪図書出版業組合事務所に江戸時代中期から唯一保存されていた古記録、開板御願書扣、裁配帳、差定帳（京都・江戸の記録は全く亡失）に拠って作成された出版書籍目録。書誌学上重要文献。

書名索引、著者索引、絶版書目の３種を加え、さらに組合沿革の概略を記載している。当時の文化事情が反映されていて興味つきない。

（'98・5 初版
'02・9 2版）

早瀬晋三 編

『比　津　賓　情　報』
—解説・総目録・索引（人名・地名国名・事項）篇—

ISBN 978-4-8447-5449-7
A5判・300頁　本体価8,000円

本誌の内容だけでなく、発行母体だった比律賓協会の概要も合わせて詳細に紹介する。
（'03・5 刊）

早瀬晋三 編

南方軍政関係史料㉘

「領事報告」掲載フィリピン関係記事目録
1881–1943年

付録1.「通商月報」・「通商彙報」・「南方院時報」（大阪発行）
付録2.「日本外交文書」・「外務省外交史料館文書」（戦前・戦中）

ISBN 978-4-8447-5450-3
B5判・300頁　本体価12,000円

「領事報告」と呼ばれる通商経済情報は、政治的外交的情報とは区別され、民間業者の要望に応えるため、定期的に編集・刊行された。その内容は、当該地の消費者のニーズを知るための単なる通商経済情報に留まらず、風俗・習慣・流行に至るまで幅広く、詳細にわたっており、日本と当該地の関係史を研究する者にとって、欠くべからざる史料である。今日のグローバル化のなかで、日本史やフィリピン史研究者だけでなく、さまざまな地域・分野の人の利用を期待したい。（'03・5 刊）

マラヤ日本占領期史料フォーラム（代表 明石陽至）編

南方軍政関係史料㉗

マラヤ日本占領期文献目録
（1941–45年）
付 戦前期日本マラヤ関係文献目録

ISBN 978-4-8447-0022-7
B5判・322頁　本体価11,000円

マラヤ・シンガポールの日本軍政期に関連する三千余のタイトルを、各分野の研究者が編纂した初の文献目録。日本の防衛研・徳川資料、日記、現地や英・米・豪の公文書や研究書等、日・英・馬・華語の史・資料を所収。（'08・1 刊）

東ティモール日本占領期史料フォーラム（代表 後藤乾一）編

南方軍政関係史料㊶

第二次世界大戦期
東ティモール文献目録

ISBN 978-4-8447-0021-0
B5判・328頁　本体価15,000円

前大戦時、日本軍の事実上支配下におかれたポルトガル植民地—東ティモールの文献調査の成果を網羅する。
日本語を主とする各国語の関係文献（著作・論文・戦友会誌・新聞記事・地図等）、ポルトガル・オーストラリア・オランダ・イギリス・日本等の公文書館所蔵の一次史料の目録の集成である。すべての項目に英訳を付す。（'08・7 刊）

後藤乾一、松浦正孝 共編

『大　亜　細　亜　主　義』
解説総目録篇

ISBN 978-4-8447-0491-1
A5判・310頁　本体価15,000円

復刻版『大亜細亜主義』全26巻の解説と収録した原本108号分の目次集を合せて利用の便宜を計り別冊として作成。（'08・9 刊）

早瀬晋三 編

南方軍政関係史料㊵

フィリピン関係文献目録
―戦前・戦中、「戦記もの」―

ISBN 978-4-8447-0005-0
B5判・463頁　本体価20,000円

ひとつの研究には教育・研究工具、資料集、一般書、専門書が揃ってこそ発展がある。本書は近現代日本―フィリピン関係史研究のための工具として編集された。解説・目録・索引より成る。
目録のうち、「戦前・戦中」では単行本を基本に雑誌に掲載されたものも加え、総約1,000点余のうち6割を編者は現物確認している。
「戦記もの」では図書館に登録され、インターネットで検索できるもののうち同じく現物確認を行った1,300余点を基本としている。（'09・12 刊）

龍溪書舎編集部 編

『明治後期産業発達史資料（Ⅰ～XV期）』
総目録・書名索引

ISBN 978-4-8447-0307-5
A5判　本体価1,100円

第1期第1巻から第15期第865巻に収録された資料の、総目録および書名索引を記載。
（'12・6 刊）

早瀬晋三 編

『南方開発金庫調査資料』附 巻
解説・総目次・索引

ISBN 978-4-8447-0316-7
A5判・200頁　本体価10,000円

復刻版『南方開発金庫調査資料』全17巻の解題と収録した原本の目次集を合せ、利用の便宜を計り別冊として作成。（'15・7 刊）

阿部 洋 編

『日本植民地教育政策史料集成（台湾篇）』
総目録・解題・索引　全2巻

ISBN 978-4-8447-0159-0
A5判・840頁　本体価40,000円

日本植民地教育政策史料集成（台湾篇）全12集の収録資料について利用者の便を図るべく、「総目録」「解題」「書名索引」をまとめたもの。
（'19・12 刊）

13. その他

小鯖英一 著

真 説 八 百 屋 お 七

ISBN 978-4-8447-5448-0
四六判・88頁　本体価750円

没後300年紀、恋人会いたさに放火した八百屋お七の実像を探る。
目次より――
西鶴の描いたお七・お七七変化―歌舞伎の中のお七・落語の中のお七・お七火事―記録の中のお七・江戸時代の刑罰・お七の処刑と西運・吉三郎哀話・悲恋の結果　('82・5 刊)

14. ヨーロッパ古典 ほか

邦訳図書シリーズ

パウサニアス 著（A.D.2C）／飯尾都人 訳編
すいせん　久保正彰、福部信敏、藤澤令夫、藤縄謙三、松平千秋、三浦一郎、矢守一彦、山口昌男

パウサニアス
ギリシャ記
全2巻

ISBN 978-4-8447-8333-6
A5判・総1,170頁　本体価22,000円

西欧文明不朽の源泉、それは古代ギリシアである。そのギリシアが一千年近くにわたり築き上げた文化財を、ギリシア滅亡寸前の2世紀に生きたパウサニアスは、そのほとんどすべてにわたって描写解説を加えながら一つの旅行記風の記録として「ギリシア記」を遺した。彼はアテネ・オリンピア・デルポイの大遺跡はもとより、大小250余のポリス、村落に至る迄足を踏み入れ、その他の神域・神像・祭祀の由来や現状を書き記した。本書は近代ギリシアの遺跡発掘はもとより、美術・文学・宗教・民俗・歴史等の分野に貴重な数多くの資料を提供し、当時の多くの奇談秘話をちりばめて読み物としての楽しさも狙っている。本邦初の全訳刊行。詳細な訳注・解説付。訳者の8年余にわたる労作である。（'91・1 刊）

収録内容

第1巻（原書全10巻）
- 1巻　アテナイ
- 2巻　コリントスとアルゴリス地方
- 3巻　ラコニア
- 4巻　メッセニアの各地方
- 5巻　オリュンピア
- 6巻　オリュンピア
- 7巻　アカイア
- 8巻　アルカディアとペロポネソス半島
- 9巻　ボイオティア
- 10巻　デルポイ

第2巻
- 訳注・索引・解説篇

竹島俊之 訳
すいせん　塚田孝雄、中井久夫、長谷川博隆、前田耕作

ポリュビオス
世界史
全3巻

揃本体価40,000円

第1巻　ISBN 978-4-8447-5486-2
A5判・604頁　本体価15,000円

第2巻　ISBN 978-4-8447-5487-9
A5判・508頁　本体価13,000円

第3巻　ISBN 978-4-8447-5488-6
A5判・506頁　本体価12,000円

ローマの将軍スキピオがカルタゴとの抗争を通して世界制覇を成し遂げた興隆期の、そして共和制全盛時代のローマを描いた作品。Ⅰ部は第一次ポエニ戦争、傭兵戦争などを描いた第1巻、アカイア同盟成立時代のギリシャの情勢を記述した第2巻、第二次ポエニ戦争の開始、ハンニバルが象を率いてのアルプス越え、カンネーの会戦などを描いた第3巻、同盟戦争を描いた第4巻・第5巻、ローマの国制、軍事組織、リュクールゴスの法典を説明した第6巻を含む。以下、Ⅱ部第7巻―第18巻、Ⅲ部第19巻―第39巻に分けてウォールバンク『ポリュビオスの歴史的な注釈書』に依拠しながら詳しい脚注を加えてギリシア語原典からの「直接全訳」が初めて完成。興隆するローマがやがてヘレニズム世界を呑み込んで行く壮大な世界史のうねりが、英雄群像活躍の舞台を一本の歴史線上に結びつけ、日本語で語られる。

解題、訳注、索引、ヘレニズム世界地図及び地図索引付。（'07・7 刊）

飯尾都人 訳
すいせん　中務哲郎、橋本隆夫、長谷川博隆、
藤澤令夫、藤縄謙三、前田耕作

ストラボン
ギリシャ・ローマ世界地誌
全２巻

ISBN 978-4-8447-8377-0
A5判・総約1,600頁＋地図150点　本体価35,000円

パウサニアス「ギリシア記」と共に、ギリシア古典史の地誌の双璧ともいうべき名著全17巻（原典）の本邦初全訳。ヨーロッパ・アジア・アフリカの三大陸に及び、西暦１世紀前後の世界帝国ローマが認知し得た限りの世界地理を豊富な資料をもとに幅広く記述。地理記述の歴史と方法をテーマとした２巻と「人の住む世界」を三大陸に分け、統一した順序で説明する15巻とから成る。「ギリシア記」をギリシア古典における地域誌の精華と称するとすれば、本書は世界地誌として、まさしく百花繚乱の園に比するにふさわしい壮大な古典であり、古典古代世界について、様々な研究分野での情報の無比の宝庫である。本書では150枚に上る詳細な地域図を挿入するという極めて困難な作業も敢行した。（'94・7 刊）

収　録　内　容

第１巻　ホメロス詩の地誌的解釈と地形変化成因論
第２巻　人のすむ世界の測定と区分の実際及び世界地図の作成と概要

ヨーロッパ

第３巻　イベリア／第４巻　ガリア／第５巻　北・中部イタリア／第６巻　南部イタリアとシケリア島／第７巻　ギリシア以北の世界／第８巻　ペロポネソス／第９巻　ギリシア本土東部とテッタリア／第10巻　ギリシア本土西部とクレタ島

アジア

第11巻　北方アジア／第12巻　黒海南岸とその内陸／第13巻　トロイア地方とその周辺／第14巻　イオニア地方と小アジア地中海沿岸／第15巻　東方アジア／第16巻　中東アジア

アフリカ

第17巻　リビュア

ディオドロス、ポンポニウス・メラ、プルタルコス等 著(前1世紀)
飯尾都人 訳　●解説、訳注、索引付
すいせん　青柳正規、塚田孝雄、中務哲郎、
藤澤令夫、藤縄謙三、前田耕作

ディオドロス
神　代　地　誌

ISBN 978-4-8447-8472-2
A5判・1,000頁　本体価25,000円

シケリア島生れのディオドロスは、その著「ビブリオテーケー」（世界史）40巻のうち、最初の６巻を特に「アリカイオロギア」と名付けた。本書には先ず、この６巻（うち第６巻は断片）の訳を収める。これらの巻のなかで著者は、従来の神話を人類文明の展開史の反映と前提した上で、諸民族の神話を解釈し直し、合わせて、以下の歴史展開の舞台となる世界を、いくつかの地方や諸族ごとに、地誌的に概説して行く。なかでも、巻１エジプト誌は、神話、歴史、習俗の諸分野にわたって詳細な記述を含み、巻３の未開諸族誌は、ストラボン地誌と同一資料に拠りながら相補的な記述を残している点で貴重であり、巻５島嶼誌は地誌の枠組みのなかで神話を物語るという特異な構想を立てる。

本書にはまた、ラテン語による地理書として周知の肝要の書ポンポニウス・メラ「世界地理」と、ローマ世界に広がったエジプトのイシス信仰についての優れた紹介と批評を含むプルタルコス「イシスとオシリス」をも収める。（'99・6 刊）

収　録　内　容

ディオドロス「神代地誌」
　第１巻前篇　エジプト誌
　第１巻後篇　エジプト誌・続
　第２巻　アジア誌
　第３巻　エリュトラ海沿岸諸族誌とリビュア神話
　第４巻　ギリシア神話
　第５巻　島嶼誌
　第６巻　ギリシア神話（断片）
ポンポニウス・メラ「世界地理」
　第１巻　アフリカとアジア
　第２巻　ヨーロッパ
　第３巻　三大陸のオケアノス大洋沿岸
プルタルコス「イシスとオシリス」

編集・解題（和文）塚田孝雄

復刻版 龍溪西欧古典叢書

Ryukei Reprint Series: *Rare and valuable editions of the European classics*

古典はいにしえの聖賢や文豪たちの住む壮麗な宮殿であって、万人のために開かれている。たまたま前を通りかかってその苑囿の美を見、ここを訪れようと欲する人は、だれでも広い門を過ぎて立派な客室に通され、希望する賢人、高士に面会することができる。

翻訳もしくは対訳という「通訳」を利用すれば、彼らはその薀蓄を傾けて、何時間でも親切に相手になってくれるだろう。これによって得られる面会者の利益は量り知れない。釈迦やイエスの教えも翻訳という「通訳」によって東西に伝えられたのである。

しかしこの宮殿に住み、苑囿を逍遥する古人のことばを直かに聴き、その滋味を味わおうとすれば、それに対応した心構えと準備が必要となる。古人の述べる清澄な論旨を素直に汲み取り、話のひだに潜む面白さを感得し、話者の心の微妙な動きや、流暢さと渋滞を鋭く嗅ぎ分ける稽古を前以てしておかねばならない。また及ばぬまでも古人と同じ立場に立とうとする心構えも欠くことができない。

このたび刊行を開始する『西洋古典叢書』は上のような研究者が遥かな遡源を日夜願いながら、古書の入手難、図書館の不備などのために、心ならずも現代の欧米学者が校訂・編纂して、赤、青、黄などの表紙をつけたテキストや対訳本を繙くのみで――もちろん便利で卓越したものが多いが――これまで利用できなかった初版、古刊本、古注などの良心的な復刻であり、研究者多年の渇をいやすことを目指している。上はホメロス、ウェルギリウスなど希羅の古典から、下は中世、ルネサンスの稀覯書に及ぶ。いずれも詳細な解題、関係書誌を添付し、利用者の便宜を図るので、古典学にとどまらず、思想家、地理、民族、説話、博物などの研究者にとっても大きな福音となることであろう。

---

①Plutarch, The Lives of the noble Grecians and Romans,

London, 1603, Folio, translated by Sir Thomas North

ノース英訳

『プルータク英雄伝』 全2巻

ロンドン、1603、二つ折り判

ISBN 978-4-8447-5354-4
A4判 1,390頁・解題46頁 計1,436頁　本体価65,000円

シェークスピアが愛読して、『ジュリアス・シーザー』や『アントニーとクレオパトラ』の材料とした刊本と同種のもので、わが国の英文学者が是非１部を坐右に置きたいと望む稀覯書。このノース（c. 1535-1601）訳は、1559年に出たアミヨ（Jacques Amyot 1513-1593）の有名な仏訳から重訳したもので、初版が1579年、２版が1595年、３版が1603年に出ているが、エリザベス一世治下の英国勃興期に特有の精気に溢れた名訳である。本書は15世紀に完成したラテン訳の伝統を受け継ぎ、ギリシア原文には含まれていない「ハンニバル」や「シャールマーニュ」の伝記も載っている。カイロネア生まれのギリシア人プルタルコス（Plutarchos, c. 46-120 A.D.）はアカデミア派の哲人で、ギリシアとローマから一対ずつ人物を選び、約50人の『対比列伝』を作成した人として知られている。

『列伝』の中の対比人物としてはアレクサンドロスとカエサル、デモステネスとキケロ、ペリクレスとファビウスなどが名高い。

ギリシア原文は当時の日常の文語文で、ペリオドが長く、歴史家トゥキュディデスの簡勁にして豪宕な文体とは大いに異なっており、やや平板なきらいはあるものの、温和で悠揚迫らぬ人柄が滲み出ている。

後世に与えた影響は非常なもので、中世、ルネサンス、近代のいずれの時期にも多くの人々に愛読された。

（'93･5 刊）

②Giambattista Basile, Il **Pentamerone**
(Lo Cunto de li cunti),
Napoli. 1645. 13.5cm×7cm.

バジーレ
『ペンタメローネ』
(五日物語)

ナポリ、1645年、13.5cm×7cm、(伊文)
ISBN 978-4-8447-5355-1
A5判・本文660頁＋訳、梗概、解題300頁
本体価35,000円

本書はナポリ総督G. バジーレ（c. 1573～1632）がナポリ方言で綴った物語で、ストラパローラの『楽しい夜々』とともにヨーロッパ最古の包括的民話集であり、後世のペローやグリム兄弟に大きな影響を与えた。ペンザー（N.M. Penzer）英訳（1932）第2巻所収の「書誌」によれば、この1645年版は英国で1部、イタリアで3部がわずかに記録されているだけという超稀覯本であるが、今回の覆刻に当っては、幸い入手し得た2部を用いた。50話の内編者により、20話邦訳、30話梗概紹介が為され、解題を含め全300頁の和文が加わった。

【ペンタメローネの内容】5日間50話から成る「枠物語」で、ボッカッチョの『デカメローネ』、アラビアの『千夜一夜物語』、ソーマデーヴァの『カター・サリット・サーガラ』などと同じ形式をとる。第1日（鬼の話、ミルテの木、ものぐさペルオント、抜け作ヴァルディエロ、蚤、シンデレラ、石投げチェンツォ、山羊顔姫、魔法にかけられた鹿、皮を剥がれた老婆）、第2日（鬼女のために塔に閉じ込められたペトロシネラ、ヴェルデプラト王子、姉たちにいじめられたヴィオラ、猫のおかげで紳士になれたガリウゾ、大蛇、雌熊、鳩、奴隷にされたリザ姫、錠前、悪しき隣人）……というような具合である。

（'94・7 刊）

---

③Homerus, **Ilias,** Villoisoni.
Venet. 1788, Folio Gr.

ホメロス
『イリアス』
ヴィロアゾン版　全2巻

ヴェネツィア、1788年、二つ折り判、(希文)
ISBN 978-4-8447-5356-8
A4判・本文716頁＋解題304頁　**本体価100,000円**

フランスの古典学者ヴィロアゾン（Jean Baptiste Gaspard d'Ansse de Villoison, 1753-1805）が、ヴェネツィアの聖マルコ図書館に秘蔵されていた10世紀の写本VenetusA.の本文と古注を忠実に印刷したもので、学者の垂涎して止まない稀覯本。

ヴィロアゾン自身の序説も優れたものであったが、ドイツの古典学者ヴォルフ（Friedrich August Wolf, 1759-1824）は、この『イリアス』を精査研究した上、名高い『ホメロス序説』（Prolegomena ad Homerum）を1795年に発表し、古来のホメロス問題に対して新しい史眼による分析を行ない、古典研究に革新をもたらすことができた。わが国ではじめて『イリアス』および『オデュセイア』の韻文による全訳を完成した土井晩翠は、かつてこのヴィロアゾン版の1本を秘蔵していたが、太平洋戦争中に晩翠草堂が被災した際、惜しくも焼失した。

『イリアス』とは、「イリオン（トロヤ）の歌」という意味で、ギリシアの軍勢が10年にわたり、小アジアの都城トロヤを攻囲した時の出来事を歌ったものである。

（'00 刊）

---

④Homerus, **Odyssea,** Barnesii.
Cantab. 1711, 4to 2vol. Gr. et Lat.

ホメロス
『オデュセイア』
ジョシュア・バーンズ編　全2巻

ケンブリッジ、1711年、四つ折り判、(希羅対訳)
ISBN 978-4-8447-5357-5
B5変型判・本文846頁＋解題224頁　**本体価75,000円**

オクスフォード大学ギリシア文学欽定講座教授であったジョシュア・バーンズ（Joshua Barnes）編になる刊本である。ギリシア語本につけられたラテン語訳と充実した古注は読解上、大そう便利であり、また近代諸国語による注解や翻訳などに散見する誤謬をしばしば訂正してくれる。

なお末尾に、ホメロス作と伝える『蛙鼠戦役』と『ホメロス風讃歌』を付載する。『オデュセイア』は「オデュセウスの歌」の意味で、1万2千行の叙事詩であり、トロヤ落城ののち、ギリシア軍第一の智謀の士、オデュセウスが10年に及ぶ漂泊と冒険をかさねたあげく、ようやく故郷のイタカ島に帰り着き、妻のペネロペイアに多年しつこく言い寄り、資産をわがもの顔に食いつぶしていた多くの求婚者を殺し、王権を回復する物語であるが、わずか41日の出来事として、速いテンポで劇的に構成されている。

（'97・5 刊）

以降、中止

塚田孝雄 編

復刻版 龍溪ヨーロッパ・コレクション

Ryukei Reprint Series: *Bibliotheca Europaea Classica*

古来、中国の学問に志す者は、まず四書五経に精通する必要があった。その理由の第一はこれらの古典が聖賢の叡智を凝縮したもので、人類のあらゆる行動の基準とされたことであり、第二は後世の学術、文芸を照射し、薫染し、典拠となったことである。さらに史記・漢書などの歴史も人間の運命に対する洞察を豊かに含むものとして、古典としての扱いを受けるようになった。歴代の大儒・文豪・詩宗はこれらの古典を自らの血肉とし、典拠に則りながら、なおかつ個性を表現することに努めたのである。やがて彼らの傑作はまた新しい古典となり、典拠となって行き、ここに古典の伝統と言うべきものが形成された。しかし伝統に従うことは決して因循ばかりではなかった。少年時代から習熟している古典の文体や詩型を媒体として、容易に自分の思想や詩情を表現できたからである。典拠を巧みに用いれば含蓄のある文章をも綴り得た。この事情はわが国でもほぼ同様で、中国古典の深い知識がなければ記紀以下の史書も、懐風藻・本朝文粋などの詩文集も、その滋味を掬することは不可能であった。また万葉・古今の伝統を疎かにしては、後世の連歌・俳諧に親しむことも出来なかった。

このような古典の伝統はヨーロッパの学芸にもそのまま当てはまる。叙事詩を例にとればホメロス、ウェルギリウス、ダンテ、ミルトンらの大詩人は瓶の水をそのまま別の器に移すように師資相承したもので、先達を熟知しなければ、後進を理解し、その妙味を汲み取ることが出来ない。抒情詩の場合でもホラティウスを知らなければルネサンスのペトラルカは分からず、ペトラルカを疎かにしては近世のソネットも興味が半減することであろう。このような伝統は哲学、歴史、戯曲、弁論、法律、経済などの分野においても認められるものであるが、現代日本の西洋学にはこの伝統を探る細心精緻さが往々欠けているように思われる。

復刻版『龍溪ヨーロッパ・コレクション』はこの間隙を埋めようとするもので、ゲーテの言う「ごっちゃ煮」ein　Ragoutであり、希・拉・伊その他の原典、それらの翻訳、風俗史、文学史など、古典の伝統を理解する縁となる、さまざまな香りと味わいを有する著作を集め、簡明な解題を添えて提供するものである。いずれも稀覯書で、わが国の大学や図書館では容易に見られぬものを利用し易い形で紹介することを目指している。是非座右に備えて研究の一助とされたい。

The Poems of Ossian, translated by J. Macpherson, London 1825

『オシアン詩集』 ジェームズ・マクファーソン 英訳

B7判変形 挿画、扉画

ISBN 978-4-8447-6420-5

A5判 460頁・解題34頁 計494頁 本体価35,000円

('97 刊)

以降、中止

書　名　索　引

※書名が細字で記されている書籍は各史料集に所収されておりますので、単体でお買い求めいただくことができません。予めご了承ください。

あ行

I.L.カンデル『英国の教育』の要旨及び目次…… ④-21
あいぬ医事談…… ③-15
あいぬ風俗略史…… ③-14
REMEMBERING THE INSTITUTE OF PACIFIC RELATIONS
太平洋問題調査会（IPR） ……①-2
青物市場調査資料…… ③-18
青森県凶作状況一班……③-4
青森県漁具誌…… ③-13
秋田県紳士名鑑…… ③-20
秋田市水道誌…… ③-10
浅草案内誌……⑤-2
浅草海苔…… ③-10
浅草繁昌記……⑤-1
亜細亜公論・大東公論　全３巻 ⑩-19
【アジアにおける日本の軍・学校・宗教関係資料】
第１期　満洲帝国学事要覧　全４巻 …… ⑩-50
第２期　満洲国留日学生録　全６巻 …… ⑩-50
第３期　日本留学中国人名簿関係資料　全７巻 …… ⑩-50
第４期　日本佛教団（含基督教）の宣撫工作と大陸 …… ⑩-51
第５期　宗教調査資料　全７巻 …… ⑩-53
アジア農村の環境・エネルギー問題 ……⑪-7
アジアの食料と環境を考える …⑪-2
アジアの農業・食料資源を考える ……⑪-5
アジアの農業と農村の将来展望 ⑪-6
足尾鉱毒問題解決処分……③-6
アミ族教化指導ニ関スル基礎調査 ④-11
アメリカの独立と建国期の外交…①-4
（厦門）旭瀛書院 …… ④-13
厦門旭瀛書院要覧…… ④-13
A Review of Educational Work in Formosa, 1916 ……④-7
体験五年 安山の卒業生指導 …… ④-25
安重根（アンジュングン）事件公判速記録 …… ⑨-23
安南史講義……⑩-8
珍袖 医学字彙 ……⑤-3
イギリスの対印度教育政策…… ⑩-17
池田酒史…… ③-11
意見書（韓国行政ノ根本要義）… ④-31
伊沢修二先生と台湾教育……④-8
石川県志要…… ③-17
石川県米穀検査令規……③-3
石坂文庫第一年報…… ④-15
移住者成績調査……③-8
偉人 伊能忠敬 …… ③-19
世外候事暦 維新財政談 ……③-8
北越史料 出雲崎 …… ③-15
板橋町誌……⑤-2
伊・仏・墺蚕絲業視察復命書…… ③-10
厳島誌…… ③-16
伊藤賢道より隈本学務部長宛書信 ④-20
伊藤公と韓国 ……⑨-3

田舎之日本……⑥-5
稲田経済調査……③-8
委任統治地域南洋群島調査資料… ⑨-23
茨城県米穀検査令規……③-3
尹文学士遺稾 …… ⑨-20
イラク王国…… ⑩-17
ホメロス 『イリアス』（ヴィロアゾン版） 全2巻 ……⑭-4
伊犂紀行…… ③-17
岩手県勢要覧…… ③-19
岩手県農事試験場臨時報告…… ③-19
岩手の金山…… ③-11
印刷局沿革録・附録 …… ③-13
常用救荒 飲食界之植物誌 …… ③-11
インタヴュー記録 日本の英領マラヤ・シンガポール占領（1941～45年） …… ⑩-40
インタヴュー記録 日本のフィリピン占領 …… ⑩-32
（仁川（インチョン）公立尋常小学校）創立五十周年記念誌…… ④-27
仁川（インチョン）繁昌記 …… ⑨-18
印度・アフガニスタン国境 …… ⑩-13
印度雑事…… ③-14
印度支那殖民政策…… ④-19
インドネシア日本軍政関係 日本語一次史料目録…… ⑩-48
台湾新聞掲載 印度人教育ノ弊 … ④-19
印度統治に就て…… ④-19
インドネシア残留日本兵の社会史 …… ⑩-45
インドネシア日本占領期文献目録 ……⑩-39・⑫-1
インドネシア東カリマンタン・マハカムデルタにおける開発が陸水生態系に及ぼす影響と環境修復 ……⑪-7
印度年表草稿、東亜研究所役員名簿 …… ⑩-13
印度馬来熱帯植物奇観…… ③-13
印度民族運動概観…… ⑩-17
印度民族運動史…… ⑩-11
印旛沼経緯記……③-9
上野志料集成…… ③-16
裏切られつつある文教政策……④-8
浦潮斯徳商港…… ③-16
蔚山公立普通学校一覧表…… ④-27
運用術教科書…… ③-16
営業通規……③-3
英国教育…… ④-20
英国産業革新論…… ③-11
英国ノ対華経済発展…… ⑩-27
英国ノ対支金融業及保険業投資 ⑩-10
英国ノ対支公共事業投資…… ⑩-10
英国ノ対支水運業投資…… ⑩-10
英国ノ対支鉄道権益…… ⑩-10
英国万国漁業博覧会報告……③-5
英米に於ける労働者余暇利用法… ③-20
英米両国ニ於ケル製鉄業及機械、器具ニ関スル報告……③-7
英・蘭 南洋に於ける邦人農園事業概要調査報告…… ⑩-27
英領北ボルネオ・タワオ地方事情 ⑩-23
英領新西蘭の経済資源…… ⑩-17
英領馬来事情…… ⑩-23
英領馬来と華僑…… ⑩-25
英領馬来ニ於ケル華僑ノ排日運動ノ現状ト其ノ展望…… ⑩-24
英領馬来の経済事情…… ⑩-23
越後石油業調査報告……③-6
越後石油調査報告……③-6
越後風俗志…… ③-17
Education in Formosa……④-9
江戸史蹟……⑤-1
江都名家 墓所一覧 …… ③-20
愛媛県農工商統計概要……③-7
愛媛県農工商統計年報……③-7
愛媛県農工商統計要覧……③-7
絵本朝鮮異聞 全3編 …… ⑨-12
園芸業ニ関スル調査書……③-7

遠洋漁業船…… ③-13
遠洋漁業叢書…… ③-10
遠洋漁業調査報告……③-5
奥羽6県連合物産共進会報告 ……③-4
（黄玉階外十三名に関する人物評）④-19
欧州各国鉄道官制及諸規程…… ③-16
欧州教育史…… ③-16
欧州商業開化史……③-9
欧州諸国商業会議所法……③-4
欧州大乱之影響…… ③-14
奥州高館沿革史…… ③-19
欧州ニ於ケル電気化学工業特ニ空中窒素固定法ノ趨勢ニ就テ…… ③-10
欧西自治の大観…… ③-20
懊悩せる台湾大学……④-8
欧米最近農政問題…… ③-16
欧米視察談（1）～（5）…… ④-20
欧米巡回取調書……③-7
欧米水産大観……③-5
欧米大海漁業取調書……③-5
欧米大戦争ニ於ケル財政ニ関スル調査……③-5
欧米之製造業……③-9
近江商人…… ③-13・③-20
鴨緑江流域森林作業調査復命書……③-7
大阪市重要物統計書……③-3
享保以後 大阪出版書籍目録 ……⑫-4
大阪商業会議所年報…… ③-14
大阪電話番号簿…… ③-16
大阪府在住朝鮮人教育調査…… ④-28
大阪府治要覧…… ③-13
大阪府農商工法規……③-3
（大竹公学校）創立20週年記念誌 ④-12
大麦論…… ③-12
小笠原及八丈島記…… ③-20
小笠原島物産略誌……③-6
岡山県名勝誌…… ③-20
治官報・KANPO 全８巻 …… ⑩-54
『オシアン詩集』……⑭-5
小田幹治郎遺稿 …… ⑨-10
ホメロス 『オデュセイア』（ジョシュア・バーンズ編） 全２巻…⑭-4
小野佐世男ジヤワ従軍画譜…… ⑩-45
森山撰織術（下）織物工場管理法 ③-12
織物市場としての蘭領印度…… ⑩-24
実用娯楽 温室園芸法 …… ③-12
御賜之余暇……④-9

か行

海外活動之日本人……⑥-4
外国貿易拡張論・海外貿易拡張論 ③-11
階級問題……⑥-2
回教圏の人種及び民族……⑩-8
海軍機関要規…… ③-15
『海軍省日誌』索引 ……⑫-1
日英 海軍用語集 ……⑤-4
外交通商史談…… ③-15
外交之危機 韓国問題 ……⑨-5
外国工場法規……③-4
外国工場法令及労働者扶助ニ関スル法令摘要……③-4
外国商業恐慌史…… ③-14
外国商業史…… ③-11
海国日本…… ③-18
外国貿易拡張論・海外貿易拡張論 ③-11
英和 海語辞典 ……⑤-4
海上運送…… ③-14
海上衝突予防規則…… ③-20
改正各国農産物輸入関税率表……③-8
外征紀事…… ③-10
改正区分鑑……⑤-1
改正区分町鑑……⑤-1
改正朝鮮税令 …… ⑨-28
改正東京町鑑……⑤-1
開拓地ニ於ケル佛教事情…… ⑩-53
開拓民に関する資料的調査研究 ⑩-15
開拓指鍼 北海道通覧 …… ③-16
改置府県概表…… ③-15
外地評論・朝鮮特輯（第２巻12号）

……⑨-30
「外地法制誌（第６部）」　全２巻
……⑩-56
解剖学名彙……⑤-3
化学語彙……⑤-4
英和 化学工業語彙 ……⑤-4
香川県米穀検査令規……③-3
賀川豊彦―互助友愛の教育と実業 ③-1
嘉義郡教育概況…… ④-11
（嘉義中学校）校友会雑誌 …… ④-12
課級以上組織機構変遷並に人事異動一覧表 ……⑧-3
華僑（広東省）…… ⑩-25
華僑関係法規集……⑩-5
華僑経済…… ⑩-25
華僑送金額ノ評価ト其誘致吸収対策
…… ⑩-25
華僑調査彙報…… ⑩-24
支那民族の海外発展 華僑の研究　⑩-25
華僑ノ現勢…… ⑩-25
家禽業ニ関スル調査……③-5
各科教授ノ方針並学習指導綱領… ④-25
各科教授要綱…… ④-25
学事及宗教要覧…… ④-26
学事参考資料…… ④-29
学事状況報告第六回要録…… ④-30
学事統計…… ④-28
各種企業並ニ保護政策調査報告……③-7
各種教育統計…… ④-30
各省所管官有財産異動目録……③-2
各省所管官有財産目録……③-2
学制 ……④-3
学制案修正要点…… ④-31
学制及其他ニ関スル意見…… ④-31
学制改革と義務教育の問題…… ④-26
学生事件裏面系統図…… ④-24
学政門および学事門 ……④-5
各道観察使ニ対スル伊藤統監ノ諮問並
訓示…… ④-29
各道長官ニ対スル総督訓示要領… ④-23
各府県重要商品調査報告…… ③-15
各府県輸出重要品調査報告……③-6
学部職員履歴書…… ④-29
学部職員録…… ④-29
学部の実業教育施設に関する俵学部次
官の講話…… ④-30
学部編纂教科用図書発売ニ関スル訓令
…… ④-30
学務材料…… ④-17
学務部将来ノ施設…… ④-17
学務部創設以降事業ノ概略……④-7
5月31日午後3時　学務部長紫雲輪番会
談要領…… ④-18
学務部長本島人紳士会談要領…… ④-18
学務部ノ組織及定員改正ニ関スル卑見
…… ④-17
革命及宣伝……⑥-3
果樹作と庶民と地域の近代化 …⑪-2
貨政考要……③-2
家族制問題……⑥-3
家畜医範…… ③-13
家畜と野生動物の共通伝染病に対する国際地域連携による早期警報システムの構築 ……⑪-7
学科意見書…… ④-31
学会令…… ④-29
学校教練実施決定案…… ④-23
明治14年 学校幼稚園書籍館博物館一
覧表…… ③-15
学校を中心とする社会教育状況　④-28
各国貨幣度量訳字例……③-2
各国貨幣比較及簡易換算表……③-2
各国ニ於ケル食料問題…… ③-15
各国農産物輸入関税率表……③-5
各国農事行政及奨励機関ニ関スル調査
資料……③-9
家庭百万吉凶宝鑑 …… ⑨-29
火田整理ニ関スル参考書…… ⑨-27
火田の現状 …… ⑨-18
神奈川県橘樹郡案内記…… ③-13

金沢農業経営学とその展開……⑪-2
ジヤワ新聞・カナジヤワシンブン
全８巻・総９冊 …… ⑩-46
（カナダ・トロントの社会・教育状況）
…… ④-20
加奈陀ニ於ケル酪農……③-9
株式会社秀英舎沿革誌…… ③-14
改訂増補 貨幣銀行問題一班 ……③-8
貨幣制度調査会報告書及附録……③-2
蒲田郷土史……⑤-2
カライム教調査書…… ⑩-53
樺太及北沿海洲…… ③-15
樺太写真帖…… ③-17
樺太植物誌…… ③-15
樺太地誌…… ③-13
樺太要覧…… ③-15
（カリフォルニア州沿岸に於ける社会・
教育状況）…… ④-20
花蓮港高等女学校一覧…… ④-12
（花蓮港庁）管内学事概況 …… ④-10
簡易学校経営指針…… ④-26
簡易学校状況調…… ④-26
簡易肥料鑑定法…… ③-13
江原道（カンウォンドウ）教育要綱…… ④-26
江原道（カンウォンドウ）鉱業状況 …… ⑨-27
勧業債権論……③-9
勧業諮問会記事……③-8
咸鏡南道教育一班…… ④-26
咸鏡南道鉱業状況 …… ⑨-26
咸鏡北道鉱業状況 …… ⑨-26
韓紅葉 …… ⑨-22
官公立学校職員服務須知…… ④-30
（第２回）官公立普通学校教監会議要
録…… ④-30
韓国沿岸航路開始顛末 …… ⑨-19
光武九年 韓国学政改善概況 …… ④-29
韓国貨幣整理報告書 …… ⑨-12
韓国教育…… ④-29
韓国教育改良案…… ④-29
韓国教育と警察行政…… ④-30
韓国教育ノ既往及現在…… ④-29
韓国教育ノ現状…… ④-29
韓国警察統計 ……⑨-5
韓国研究会談話録 ……⑨-4
韓国現時に於ける教育制度と宗教との
関係…… ④-30
韓国国民的理想の必要…… ④-30
韓国最近事情一覧 ……⑨-2
韓国財務経過報告
第一回（隆熙二年上半期） … ⑨-15
第二回（隆熙二年下半期） … ⑨-15
第三回（隆熙三年上半期） … ⑨-17
第四回（隆熙三年下半期） … ⑨-17
第五回（明治四十三年上半期）
…… ⑨-17
韓国産業視察報告書 ……⑨-9
韓国蚕業調査復命書 …… ⑨-18
韓国蚕業調査報告……③-9
韓国誌 ……⑨-4
韓国事情調査資料…… ③-13
韓国事情要覧 …… ⑨-14
韓国施政年報 …… ⑨-14
韓国実業管見 …… ⑨-18
韓国写真帳 …… ⑨-18
韓国出張復命書……③-4
韓国殖民策 ……⑨-2
韓国政争志 ……⑨-5
韓国だより…… ④-29
明治四十三年七月十三日韓国駐箚各道
憲兵隊長（警務部長）会議席上俵学
部次官演説要領…… ④-30
韓国通覧 ……⑨-4
韓国土地所有権ノ沿革ヲ論ス … ⑨-21
韓国ニ於テ学務顧問傭聘ノ件…… ④-29
韓国ニ於ケル日本ノ至難事…… ④-29
韓国ニ於ケル農業調査……③-5
韓国ニ於ケル棉作調査……③-9
韓国ニ関スル條約及法令…… ⑨-14
韓国二大港実勢 ……⑨-6
韓国ニ傭聘セラレ居ル本邦人取リ調べ

ノ件…… ④-29
韓国農業論…… ③-11
韓国の戦後教育改革 …… ④-34
韓国之併合と国史 ……⑨-1
【韓国併合史研究資料】
①朝鮮統治の回顧と批判……⑨-1
②朝鮮ノ保護及併合 ……⑨-1
③韓国併合顛末書 ／ 韓国併合の旨趣 ／ 韓国の併合と国史 …⑨-1
④顧問警察小誌 ……⑨-2
⑤慣習調査報告書 ／ 韓国最近事情一覧 ……⑨-2
⑥朝鮮支那地名辞彙 ……⑨-2
⑦韓国殖民策 ／ 朝鮮の統治と基督教 ……⑨-2
⑧朝鮮誌 ……⑨-2
⑨朝鮮独立騒擾史論 ……⑨-3
⑩朝鮮人の商業 ……⑨-3
⑪総督政治史論 ……⑨-3
⑫伊藤公と韓国 ……⑨-3
⑬朝鮮 ……⑨-3
⑭韓国誌 ……⑨-4
⑮朝鮮施政ノ方針及実績……⑨-4
⑯韓国通覧 ……⑨-4
⑰韓国研究会談話録 ……⑨-4
⑱朝鮮に於ける支那人 ／ 朝鮮漫画 ……⑨-4
⑲日韓紛議 政略纂論 ／ 外交之危機 韓国問題 ／ 朝鮮統治問題に就て先輩並に知友各位に訴ふ ……⑨-5
⑳征韓論実相 ／ 文禄征韓水師始末 朝鮮李舜臣伝……⑨-5
㉑韓国政争志 ／ 韓国警察統計 ……⑨-5
㉒朝鮮彙報 ……⑨-5
㉓宗家と朝鮮 ／ 朝鮮風俗画譜 ……⑨-6
㉔朝鮮の市場 ……⑨-6
㉕統監府統計年報 ……⑨-6
㉖韓国二大港実勢 ……⑨-6
㉗京城発達史 ……⑨-7
㉘北朝鮮誌 ……⑨-7
㉙朝鮮統治三年間成績……⑨-7
㉚朝鮮風俗集 ……⑨-7
㉛朝鮮の迷信と俗傳 ……⑨-7
㉜朝鮮の謎 ……⑨-7
㉝朝鮮部落調査予察報告 ／ 朝鮮部落調査報告 ／ 朝鮮部落調査特別報告 ……⑨-8
㉞朝鮮の市場経済 ……⑨-8
㉟朝鮮統治史論稿 ……⑨-8
㊱朝鮮の契 ／ 朝鮮の姓の由来 ……⑨-8
㊲最近間島事情 ……⑨-9
㊳地方行政区域名稱一覧……⑨-9
㊴朝鮮の群衆 ／ 明治廿七八年 在韓苦心録 ……⑨-9
㊵韓国産業視察報告書……⑨-9
㊶朝鮮の風水 ……⑨-9
㊷新舊對照 朝鮮全道府郡面里洞名稱一覧 …… ⑨-10
㊸朝鮮併合之裏面 …… ⑨-10
㊹日韓併合始末 …… ⑨-10
㊺朝鮮最近史 …… ⑨-10
㊻小田幹治郎遺稿 …… ⑨-10
㊼露西亜・朝鮮・支那遠征奇談 新々赤毛布 ／ 朝鮮聞見録 ⑨-11
㊽見聞随記 朝鮮時事 ／ 朝鮮賭博要覧 …… ⑨-11
㊾京釜鉄道意見 ／ 日韓交通史 …… ⑨-11
㊿朝鮮沿岸水路誌 …… ⑨-11
51韓国貨幣整理報告書…… ⑨-12
52質屋及典當舗之研究…… ⑨-12
53朝鮮人ノ衣食住及其ノ他ノ衛生 …… ⑨-12
54朝鮮の犯罪と環境 ／ 朝鮮の姓氏と同族部落 ／ 絵本朝鮮異聞 …… ⑨-12

⑤⑤朝鮮の服装 ／ 朝鮮の習俗 ⑨-13
⑤⑥京城繁昌記 …… ⑨-13
⑤⑦在韓人士名鑑 …… ⑨-13
⑤⑧国境地方視察復命書 …… ⑨-13
⑤⑨朝鮮教育論 …… ⑨-13
⑥⓪韓国施政年報 ／ 第二次韓国施政年報 ／ 第三次施政年報 …… ⑨-14
⑥①韓国ニ関スル條約及法令… ⑨-14
⑥②統監府施政一斑 ／ 韓国事情要覧 …… ⑨-14
⑥③韓国財務経過報告 第一・二回（隆熙二年上・下半期）…… ⑨-15
⑥④居留民団事情要覧 ／ 朝鮮貿易年表 …… ⑨-15
⑥⑤朝鮮古書目録 …… ⑨-15
⑥⑥三十年前の朝鮮 …… ⑨-15
⑥⑦朝鮮の宗教 ／ 京城五百年 ⑨-16
⑥⑧朝鮮の神話と伝説 …… ⑨-16
⑥⑨歴史民族朝鮮漫談 …… ⑨-16
⑦⓪朝鮮の鬼神 …… ⑨-16
⑦①朝鮮の巫覡 …… ⑨-16
⑦②朝鮮の郷土娯楽 …… ⑨-16
⑦③韓国財務経過報告 第三回（隆熙三年上半期） …… ⑨-17
⑦④韓国財務経過報告 第四回（隆熙三年下半期） …… ⑨-17
⑦⑤韓国財務経過報告 第五回（明治四十三年上半期） …… ⑨-17
⑦⑥朝鮮固有色辞典 …… ⑨-17
⑦⑦朝鮮ニ関スル東亜経済調査局報告 …… ⑨-17
⑦⑧仁川繁昌記 …… ⑨-18
⑦⑨朝鮮野談集 …… ⑨-18
⑧⓪韓国蚕業調査復命書 ／ 火田の現状 …… ⑨-18
⑧①朝鮮社会史ノ断面 ／ 韓国写真帳 ／ 韓国実業管見 ／ 金玉均謀殺ノ顛末 …… ⑨-18
⑧②船の朝鮮 ／ 韓国沿岸航路開始顛末 …… ⑨-19
⑧③日露間之韓国 …… ⑨-19
⑧④慶尚道全羅道旅行記事並ニ農商況調査録 …… ⑨-19
⑧⑤朝鮮半島史編成ノ要旨及順序、朝鮮人名彙考編纂ノ要旨及順序 ／ 朝鮮史編修会要覧 ／ 朝鮮史編修会事業概要 …… ⑨-19
⑧⑥朝鮮文廟及陞廡儒賢 ／ 辛未洪景来乱の研究 ／ 徳壽宮史 ⑨-20
⑧⑦瀬野馬熊遺稿 …… ⑨-20
⑧⑧尹文学士遺稾 …… ⑨-20
⑧⑨韓国土地所有権ノ沿革ヲ論ス ／ 不動産法調査報告要録 ／ 土地調査綱要 ／ 臨時財産整理局事務要綱 …… ⑨-21
⑨⓪朝鮮の匂ひ …… ⑨-21
⑨①朝鮮の俤 ／ 螺炎随筆 鼻を撫りて …… ⑨-21
⑨②韓紅葉 ／ 朝鮮芸術之研究 ／ 朝鮮芸術之研究 続編 ／ 朝鮮古蹟調査略報告 …… ⑨-22
⑨③朝鮮舊慣制度調査事業概要 ／ 小作ニ関スル慣習調査書… ⑨-22
⑨④民事慣習回答彙集 …… ⑨-22
⑨⑤朝鮮偉勲録 ／ 朝鮮芸文志 ⑨-23
⑨⑥安重根事件公判速記録…… ⑨-23
⑨⑦大邱民団史 …… ⑨-23
⑨⑧楽浪と伝説の平壌 …… ⑨-23
⑨⑨鎮南浦府史 …… ⑨-23
⑩⓪大陸発展策より見たる元山港 …… ⑨-24
⑩①韓南島嶼ノ富源 ／ 明治四十四年全羅南道道勢要覧 ／ 日清韓新三國志 …… ⑨-24
⑩②朝鮮百業百種 ／ 朝鮮常平通寶錢譜 …… ⑨-24
⑩③朝鮮在来教派概観 ／ 朝鮮佛教大会紀要 ／ 国民協会運動史 …… ⑨-25

⑭世界萬国年契 …… ⑨-25
⑮朝鮮帰化族の発展 ／ 朝鮮青年成功録 …… ⑨-25
⑯満鮮北支視察記 ／ 満鮮支視察記録 …… ⑨-26
⑰明治癸卯朝鮮紀行 …… ⑨-26
⑱朝鮮道立醫院概況 …… ⑨-26
⑲（京畿道･忠清南道･忠清北道･咸鏡南道･咸鏡北道）鉱業状況 …… ⑨-26
⑳（江原道･平安南道･平安北道）鉱業状況 …… ⑨-27
㉑（黄海道･全羅南道･全羅北道･慶尚南道･慶尚北道）鉱業状況 …… ⑨-27
㉒朝鮮の救荒植物 ／ 火田整理ニ関スル参考書 …… ⑨-27
㉓全羅南道小作慣行調査書… ⑨-27
㉔平安北道小作慣行調査書… ⑨-28
㉕朝鮮民籍法令集 ／ 改正朝鮮税令 …… ⑨-28
㉖鮮満地方出張視察報告書 ／ 鮮満地方視察報告 ／ 朝鮮地方制度視察報告書 ／ 朝鮮民情視察報告 ／ 清国及朝鮮視察報文 …… ⑨-28
㉗家庭百万吉凶宝鑑 ／ 清韓染織視察報告書 …… ⑨-29
㉘社会状態及階級制度 ／ 平壌経済一班 ／ 朝鮮部落の一形態 副業の盛なる道也味里 ／ （全州）産業之栞 …… ⑨-29
㉙朝鮮の姓名氏族に関する研究調査 …… ⑨-29
㉚朝鮮博覧会京城協賛会報告書 …… ⑨-30
㉛間嶋産業調査書 …… ⑨-30
㉜朝鮮刑務堤要 …… ⑨-30
㉝府邑面雑誌 …… ⑨-30
㉞外地評論―夏季特大号・朝鮮特輯 …… ⑨-30
㉟府尹郡守会議資料 …… ⑨-31
㊱韓国名所写真帖 ／ 北韓名勝写真帖 ／ 平壌風景風俗写真帖 ／ 朝鮮百四十景 ／ 朝鮮土俗玩具集 ／ 朝鮮の郷土玩具土偶志臨時号 …… ⑨-31
㊲朝鮮に於ける家庭工業調査 ⑨-32
㊳昭和11年朝鮮鉱業要覧 ／ 全羅南道土木要覧 昭和13年版 ⑨-32
㊴朝鮮河川令釋義 …… ⑨-32
㊵朝鮮ニ於ケル不動産関係統制法規 …… ⑨-32
㊶朝鮮・満洲新聞現勢 ／ 朝鮮公論十週年記念 鮮満人物批判号 …… ⑨-33
㊷朝鮮農村社会踏査記 …… ⑨-33
韓国併合顛末書 …… ⑨-1
韓国併合の旨趣 …… ⑨-1
韓国名所写真帖 …… ⑨-31
観察使会議要録…… ④-28
慣習調査報告書 …… ⑨-2
漢城府内基督教学校状況一班…… ④-30
漢城府内私立学校学会代表者召集席上学部次官演説筆記…… ④-30
官職制度沿革史…… ③-16
甘蔗糖学…… ③-13
間嶋産業調査書 …… ⑨-30
関東庁･文部省･朝鮮総督府･台湾総督府 現行学事法規 …… ④-22
韓南島嶼ノ富源 …… ⑨-24
官版泰西農学…… ③-8
官吏学…… ③-18
官立漢城外国語学校一覧…… ④-30
官立京城師範学校一覧…… ④-27
生糸及乾繭取引所論…… ③-18
生絲恐慌対策史…… ③-18
生絲検査所業務一班…… ③-12
記者探訪 裏面の東京 …… ③-20
北足立郡誌…… ③-17

北樺太探検隊報告…… ③-16
北韓地方ニ於ケル基督教学校視察復命
…… ④-30
北支那方面支那軍編成表…… ⑩-23
北朝鮮誌 ……⑨-7
『北日本』…… ③-11
北濱と堂島…… ③-11
北ボルネオ軍政概要 …… ⑩-38
吉林・間島・濱江各省宗教調査報告書
…… ⑩-53
既認可教科用図書一覧…… ④-25
絹絲紡績と屑物整理…… ③-12
金玉均謀殺ノ顛末（キムオッキン） …… ⑨-18
義務教育ニ関スル調査……④-8
旧学部編纂普通学校用教科書並に旧学
部検定及認可ノ教科用図書ニ関スル
教授上ノ注意並ニ字句訂正表… ④-24
**休閒・福祉農業の現状と農地保全に
係る今後の展開** ……⑪-8
救荒誌……③-3
救荒植物…… ③-20
牛乳衛生警察…… ③-20
給費生成績報告ノ件…… ④-28
教育及社寺宗教一覧…… ④-26
教育及宗教一班…… ④-26
教育及宗教要覧…… ④-26
教育改良ニ関スル報告書…… ④-29
教育学教科書…… ④-26
教育行政概要覚書…… ④-17
教育辞典……⑤-4
教育史余材…… ③-16
教育・心理・論理術語詳解……⑤-3
教育制度施行に関する沢柳博士の意見
書…… ④-23
教育勅語渙発満四十年記念要項… ④-23
教育勅語ニ関スル調査概要……④-8
教育勅旨草案ニ擬ス…… ④-20
教育勅論述義……④-9
教育ニ関スル勅語ノ奉釈上特ニ注意ス
ヘキ諸点…… ④-23
（教育ニ関スル）内申 …… ④-20
教育法規抄…… ④-29
教育令修正案ニ対スル意見…… ④-18
教育令ニ関スル調…… ④-19
教科実践授業案例…… ④-10
教科書編輯彙報…… ④-25
教科用図書一覧…… ④-24
教科用図書一覧…… ④-30
教科用図書検定規程…… ④-30
教科用図書取締ニ関スル報告…… ④-31
凶荒誌…… ③-14
京都市三大事業誌…… ③-12
京都順覧記……⑤-6
京都商工報告……③-7
京都府勧業事項一覧表……③-8
京都郵便電信局統計書…… ③-10
京橋繁昌記……⑤-1
享保以後 大阪出版書籍目録 ……⑫-3
協和　全25巻・総300冊 ……⑧-5
『協和』総目次 …… ⑫-2・⑧-5
漁業基本調査報告…… ③-10
極東に於ける英国の事業…… ④-19
現代叢書 極東の外交 …… ③-17
現代叢書 極東の露西亜 …… ③-17
居留民団事情要覧 …… ⑨-15
京畿道（キョンギド）教育及宗教一班…… ④-26
京畿道（キョンギド）教育及宗教要覧…… ④-26
京畿道（キョンギド）鉱業状況 …… ⑨-26
京畿道（キョンギド）公立師範学校一覧…… ④-27
京畿道（キョンギド）の教育と宗教…… ④-26
京畿道（キョンギド） 教育と宗教要覧 …… ④-26
**慶尚道全羅道（キョンサンドチョルラド）旅行記事並ニ農商況
調査録** …… ⑨-19
慶尚南道（キョンサンナムド）学事及社寺宗教一班…… ④-26
慶尚南道（キョンサンナムド）鉱業状況 …… ⑨-27
慶尚北道（キョンサンブクド）鉱業状況 …… ⑨-27
慶尚北道（キョンサンブクド）教育及宗教一班…… ④-27
京釜（キョンブ）鉄道意見 …… ⑨-11
宜蘭郡教育概況…… ④-10
宜蘭公学校沿革概況…… ④-12

（宜蘭公学校）学校要覧 …… ④-12
（宜蘭市旭国民学校）学校概覧 … ④-12
（宜蘭女子公学校）創立20周年記念誌
…… ④-12
（宜蘭尋常高等小学校）創立40周年紀念誌…… ④-12
ストラボン　ギリシア・ローマ世界地誌　全２巻 ……⑭-2
パウサニアス　ギリシア記　全２巻
……⑭-1
基督教調査報告書…… ⑩-53
基隆石坂文庫第十年報…… ④-16
基隆市教育要覧…… ④-10
基隆市基隆図書館要覧…… ④-15
桐生商工案内……③-8
（基隆宝公学校）本校概覧 …… ④-11
金貨本位制…… ③-11
金玉均謀殺ノ顛末 …… ⑨-18
銀行罪悪史…… ③-14
銀行誌……③-2
銀行論……③-8
メモ、金庫現地報告、新聞論調、南方資料、他 …… ⑩-20
近世社会学……⑥-4
近世発明談…… ③-15
金銭物件土地建物 売買貸借者の顧問
…… ③-19
近代国際関係条約資料集　全５編・総22巻 ……①-2
近代国際社会形成期の外交……①-4
近代日中関係史研究論文目録（1946～1989）……⑫-1
【近代日本学術用語集成】
第１期　明治篇　全７巻……⑤-3
第２期　大正篇　全12巻・総17冊
……⑤-3
第３期　大正補遺篇　全８巻・総９冊 ……⑤-4
第４期　昭和篇〔1〕　全６巻・総12冊 ……⑤-4
近代日本社会学関係雑誌記事目録
…… ⑥-2・⑫-3
【近代日本社会学史叢書】
第１期
第１回配本（第１巻～第10巻）全10巻 ……⑥-3
第２回配本（第11巻～第18巻）全８巻 ……⑥-3
第３回配本（第19巻～第28巻）全10巻 ……⑥-4
第４回配本（第25巻補巻・第29巻～第38巻）　全11巻 ……⑥-4
第２期
第１回配本（第39巻～第48巻）全10巻 ……⑥-4
近代日本地誌叢書・東京編　全42巻
……⑤-1
【近代日本のアジア教育認識・資料篇】
第１期　韓国の部　全８巻・附巻Ⅰ ……④-1
第２期　中国の部　全21巻・附巻Ⅱ ……④-2
第３期　台湾の部　全14巻・附巻Ⅲ ……④-2
近代日本のアジア教育認識　目録篇 …… ④-1・⑫-3
金調資料 …… ⑩-20
金融事項参考書……③-2
金融辞典……⑤-4
釘…… ③-12
苦難の台湾大学……④-7
絹の染色法及處理法…… ③-12
隈本繁吉日誌…… ④-17
隈本書記官ノ普通学校教科課程改正要項ニ対スル修正意見…… ④-31
倉沢愛子コレクション　全２巻 ⑩-48
グリーン・レボリューションの20年
……⑪-3
グローバリゼーションと食料・生物資源 ……⑪-6

訓育に関する研究…… ④-10
軍事世界地理…… ③-16
郡市町村農会事例……③-8
軍政下ジャワ産業綜観　全２巻
…… ⑩-28
軍政下におけるマラヤ・シンガポール教育事情史・資料（1941～45）全２巻 …… ⑩-33
戦時月報・軍政月報　全５巻 … ⑩-33
詔勅、令旨、論告、訓達類纂……④-7
群馬県織物業沿革調査書……③-4
群馬県官民必携……③-4
群馬県蚕絲業現況調査書……③-4
（極秘）敬擬教育勅諭草桉 …… ④-20
敬擬教育勅諭草案…… ④-20
京畿道 教育と宗教要覧 …… ④-26
京畿道教育及宗教一班…… ④-26
京畿道教育及宗教要覧…… ④-26
京畿道鉱業状況 …… ⑨-26
京畿道公立師範学校一覧…… ④-27
京畿道の教育と宗教…… ④-26
経済新論……③-8
経済に関する支那慣行調査報告書 ⑩-10
警察辞典……⑤-4
京城医学専門学校一覧…… ④-28
京城高等工業学校一覧…… ④-27
京城高等商業学校一覧…… ④-27
（京城公立農業学校）本校教育施設概要…… ④-27
京城五百年 …… ⑨-16
京城師範学校総覧…… ④-27
京城寿松公立普通学校一覧表…… ④-27
（京城第一公立高等普通学校学友会）学友会誌…… ④-27
京城帝国大学一覧…… ④-27
京城帝国大学建築概要…… ④-27
（京城帝国大学法文学部）教務例規集
…… ④-27
京城帝国大学予科一覧…… ④-27
京城帝国大学予科教授要綱…… ④-27
京城帝国大学予科修練要綱…… ④-27
慶尚道全羅道旅行記事並ニ農商況調査録 …… ⑨-19
慶尚南道学事及社寺宗教一班…… ④-26
慶尚南道鉱業状況 …… ⑨-27
京城発達史 ……⑨-7
京城繁昌記 …… ⑨-13
（京城渓洞公立普通学校）創立三十周年記念…… ④-27
京城府学事一覧…… ④-26
京城府教育概況…… ④-26
京城府内私立学校現状一班…… ④-30
京城法学専門学校一覧…… ④-27
慶尚北道教育及宗教一班…… ④-27
慶尚北道鉱業状況 …… ⑨-27
京城薬学専門学校一覧…… ④-28
経調資料 …… ⑩-20
京釜鉄道意見 …… ⑨-11
激変した蘭印の相貌 激動の一年　⑩-23
香粧品製造法…… ③-13
現下の華僑概観…… ⑩-25
関東庁・文部省・朝鮮総督府・台湾総督府 現行学事法規 …… ④-22
現行教科書編纂の方針…… ④-24
現行埼玉県令達類集…… ③-10
滑稽珍談 現今東京の有様 ……⑤-2
原子力をめぐる「日米協力」の形成と定着　1953-1958 ……①-6
現代華僑問題…… ⑩-25
現代語解説……⑤-4
現代語辞典……⑤-4
現代社会文明……⑥-3
現代社会問題研究　全25巻……⑥-2
現代青年論……⑥-4
現代中国外交研究文献目録（1949～1980）……⑫-2
現代文芸新語辞典……⑤-4
県治管見（部分）……④-8
英和 建築語彙 ……⑤-4
見聞概要…… ④-20

見聞随記 朝鮮時事 …… ⑨-11
ゴアン氏言語教授方案……④-9
興亜院大東亜省 調査月報 全36巻
……⑧-6
公一の教育……④-8
鴻益説明書……③-6
黄海道学事及宗教…… ④-26
黄海道鉱業状況 …… ⑨-27
工学字彙……⑤-2
英和 工学辞典 ……⑤-4
光華抄…… ⑩-51
黄河水力発電計画報告書…… ⑩-14
黄河陝州歴年流量図表…… ⑩-14
公学校各科教授法…… ④-10
改訂 公学校管理法概要 ……④-8
随筆 公学校教育二十年 ……④-8
公学校教授の新研究…… ④-10
公学校教授要目……④-9
公学校教師論……④-8
公学校高等科教授要目…… ④-10
公学校高等科地理書編纂趣意書… ④-10
公学校算術書…… ④-10
公学校修身書 巻1巻2修正趣意書 ④-9
公学校修身書 巻5巻6編纂趣意書 ④-9
公学校地理書 巻1巻2改定趣意書④-10
公学校地理書改訂趣意書…… ④-10
公学校地理書編纂趣意書竝挿絵の解説
……④-9
公学校用漢文読本編纂趣意書……④-9
公学校用国語書き方手本第1種編纂趣
意書…… ④-10
公学校用国語読本第1種編纂趣意書 ④-10
公学校理科書編纂趣意書…… ④-10
皇漢両学所・昌平開成両学校・大学
校・京都学校・大学・文部省…各伺
……④-4
工業経済論…… ③-18
工業政策……③-6
工業統計50年史 全3巻…… ③-23
改定 鉱業法規新釋 …… ③-14
江原道教育要綱…… ④-26
江原道鉱業状況 …… ⑨-27
広告辞典……⑤-4
皇国臣民教育の原理と実践…… ④-26
鉱山統計便覧……③-3
光州学生事件以後ニ於ケル学生運動取
締方針…… ④-24
工場所有権法及発明一班……③-6
工場調査統計表……③-6
工場調査要領……③-6
工場物表……③-6
卒業生指導 更生をめざして …… ④-25
鉱毒調査資料…… ③-11
鉱毒調査報告…… ③-11
揚子江富源 江南事情 …… ③-15
抗日政権の東亜新秩序批判……⑩-3
抗日民族統一戦線……⑩-2
抗日民族統一戦線の史的考察……⑩-2
光武九年 韓国学政改善概況 …… ④-29
鉱物字彙……⑤-3
礦物小学…… ③-10
【日本近代教育史料大系 第1期
公文記録〔Ⅰ〕】
太政類典より 学制 ……④-3
公文録より 皇漢両学所・昌平開
成両学校・大学校・京都学校・大
学・文部省…各伺 ……④-4
公文類聚より 学政門および学
事門 ……④-5
『公文類聚』解題・総目録（附巻
（三）） ……④-5
『公文録』解題・総目録（附巻（二））
……④-4
（髙敞高等普通学校）規約書 …… ④-27
（髙敞高等普通学校）役員名簿 … ④-27
濠米視察復命書……③-5
神戸築港問題沿革誌…… ③-10
稿本 日本金融史論 ……③-1
公民教育カード…… ④-10
公有林及共同林役…… ③-17

公立学校長会諮問事項答申書…… ④-23
公立私立学校認定ニ関スル規程… ④-30
公立普通学校予算表…… ④-23
江陵高等普通学校設置ニ関スル陳情書
…… ④-23
香料の研究…… ③-10
穀価ノ研究…… ③-12
（国語学校）生徒募集 …… ④-13
国語教授参考書……④-9
国語教授上参考すべき事項…… ④-24
国語教授法…… ④-24
国語の発音及語法に関する調査… ④-24
国語普及の状況…… ④-10･④-23
国語保育園 保育細案 …… ④-10
国債沿革略……③-9
国際政治のなかの日本外交……①-5
国際的な動物園ネットワークを用いた野生動物感染症の早期警報システム ……⑪-8
国際平和関係條約集 ……①-1
善政の基礎 国勢調査案内 …… ③-19
国体新論……⑥-3
国内に於ける邪教及秘密結社の概要
…… ⑩-53
国民協会運動史 …… ⑨-25
早稲田叢書 国民銀行論 ……③-5
国民精神総動員指導者必携…… ④-24
国民党支那の教育政策……⑩-2
国民保健問題……⑥-3
穀物販売組織ニ関スル調査……③-7
穀類野菜栽培法…… ③-12
古々椰子･油椰子 関係資料…… ⑩-27
小作ニ関スル慣習調査書…… ⑨-22
訂正増補 児島湾開墾史 …… ③-15
湖沼の研究…… ③-11
（小竹徳吉氏記念胸像揮毫ノ由来）④-19
児玉源太郎総督宛上申……④-7
国家社会観……⑥-3
国家的社会論……⑥-3
国境地方視察復命書 …… ⑨-13
滑稽珍談 現今東京の有様 ……⑤-2
言葉の指導…… ④-10
五人組制度……⑥-4
米……③-5
米ニ関スル経済調査…… ③-17
米ニ関スル調査……③-9
顧問警察小誌 ……⑨-2
名古屋新聞･小山松寿関係資料集 全７巻 ……②-4
Korean educational work …… ④-29
今日の東京……⑤-2
昆布食文化のロシアにおける普及ならびに昆布産業の振興に向けて ……⑪-8

さ行

最暗黒之東京……⑥-3
在韓人士名鑑 …… ⑨-13
在韓宣教師ニ対スル意見…… ④-30
在京朝鮮人一般ノ現況ニ関スル件 ④-28
在京朝鮮人ニ関スル団体調…… ④-28
最近印度事情……③-9
最近間島事情 ……⑨-9
最近東京市商工名鑑……⑤-2
歳計決算報告書……③-2
西国バルスローヌ府萬国博覧会報告
…… ③-20
在支那福州東瀛学校概要…… ④-13
在支那福州 福州東瀛学校排斥事情
…… ④-19
最新銀行論…… ③-18
最新醤油醸造論…… ③-12
最新世界各国貨幣……③-9
最新石版印刷開業案内…… ③-15
財政意見……③-5
財政学歳計予算論……③-5
財政事業彙纂……③-5
栽桑略説……③-7
在暹華僑の現勢…… ⑩-25

財団法人私立台湾商工学校一覧… ④-12
財団法人普成専門学校一覧…… ④-28
在内地朝鮮学生状況…… ④-28
在内地朝鮮学生状況調…… ④-28
在内地朝鮮学生調…… ④-28
栽培経済問答新誌…… ③-18
在福州我文化施設改善論…… ④-11
「サイベリア」丸船中並布ニ於ケル見聞及雑感ノ一二…… ④-20
在満朝鮮人と教育問題…… ④-24
財務官戦時報告…… ③-11
財務参考書　第１集～第６集……③-2
在緬英資事業…… ⑩-27
在支英国貿易商社の調査、仏印主要会社要覧…… ⑩-13
榊原家所蔵南方軍軍政総監部関係文書　全９巻 …… ⑩-41
相模国風土記…… ③-18
茶事試験報告……③-4
薩隅煙草録…… ③-19
雑草学…… ③-17
札幌沿革史……③-8
砂糖ニ関スル調査……③-6･③-10
讃岐案内…… ③-10
サハーバ物語 ……⑬-1
The principal difficulty of the Japanese in Korea: a reply by J. Bolljahn.…… ④-29
台湾適用 作法教授書 ……④-9
THE MINING LAW OF THE NETHERLANDS EAST INDIA …… ⑩-24
蚕業家必携……③-8
産業組合監督奨励ニ関スル規定竝施設ノ状況……③-6
増訂6版 産業組合大全 ……③-9
蚕業経済論…… ③-10
蚕業視察報告……③-6
産業社会之進化…… ③-10
（全州）産業之栞 …… ⑨-29
産業方針……③-8
蚕絲業諮問会議事速記録……③-4
蚕糸業ニ関スル参考資料……③-8
蚕絲業の将来…… ③-17
蚕事試験成績10年報……③-4
三十年前の朝鮮 …… ⑨-15
蚕種製造論……③-4
蚕種論……③-9
産調資料 …… ⑩-20
三民主義民族理論に関する研究……⑩-2
三陸地誌略…… ③-19
（シアトルの社会･教育状況）…… ④-20
市営電気供給事業整理案…… ③-18
自活苦学生……⑥-4
時空はるか 繪手紙「南方画信」 ⑩-48
志願兵制度の現状と将来への展望 ④-26
芝山巖誌……④-9
【時事新報】
第１期 明治前期篇　全20巻・総116冊 ……②-1
第２期 明治後期篇　全12巻・総138冊 ……②-2
静岡県老農農事諮問会速記録……③-4
市制町村制……③-8
施政四十年の台湾……④-7
質屋及典當舗之研究 …… ⑨-12
質屋の研究……③-9
傍訓 市町村制及説明 …… ③-20
実業学校設立認可請願書式…… ④-30
実業教育要覧…… ④-27
実業人傑伝…… ③-16
実験夏秋蚕飼育法…… ③-12
実験養蜂問答……③-9
実際統計学…… ③-15
実践行事解説……④-8
諸種営業 実地商業案内 …… ③-20
実用娯楽 温室園芸法 …… ③-12
実用農桑提要…… ③-17
実用燐酸肥料論……③-9
支那慣行調査彙報…… ⑩-10

支那関税及賃金制度…… ③-11
支那近代工業構成の変化……⑩-6
支那近代百年表草稿……⑩-2
支那経済報告書……③-9
支那事変下ニ於ケル南洋華僑ノ動向ト
其ノ影響…… ⑩-24
支那事変と華僑…… ⑩-24
支那事変と旭瀛書院…… ④-13
支那事変と曹洞宗…… ⑩-51
支那事変と日本……⑩-2
支那時報…… ③-17
支那人本邦留学情況改善案…… ⑩-50
支那対外借款契約彙纂…… ⑩-16
支那知識階級の民族主義思想……⑩-3
支那調査報告書…… ③-15
支那南方間大陸連絡鉄道ノ敷設運営ノ
可能性如何…… ⑩-26
支那・南洋における最近日貨排斥の経
過並びに影響…… ⑩-23
支那に於ける外国行政地域の慣行調査
報告書…… ⑩-13
支那に於ける鉄道利権と列強の政策
…… ③-17
支那に於ける独逸の経営…… ③-17
支那日本通商史……③-8
支那農業気象俚諺集…… ⑩-15
支那農業基礎統計資料……⑩-6
支那農村慣行調査報告書……⑩-8
支那之工業…… ③-14
支那乃支那問題辞典……⑤-4
支那の戦時財政…… ⑩-23
支那法制史論…… ③-17
支那民主主義建設……⑩-3
支那民族の海外発展 華僑の研究 ⑩-25
支那留学生状況調査書…… ⑩-50
地主ト小作人……③-5
師範学校教科教授及修練指導要目 ④-25
師範学校修身科教授要目……④-9
渋谷町誌……⑤-2
時弊矯正ニ関スル訓令及訓諭…… ④-29
大東亜法秩序・日本帝国法制関係資料 第1期 『司法資料一般（司法研究所・他資料）』 全10巻 ⑩-43
下総種畜事業問答筆記……③-7
下村民政長官宛報告…… ④-20
下谷繁昌記……⑤-1
社会外の社会……⑥-4
社会改良家列伝…… ③-17
社会科学小辞典……⑤-4
社会学…… ⑥-3・⑥-4
社会学及研究法……⑥-4
社会学講義……⑥-4
社会学史……⑥-3
社会学的研究 戦争論 ……⑥-4
社会研究新論……⑥-4
社会主義綱要……⑥-4
社会状態及階級制度 …… ⑨-29
社会進化論……⑥-3
増補 社会進化論 ……⑥-3
社会的制度一班……⑥-4
社会百方面……⑥-3
社会福利 全47巻 ……⑥-1
『社会福利』解説・総目次・索引
…… ⑥-1・⑫-2
社会問題解釈法……⑥-4
社会問題辞典……⑤-4
写真術階梯…… ③-15
写真術講演…… ③-15
社調資料 …… ⑩-20
暹羅中華総商会規約及役員名簿… ⑩-25
暹羅ニ於ケル華僑ノ動向…… ⑩-25
ジャワ華僑の近況…… ⑩-25
ジャワ軍政規定集〔1〕 …… ⑩-33
ジヤワ新聞・カナジヤワシンブン 全8巻・総9冊 …… ⑩-46
ジャワ占領軍政回顧録 …… ⑩-44
爪哇に於ける文教の概況 …… ⑩-29
爪哇の村落における商業慣行…… ⑩-27
爪哇之糖業…… ③-14
ジャワ敗戦抑留日誌（1946～47）

……⑩-34
ジャワ・バル　全５巻 ……⑩-30
ジャワ防衛義勇軍史 ……⑩-30
東本願寺 上海開教六十年史 ……⑩-51
上海ニ於ケル電気事業調査……⑩-26
周易釋詁　全２巻 ……⑧-7
19世紀ヨーロッパ外交の発展とビスマルク期の外交 ……①-4
宗教進化論……⑥-3
宗教調査資料　全７巻 ……⑩-53
宗教年鑑……⑩-51
宗教叛乱史……⑩-51
宗教問題……⑥-2
政府調査　『従軍慰安婦』関係資料集成（1992～93）　全５巻 ……①-2
重慶政権の政情……⑩-4
重慶の戦時国債と華僑送金……⑩-25
私有財産問題……⑥-3
修身科教育の革新……④-10
修身訓練の諸問題と其の実際……④-25
重要商品教科書……③-14
儒学ト科挙……④-29
祝祭日略義……④-8
酒税法解説……③-18
主要工業概覧……③-3
狩猟図説……③-7
巡幸ト地方教育……④-30
（彰化女子公学校）創立20周年記念誌……④-12
商業経済論……③-6
商業工芸史……③-4
英和 商業新字彙 ……⑤-2
商業大辞書……③-8
証言集 ……⑩-29
商工興信録……③-7
商事に関する慣行調査報告書……⑩-9
醸造全書……③-10
醸造微論……③-12
上代日本染織史……③-20
詔勅、令旨、論告、訓達類纂……④-7
浄土宗開教要覧……⑩-51
昭南日本学園……⑩-25
中国及び満州関係　條約及公文集　全２巻 ……①-2
常用救荒 飲食界之植物誌 ……③-11
将来の金澤……③-7
将来之日本……⑥-3
昭和11年　朝鮮鉱業要覧 ……⑨-32
昭和十五年度ニ於ケル本邦人商社ノ経営ニ係ル出商業取引……⑩-27
諸外国殖民地教育学制大要……④-19
（諸外国殖民地教育調査要項）……④-19
女学生の栞……⑥-4
諸学校規則集改正東京入学便覧 …③-20
殖産部史料　全８巻 ……⑩-54
植物学語鈔……⑤-2
植物生理作物論……③-4
殖民地及殖民法制原論……③-10
植民地教育政策の研究 ……④-34
植民地銀行論……③-2
植民地財政論……③-9
植民地ニ於ケル特殊銀行ニ就テノ研究……③-2
植民問題……⑥-3
食物辞典……⑤-4
食糧問題……⑥-3
諸国図会年中行事大成……⑤-6
女子教育管見……③-16
女子職業案内……⑥-4
諸種営業 実地商業案内 ……③-20
女性観……⑥-4
書堂改善ニ関スル具体的意見……④-23
初等科算数 取扱上の注意 ……④-10
初等国史編纂趣意書……④-25
初等朝鮮語読本……④-25
初等地理書 編纂趣意書 ……④-24
書堂ニ関スル訓令……④-30
初等理科書 編纂趣意書 ……④-24
書房及ヒ在来ノ通俗教育ニ就イテ ④-17
書房義塾教科書ノ内容ニ関スル件 ④-17

処務上急要ト認ムル件…… ④-17
（白川公学校）開校20周年記念誌 ④-12
私立学校学則記載例…… ④-30
私立学校設立認可請願書式…… ④-30
私立学校補助規程…… ④-30
私立学校令…… ④-29
私立学校令解説…… ④-30
私立台南長老教中学校校友会会報 ④-12
私立台北中学校一覧…… ④-12
財団法人私立台湾商工学校一覧… ④-13
（私立淡水中学校･高等女学校）学則及諸規程…… ④-12
（士林公学校）開校40周年記念誌 ④-11
（新営東国民学校）学校要覧 …… ④-12
シンガポールを中心に同朋活躍　南洋の五十年…… ⑩-23
清韓商況視察報告……③-5
清韓染織視察報告書 …… ⑨-29
清韓輸出本邦綿絲、綿布、燐寸、紙巻煙草調査資料……③-5
（新義州公立普通学校）学校経営 ④-27
新舊對照 朝鮮全道府郡面里洞名稱一覧 …… ⑨-10
【新教育関係史料シリーズ】
②玉川学園機関誌　全５誌 総51巻 …… ④-33
人権新説……⑥-3
人口問題……⑥-3
清国、印度、錫蘭茶況視察復命書 ③-16
清国及朝鮮視察報文 …… ⑨-28
秦国華僑…… ⑩-25
清国貨物包裏法……③-9
清国蚕絲業視察復命書…… ③-11
清国事情……③-9
清国時報…… ③-17
清国出張復命書……③-5
清国商業慣習及金融事情……③-5
清国商況視察復命書……③-5
清国染織刺繍物ニ関スル意匠図按調査報告…… ③-11
清国ニ於ケル利権回収熱ニ基ク……③-7
清国之鉄道…… ③-11
清国窯業調査報告書……③-7
清国林業及木材商況視察復命書……③-9
震災と教育…… ③-19
震災に関する教育資料…… ③-16
新施政と教育…… ④-23
新時代の尖端語辞典……⑤-4
新社会……⑥-4
新ジャワ　全２巻 …… ⑩-28
真宗本派本願寺 台湾開教史 …… ⑩-51
人種問題……⑥-3
露西亜･朝鮮･支那遠征奇談　新々赤毛布 …… ⑨-11
浸水ト農作物……③-9
真説 八百屋お七 ……⑬-1
（仁川公立尋常小学校）創立五十周年記念誌…… ④-27
新撰東京名所写真帖百景…… ③-17
新撰東京遊学案内……⑤-1
仁川繁昌記 …… ⑨-18
真相―中国の南洋進出と太平洋戦争 ……①-1
ディオドロス　神代地誌……⑭-2
神代の女性……⑥-3
新竹州教育統計要覧…… ④-10
新竹州新竹図書館一覧…… ④-15
神祇辞典……⑤-4
新東亜の建設と佛教…… ⑩-51
新東京繁昌記……⑤-1
新特高辞典……⑤-4
新南島大観…… ⑩-24
新聞及広告人大観相録…… ③-18
新聞要覧…… ③-18
メモ、金庫現地報告、新聞論調、南方資料、他 …… ⑩-20
辛未洪景来乱の研究 …… ⑨-20
森林経理学…… ③-18
水鉛…… ③-12
増訂 水産言論 …… ③-17

水産製造論…… ③-13
水産調査所事業報告……③-4
水産統計年鑑……③-4・③-20
水産貿易要覧……③-4
水産要覧……③-7
水力電気事業実況……③-8
水力土木工事設計計算乃栞…… ③-13
数学用語英和対訳字書……⑤-3
数字より見たる世界と東亜…… ⑩-16
すがも総覧……⑤-2
杉亨二自序伝…… ③-16
ストラボン　ギリシア・ローマ世界地誌　全２巻 ……⑭-2
スマトラ研究…… ⑩-23
スマトラ重要統計…… ⑩-27
スマトラの民族…… ⑩-12
静観余録……⑥-4
征韓論実相 ……⑨-5
性行辞典……⑤-4
政治改革……⑥-3
改正増補 製絲法 …… ③-11
生性発蘊……⑥-3
製造業と原価計算法…… ③-14
製茶試験要報…… ③-17
製茶論…… ③-18
製鉄事業調査報告……③-3
製鉄所事業一覧……③-3
製鉄所例規提要……③-3
『青鞜』総目次・索引 ……⑫-1
西部シベリア地方要覧…… ⑩-27
政府調査　『従軍慰安婦』関係資料集成（1992～93）　全５巻 ……①-2
西部ニウギニア河川誌…… ⑩-27
清涼飲料水の新研究…… ③-13
世界鉱産統計…… ⑩-12
世外候事暦 維新財政談 ……③-8
ポリュビオス　世界史　全３巻 ⑭-1
世界ニ於ケル帝国…… ④-21
世界に於ける日本之将来……⑥-4
世界農産統計…… ⑩-12
世界の蚕絲業並人造絹絲業…… ③-11
世界萬国年契 …… ⑨-25
世界油脂工業…… ⑩-16
石炭略説…… ③-12
赤道報・うなばら　全１巻 …… ⑩-31
石油業調査報告……③-3
瀬戸内海論……③-7
瀬野馬熊遺稿 …… ⑨-20
セブランス連合医学専門学校一覧 ④-28
セレベス新聞・附コドモシンブン　全９巻 …… ⑩-49
陝甘寧辺区の政策と近況……⑩-4
1901年英国グラスゴー萬国博覧会出品同盟会報告…… ③-20
千九百年巴里萬国大博覧会水産部並佛国水産ノ状況視察報告…… ③-19
宣講ノ起源沿革及実行状況ノ一斑 ④-19
全国銀行一覧……③-2
全国工場統計……③-6
全国薪炭主要生産地荷主案内誌 … ③-12
全国生産会議総報告……⑩-9
戦後財政始末報告…… ③-14
戦後日本・東南アジア関係史総合年表 …… ⑩-38
戦時期台湾の教育政策関係文書… ④-16
戦時月報・軍政月報　全５巻 … ⑩-33
戦時財政整理報告……③-8
戦時支那経済と華僑送金…… ⑩-25
戦時ノ北米合衆国…… ④-20
戦前期の小笠原諸島 ……⑦-1
全ジャワ回教状況調査書…… ⑩-29
善政の基礎 国勢調査案内 …… ③-19
社会学的研究 戦争論 ……⑥-4
汕頭東瀛学校概況…… ④-13
汕頭日本小学校及東瀛学校ニ関スル件 …… ④-13
英和 船舶工学術語彙 ……⑤-4
船舶投資…… ③-15
鮮満地方視察報告 …… ⑨-28
鮮満地方出張視察報告書…… ⑨-28

鮮満の興亜教育…… ④-26
（全羅南道）学校分布図 …… ④-26
全羅南道教育及宗教一班…… ④-26
全羅南道鉱業状況 …… ⑨-27
全羅南道小作慣行調査書…… ⑨-27
全羅南道土木要覧 昭和13年度 ⑨-32
明治四十四年全羅南道道勢要覧
…… ⑨-24
全羅北道鉱業状況 …… ⑨-27
線路運搬法……③-7
宗家と朝鮮 ……⑨-6
騒擾と学校…… ④-22
相思恋愛の現象……⑥-3
総督政治史論 ……⑨-3
総督府台北州指定都市教化研究発表要
項…… ④-15
族制進化論……⑥-3
租税論……③-9
卒業生指導 更生をめざして …… ④-25
卒業生指導施設ノ実際…… ④-25
ソ連邦内回教徒事情参考資料…… ⑩-17

た行

大亜細亜開戦后ニ於ケル重慶経済並ニ
対支戦性格…… ⑩-23
大亜細亜主義　全26巻 …… ⑩-18
『大亜細亜主義』解説総目録篇
……⑩-19・⑫-4
第一次輸出重要品要覧……③-6
対外国産の基礎……③-4
大会瞥見…… ④-30
対岸教育解決方ニ就テ…… ④-19
大韓興学報摘訳…… ④-31
対岸視察事項摘要…… ④-19
対岸視察報告書…… ④-19
対岸視察録…… ④-19
対岸籍民学校情況…… ④-11
対岸ニ於ケル教育概況…… ④-11
体験五年 安山の卒業生指導 …… ④-25
泰国農民と華僑……⑩-5
泰国の産業貿易事情…… ⑩-27
大湖公学校創立40周年祝賀記念誌 ④-12
滞在支那記…… ⑩-51
第三回奥羽六県連合物産共進会報告
…… ③-18
第三次施政年報 …… ⑨-14
第14軍軍宣伝班 宣伝工作史料集
全２巻 …… ⑩-31
大正期台湾人の「日本留学」研究
…… ④-35
大小暦 ……⑤-1
対人政策…… ④-17
大戦時代の世界海運…… ③-15
（台中州）教育状況 …… ④-11
台中州教育展望…… ④-11
台中州教育年鑑…… ④-10
台中州社会教育概況…… ④-15
台中州社会教育要覧…… ④-15
台中州図書館一覧…… ④-15
台中州立台中工業学校一覧表…… ④-13
台中州立台中商業学校要覧…… ④-13
台中州立台中第一中学校一覧…… ④-12
台中州立台中第一中学校要覧…… ④-12
台中州立台中第二中学校要覧…… ④-12
台中第一中学校創立及紀念碑建設経過
報告書…… ④-18
台中庁学事状況一斑…… ④-10
大邱民団史 …… ⑨-23
大東亜共栄圏資料図絵…… ⑩-27
大東亜共栄圏ニ於ケル米需給ノ基本状
態ト日満支ノ食糧対策概観…… ⑩-24
大東亜経済施策ニ関スル想定問答 ⑩-24
大東亜建設審議会関係史料（総会・
部会速記録）　全4巻 …… ⑩-34
大東亜資料総覧…… ⑩-23
大東亜戦争カ奥地ニ与フル影響・第三
部華僑…… ⑩-24
大東亜戦争勃発ノ新事態下ニ於ケル中
支那通貨及金融機構ニ就テ…… ⑩-26

大東亜農事統計書…… ⑩-27
大東亜法秩序・日本帝国法制関係資料
第１期 『司法資料一般（司法研究所・他資料）』 全10巻 … ⑩-43
第２期 『南方軍政監部資料』 全10巻 …… ⑩-43
第３期 『満州国関係・蒙疆政府関係資料』 全16巻 …… ⑩-44
亜細亜公論・大東公論 全3巻 ⑩-19
（台東庁）教育要覧 …… ④-11
大なる日本と同化問題…… ④-21
台南市教育要覧…… ④-11
（台南師範学校）創立10周年記念誌 …… ④-13
台南師範学校附属公学校内規…… ④-14
台南州学事一覧…… ④-11
台南州管内学事一覧…… ④-11
台南州教育誌…… ④-11
台南州社会教育要覧…… ④-15
（台南州新営郡）国語講習所に於ける教授訓練の研究…… ④-15
台南州立嘉義高等女学校一覧表… ④-12
台南州立嘉義中学校一覧表…… ④-12
台南州立嘉義農林学校一覧表…… ④-13
台南州立虎尾高等女学校一覧…… ④-12
台南州立台南第一中学校要覧…… ④-12
台南州立台南第二中学校一覧表… ④-12
台南州立台南盲唖学校一覧…… ④-13
（台南女子公学校）学報 …… ④-12
台南市立台南図書館一覧…… ④-15
（台南第一高等女学校）校友会雑誌 …… ④-12
（台南長老教中学学友会）輔仁 … ④-12
大南洋年鑑…… ⑩-23
第二次韓国施政年報 …… ⑨-14
第二次世界大戦期東ティモール文献目録 ……⑩-45・⑫-4
第二次輸出重要品要覧…… ③-19・③-20
第２拓地殖民要録……③-5
第二調査委員会北支委員会総合報告書 …… ⑩-14
大日本蚕史…… ③-10
大日本金物名鑑…… ③-14
大日本貨幣精図……③-8
大日本銀行会社沿革史……③-9
大日本刑獄沿革略史 ……⑤-6
大日本商人録 東京之部…… ③-20
大日本地方財政史…… ③-14
大日本農政類編……③-8
大日本洋酒缶詰沿革史…… ③-10
大日本老樹名木誌…… ③-12
台華実業学校設立意見…… ④-19
台北高等学校生徒便覧…… ④-14
台北高等商業学校一覧…… ④-14
（台北市大橋公学校）開校40周年記念誌…… ④-11
（台北市大橋公学校）創立10周年記念誌…… ④-11
台北市社会教育概況…… ④-15
台北市太平公学校創立35周年記念誌 …… ④-11
台北師範学校創立三十周年記念誌 ④-13
台北州宜蘭公学校創立40周年記念誌 …… ④-12
台北州立宜蘭農林学校一覧表…… ④-13
台北州立基隆中学校一覧表…… ④-12
台北州立台北工業学校一覧…… ④-13
台北州立台北商業学校一覧…… ④-13
台北州立台北第一高等女学校一覧 ④-12
台北州立台北第二商業学校一覧… ④-13
台北州立台北盲唖学校一覧…… ④-13
（台北市龍山公学校）創立満15周年記念誌…… ④-11
（台北第一高等女学校）創立25周年記念…… ④-12
（台北第三高等女学校）創立満30周年記念誌…… ④-12
（台北第二師範学校校友会誌）芳蘭 …… ④-13
（台北第二師範学校）創立10周年 ④-13

台北帝国大学一覧…… ④-14
開学記念 台北帝国大学概況 …… ④-14
台北帝国大学学生生徒生活調査… ④-14
台北帝国大学関係文書…… ④-16
台北帝国大学附属農林専門部一覧 ④-14
太平洋諸島 統計書 …… ⑩-26
太平洋の宝庫　独領 南洋諸島 … ⑩-26
『太平洋問題調査会』研究 ……①-3
台北州学事一覧…… ④-10
台北州立第二中学校一覧…… ④-12
対本島人紳士学務部長訪問談話要領
…… ④-18
対本島人中等教育問題…… ④-18
大陸に於ける宗教工作状況…… ⑩-51
大陸発展策より見たる元山港 … ⑨-24
真宗本派本願寺 台湾開教史 …… ⑩-51
台湾学事一覧…… ④-14
台湾学事統計一覧…… ④-14
台湾学事年鑑……④-7
台湾学事法規……④-7
台湾学事要覧……④-7
台湾学生東京在学者数一覧…… ④-11
台湾教育沿革誌……④-9
台湾教育史……④-9
台湾教育志稿……④-9
台湾教育事情……④-7
台湾教育ノ概況…… ④-17
台湾教育ノ現況諸表…… ④-14
台湾教育の進展……④-9
「台湾教育令」関係文書 …… ④-15
台湾教育令制定由来…… ④-18
台湾教育令…… ④-18
台湾教育令ノ反響…… ④-19
台湾銀行十年誌……③-2
台湾銀行20年誌……③-9
台湾金融事項参考書……③-2･③-18
台湾憲兵隊史 ……⑧-7
台湾公学校教科書使用上ノ注意……④-9
台湾公学校教科書編纂趣意書……④-9
台湾公学校国語教授要旨……④-8
台湾公学校新入学児童観念調査成績
……④-8
台湾公立台中高等普通学校規則… ④-11
台湾公立台中中学校要覧…… ④-11
台湾公立中学校関係公文書…… ④-18
台湾公立中学校設置問題…… ④-18
台湾公立中学校創設ニ関スル上申 ④-18
台湾産業調査録……③-5
台湾誌…… ③-11
【台湾史研究資料】
①殖産部史料　全８巻 …… ⑩-54
臨時台湾旧慣調査会第1部調査第3回報
告書 台湾私法附録参考書 …… ③-14
台湾社会教育概要…… ④-14
台湾小学校理科教授要目…… ④-10
台湾商工統計…… ⑩-26
台湾省五十一年来統計提要…… ④-15
台湾植物目録…… ③-16
台湾殖民政策（部分）……④-8
台湾史料…… ③-15
台湾人教育制度改正案系統表…… ④-18
台湾人教育ノ根本方針及施設ニ就テ
…… ④-17
台湾人児童の長所及短所に就て……④-8
台湾税関要覧…… ③-14
台湾総督府医学校一覧…… ④-14
台湾総督府学事年報…… ④-14
台湾総督府学事法規……④-7
台湾総督府公学模範学校規則案……④-8
台湾総督府高等商業学校一覧…… ④-14
台湾総督府高等農林学校…… ④-14
台湾総督府国語学校一覧…… ④-13
台湾総督府国語学校第三附属学校規程
…… ④-13
台湾総督府国語学校第四附属学校規程
…… ④-13
台湾総督府商業専門学校一覧…… ④-14
台湾総督府水産講習所案内…… ④-13
（台湾総督府）成徳学院要覧 …… ④-13
台湾総督府台中師範学校一覧…… ④-14

（台湾総督府台中師範学校）創立10周年紀念誌……④-13
台湾総督府台中師範学校要覧……④-14
台湾総督府台南高等工業学校一覧④-14
台湾総督府台南師範学校一覧……④-14
台湾総督府台北医学専門学校一覧④-14
台湾総督府台北高等学校一覧……④-14
台湾総督府台北師範学校一覧……④-14
台湾総督府台北第二師範学校一覧④-13
台湾総督府台北中学校一覧……④-12
台湾総督府図書館一覧……④-15
台湾総督府図書館一覧表……④-15
台湾総督府図書館概覧……④-15
台湾総督府農事講習生一覧……④-13
台湾総督府博物館案内……④-16
台湾総督府評議会会議録（部分）…④-8
台湾総督府屏東師範学校一覧表…④-14
（台湾大学設立関係資料）……④-8
台湾大学設立論……④-8
台湾中学校学力調査成績……④-8
台湾適用 作法教授書 ……④-9
台湾鉄道史……③-11
台湾統治概要（部分）……④-7
台湾統治志……③-17
台湾統治綜覧……③-11
台湾統治綜覧……⑩-23
台湾ニ於ケル学校教育ノ現況……④-7
台湾ニ於ケル学校児童ニ関スル研究……④-8
台湾ニ於ケル教育施設ノ要領覚書…④-8
（秘）台湾ニ於ケル教育ニ関スル卑見ノ一二並ニ疑問……④-17
台湾における現行教科用図書に就て……④-9
台湾に於ける国語教育の過去及現在……④-10
台湾に於ける国語教育の展開……④-10
台湾に於ける国民学校の経営……④-8
台湾ニ於ケル私立学校概況……④-8
台湾農事調査書……③-5
台湾の学校教育……④-7
台湾の教育……④-7
台湾之教育……④-17
（台湾ノ教育状況）……④-14
台湾の社会教育……④-15
台湾之米作統計……③-5
台湾蕃政志……③-14
台湾保甲皇民化読本……④-15
台湾 保･甲 皇民化読本 ……⑨-26
台湾郵便史……③-13
高雄市教育要覧……④-11
高雄州学事一覧……④-11
（高雄州）社会教育概要 ……④-15
高雄州屏東農業学校一覧表……④-13
高雄州立屏東高等女学校一覧……④-12
高雄州立屏東中学校一覧表……④-12
高砂族教育教化の概況……④-11
高砂族の教育……④-11
高砂寮問題……④-11
田川辰一より隈本繁吉宛書信……④-18
拓殖指導 北海道実況 ……③-7
拓殖務省所管省務要覧……③-4
拓地殖民要録……③-16
太政類典より　学制 ……④-3
田尻博士講演集……③-11
谷中村滅亡史……⑥-4
田ノ灌漑排水ニ関スル状況調査……③-5
玉川学園機関誌　全５誌 総51巻……④-33
誰も知らない『西遊記』 ……⑧-8
炭礦読本 ……⑧-1

単行図書資料

第１期（第１巻～第31巻） 総31巻……⑩-23
第２期（第32巻～第69巻） 総38巻 ……⑩-24
第３期（第70巻～第99巻） 総30巻 ……⑩-26
第４期第１回配本（第100巻～第107巻・計８巻）……⑩-27

男女東京遊学案内…… ③-17
淡水公学校創立30周年季記念誌 … ④-11
タンニン資源としての紅樹林…… ⑩-26
地域別に観た蘭印の重要輸出品 … ⑩-24
英和和英 地学辞彙 ……⑤-4
地下水利用論…… ③-20
畜牛業ニ関スル共同経営ノ方法及成績 ……③-8
校訂 筑後志 …… ③-11
道庁府県 畜産主任官及種畜場長協議会要録…… ③-12
畜産統計…… ③-5･③-8
筑前志…… ③-11
（竹南郡）教育要覧 …… ④-10
（竹南公学校創立40周年）記念会誌 …… ④-11
日本水路誌第八巻 千島列島 …… ③-14
地方行政区域名稱一覧 ……⑨-9
地方経営小鑑…… ③-10
地方制度…… ③-20
地方林務一班…… ③-10
茶業講義録…… ③-20
茶業ニ関スル調査……③-8
茶樹栽培法……③-4
中外蚕事要録……③-5
中外郵便週報…… ③-10
中外を震驚せる皖南惨案……⑩-3
中学校教科教授及修練指導要目 … ④-25
中華民国ニ於ケル電気事業ニ就テ ⑩-26
中華民国臨時政府ノ成立過程ト現状 …… ⑩-23
中国及び満州関係 條約及公文集 全２巻 ……①-2
中国憲政運動の発展と最近の動向 …⑩-1
中国工業合作社運動の全貌……⑩-9
中国紅軍及ソヴェート発展史梗概 ⑩-23
中国国民党農業政策序説……⑩-6
中国水利史…… ⑩-11
中国ソヴエート……⑩-3
中国田賦史…… ⑩-11
中国の近代教育と明治日本…… ④-34
中国ミッションスクールの研究 ④-34
中国有用植物一覧…… ⑩-16
中国留日同学会季刊…… ⑩-50
中支宗教大同連盟月報…… ⑩-51
中支宗教大同連盟 昭和15年度総会要録…… ⑩-51
中支宗教大同連盟年鑑…… ⑩-51
忠清南道鉱業状況 …… ⑨-26
忠清北道鉱業状況 …… ⑨-26
中南支地方共産党及ヒ共産匪行動状況ニ関スル調査報告書…… ⑩-23
昭和11年 中南支那外国貿易詳細統計 …… ⑩-15
忠清南道鉱業状況（チュンチョンナムド） …… ⑨-26
忠清北道鉱業状況（チュンチョンブク） …… ⑨-26
興亜院大東亜省 調査月報 全36巻 ……⑧-8
朝鮮 ……⑨-3
朝鮮偉勲録 …… ⑨-23
朝鮮彙報 ……⑨-5
朝鮮沿岸水路誌 …… ⑨-11
朝鮮開教五十年誌…… ⑩-51
朝鮮河川令釋義…… ⑨-32
朝鮮学事例規…… ④-22
朝鮮学制案ノ要旨…… ④-31
朝鮮学制改正案要領…… ④-23
朝鮮学校管理法…… ④-26
朝鮮帰化族の発展 …… ⑨-25
朝鮮舊慣制度調査事業概要…… ⑨-22
朝鮮教育行政…… ④-26
朝鮮教育史考…… ④-25
朝鮮教育制度改正要領…… ④-23
朝鮮教育制度史…… ④-25
朝鮮教育大観…… ④-27
朝鮮教育ノ沿革…… ④-25
朝鮮教育の概観…… ④-22
朝鮮教育の側面観…… ④-25
朝鮮教育の断片…… ④-25
朝鮮教育問題管見…… ④-25

朝鮮教育要覧…… ④-22
朝鮮教育令案·朝鮮教育令案参照条文 …… ④-23
朝鮮教育令改正案…… ④-23
朝鮮教育令改正関係書類…… ④-23
朝鮮教育令改正参考資料…… ④-24
朝鮮教育論…… ④-25
朝鮮教育論 …… ⑨-13
朝鮮近代社会経済史 …… ⑧-32
朝鮮芸術之研究 …… ⑨-22
朝鮮芸術之研究 続編 …… ⑨-22
朝鮮芸文志 …… ⑨-23
朝鮮刑務堤要 …… ⑨-30
朝鮮研究文献誌　明治·大正編、附昭和編（遺稿） ……⑫-1
朝鮮公立普通学校及官立諸学校整理案 …… ④-31
朝鮮国民学校教則の実践…… ④-26
朝鮮公論十週年記念　鮮満人物批判号 …… ⑨-33
朝鮮古書目録 …… ⑨-15
朝鮮古蹟調査略報告 …… ⑨-22
朝鮮固有色辞典 …… ⑨-17
朝鮮最近史 …… ⑨-10
朝鮮財政論……③-9
朝鮮在来教派概観 …… ⑨-25
朝鮮誌 ……⑨-2
見聞随記 朝鮮時事 …… ⑨-11
朝鮮施政に関する論告·訓示並に演述集…… ④-23
朝鮮施政ノ方針及実績 ……⑨-4
朝鮮支那地名辞彙 ……⑨-2
朝鮮史編修会事業概要 …… ⑨-19
朝鮮史編修会要覧 …… ⑨-19
朝鮮社会教育要覧…… ④-28
朝鮮社会教化要覧…… ④-28
朝鮮社会史ノ断面 …… ⑨-18
朝鮮奨学会設立趣意書及規程…… ④-28
朝鮮常平通寶錢譜 …… ⑨-24
朝鮮諸学校一覧…… ④-28
朝鮮人学生調…… ④-28
朝鮮人学齢児童就学ノ状況…… ④-23
朝鮮人教育 私立各種学校状況 … ④-27
朝鮮人教育 私立学校統計要覧 … ④-28
朝鮮人の衣食住…… ③-15
朝鮮人ノ衣食住及其ノ他ノ衛生 ⑨-12
朝鮮人の商業 ……⑨-3
朝鮮人発行雑誌調…… ④-28
朝鮮青年成功録 …… ⑨-25
新舊對照 朝鮮全道府郡面里洞名稱一覧 …… ⑨-10
朝鮮総督府京城医学専門学校一覧 ④-28
朝鮮総督府統計年報…… ④-30
朝鮮総督府ニ於ケル医事教育摘要 ④-31
朝鮮総督府ニ於ケル一般国民ノ教育普及振興ニ関スル第一次計画…… ④-23
朝鮮総督府編纂教科書概要…… ④-24
朝鮮総督府編纂教科用図書概要 … ④-24
朝鮮総督府編纂国語読本教材要旨 ④-25
朝鮮地誌略　全２巻 …… ⑨-34
朝鮮地方制度視察報告書 …… ⑨-28
朝鮮統治三年間成績…… ④-23
朝鮮統治三年間成績 ……⑨-7
朝鮮統治史論稿 ……⑨-8
朝鮮統治の回顧と批判 ……⑨-1
朝鮮統治の諸問題…… ④-23
朝鮮統治問題に就て先輩並に知友各位に訴ふ ……⑨-5
朝鮮道立醫院概況 …… ⑨-26
朝鮮と簡易学校…… ④-26
朝鮮独立騒擾史論 ……⑨-3
朝鮮賭博要覧 …… ⑨-11
朝鮮に於ける家庭工業調査…… ⑨-32
朝鮮における教育革新の全貌…… ④-22
朝鮮に於ける施政の一斑…… ④-23
朝鮮に於ける支那人 ……⑨-4
朝鮮に於ける新施政…… ④-23
朝鮮に於ける同盟休校の考察…… ④-24
朝鮮ニ関スル東亜経済調査局報告 …… ⑨-17

朝鮮ニ於ケル不動産関係統制法規 …… ⑨-32
朝鮮農業概説…… ③-11
朝鮮農村社会踏査記 …… ⑨-33
朝鮮の俤 …… ⑨-21
朝鮮の鬼神 …… ⑨-16
朝鮮の救荒植物 …… ⑨-27
朝鮮の教育…… ④-21・④-25
朝鮮の教育制度略史…… ④-25
朝鮮の郷土娯楽 …… ⑨-16
朝鮮の群衆 ……⑨-9
朝鮮の市場 ……⑨-6
朝鮮の市場経済 ……⑨-8
朝鮮の宗教 …… ⑨-16
朝鮮の習俗 …… ⑨-13
朝鮮の神話と伝説 …… ⑨-16
朝鮮の姓氏と同族部落 …… ⑨-12
朝鮮の姓の由来 ……⑨-8
朝鮮の姓名氏族に関する研究調査 …… ⑨-29
朝鮮の契 ……⑨-8
朝鮮の統治と基督教（朝鮮総督府） ……⑨-2
朝鮮の統治と基督教（半井清）… ④-23
朝鮮の土地制度及地税制度調査報告書 …… ③-11
朝鮮の謎 ……⑨-7
朝鮮の匂ひ …… ⑨-21
朝鮮の犯罪と環境 …… ⑨-12
朝鮮の風水 ……⑨-9
朝鮮の服装 …… ⑨-13
朝鮮の巫覡 …… ⑨-16
朝鮮ノ保護及併合 ……⑨-1
朝鮮の迷信と俗傅 ……⑨-7
朝鮮博覧会京城協賛会報告書… ⑨-30
朝鮮半島史編成ノ要旨及順序、朝鮮人名彙考編纂ノ要旨及順序 ⑨-19
朝鮮百業百種 …… ⑨-24
朝鮮風俗画譜 ……⑨-6
朝鮮風俗集 ……⑨-7
朝鮮佛教大会紀要 …… ⑨-25
朝鮮部落調査特別報告 ……⑨-8
朝鮮部落調査報告 ……⑨-8
朝鮮部落調査予察報告 ……⑨-8
朝鮮部落の一形態　副業の盛なる道也味里 …… ⑨-29
朝鮮聞見録 …… ⑨-11
朝鮮文廟及陞廡儒賢 …… ⑨-20
朝鮮併合之裏面 …… ⑨-10
朝鮮貿易年表 …… ⑨-15
朝鮮漫画 ……⑨-4
朝鮮・満洲新聞現勢 …… ⑨-33
朝鮮民情視察報告 …… ⑨-28
朝鮮民籍法令集 …… ⑨-28
朝鮮訳･漢訳教育勅語 …… ④-22
朝鮮野談集 …… ⑨-18
文禄征韓水師始末 朝鮮李舜臣伝 ……⑨-5
庁府県工場取締ニ関スル調査概覧 …③-3
長府彦島 下関名勝ノ栞 …… ③-16
勅語宣講会施行上ニ関シ在京民政長官ニ内報案…… ④-19
勅語宣講会設立ニ関スル建白…… ④-19
勅語宣講会設立稟請…… ④-19
勅語宣講会ニ関シ在京民政長官ニ内報案…… ④-19
勅語謄本ニ関スル件…… ④-19
勅令案 台湾教育令 …… ④-19
勅令案 台湾教育令説明 …… ④-19
貯蓄機関論…… ③-11
明治四十四年全羅南道（チョルラナムド）道（チョルラナムド）勢要覧 ⑨-24
（全羅南道）学校分布図 …… ④-26
全羅南道（チョルラナムド）教育及宗教一班…… ④-26
全羅南道（チョルラナムド）鉱業状況 …… ⑨-27
全羅南道（チョルラナムド）小作慣行調査書…… ⑨-27
全羅北道（チョルラブクド）鉱業状況 …… ⑨-27
青島港貿易統計年報…… ⑩-27
鎮南浦府史 …… ⑨-23
通貨論……③-2
通商上ヨリ見タル支那ニ於ケル排日運

動概況…… ⑩-23
通信事業五十年史…… ③-15
通俗荏原風土記稿…… ③-17
通俗財話…… ③-18
通俗写真術…… ③-18
通俗食物講話…… ③-17
珍袖 通俗神話辞彙 ……⑤-3
通俗理化一斑…… ③-18
私立学校概況……④-8
次田拓殖課長意見抄及之ニ対スル批評
…… ④-18
ディオドロス　神代地誌 ……⑭-2
定期刊行資料
第１期　比律賓情報　全21巻
…… ⑩-18
第２期　大亜細亜主義　全26巻
…… ⑩-18
第３期　亜細亜公論・大東公論
全３巻 …… ⑩-19
第４期　南方開発金庫調査資料
全17巻・附１巻 …… ⑩-20
第５期　南洋年鑑　全４巻… ⑩-20
第６期　文化時報　全18巻・附
１巻 …… ⑩-21
第７期　南洋協会発行雑誌（全
30巻）…… ⑩-22
DICTIONARY OF SEA TERMS…⑤-4
帝国国有財産總覧…… ③-14
帝国実業家立志編…… ③-10
帝国主義下の台湾（部分）……④-8
帝国主義期ヨーロッパ外交の発展
……①-4
帝国主義治下における朝鮮の教育状態
…… ④-25
帝国新領土ノ民衆ニ下賜セラルヽ場合
ニ於ケル教育勅語内容事項私桉 ④-20
帝国大日本電信沿革史……③-6
帝国鉄道協会会員名簿…… ③-10
『帝国農会報』 記事索引目録
…… ⑩-1・⑫-2
帝国物産地誌通覧…… ③-11
逓信史要…… ③-15
帝都郊外発展誌・城南の巻 ……⑤-1
データから見た日本統治下の台湾・
朝鮮プラスフィリピン …… ⑩-36
敵軍編成表…… ⑨-21
大邱医学専門学校諸規程輯覧…… ④-28
哲学字彙……⑤-3
最新 哲学辞典 ……⑤-4
哲学大観……⑥-5
鉄道一瞥…… ③-15
鉄道運転法研究…… ③-15
鉄道経済要論……③-7
鉄道震害調査書…… ③-18
英和対訳 鉄道用語辞典 ……⑤-4
鉄道旅客運搬論……③-7
鉄道論…… ③-18
鉄と鋼製造法及性質…… ③-12
田園都市……⑥-4
英独和独和英 電気工学辞典 ……⑤-4
電気工学術語集……⑤-4
保定・石家荘・太原　電気事業調査報告
書…… ⑩-26
電気訳語集……⑤-3
天気予報論…… ③-15
電信ト市外電話トノ将来ニ関スル意見
書…… ③-20
天日製塩業より見たる南洋…… ⑩-24
獨逸社会的保険法綱要…… ③-13
独逸商工勃興史……③-9
独逸東洋艦隊殲滅日記…… ⑩-23
独逸之農業関税……③-7
東亜関係統計資料目録……⑩-7
東亜経済事情…… ⑩-23
東亜研究所刊行物
第１期　（第１巻　～　第16巻）
全16巻 ……⑩-1
第２期　（第17巻　～　第33巻）
全17巻 ……⑩-4
第３期　（第34巻　～　第47巻）

全14巻 ……⑩-7
第 4 期 （第48巻 ～ 第59巻）
全12巻 …… ⑩-10
第 5 期 （第60巻 ～ 第69巻）
全10巻 …… ⑩-12
第 6 期 （第70巻 ～ 第82巻）
全13巻 …… ⑩-14
第 7 期 （第83巻 ～ 第94巻）
全12巻 …… ⑩-16
東亜研究成果資料摘要（稿）… ⑩-17
東亜鉱業統計…… ⑩-15
東亜諸地域に在住する日本人の人口動態に関する二･三の考察 …… ⑩-15
東亜日誌……⑩-4
東亜日誌附録……⑩-4
東亜之大勢……⑥-3
東亜佛教大会紀要…… ⑩-51
東亜ロイドのボリアン氏への反論 ④-29
東瀛学校調査…… ④-13
統監府施政一斑 …… ⑨-14
統監府統計年報 ……⑨-6
東京……⑤-2
東京案内……⑤-1
改正増補 東京案内 ……⑤-1
東京開化繁昌誌……⑤-1
東京凱旋軍歓迎会誌…… ③-18
東京勧業協会終始一斑……⑤-2
東京勧業博覧会案内…… ③-16
東京勧業博覧会写真帖…… ③-11
東京区分町鑑……⑤-1
東京警吏須知…… ③-19
東京見物……⑤-1
東京在留朝鮮人学生ノ夏期休暇中ノ講演会ニ対スル対策…… ④-28
東京市及其附近ニ於ケル工業経営ノ概要…… ③-11
東京市京橋区月島に於ける実施調査報告 全 2 巻 ……⑥-3
東京市区改正全書……⑤-1
東京市下水道沿革誌…… ③-11
東京市市勢統計原表…… ③-17
東京史蹟写真帖……⑤-1
東京市町名沿革史 ……⑤-5
東京市町名起源考……⑤-2
東京市内先儒墓田録…… ③-20
東京市の改造……⑤-2
改元記念第 2 輯 東京小間物化粧品名鑑 …… ③-11
武蔵文庫 東京城西四多摩郡 …… ③-17
東京新繁昌記……⑤-1
東京地名便覧……⑤-2
東京著名録…… ③-20
東京地理沿革誌……⑤-2
東京帝国大学…… ③-17
東京の女……⑤-2
東京の解剖……⑤-2
東京の過去及将来……⑤-2
東京の史蹟……⑤-1
東京の表裏八百八町……⑤-2
東京パック 全 8 巻･総13冊 ……②-3
東京風水害救済會報告書……⑤-2
東京府下農事要覧…… ③-17
東京府産業組合一班…… ③-20
東京府史談…… ③-16
東京府職業別死亡統計表…… ③-17
東京府治一斑…… ③-19
改正 東京附地略誌 ……⑤-1
東京府･西多摩郡･南多摩郡･北多摩郡名所旧蹟及物産志…… ③-18
東京府農会一覧…… ③-17
東京府農商工要覧……③-3
東京府林産要覧…… ③-18
東京古蹟史……⑤-1
東京名勝図会……⑤-1
東京名所鑑……⑤-1
東京名所獨案内……⑤-1
東京明覧……⑤-1
東京廻米問屋市場沿革…… ③-15
東京模範商工品録…… ③-16
東京模範百工場…… ③-19

東京湾漁場調査…… ③-15
統計学研究…… ③-15
當五銭低落管見……③-9
燈台…… ③-12
道庁府県 畜産主任官及種畜場長協議会要録…… ③-12
道庁府県重要工作物一覧……③-6
東都新繁昌記……⑤-1
東都と学生…… ③-19
東南アジア農業開発と環境・資源……⑪-4
東南アジア農業生産の課題……⑪-1
東南アジア農業と環境保全……⑪-4
東南アジア農業と日本……⑪-4
東南アジア・農業と水 ……⑪-3
東南アジアの技術協力をめぐる諸問題 ……⑪-4
東南アジアの自然・技術・農民……⑪-4
東南アジアの食品加工業……⑪-4
東南アジアの畜産 ……⑪-3
東南アジアの農民とルーラル・デベロップメント ……⑪-3
東洋大都会…… ③-20
立志起業 東洋立志編 …… ③-20
徳川氏貨幣志……③-9・③-14
徳島県米穀検査令規……③-3
徳壽宮史 …… ⑨-20
時計発達史…… ③-18
都市社会主義……⑥-4
都市庶民金融に関する調査…… ③-14
土壌及肥料論……③-9
栃木県米穀検査令規……③-3
土地調査綱要 …… ⑨-21
富公報 …… ⑩-28
都名所二十五景…… ③-17
富山県米穀検査令規……③-3
豊国小志…… ③-15

な行

内外商業地理…… ③-20
内申…… ④-20
内申（書）…… ④-20
(内申ニ関スル鄙見)…… ④-20
内地及台湾学制系統調　臨時教育調査委員会資料（1)…… ④-18
内地在留学生指導に関する意見書 ④-28
内地雑居可否論纂……⑥-3
内地雑居後之日本……⑥-4
内地人教育の現状…… ④-23
内地ニ於ケル台湾留学生概況…… ④-11
内務省ト交渉概要…… ④-18
内湾漁制通考…… ③-13
苗族調査報告…… ③-15
長野県案内…… ③-17
長野県勧業要報……③-3
長野県産業一般……③-3
長野県立小県蚕業学校25年要報… ③-10
名古屋新聞・小山松寿関係資料集 全７巻 ……②-4
七項運動宣伝綱要……⑩-3
南京及蘇州に於ける基督教の実情調査 …… ⑩-51
南京及蘇州に於ける佛教の実情調査 …… ⑩-51
南支調査資料蒐録…… ⑩-23
南支南洋の通貨…… ⑩-27
南進する人びとの近現代史……⑦-1
南豆風土記…… ③-18
南米調査資料……③-4
南方開発金庫調査資料　全17巻・附１巻 …… ⑩-20
『南方開発金庫調査資料』附巻（解説・総目次・索引） ……⑩-20・⑫-5
南方華僑団体調査…… ⑩-25
南方華僑有力者名簿…… ⑩-25

【南方軍政関係史料】

①富公報 …… ⑩-28
②馬来公報 …… ⑩-28
③軍政下ジャワ産業綜観　全２巻 …… ⑩-28
④新ジャワ　全２巻 …… ⑩-28
⑤全ジャワ回教状況調査書… ⑩-29
⑥証言集 …… ⑩-29
⑦爪哇に於ける文教の概況… ⑩-29
⑧ジャワ・バル　全５巻 …… ⑩-30
⑨日本語教科書[ジャワ] …… ⑩-30
⑩ジャワ防衛義勇軍史 …… ⑩-30
⑪比島調査報告　全２巻…… ⑩-31
⑫赤道報・うなばら …… ⑩-31
⑬第14軍軍宣伝班 宣伝工作史料集　全２巻 …… ⑩-31
⑭ジャワ軍政規定集〔1〕…… ⑩-32
⑮インタヴュー記録 日本のフィリピン占領 …… ⑩-32
⑯比島宗教班関係史料集　全２巻 …… ⑩-32
⑰農村実態調査 …… ⑩-33
⑱戦時月報・軍政月報　全５巻 …… ⑩-33
⑲軍政下におけるマラヤ・シンガポール教育事情史・資料（1941～45）　全２巻 …… ⑩-33
⑳渡邊渡少将軍政関係史・史料　全５巻 …… ⑩-34
㉑南方軍政下の経済施策　全２巻 …… ⑩-34
㉒ジャワ敗戦抑留日誌（1946～47）…… ⑩-34
㉓大東亜建設審議会関係史料（総会・部会速記録）　全４巻… ⑩-34
㉔南方特別留学生招へい事業の研究 …… ⑩-35
㉕南方徴用作家叢書 …… ⑩-35
第1期　ジャワ篇　全15巻 …… ⑩-36
第2期　ビルマ篇　全14巻 …… ⑩-37
㉖戦後日本・東南アジア関係史総合年表 …… ⑩-38
㉗マラヤ日本占領期文献目録（1941年－45年） …… ⑩-38
㉘「領事報告」掲載フィリピン関係記事目録　1881－1943年 …… ⑩-38
㉚北ボルネオ軍政概要 …… ⑩-38
㉛インドネシア日本占領期文献目録 …… ⑩-39
㉜日本語教科書　全６巻…… ⑩-39
㉝インタヴュー記録 日本の英領マラヤ・シンガポール占領（1941～45年） …… ⑩-40
㉞榊原家所蔵南方軍軍政総監部関係文書　全９巻 …… ⑩-41
㉟南方軍軍政監部調査部・馬来軍政監部調査部報告書　全22巻 …… ⑩-42
㊲大東亜法秩序・日本帝国法制関係資料
第１期 『司法資料一般（司法研究所・他資料）』 全10巻 …… ⑩-43
第２期 『南方軍政監部資料』 全10巻 …… ⑩-43
第３期 『満州国関係・蒙疆政府関係資料』 全16巻 … ⑩-44
㊳日本軍占領下の東ティモール視察復命書 …… ⑩-44
㊴ジャワ占領軍政回顧録…… ⑩-44
㊵フィリピン関係文献目録… ⑩-45
㊶第二次世界大戦期東ティモール文献目録 …… ⑩-45
㊷インドネシア残留日本兵の社会史 …… ⑩-45
㊸小野佐世男ジヤワ従軍画譜 ⑩-45
㊹ジヤワ新聞・カナジヤワシンブ

ン　全８巻･総９冊 …… ⑩-46
㊺南洋協会発行雑誌　解説･総目録･索引　全２巻 …… ⑩-46
㊻ボルネオ新聞　全11巻…… ⑩-47
㊼倉沢愛子コレクション　全２巻 …… ⑩-48
㊽「ボルネオ新聞」 解題・総目録・索引 …… ⑩-47
㊾インドネシア日本軍政関係日本語一次史料目録 …… ⑩-48
㊿時空はるか 繪手紙「南方画信」…… ⑩-48
(51)セレベス新聞・附コドモシンブン　全９巻 …… ⑩-49
大東亜法秩序･日本帝国法制関係資料　第２期　『南方軍政監部資料』　全10巻…… ⑩-43
南方軍軍政監部調査部･馬来軍政監部調査部報告書　全22巻…… ⑩-42
南方軍政下の経済施策　全２巻 …… ⑩-34
南方圏に於ける華僑…… ⑩-25
南方植民史文献目録…… ⑩-12
南方諸地域の石油……⑩-8
メモ、金庫現地報告、新聞論調、南方資料、他 …… ⑩-20
南方地域資源統計地図……⑩-7
南方地域邦文資料目録……⑩-7
南方地域邦文資料目録追加……⑩-7
南方徴用作家叢書
第１期　ジャワ篇　全15巻… ⑩-36
第２期　ビルマ篇　全14巻… ⑩-37
南方統計要覧……⑨-5
南方特別留学生招聘事業の研究 ⑩-35
南方読本…… ⑩-23
南方日誌 …… ⑩-20
南方農林水産要員指導者養成会関係綴 …… ⑩-26
南方法秩序説…… ⑩-27
南方林業経営の苦心…… ⑩-27
南遊紀行……⑤-6
南洋印度等に於ける支那人の排日貨に関する報告…… ⑩-24
南洋華僑…… ⑩-25
南洋華僑概観…… ⑩-25
南洋華僑教育調査研究……⑨-5
南洋華僑事情…… ⑩-24
南洋華僑調査…… ⑩-25
南洋華僑調査の結果概要…… ⑩-24
南洋華僑と其の対策…… ⑩-24
南洋華僑ニ就テ…… ⑩-25
南洋華僑の研究…… ⑩-25
南洋関係会社要覧…… ⑩-23
南洋協会十年史…… ⑩-23
南洋協会二十年史…… ⑩-25
南洋協会発行雑誌（全30巻）… ⑩-22
南洋協会発行雑誌　解説･総目録･索引　全２巻 …… ⑩-22･⑩-46
南洋群島案内…… ⑩-26
南洋群島人事録…… ⑩-26
南洋群島水路図誌目録…… ⑩-26
南洋群島に於ける旧俗習慣…… ⑩-23
南洋群島引揚者名簿…… ⑩-26
（南洋経済研究所）研究資料 …… ⑨-25
南洋経済懇談会報告書…… ⑩-25
南洋栽培事業要覧…… ⑩-24
南洋重要物産…… ⑩-24
南洋情報及資料…… ⑩-26
南洋諸国に於けるエステート･ゴム及び土人ゴム…… ⑩-24
南洋諸島…… ⑩-26
南洋占領諸島概記…… ③-15
南洋叢書…… ⑩-26
南洋叢書第1巻 蘭領東印度篇 …… ⑩-24
南洋地名集成…… ⑩-26
南洋庁施政十年史…… ⑩-23
南洋ト華僑…… ⑩-25
南洋に於ける支那人…… ⑩-25
南洋ニ於ケル水産業調査書…… ⑩-24
南洋ニ於ケル邦人の護謨投資事業 ⑩-23

南洋年鑑　全４巻 …… ⑩-20
シンガポールを中心に同朋活躍　南洋の五十年…… ⑩-23
南洋之水産…… ③-16
南洋の風土…… ⑩-25
南洋発展唱歌…… ④-19
南洋発展の歌…… ④-19
南洋パラオ諸島の民俗…… ⑩-26
南洋貿易五拾年史…… ⑩-26
南洋要覧…… ⑩-23
南洋労働力の研究…… ⑩-24
ニウギニア関係図書目録…… ⑩-27
ニウギニアの森林…… ⑩-27

【20世紀日本のアジア関係重要研究資料】

★第１部　東亜研究所刊行物 …⑩-1
★第２部　定期刊行資料…… ⑩-18
★第３部　単行図書資料…… ⑩-23
日英博覧会事務局事務報告…… ③-20
改正　日･鮮･支･露･印･濠･新西蘭及南洋諸島関税便覧…… ③-13
日独海戦史…… ⑩-24
日独国交断絶秘史…… ⑩-24
日露間之韓国 …… ⑨-19
日魯交渉北海道史稿……③-8
日露戦争批判…… ③-16
日露貿易…… ③-11
日韓交通史 …… ⑨-11
日韓新協約ノ影響トシテノ学部々内ノ情況…… ④-29
日韓紛議 政略纂論 ……⑨-5
日韓併合始末 …… ⑨-10
日支事変と支那経済機構の変化……⑩-6
日支紛争に関する国際聯盟調査団と満鉄 ……⑧-2
日清韓新三國志 …… ⑨-24
日鮮通交史…… ③-14
日中外交六十年史　全４巻……①-1
日中戦争史資料 ……⑧-8
日中貿易促進議員連盟関係資料集「日中貿易議連週報」他　全10巻
……①-3
再増補 日中両国近代化の比較研究 序説 ……⑧-7
日中両国の伝統と近代化……⑧-8
二宮尊親の北海道開拓 ……⑪-9
日本移民論…… ③-16
日本園芸業概覧……③-8
日本海員掖済会沿革提要…… ③-19
日本海上史論…… ③-18
日本各時代室内装飾法 全 …… ③-14
日本貨幣年表……③-2
日本近世造船史…… ③-10
日本近世窯業史…… ③-11
【日本近代教育史料大系　第１期
公文記録〔Ⅰ〕】
太政類典より　学制 ……④-3
公文録より　皇漢両学所･昌平開成両学校･大学校･京都学校･大学･文部省…各伺 ……④-4
公文類聚より　学政門および学事門 ……④-5
稿本 日本金融史論 …… ③-21
日本軍占領下の東ティモール視察復命書 …… ⑩-44
日本現時之社会問題……⑥-3
日本鉱業誌……③-3
日本鉱業政策……③-3
日本鉱泉誌…… ③-10
日本語教科書　全６巻 …… ⑩-39
日本語教科書[ジャワ] …… ⑩-30
日本語教授書……④-9
日本語教授の実際…… ④-10
日本古代商業史……③-8
日本事業小史…… ③-15
日本社会学院年報　全11巻……⑥-3
日本社会の発達及思想の変遷……⑥-4
日本宗教風俗志…… ③-16
日本住宅建築図案百種…… ③-13
日本酒改良実業問答……③-7

日本商業雑誌…… ③-10
日本商工業要覧……③-6
日本食志…… ③-13
日本植物油脂…… ③-13
【日本植民地教育政策史料集成　台湾篇　全119巻】
第１集　教育要覧類　全６巻 ④-7
第２集　学事法規　全10巻……④-7
第３集　教育施策関係資料　全６巻 ……④-7
第４集　学校経営関係資料　全５巻 ……④-8
第５集　台湾教育関係著書　全８巻 ……④-9
第６集　教科書編纂・各科教育関係資料　全14巻 ……④-9
第７集　地方教育誌　全６巻 ④-10
第８集　学校要覧類　全22巻 …… ④-11
第９集　学事統計　全９巻… ④-14
第10集　社会教育関係資料　全10巻 …… ④-15
別集⑴「台湾教育関係公文書」全12巻 …… ④-16
別集⑵　隈本繁吉文書（台湾篇）全13巻 …… ④-17
日本植民地教育政策史料集成・台湾篇　総目録・解題・索引　全２巻 ……④-21・⑫-5
【日本植民地教育政策史料集成　朝鮮篇　全69巻・総74冊】
第１集　教育要覧類　全４巻 …… ④-22
第２集　学事例規類　全５巻 …… ④-22
第３集　教育施策関係資料　全８巻 …… ④-23
第４集　教科書編纂関係資料　全７巻 …… ④-24
第５集　朝鮮教育関係著書　全10巻 …… ④-25
第６集　地方教育誌　全５巻 …… ④-26
第７集　学校要覧類　全６巻 …… ④-27
第８集　教育統計　全11巻… ④-28
別集　旧韓末教育史資料　―隈本繁吉文書　全７巻 …… ④-29
別集Ⅱ　教育関係公文書　全12巻 …… ④-32
日本植民地教育政策史料集成・朝鮮篇　総目録・解題・索引…④-31・⑫-3
日本植民地研究 …… ⑩-55
日本水路誌第八巻 千島列島 …… ③-14
日本制度通…… ③-17
日本製麻史…… ③-12
日本赤十字社沿革史…… ③-16
日本全国産業組合要録……③-5
日本鮮鱒養殖誌……③-9
日本占領期インドネシア研究　⑩-54
日本占領とビルマの民族運動　⑩-56
【日本大学生物資源科学部国際地域研究所（RRIAP）叢書】
①グリーン・レボリューションの20年 ……⑪-3
②東南アジアの畜産 ……⑪-3
③東南アジア・農業と水 ……⑪-3
④東南アジアの農民とルーラル・デベロップメント ……⑪-3
⑤東南アジア農業と日本……⑪-4
⑥東南アジア農業と環境保全…⑪-4
⑦東南アジア農業開発と環境・資源 ……⑪-4
⑧東南アジアの自然・技術・農民 ……⑪-4
⑨東南アジアの食品加工業……⑪-4
⑩東南アジアの技術協力をめぐる諸問題 ……⑪-4
⑪アジアの農業・食料資源を考える ……⑪-5

⑫ポスト・グリーンレボリューションを考える ……⑪-5
⑬ポスト・グリーンレボリューションを考える　Part2 ……⑪-5
⑭ポスト・グリーンレボリューションを考える　Part3 ……⑪-5
⑮農業と環境の未来　ー土壌から見た環境ー ……⑪-5
⑯農業と環境の未来　ー水圏から見た環境ー ……⑪-5
⑰農業と環境の未来　ー森林から見た環境ー ……⑪-6
⑱農業と生態系 ……⑪-6
⑲農業と生態系　PartⅡ ……⑪-6
⑳農業と生態系　PartⅢ ……⑪-6
㉑グローバリゼーションと食料・生物資源 ……⑪-6
㉒アジアの農業と農村の将来展望 ……⑪-6
㉓東シベリア地域における動物群集の多様性と保全に関する研究 ……⑪-7
㉔アジア農村の環境・エネルギー問題 ……⑪-7
㉕南・東南アジア諸国における都市近郊農業の現況と展開方向 ……⑪-7
㉖インドネシア東カリマンタン・マハカムデルタにおける開発が陸水生態系に及ぼす影響と環境修復 ……⑪-7
㉗家畜と野生動物の共通伝染病に対する国際地域連携による早期警報システムの構築……⑪-7
㉘国際的な動物園ネットワークを用いた野生動物感染症の早期警報システム ……⑪-8
㉙野生生物の利用管理 ……⑪-8
㉚東アジアにおけるローカルフードシステムの再編と展望 ……⑪-8
㉛休閒・福祉農業の現状と農地保全に係る今後の展開 ……⑪-8
㉜昆布食文化のロシアにおける普及ならびに昆布産業の振興に向けて ……⑪-8
日本大陸政策の発展……⑩-8
新撰百種第六種 日本地氣論 …… ③-20
日本地誌提要…… ③-17
日本帝国海上権力史講義…… ③-16
日本帝国国勢一班（第７回）…… ③-10
日本帝国主義と中国 …… ⑧-10
日本帝国鉄道創業談…… ③-10
大東亜法秩序・日本帝国法制関係資料
第１期 『司法資料一般（司法研究所・他資料）』 全10巻 … ⑩-43
第２期 『南方軍政監部資料』 全10巻 …… ⑩-43
第３期 『満州国関係・蒙疆政府関係資料』 全16巻 …… ⑩-44
日本帝国郵便規則及罰則…… ③-15
日本電気事業発達史…… ③-13
日本刀…… ③-20
日本における朝鮮少数民族…… ⑨-34
日本農業小史……③-6
日本農民ニ疲弊及其救治策……③-5
インタヴュー記録 日本の英領マラヤ・シンガポール占領（1941～45年）…… ⑩-40
日本之下層社会……⑥-4
日本之社会……⑥-4
日本の将来……⑥-4
拾年紀念 日本の鉄道論 …… ③-14
インタヴュー記録 日本のフィリピン占領 …… ⑩-32
日本の富豪の家憲…… ③-10
日本の蜜柑…… ③-12
日本之輿論……⑥-3
日本の労働運動……⑥-4
日本橋魚市場沿革紀要…… ③-10

日本橋区大観……⑤-2
日本橋繁昌記……⑤-1
日本花柳史……③-16
日本肥料概覧……③-8
日本婦女宝鑑……③-15
日本佛教団（含基督教）の宣撫工作と大陸……⑩-51
改良日本米作法……③-6
日本米食史……③-10
日本貿易の概況……③-14
日本捕鯨彙考……③-4
日本々国民に與ふ……④-5
日本棉作要説……③-12
日本輸出絹業の大勢……③-11
日本陸軍士官学校中華民国留学生名簿……⑩-50
日本留学支那要人録……⑩-50
日本留学中華民国人名調……⑩-50
日本留学中国人名簿関係資料　全7巻……⑩-50
紐育……③-20
（ニューヨーク滞在期間中の各地見聞メモ）……④-20
『女人芸術』解説・総目次・索引…⑫-1
認可教科用図書一覧……④-25
農会調査農事統計……③-9
農家年中行事……③-19
農家副業ニ関スル調査……③-8
農業開発の課題……⑪-1
農業教育ニ関スル私見……④-31
農業経営学と私……⑪-2
農業統計……③-7
農業と環境の未来　ー土壌から見た環境ー……⑪-5
農業と環境の未来　ー水圏から見た環境ー……⑪-5
農業と環境の未来　ー森林から見た環境ー……⑪-6
農業と生態系……⑪-6
農業と生態系　PartⅡ……⑪-6
農業と生態系　PartⅢ……⑪-6
農業と農村……⑪-1
農業用揚水機調査……③-8
農作物病虫害予防事務概要……③-8
訂正増補 農事顧問……③-9
農事参考書解題……③-8
農事試験場特別報告第一号……③-17
農事試験成績……③-6
農事統計……③-8
農事統計表……③-5
農商務省報告……③-4
農村実態調査……⑩-33
農村実態調査一般調査報告書……⑩-27
農村実態調査報告書　全16巻……⑧-6
農村社会問題 地主と小作人……③-13
農村問題……⑥-3
農人形の研究……③-20
濃尾震誌……③-16
農林省累年統計表……③-18
ノース英訳　『プルータック英雄伝』全2巻……⑭-3
Notes on Japan as the Centre of Discussion……④-21
残されたる江戸……⑤-2
野田銚子醤油業調査書……③-6
海苔の研究……③-17

は行

金銭物件土地建物 売買貸借者の顧問……③-19
パウサニアス　ギリシア記　全2巻……⑭-1
舶用蒸気た～びん……③-18
バジーレ　『ペンタメローネ』…⑭-4
バタビヤ華僑調査……⑩-25
八王子……⑤-2
（花園小学校）創立40周年記念誌…④-12
花街風俗志……③-16
Public Education in Formosa under

the Japanese Administration……④-9
咸鏡南道教育一班（ハムギョンナムド）…… ④-26
咸鏡南道鉱業状況（ハムギョンナムド） …… ⑨-26
咸鏡北道鉱業状況（ハムギョンブクド） …… ⑨-26
パラオ叢書…… ⑩-26
パラオ島誌…… ⑩-26
（ハワイの教育事情）…… ④-20
（バンクーバーの教育事情）…… ④-20
萬国商業地誌…… ③-10
犯罪問題……⑥-3
蕃人教育概況…… ④-11
蕃人読本編纂趣意書……④-9
藩閥の将来……⑥-3
比較殖民制度…… ③-16
東アジアにおける近代条約関係の成立 ……①-6
東アジアにおけるローカルフードシステムの再編と展望……⑪-8
東シベリア地域における動物群集の多様性と保全に関する研究 ⑪-7
東本願寺 上海開教六十年史 …… ⑩-51
比島宗教班関係史料集　全２巻 …… ⑩-32
比島調査報告　全２巻…… ⑩-31
批評　全３巻 ……②-3
百一新論……⑥-3
百学連環……⑥-3
兵庫県農工商業雑報……③-3
兵庫県物産調査書……③-3
氷面鏡（一名三井呉服店案内）… ③-14
平安南道鉱業状況（ピョンアンナムドウ） …… ⑨-27
平安南道の教育と宗教（ピョンアンナムド）…… ④-26
平安北道教育視察団視察経過及感想一班（ピョンアンブクド）…… ④-30
平安北道鉱業状況（ピョンアンブクド） …… ⑨-27
平安北道小作慣行調査書（ピョンアンブクド）…… ⑨-28
平壌経済一班（ピョンヤン） …… ⑨-29
肥料学…… ③-13
緬甸に於ける印度人…… ⑩-27
緬甸の華僑…… ⑩-25
緬甸の経済…… ⑩-11
広島ニ於ル樺山総督ニ上申セシ教育方針…… ④-17
琵琶湖水産誌……③-8
訂正 琵琶湖疎水要誌 …… ③-14
貧窮……⑥-3
貧民制度並救済事業…… ③-19
Further Plans for Study of Americanization …… ④-20
黄海道学事及宗教（ファンヘド）…… ④-26
黄海道鉱業状況（ファンヘド） …… ⑨-27
（フィラデルフィアの教育事情） ④-20
比律賓華僑の概観…… ⑨-23
フィリピン関係文献目録…⑩-45・⑫-5
比律賓群島事情……③-7
比律賓情報　全21巻 …… ⑩-18
『比律賓情報』解説・総目録・索引篇 ……⑩-18・⑫-4
フィリピン独立問題史 …… ⑩-55
比律賓の民族 …… ⑩-16
風俗改良及国語普及ニ関スル最近ノ施設及成績…… ④-15
『風俗画法』目次総覧 ……⑫-1
風俗問題……⑥-3
風土と愛情…… ⑩-25
府尹郡守会議資料 …… ⑨-31
フェノロサの社会学講義……⑥-3
福井県立中学校の英語教師との雇用契約…… ④-31
福岡県治要覧…… ③-11
服假沿革略考…… ③-16
副業の手引き…… ③-20
朝鮮部落の一形態　副業の盛なる道也味里 …… ⑨-29
福島県案内……③-7
福島県稲作景況……③-4
明治35年福島県凶荒誌附録……③-4
福島県物産陳列舘案内…… ③-20
福州東瀛学校規則…… ④-13
福州東文学社…… ④-19

府県陶器沿革陶工伝統誌……③-6
釜山教育五十年史…… ④-27
釜山第六公立尋常小学校経営一覧表
…… ④-27
釜山中等教育機関設置ニ関スル陳情書
…… ④-23
伏見紡績会社意見摘要…… ③-10
撫順炭鉱坑内掘採炭事業ニ於ケル中国人労働者ノ労働条件……⑧-2
婦人職業論……⑥-4
婦人問題……⑥-3
財団法人普成専門学校一覧…… ④-28
再ヒ大西洋ヲ渡ル…… ④-20
佛印華僑工作案…… ⑩-24
普通学校学徒訓練資料…… ④-30
普通学校教科課程改正要項案…… ④-31
普通学校教科書編纂趣意書…… ④-24
普通学校教養ニ関スル施設綱要… ④-30
普通学校国語読本 編纂趣意書 … ④-24
普通学校国史 編纂趣意書 …… ④-24
普通学校実業学校学事状況報告要録
…… ④-30
普通学校修身書 編纂趣意書 …… ④-24
普通学校修身書編纂趣意書･普通学校朝鮮語読本編纂ノ要旨…… ④-24
普通学校朝鮮語読本 編纂趣意書 ④-24
普通学校用送仮名法…… ④-24
普通学校用仮名遣法…… ④-24
普通教育学押収新聞記事摘要…… ④-31
普通社会学 第一巻 社会学序説 …⑥-4
普通社会学 第二巻 社会理学 ……⑥-4
佛教調査報告書…… ⑩-53
福建華僑経済…… ⑩-25
福建華僑の送金…… ⑩-25
仏国政府財政沿革大要……③-4
Butsurigaku ni Mochiyoru Go no Wa-Ei-Futsu-Doku Taiyaku Jisho
……⑤-3
和欧及英独和 物理用語新辞典 ……⑤-4
仏領植民地の関税政策…… ⑩-23
不動産法調査報告要録 …… ⑨-21
船の朝鮮 …… ⑨-19
富民公立普通学校一覧表…… ④-27
府邑面雑誌 …… ⑨-30
フランス革命よりウィーン体制成立期の外交 ……①-4
不良児教育法…… ③-18
ノース英訳 『プルータック英雄伝』 全２巻……⑭-3
文化時報 全18巻 附１巻…… ⑩-21
文化の建設 ―幣原坦六〇年回想記（部分）……④-8
文明論之概略……⑥-3
文禄征韓水師始末 朝鮮李舜臣伝 ⑨-5
平安遷都百年記念祭協賛誌……③-6
平安南道鉱業状況 …… ⑨-27
平安南道の教育と宗教…… ④-26
平安北道教育視察団視察経過及感想一班…… ④-30
平安北道鉱業状況 …… ⑨-27
平安北道小作慣行調査書…… ⑨-28
平安名陶伝…… ③-20
兵役税論…… ③-18
自明治44年11月至昭和12年4月 米価及米穀日誌…… ③-18
米加茶業視察報告並ニ意見…… ③-16
米国教育週間に関する大統領クーリッヂ氏の布告大要…… ④-20
米国ニ於ケルデモクラシィ…… ④-20
米国民…… ③-17
米国労働者ノ生計状態…… ③-15
仏和 兵語辞典 ……⑤-4
平壌経済一班 …… ⑨-29
幣制改革始末概要……③-8
別子銅山ニ関スル調査報告書……③-6
バジーレ 『ペンタメローネ』 …⑭-4
ペントン氏養蜂書……③-9
貿易上ノ平戸…… ③-13
貿易上ヨリ見タル支那風俗之研究 ③-13
報告書…… ④-30

鳳山公学校現今ノ情況概要…… ④-12
英和 法政経済商業辞典 ……⑤-4
紡績職工事情調査概要報告書…… ③-14
房総紀要…… ③-13
貿調資料 …… ⑩-20
奉天市宗教便覧…… ⑩-51
（台北第二師範学校校友会誌）芳蘭
…… ④-13
法律語彙初稾…… ③-18
佛和 法律字彙 ……⑤-3
獨和 法律辞典 ……⑤-3
Vocabulaly Physical Terms in The
Four Languages, English, Japanese,
French, and German ……⑤-3
北越史料 出雲崎 …… ③-15
北鉄接収前後…… ⑩-26
北米合衆国官報…… ④-20
（北米合衆国史概観）…… ④-20
北米合衆国ニ於ケル戦争及経済動員ノ
戦後ニ及ボス影響…… ④-20
北米合衆国林業視察復命書……③-7
捕鯨誌……③-4
江都名家 墓所一覧 …… ③-20
**ポスト・グリーンレボリューション
を考える** ……⑪-5
**ポスト・グリーンレボリューション
を考える　Part2**……⑪-5
**ポスト・グリーンレボリューション
を考える　Part3**……⑪-5
細谷千博著作選集　全２巻……①-5
北海事情…… ③-19
再版 北海道蝦夷語地名解 …… ③-16
北海道勧業統計要覧……③-5
北海道漁業志要……③-6
北海道工業概要……③-5
北海道鉱業の概説……③-5
北海道鉱山略記…… ③-11
北海道鉱床調査報文……③-6
北海道栽桑心得……③-6
北海道産業組合要覧……③-7
北海道産業要覧……③-5
北海道殖民状況報文…… ③-14
北海道水産試験場調査事業報告……③-4
北海道水産調査報告……③-4
北海道水産予察調査報告……③-4
北海島拓殖の進歩……③-5
北海道拓殖必携……③-5
北海道拓殖要覧……③-5
北海道地質報文……③-6
北海道地質略論……③-7
北海道庁勧業月報……③-4
北海道庁勧業年報……③-3
開拓指鍼 北海道通覧 …… ③-16
北海道屯田兵制度……③-9
北海道農作物病虫害駆除予防法解説
……③-9
北海道農桑提要……③-6
北海道輸出木材之調査…… ③-19
北極探検談…… ③-11
北方地域農林畜産業文献目録……⑩-7
保定･石家荘･太原 電気事業調査報告
書…… ⑩-26
**ホメロス 『イリアス』（ヴィロア
ゾン版） 全２巻** ……⑭-4
**ホメロス 『オデュセイア』（ジョ
シュア･バーンズ編） 全２巻** ⑭-4
ポリュビオス　世界史　全３巻 ⑬-3
ボルネオ事情概要…… ⑩-23
ボルネオ新聞　全13巻 …… ⑩-47
「ボルネオ新聞」解題・総目録・索引
…… ⑩-48
本願寺関係中学書類…… ④-18
本稿化学語彙……⑤-3
本朝医人伝…… ③-15
本島教育ニ関スル御沙汰書御下賜方内
申ノ件…… ④-20
本島人紳士学務部長訪問談話要領 ④-18
本島人内地人共学問題･本島人中等教
育問題各打合員意見…… ④-18
本島人内地留学者調…… ④-11

本府発行教科用図書一覧…… ④-25
本府編纂教科用図書一覧…… ④-24
本邦金石畧誌…… ③-15
本邦銀行発達史…… ③-11
本邦鉱業の趨勢50年史　資料篇・解説篇 ……③-1
本邦産牛馬組合要覧……③-7
本邦石炭事情…… ③-11
本邦通商條約論…… ③-10
本邦都市ニ於ケル牛肉ノ需要ト供給……③-7
本邦に於ける一代支雑歪種の発祥地…… ③-18
本邦ニ於ケル家畜共済事業……③-7
本邦皮革ニ関スル調査……③-6

ま行

馬学…… ③-15
魔窟之東京…… ③-19
町田則文先生伝（部分）…… ④-13
松方伯ト明治ノ理財法……③-5
松本六万石史料…… ③-10
学政ニ関スル意見書…… ④-31
Manual of Education in Chosen … ④-22
馬来及昭南島…… ⑩-23
馬来公報 …… ⑩-28
馬来事情…… ⑩-25
馬来地誌…… ⑩-11
馬来統計書…… ⑩-27
馬来編年史研究…… ⑩-16
マラヤ華僑と中国 …… ⑩-56
マラヤ日本占領期文献目録（1941年－45年）……⑩-38・⑫-4
満支に於ける共産運動概況……⑩-2
満州５箇年計画立案書類　全14巻・付図１ ……⑧-4
大東亜法秩序・日本帝国法制関係資料　第３期　『満州国関係・蒙疆政府関係資料』　全16巻 …… ⑩-44
満州国建国側面史…… ⑩-26
満洲国の回教徒問題…… ⑩-53
満洲国の宗教…… ⑩-51
満洲穀物取引慣習一班…… ③-13
満洲国留日学生録　全６巻…… ⑩-50
満州事変直前期満州に於ける労働争議録集 ……⑧-2
満洲宗教概要…… ⑩-53
満州森林調査書……③-9
満洲大豆ニ関スル調査…… ③-14
満洲地誌…… ③-16
満洲帝国学事要覧　全４巻…… ⑩-50
満州帝国共和会指導要綱案…… ⑩-26
満州鉄道建設誌 ……⑧-3
満洲ニ於ケル通貨及金融…… ③-14
満洲に於ける天主教…… ⑩-51
満洲ニ於ケル棉布ノ調査…… ③-13
満州農村合作社運動の記録……⑪-1
満洲の佛教と其の諸問題…… ⑩-53
満洲旗人の祭祀に就て…… ⑩-53
満洲通志…… ③-15
満鮮支視察記録 …… ⑨-26
満鮮北支視察記 …… ⑨-26
満鉄各箇所使役華工調査報告 …⑧-2
満鉄関係條約集　全２巻……⑧-5
満鉄在籍社員統計 ……⑧-2
【満鉄史料叢書】
①炭礦読本 ……⑧-1
⑤満州事変直前期満州に於ける労働争議録集 ……⑧-1
⑥満鉄各箇所使役華工調査報告……⑧-1
⑦満鉄鉄道営業貨物積卸に関する華工制度の沿革 ……⑧-2
⑧日支紛争に関する国際聯盟調査団と満鉄 ……⑧-2
⑨撫順炭鉱坑内掘採炭事業ニ於ケル中国人労働者ノ労働条件……⑧-2
⑩満鉄在籍社員統計 ……⑧-2

⑪満鉄中国人労働者の生計費調査報告 ……⑧-3
⑫課級以上組織機構変遷並に人事異動一覧表 ……⑧-3
⑬満州鉄道建設誌 ……⑧-3
⑭南満州鉄道株式会社中央試験所要覧 ……⑧-3
⑮満鉄関係條約集　全2巻 ……⑧-4
⑯満鉄調査部報　全4巻 ……⑧-4
満鉄中国人労務者の生計費調査報告 ……⑧-3
満鉄調査部報　全４巻 ……⑦-4
満鉄鉄道営業貨物積卸に関する華工制度の沿革 ……⑧-2
現代叢書 満蒙 …… ③-17
満蒙経済概覧…… ③-13
満蒙諸慣習概要…… ③-20
三重県気象報告…… ③-10
三重県事業史…… ③-10
ミクロネシア群島…… ⑩-26
ミクロネシア民族資料…… ⑩-26
水原高等農林学校要覧…… ④-27
水原農林専門学校校友会会報…… ④-27
三井と三菱…… ③-14
箕作麟祥君伝…… ③-17
三屋静より隈本学務部長宛書信… ④-19
（秘）南支那ニ於ケル活動ヲ主要ノ目的トスル支那人並内地人台湾人ノ教育機関ニ就テ…… ④-19
南支那ニ於ケル台湾総督府ノ教育施設概況…… ④-11
南・東南アジア諸国における都市近郊農業の現況と展開方向……⑪-7
南満洲植物目録…… ③-17
南満州鉄道株式会社第４次10年史 ……⑧-4
南満州鉄道株式会社中央試験所要覧 ……⑧-3
南満州鉄道株式会社二十略史…… ③-15
南満洲ニ於ケル帝国ノ権利…… ③-14
明治38年宮城県凶荒誌……③-4
都のてぶり考證…… ③-20
民間経済録…… ③-10
民間信仰調査報告書…… ⑩-53
民国教育施設概観…… ④-19
民事慣習回答彙集 …… ⑨-22
民情一新……⑥-3
民法辯疑…… ③-20
麦ニ関スル調査……③-5
麦ニ関スル調査書訂正増補……③-5
霧社事件ノ顛末……④-8
稿本 無盡の実際と学説 …… ③-14
むらづくりの原理 ……⑩-9
明細図入新編東京獨案内…… ③-17
明治期経済・社会関係基本資料 … ③-19
【明治後期産業発達史資料】
第１期（第１巻～第42巻）　総42巻 ……③-2
第２期（第43巻～第87巻）　総45巻 ……③-3
第３期（第88巻 ～ 第139巻）　総52巻 ……③-4
第４期（第140巻～第191巻）　総52巻 ……③-5
第５期（第192巻～第249巻）　総58巻 ……③-6
第６期（第250巻～第309巻）　総60巻 ……③-8
第７期（第310巻～第363巻）　総54巻 ……③-9
第８期（第364巻～第421巻）　総58巻 …… ③-10
第９期（第422巻～第490巻）　総69巻 …… ③-11
第10期（第491巻～第562巻）　総72巻 …… ③-13
第11期（第563巻～第625巻）　総63巻 …… ③-14
第12期（第626巻～第684巻）　総59巻 …… ③-15

第13期（第685巻～第750巻） 総66巻 …… ③-16
第14期（第751巻～第814巻） 総64巻 …… ③-18
第15期（第815巻～第865巻） 総51巻 …… ③-19
『明治後期産業発達史資料（Ⅰ～ⅩⅤ期）』総目録・書名索引 ……③-20・⑫-5
明治後期煙草関係資料…… ③-12
明治工業史……③-7
明治国民教育史（部分）……④-9
明治国家の形成とアジア……①-1
明治蚕業大事記……③-6
明治36年学事会議席上ニ於ケル後藤民政長官ノ演述…… ④-17
明治初年北海紀聞…… ③-19
明治廿七八年在韓苦心録……⑨-9
明治癸卯朝鮮紀行 …… ⑨-26
東京府・西多摩郡・南多摩郡・北多摩郡名所旧蹟及物産志…… ③-18
明治四十三年七月十三日韓国駐箚各道憲兵隊長（警務部長）会議席上俵学部次官演説要領…… ④-30
明治四十四年全羅南道道勢要覧 …… ⑨-24
メモ、金庫現地報告、新聞論調、南方資料、他 …… ⑩-20
綿花ニ関スル調査……③-8
綿絲紡績職工事情…… ③-12
大東亜法秩序・日本帝国法制関係資料　第３期　『満州国関係・蒙疆政府関係資料』　全16巻 …… ⑩-44
蒙古事情概要…… ⑩-27
木材ノ工芸的利用…… ③-13
木炭ニ関スル経済調査…… ③-19
模型飛行機之研究…… ③-18
盛岡市財務史要…… ③-18
森山撰織術（下）織物工場管理法 ③-12

や行

真説 八百屋お七 ……⑬-1
羅・独・英・和訳 薬学辞典…… ③-12
簡明 薬種商講義 …… ③-20
増訂 薬品名彙 …… ③-12
野生生物の利用管理 ……⑪-8
野草ニ乏シキ地方ニ於ケル農用牛馬飼育ニ関スル調査……③-8
ヤップ島誌…… ⑩-26
山水河及湖沢…… ③-16
U.Sカ今回ノ大戦ニ依リ得タル無形ノ利益ト教育上ニ及ボセル影響… ④-21
遊郭・貸座敷・引手茶屋　沿革竝取締概況…… ③-19
結城郡案内記…… ③-15
優良男女青年団実績概況…… ④-15
諭告・訓示・演述総覧…… ④-23
油類工業分析…… ③-10
養蚕新説……③-6
揚子江富源 江南事情 …… ③-15
揚子江流域炭礦調査報告…… ⑩-27
横浜開港側面史…… ③-14
横浜市水道第二拡張誌…… ③-14
開港五十年紀念 横浜成功名誉鑑　③-18
横浜の港湾…… ③-10
予算詳解…… ③-18
吉野林業全書…… ③-13

ら行

螺炎随筆 鼻を撫りて …… ⑨-21
楽石自伝 教界周遊前記（部分）……④-8
楽浪と伝説の平壌 …… ⑨-23
喇嘛廟々会と鄂博祭…… ⑩-53
藍衣社ニ関スル調査…… ⑩-23
蘭印最近の経済、外交政策…… ⑩-24
蘭印統計書…… ⑩-23
蘭印における民族資本と産業組合 ⑩-23

蘭印輸入制限及特許品目一覧表… ⑩-24
蘭学資料研究　全24巻・附巻 ……⑤-1
『蘭学資料研究』附巻（解題・総目次・索引） …… ⑤-1・⑫-2
蘭領印度史……⑩-5
1936年度 蘭領印度事情 …… ⑩-23
蘭領印度統治組織……⑩-8
蘭領印度ニ於ケル日、英、蘭三国織物類ノ角逐…… ⑩-24
蘭領印度ノ農業…… ⑩-24
蘭領印度の貿易及貿易政策…… ⑩-12
蘭領印度の民族運動…… ⑩-17
蘭領印度モロッカス群島近海の鰹漁業並に同地方沖縄県漁民の状況… ⑩-24
蘭領ニューギニア買収案…… ⑩-24
蘭領東印度鉱業法…… ⑩-24
蘭領東印度胡椒の生産と市場…… ⑩-24
蘭領東印度事情…… ③-22
蘭領東印度に於ける動力資源…… ⑩-24
南洋叢書第1巻 蘭領東印度篇 …… ⑩-24
蘭領東印度立法行政法並選挙法… ⑩-24

【RRIAP叢書】

①グリーン・レボリューションの20年 ……⑪-3
②東南アジアの畜産 ……⑪-3
③東南アジア・農業と水 ……⑪-3
④東南アジアの農民とルーラル・デベロップメント ……⑪-3
⑤東南アジア農業と日本……⑪-4
⑥東南アジア農業と環境保全…⑪-4
⑦東南アジア農業開発と環境・資源 ……⑪-4
⑧東南アジアの自然・技術・農民 ……⑪-4
⑨東南アジアの食品加工業……⑪-4
⑩東南アジアの技術協力をめぐる諸問題 ……⑪-4
⑪アジアの農業・食料資源を考える ……⑪-5
⑫ポスト・グリーンレボリューションを考える ……⑪-5
⑬ポスト・グリーンレボリューションを考える　Part2 ……⑪-5
⑭ポスト・グリーンレボリューションを考える　Part3 ……⑪-5
⑮農業と環境の未来　ー土壌から見た環境ー ……⑪-5
⑯農業と環境の未来　ー水圏から見た環境ー ……⑪-5
⑰農業と環境の未来　ー森林から見た環境ー ……⑪-6
⑱農業と生態系 ……⑪-6
⑲農業と生態系　PartⅡ ……⑪-6
⑳農業と生態系　PartⅢ ……⑪-6
㉑グローバリゼーションと食料・生物資源 ……⑪-6
㉒アジアの農業と農村の将来展望 ……⑪-6
㉓東シベリア地域における動物群集の多様性と保全に関する研究 ……⑪-7
㉔アジア農村の環境・エネルギー問題 ……⑪-7
㉕南・東南アジア諸国における都市近郊農業の現況と展開方向 ……⑪-7
㉖インドネシア東カリマンタン・マハカムデルタにおける開発が陸水生態系に及ぼす影響と環境修復 ……⑪-7
㉗家畜と野生動物の共通伝染病に対する国際地域連携による早期警報システムの構築……⑪-7
㉘国際的な動物園ネットワークを用いた野生動物感染症の早期警報システム ……⑪-8
㉙野生生物の利用管理 ……⑪-8
㉚東アジアにおけるローカルフードシステムの再編と展望 ……⑪-8

㉛休閒･福祉農業の現状と農地保全に係る今後の展開 ……⑪-8
㉜昆布食文化のロシアにおける普及ならびに昆布産業の振興に向けて ……⑪-8
英和 陸海軍兵語辞典 ……⑤-4
理財字典･予算之部 ……③-5
理財論……③-9
立志起業 東洋立志編 …… ③-20
リットン報告附属書…… ⑩-24
理蕃概要…… ③-15
記者探訪 裏面の東京 …… ③-20
REMEMBERING THE INSTITUTE OF PACIFIC RELATIONS 太平洋問題調査会（IPR） ……①-2
留学生ニ関スル件…… ④-28
琉球古今記…… ③-19
琉球人名考…… ③-17
【龍溪西欧古典叢書】
①ノース英訳 『プルータ－ク英雄伝』 全２巻 ……⑭-4
②バジーレ 『ペンタメローネ』 ……⑭-4
③ホメロス 『イリアス』（ヴィロアゾン版） 全２巻 ……⑭-4
④ホメロス 『オデュセイア』（ジョシュア･バーンズ編） 全２巻 ……⑭-4
【龍溪ヨーロッパ･コレクション】
『オシアン詩集』……⑭-5
留日学生名簿…… ⑩-50
留日学務規程及概況…… ⑩-50
「領事報告」掲載フィリピン関係記事目録 1881－1943年 …⑩-38･⑫-4
理論普通社会学網領……⑥-4
梨花女子専門梨花保育学校一覧 … ④-28
林業関係資料…… ⑩-27
林産名彙…… ③-13
臨時教育調査委員会決議要項…… ④-23
臨時財産整理局事務要綱…… ⑨-21
臨時台湾旧慣調査会第1部調査第３回報告書 台湾私法附録参考書 … ③-14
（学事関係）例規集 …… ④-22
詔勅、令旨、論告、訓達類纂……④-7
歴史のなかの日本外交 ……①-5
歴史民族朝鮮漫談 …… ⑨-16
礫川要覧…… ③-17
列国対支投資と支那国際収支…… ⑩-16
列国の対支投資と華僑送金…… ⑩-25
Revised Education Regulations for Chosen, Promulgated under date of February 4,1922 …… ④-23
労働者問題……⑥-3
労働保護論……③-8
露国森林経理論……③-5
露国聖彼得堡府万国漁業博覧会報告……③-5
露国の手工業…… ③-11
ロシア語図書目録法入門……⑫-2
露西亜･朝鮮･支那遠征奇談 新々赤毛布 …… ⑨-11
早稲田叢書 露西亜帝国 …… ③-17
露領沿海洲視察復命書……③-5
露領漁業の沿革と現状…… ⑩-27
詔勅、令旨、論告、訓達類纂……④-7

わ行

我国ノ米問題……③-9
我国民ノ海外発展ト南洋新占領地 ⑩-24
わが青春のバタヴィア …… ⑩-55
我が南洋…… ⑩-26
我南洋貿易を阻害する華僑の真相 ⑩-25
和歌山県勧業例規……③-3
和漢薬物学…… ③-13
（和尚州公学校）創立40周年記念誌 …… ④-11
渡邊渡少将軍政関係史･史料 全５巻 …… ⑩-34

ご　挨　拶

2021年度の図書目録をお届け致します。前回の発行から２年余りが経過しておりますが、さらに内容を充実させて刊行いたしましたので、ご笑覧いただければ幸いに存じます。

小舎は引き続き、学術史料出版社として読者の皆様のお役にたてるよう地道に活動してまいりますので、これからもより一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

小舎書籍のご購入方法

※書籍のご購入に関しましては、お近くの書店様へご注文ください。小舎の刊行物は注文制のため、店頭での常備品ではございませんが、全国の書店様よりお取り寄せいただけます。

※お近くに書店様が無い場合、特にお急ぎの場合などございましたら、小舎までお問い合わせください。また、下記の手数料等をご負担いただくことで、小舎から直接書籍をお送りすることも可能です。

株式会社 龍溪書舎

〒179-0085　東京都練馬区早宮2-2-17

TEL：03(5920)5222 ／ FAX：03(5920)5227

WEB：www.ryuukei.co.jp ／ Mail：info@ryuukei.co.jp

龍溪書舎
〒179-0085　東京都練馬区早宮2-2-17
TEL：03(5920)5222　／　FAX：03(5920)5227
WEB：www.ryuukei.co.jp　／　Mail：info@ryuukei.co.jp